第５．９　現行記載例／項目化後記載例一覧

第５９	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1／1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
現行記載例／項目化後記載例一覧		平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1

〔順守事項〕

(1) 現行記載例は戸籍システム化後に項目化記載例となる。

(2) タイトル名称，インデックス名称，インデックスの並び（順番）は順守事項である。タイトル名称，インデックス名称インデックスの並び（順番）は「第５－７　ファイル関係仕様」を参照のこと。

〔留意点〕

(1) 項目化記載例の作成は，各事件の要件定義書「第７－２(5)　1.出生届（含国籍留保届）～33. 就籍届」をよく理解し，衆知徹底すること。
　審査結果入力及び訂正・更正・追完に関しては「第５－10(10)　審査結果入力処理」，「第５－10(11)　訂正・更正・追完処理」を熟読し，その考えを十分理解した上でシステム作成に当たること。

(2) 証明書への出力については「第５－６(2)　帳票設計書」を参照のこと。

〔戸籍記載例〕

項目化記載例は以下の戸籍法施行規則及び通達で示されたため，当基準書では提示しない。

〔法定記載例〕戸籍法施行規則（第３３条関係）　付録第７号　戸籍記載例

〔参考記載例〕平成２年３月１日付け法務省民二第６００号民事局長通達　別紙　戸籍記載例

30002

第5.10　「システム処理」の概要説明

（目次）

(1)　「業務選択」処理　(1～1頁)
(2)　「検索」処理　(1～1頁)
(3)　「届出選択」処理　(1～1頁)
(4)　「異動検索」処理　(1～1頁)
(5)　「審査」処理　(1～1頁)
(6)　「処分決定」処理　(1～1頁)
(7)　「仮戸籍表示」処理　(1～1頁)
(8)　「エラー履歴表示」処理　(1～1頁)
(9)　「移記事項入力」処理　(1～1頁)
(10)　「審査結果入力」処理　(1～3頁)
(11)　「訂正・更正・追完」処理　(1～33頁)
(12)　「決裁用帳票出力」処理　(1～1頁)
(13)　「決裁」処理　(1～1頁)
(14)　「証明書発行」処理　(1～1頁)
(15)　「各種ファイル更新」処理　(1～1頁)
(16)　「受領番号確保」処理　(1～1頁)
(17)　「帳票出力」処理　(1～1頁)
(18)　「統計」処理　(1～1頁)
(19)　「関連業務」処理　(1～1頁)
（帳票系，9条2項通知ファイル更新）
(20)　「一括」処理（高齢者消除，行政区画変更）　(1～1頁)

第5.10.(1)

「業務選択」処理

第５１０（１）	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1／1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「業務選択」処理		平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1

〔処理概要〕

(1)　戸籍システムとしては下記の１１処理を選択することができる。

①検索処理
　現行の戸籍簿の検索にあたる「個人検索」と，現行の受附帳の検索にあたる「受付ファイル検索」ができる。

②異動処理
　届出事件の異動処理を行う。届書内容の入力，審査，仮戸籍ファイルおよび受付ファイルの作成や行政処分にあたる「受理」「不受理」等の処分区分の入力を行う。

③移記事項入力処理
　異動処理で作成された仮戸籍に対して従前の戸籍から移記が必要な場合の処理を行う。異動処理から業務選択に戻らず，続けて処理することも可能である。

④決裁処理
　現行の校合にあたる処理で，審査，移記の内容を確認して戸籍ＤＢや関連ファイルを作成する。

⑤証明処理
　現行の戸籍謄抄本にあたる「全部事項証明」「個人事項証明」等の証明書を出力する。

⑥統計処理
　統計ファイルの修正や事件表の出力等，統計関係の処理を行う。

⑦帳票出力処理
　受附帳，届書送付目録等の帳票を出力する。

⑧各種ファイル更新処理
　受付ファイル等システムで使用するファイルのメンテナンスを行う。

⑨受領番号確保処理
　閉庁時（夜間，休日等）の届出に対し受領番号（受付ファイル）を事前確保する。

⑩関連業務処理
　身分証明書出力，相続税法５８条通知出力，附票等の戸籍に関連する事務の処理を行う。

⑪訂正・更正・追完・審査結果入力処理
　訂正，更正，追完および異動処理において処理できなかった届を処理する審査結果入力処理を行う。

〔順守事項〕

なし

〔留意点〕

(1)　データ保護，プライバシー保護の観点から，「処理概要」で述べた処理を行えるかどうかは入力されたパスワードで判断する。基準書では業務選択でパスワード入力を行わせているが，これ以前にパスワードを入力させても構わない。

(2)　業務選択のメニュー（項番，内容等）内容についてはメーカに一任する。

第5.10.(2)

「検索」処理

標準仕様書修正履歴

平成29年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第5. 10. (2) (「検索」処理)	1. 標準仕様書修正 1. 詳細仕様説明書 (受205) 受付ファイル検索項目の検索キーに生年月日と 受理送付区分を追記する。 ※併せて誤植を修正する。	 001	

第 5 10 (2)	詳細仕様説明書	主　管　課　名		頁　数
		システム化調査研究会		1／1
ドキュメント名称		作成日付	改訂日付	版
「検索」処理		平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20

〔処理概要〕

(1) 検索は現行の戸籍簿の検索にあたる「個人検索」と，現行の受附帳の検索にあたる「受付ファイル検索」を行うことができる。

①個人検索

対象はシステム稼働後の現在戸籍およびシステム稼働後に発生した除籍である。
現行の戸籍簿の検索との違いは，該当個人検索時に同時に個人状態ファイル及び不受理申出ファイルを検索表示できることにある。
流れとしては検索キーを入力し，該当者が複数存在すれば該当する戸籍の一覧を表示（該当戸籍一覧画面）し，その中から該当戸籍を選択する。該当戸籍の選択後（キー入力で個人が確定できた場合は直接），戸籍の構成員一覧を表示（戸籍構成員一覧画面）する。この画面で本籍，筆頭者，戸籍事項欄，構成員の名欄の一部及び個人状態の有無が表示される。さらに構成員を選択することにより，その個人の名欄および身分事項が表示される（個人詳細画面）。個人状態および不受理申出の表示もこの画面から展開することができる。
要件定義書には記述されていないが戸籍DBに前個人番号をセットすることにより，個人詳細画面より前歴として前戸籍の個人詳細を表示することができる（管内異動に限られる）。

②受付ファイル検索

対象は現行の受附帳および発収簿の一部（受理・処理伺い等）である。
流れとしては個人検索同様にキー入力を行い，対象が複数あればその該当一覧を表示し，選択後に受付画面が表示される。

〔遵守事項〕

(1) 個人検索における順守事項を下記に示す。

①検索キーは次の10項目を限度とする（要件定義書上では全部を記述していない）。メインキーとサブキーの切り分けはメーカに一任する。

・本籍
・カナ氏名
・漢字氏名
・生年月日
・筆頭者（漢字）
・戸籍編製日
・戸籍消除日
・入籍日
・除籍日
・現除区分

(2) 戸籍構成員一覧の個人の記載順位（表示順位）は法令，通達等に基づく。

(3) 受付ファイル検索における順守事項を下記に示す。

①検索キーは次の項目とする。メインキーとサブキーの切り分けはメーカに一任する。

・受領番号
・事件本人カナ氏名
・事件本人漢字氏名
・事件本人生年月日
・受領日の範囲
・届出事件コード
・受理送付区分
・渉外区分
・処分区分

(4) 受付ファイルに関しては履歴表示も行えるようにする。

(5) 個人検索，受付ファイル検索における検索キー項目以外を検索キーとすることは認めない。また，すべてを検索キーとする必要はない。

〔留意点〕

(1) 個人検索において，カナ氏名，漢字氏名の検索は旧氏名でも検索可能としている。

(2) 戸籍事項，身分事項の表示は証明書と同様にするのが基本であるが，一事項をベタ打ち（連続表示）しても構わない。

(3) 個人状態の破産者，犯歴区分の表示の有無は自治体の運用（判断）に委ねる。

(4) ロックがかかっている戸籍を検索した場合は，メッセージにてその旨を表示する（「第4－10（4） 異動検索処理」を参照のこと）。

第5.10.(3)

「届出選択」処理

第５１０(3)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1／1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「届出選択」処理		平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

〔処理概要〕

(1) 基本的に届出された事件に該当する事件を選択し，それぞれ該当する届書入力画面を表示する。届出メニュー項目は届書の区分けとして，４０種および伺いに対する法務局からの指示を２種設ける。
　届書で，養子離縁届と同時に出された戸籍法７３条の２届および離婚届と同時に出された戸籍法７７条の２届に関しては独立した異動処理とした。また，特別養子離縁届および届書様式（昭59.11.1 民二5502号通達）にない取消届は審査結果入力で処理する。
　受理指示は伺いを上げた届書の受領番号とともに選択番号（届出選択画面では50：受理指示）を入力し，受領番号に該当する届書入力画面を表示する。不受理指示は受理指示と同様の処理を行うが（届出選択画面では60：不受理指示），流れとしては直接処分決定・仮受付画面を表示する。
　通常は該当事件を選択し該当処理へと進むが，受領番号を入力する場合として上記に示した伺いに対する指示入力のような再入力処理がある。指示入力以外としては処分決定で「保留」としたものや，決裁がされていない届で簡易な入力ミスがあったものの修正等がある（決裁後は訂正による他は修正の術がない）。
　「入籍」「帰化」等のように一回の異動処理で受付ファイルが複数件発生した場合の再入力処理では，付設された受領番号の最小値を入力しなければいけない。

〔順守事項〕

なし

〔留意点〕

なし

第5.10.(4)

「異動検索」処理

第５１０(4)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1／1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「異動検索」処理		平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

〔処理概要〕

(1) 異動処理における本籍人の検索であり，異動事件の該当本籍人を検索することにより，該当する届書入力画面へのデータの反映を行うためのサブシステムにあたる。
ここで述べる要件を満たしていれば方法等は制約しない。
基本は本籍人である個人を検索選択するものであるが，場合によっては戸籍を検索選択することもある。
流れおよび画面は通常の「検索処理」に準じ該当本籍人に不受理申出がされていれば事件に関係なく，選択時に確認の意味で強制的に不受理申出画面を表示させる。
異動に関する検索はすべてこのサブシステムを用い，選択された場合はデータの整合性のために戸籍のロック処理を行う。戸籍のロック処理は本籍人が選択された場合にフラグを利用して戸籍全体にかける。すでにロックのかかっている戸籍を選択しようとした場合には，選択不可とする処理を行う。
操作の誤り等により再選択する場合には，前に選択された戸籍のロック解除および再選択された戸籍のロック設定を行う（ロックの解除は「第５－10(6) 処分決定」「第５－10(13) 決裁」を参照のこと）。

〔順守事項〕

なし

〔留意点〕

なし

30012

第5.10.(5)

「審査」処理

第５１０(5)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1／1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「審査」処理		平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

〔処理概要〕

(1) 各異動届の入力，審査，仮戸籍ファイルの作成等を行う。

〔順守事項〕

(1) 基本的にすべてを順守すること（処理の流れ，チェック・審査内容，戸籍編製内容等）。

〔留意点〕

(1) より深く審査するための画面項目の追加，審査項目の追加は構わない。

(2) 他の仕様を変更することによる処理の変更は認める（関連事務のファイルを作成する等）。

(3) 画面への入力方式は任意とする。

〔その他〕

(1) 審査処理で処理できないもの（審査結果入力処理）を以下に示す。
①通常のカレンダーにはない日付を持っている者の処理（日付には生年月日の他に，戸籍事項および身分事項にも複数存在する）
・元号が変わった境目の日付（大正15年12月25日と昭和元年12月25日等）
・実際にカレンダー上にはない日付（大正16年，２月30日等）
②改正国籍法（昭和60年１月１日施行）前に外国人と婚姻してシステム化後も（養）父母の戸籍にいる者の処理
その者については個人特定DBの審査不可区分に１を設定し，審査ではじくことにする。
③旧法において婿養子縁組婚姻または入夫婚姻した夫が昭和３２年法務省令による改製作業の際に申出を行い筆頭者となった夫及び妻については個人特定DBの審査不可区分に１を設定し，審査ではじくことにする。
④不受理とされた創設的届出に対して，受理を命ずる裁判が確定した場合の処理
⑤事件本人が既に死亡している者の創設的届出があったときの処理（死亡後受理）
上記以外については各事件の要件定義書「システム処理の概要説明」を参照のこと。

(2) 審査処理で注意が必要な事項を以下に示す。
①北方地域（色丹，国後および択捉島）に本籍を有することができること。また，この場合の送付先は根室市であることに注意が必要である。
②再入力処理での入力仕様，異動検索との関わり等

第5.10.(6)

「処分決定」処理

第５１０(6)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1／1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「処分決定」処理		平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

(1) 異動処理で審査した結果を基に処分内容を決定する（処分区分の入力）。再入力処理以外のときは，処分区分を入力した後に受領番号が取得される。

〔順守事項〕

(1) 基本的にすべてを順守すること（処理の流れ，処分区分のチェック等）。

〔留意点〕

(1) 死亡での埋火葬許可証の出力は任意とする。

(2) 受付ＤＢ，仮戸籍ファイルの作成および個人状態ファイルへの処理は順守とするが，それ以外のファイルについては任意とする。

(3) 再入力処理における処分区分の入力は法制上非常に重要な問題であるので，システム上十分注意して作成すること（「第２　新事務処理（戸籍事務）の概要」を参照のこと）。

(4) 移記入力が不要な場合には，処分決定後すぐに決裁処理がなされるため，処分決定処理で決裁用帳票を出力させても構わない。処理の流れは「第５－３　オンライン処理の流れ図」を，帳票出力については「第５－1012　決裁用帳票出力」を参照のこと。

第5.10.(7)

「仮戸籍表示」処理

第５１０(7)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1／1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「仮戸籍表示」処理		平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

〔処理概要〕

(1) 仮戸籍の内容を画面表示する。表示内容は戸籍検索と同様である（「第７－2(2) 検索処理」を参照のこと）。

〔順守事項〕

(1) 処分決定，決裁で仮戸籍の表示ができること。

〔留意点〕

(1) 仮戸籍の内容は処理が進むごとに変更されるので，表示する処理によって内容は異なる。決裁処理で表示される内容がそのまま戸籍ＤＢに反映される。

第5.10.(8)

「エラー履歴表示」処理

第５１０(8)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1／1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「エラー履歴表示」処理		平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

〔処理概要〕

(1) 審査で発生したエラー一覧を画面表示する。

〔順守事項〕

(1) 処分決定，移記，決裁でエラー履歴の表示ができること。

(2) 表示内容は順守すること（「第７－2(8)エラー履歴表示」を参照のこと）。

〔留意点〕

なし

第5.10.(9)

「移記事項入力」処理

第５１０(6)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1／1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「移記事項入力」処理		平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

〔処理概要〕

(1) 異動処理で審査した結果を基に編製された仮の戸籍に対し，戸籍法施行規則第３７条（管外転籍の場合の記録）と同法第３９条（重要な身分事項の移記）による事項の記録するための入力処理である。

(2) 管外からの転籍で従前に氏の変更があった場合，戸籍事項一覧（移記対象届出）から移記すべき戸籍事項を選択し各事項の入力が可能である。

(3) 入籍する者（新戸籍編製による入籍者も含む）が，従前本籍人の場合，自動的に従前の戸籍から身分事項がすべて移記（複写）される。複写された身分事項の引き直し（修正）及び移記不要の身分事項の削除が可能である。また，従前非本籍人の場合，身分事項一覧（移記対象届出）から移記すべき身分事項を選択し各事項の入力が可能である。

(4) 管外への転籍等，除籍のみの記録の場合，「移記事項入力」処理を行うことなく「決裁」処理をすることが可能である。

〔順守事項〕

(1) 既に戸籍に記録されている事項，及び「審査入力」により作成された事項を訂正することはできない。
①既に戸籍に記録されている事項に対する訂正は，戸籍訂正に手続きによる。
②「審査入力」により作成された事項に対する訂正は，「審査入力」処理を再度行い各事項を再作成する。

(2) 事項の並べ替えについては，「移記事項入力」処理で記録した事項のみを対象とし，既に戸籍に記録されている事項の並べ替えを行うことはできない。

〔留意点〕

(1) 移記に対する処理に不備があった場合でも，「決裁」処理で『決裁済』にしていなければ，再度「移記事項入力」処理をすることができる。

第5.10.(10)

「審査結果入力」処理

第５１０(10)	詳細仕様説明書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	／

ドキュメント名称	作成日付	改定日付	版
「審査結果入力」処理	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

〔処理概要〕

「審査結果入力処理」は，「審査処理」において自動的に処理できない事件で、「訂正・更正・追完処理」以外の事件についての処理、又は通常の届出事件についての戸籍に記録前の追完事件であり、次のようなものとなる。

1.「審査処理」によっては、自動的に審査ができない届出事件
2.「審査処理」によっては、自動的に戸籍の編製／記録ができない届出事件
3.市区町村長が職権で記録する事件（訂正・更正・追完事件でないもの）
4.通常の届出事件（訂正・更正・追完事件でないもの）についての戸籍に記録前の追完事件

処理の概要は、現在の戸籍処理と同様に職員が届書と検索した戸籍から審査を行い、その結果により受理処分をして、必ず、受付帳を作成し、検索／選択した仮戸籍に対して操作員の指示に基づき処理し、戸籍を処理（記録の追加が原則）するものである。その後、「決裁処理」を行うこととなる。

非本籍の届出事件に対する、処理が審査結果となることも考慮されるため、上記処理にて、受付帳のみの作成も可能とすべきである。

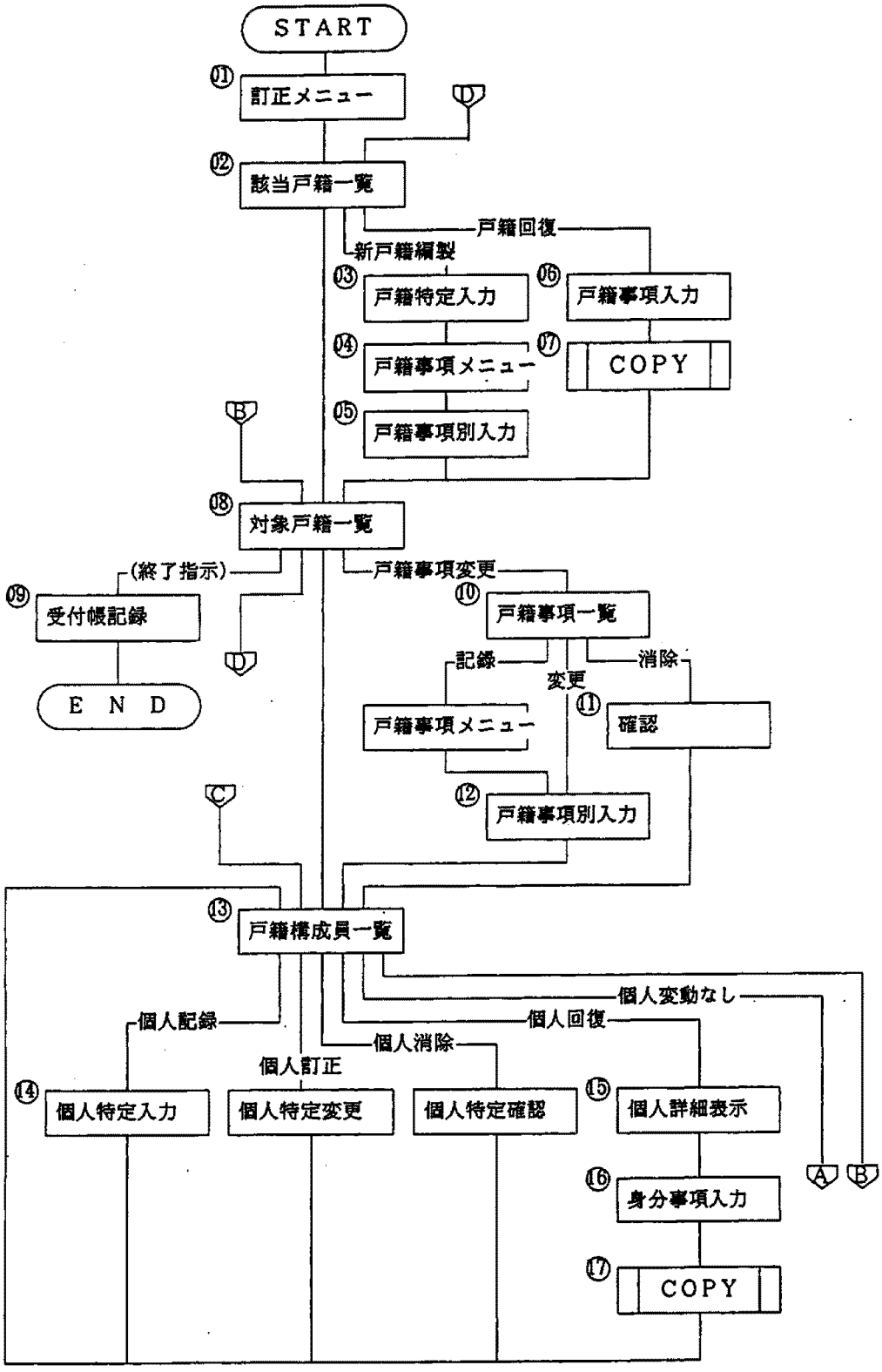
〔添付資料〕

次頁以降に、以下の資料を添付するが、あくまでも参考資料であり、内容等に関して検討していない。参考とす場合はこの点を前提として参考にされたい。

1．オンラインの流れ図（概要）のサンプル

30024

第14(5)	オンラインの流れ図（概要）	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1／2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
（11．審査結果入力）		平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1



処理概要

(01) メニューより処理を選択する
・審査結果入力

(02) 対象となる戸籍を検索・選択する
・新戸籍編製及び戸籍回復をする場合は各々指示入力をする

(03) 戸籍特定情報を入力する
・編製日 等
・本籍、筆頭者、戸籍除区分

(04) 戸籍事項メニューより選択する

(05) 選択された戸籍事項別入力画面に必要項目を入力する

(06) 回復元の戸籍消除事項に対する回復に関する日付、事由等を入力する

(07) 回復元戸籍を元に回復戸籍を作成する為に複写する
・複写の際に戸籍除区分等は変更する

(08) 対象戸籍一覧より選択する
・処理終了：処理した戸籍が1件以上の場合
→ 受付帳作成へ
・戸籍事項変更指示
→ 戸籍事項変更処理へ

(09) 受付帳作成画面より入力・作成
・事件，事件本人、届出人等

(10) 戸籍事項表示し、対象事項を選択後に処理を選択する

(11) 消除対象事項を再度確認する
・回復した戸籍又は審査結果処理により入力された事項のみ

(12) 選択された戸籍事項別入力画面に必要項目を入力/変更する
・変更できるのは上記 (11) と同様

(13) 構成員一覧より対象者を選択し処理を選ぶ

(14) 個人特定画面にて入力/修正/確認をする
・氏名、生年月日、性別、入籍日、除籍日、筆頭者区分、配偶者区分、父母氏名、続柄、養父母氏名、養父母との続柄、個人除区分、個人異動区分

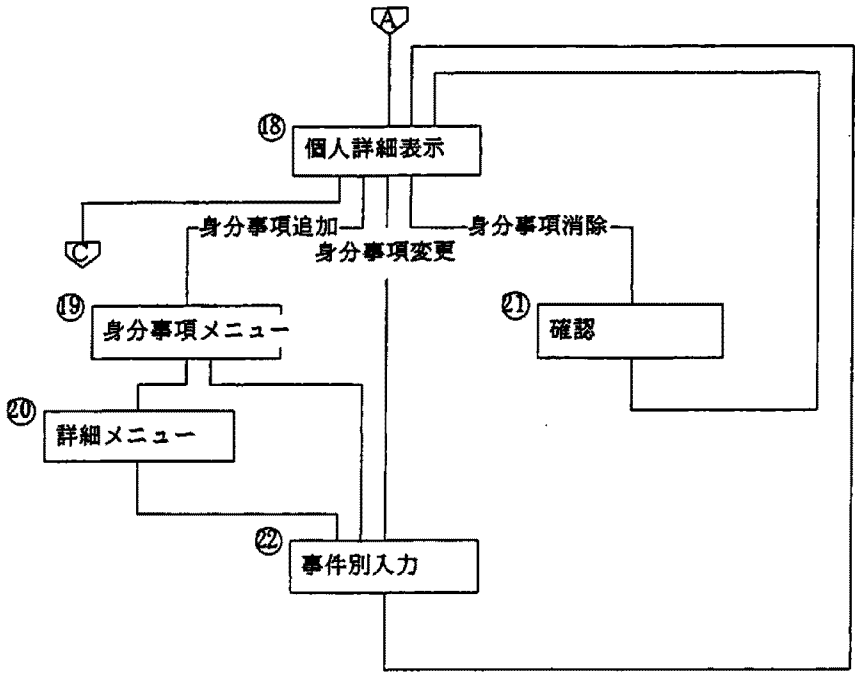
(15) 回復原因となる身分事項を選択

(16) 回復元の身分事項消除に対する日付、事由等を入力する

(17) 回復元者を元に回復先者を作成する為に複写する
・複写の際に個人除区分等は変更する

30025

第14(5)	オンラインの流れ図（概要）	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2／2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
（11．審査結果入力）		平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1



処理概要

⑱ 個人詳細表示より処理を選択する
・身分事項の変更、消除、追加
⑲ 事件メニューより記録追加する事件を選択する
・取消し関係の中でも親権喪失取消、推定相続人廃除取消、失踪宣告取消については消除対象事項を選択する
⑳ 詳細メニューのある事件はさらに記録に従い選択する
㉑ 事件別画面により確認する
・回復した戸籍又は審査結果処理により入力された事項のみ
㉒ 事件別画面に入力/変更をする
・回復した戸籍又は審査結果処理により入力された事項のみ

*回復後の者の身分事項を改製方式に従って変更する為、回復後の者の修正はオールマイティとなる

30026

第5.10.(11)

「訂正・更正・追完」処理

標準仕様書修正履歴

平成16年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第5. 10. (11) 「訂正・更正・追完」処理	訂正による戸籍事項移記の記録 (「移記」並びに段落ち「②移記」)を追加	003	

第５１０(11)	詳細仕様説明書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		／
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「訂正・更正・追完」処理		平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

〔処理概要〕

「訂正・更正・追完」は，戸籍法第５９条，第１１３条，第１１４条，第１１６条による戸籍の訂正の申請，同法第２４条第２項，戸籍法施行規則第４１条，第４３条，第４５条による市区町村長による職権訂正・更正及び戸籍法第４５条による追完届による処理である。

しかし、その処理内容が多岐にわたるため、システムで自動的に行うことはできない。そのため、戸籍と申請書等により審査を行った後に、操作員の指示に基づき処理し、戸籍を処理するものである。

処理は、通常の審査と同様に戸籍検索を行い、対象戸籍または個人を選択して仮戸籍に対して、各々の処理を行い既に記録されている事項、又は戸籍／個人／戸籍事項／身分事項の修正・追加・削除を行うことから、この処理をしたことを明らかとするため、必ず、訂正・更正・追完事項を記録（タイトルによる明示）を行い、処理中において、必ず、受付帳を作成するものとする。その後に、「決裁処理」を行うこととなる。

また、通常審査とは異なり、一部機能がないものがある（新事務処理の概要／審査結果入力の別表参照）。

処理を大別すると以下のようになり、その概要を示す。

1. 修正（置き換え）

当該記録を修正する場合は、従前の記録を消除することなく、必ず、処理事項の記録中に、修正前の記録として、【従前の記録】のインデックスの下に当該項目を記録する。

2. 追加

既に記録されている事項に、一部追加するときは、追加すべき箇所に追加記録した上、必ず、処理事項の記録中に、追加の記録として、【記録の内容】のインデックスの下に当該項目を重ねて記録する。

但し、記録されている事項の一部追加ではなく、戸籍／個人／戸籍事項／身分事項の追加を行う場合は、追加記録した上、当該事項全てのために、【記録の内容】の記録はせずに処理事項を記録する。

3. 消除

既に記録されている事項を消除するときは、当該消除する記録を消除後、必ず、処理事項中の【従前の記録】のインデックスの下に当該項目を記録する。

4. 上記の修正と追加と消除の３つの処理を同じにする場合も同様である。

なお、詳細な記載方法に関しては、新事務処理の概要を参照されたい。

〔添付資料〕

次頁以降に、以下の資料を添付するが、あくまでも参考資料であり、内容等に関して検討していない。参考とする場合はこの点を前提として参考にされたい。

1．オンラインの流れ図（概要）のサンプル

2．画面設計書のサンプル

第２３（７）	補足説明書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1／6
適用業務名		作成日付	改定日付	版
戸籍／身分事項〔タイトル／記録コード対応表〕訂正系		平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

1／3

事件コード	タイトルコード	記録コード	移記	*1	備考
50 訂正	5001 訂正	5001 基本事項の訂正の記録	×	戸	戸籍特定事項の訂正の記録 ・本籍，筆頭者
				身	個人特定事項の訂正の記録 ・（養）父母氏名，（養）父母との続柄，名，出生年月日の訂正
	5002 ②訂正	(5001) 基本事項の訂正の記録 ⇨訂正事項は記録しない	×	戸	戸籍事項の訂正の記録
				身	身分事項の訂正の記録 （インデックスの追加，削除，訂正）
	5011 文字訂正	5011 基本事項の文字訂正の記録	×	戸	戸籍特定事項の文字訂正の記録 ※1 ・氏（筆頭者欄の氏） 戸籍事項の文字訂正の記録 ・戸籍事項中，氏及び名（筆頭者）
				身	身分事項の文字訂正の記録 ※2 ・身分事項中，氏及び名
	5012 文字関連訂正	(5011) 文字訂正による関連訂正の記録 ⇨訂正事項／事由は記録しない ⇨証明には未出力	×	戸	名の文字訂正（※2）が筆頭者の場合の戸籍特定事項の訂正の記録 ※3 ・筆頭者欄の名
				身	※1，※2の文字訂正による個人特定事項の訂正の記録 ※4 ・（養）父母氏名の訂正事項
	5013 ②文字関連訂正	(5011) 文字訂正による関連訂正の記録 ⇨訂正事項／事由は記録しない ⇨証明には未出力	×	身	※1，※2の文字訂正による基本事項中，氏名の訂正の記録 ※5
	5014 ②文字訂正	(5011) 基本事項の文字訂正の記録	×	身	身分事項の文字訂正の記録 ※2 ・身分事項中，氏及び名

*1：'戸'⇨戸籍事項への記録　'身'⇨ 身分事項への記録
②：タイトルの表示の際に，2段（2カラム）右に下げて表示する。

※1：氏の文字訂正
〔訂正の及ぶ範囲〕
・氏の文字訂正した者の（養）子：（養）父母の氏の訂正 …… ※4
・婚姻の際に相手の氏を称した配偶者：婚姻事項中，配偶者の氏の訂正 …… ※5
・氏の文字訂正した者の養子：養子縁組中，養親の氏の訂正 …… ※5
　└→ 他に，認知事項等もあり。
・同一呼称上の氏：（養）父母の氏の訂正 …… ※4
・同一呼称上の氏：身分事項中の氏の訂正 …… ※5

※2：名の文字訂正
〔訂正の及ぶ範囲〕
・戸籍の表示：筆頭者の名の訂正 …… ※3
　⇨ 名の文字を訂正した者が筆頭者の場合
・名の文字訂正した者の（養）子：（養）父母の名の訂正 …… ※4
・配偶者：婚姻事項中，配偶者の名の訂正 …… ※5
・名の文字訂正した者の養子：養子縁組中，養親の名の訂正 …… ※5
　└→ 他に，認知事項等もあり。

第2 3 (7)	補足説明書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2／6

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍/身分事項(タイトル/記録コード対応表)訂正系 2/3	平成 6年12月 1日	平成16年3月1日	8

(受付)事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	*1	備考
51	記録	5101	記録	5101	基本事項の記録	×	身	個人特定事項の記録 ・(養)父母氏名、養父母との続柄
		5102	②記録	(5101)	基本事項の記録	×	戸	戸籍事項の記録
							身	身分事項の記録
52	消除	5201	消除	5201	基本事項の消除の記録	×	戸	戸籍事項の消除の記録
							身	個人特定事項の消除の記録 ・(養)父母氏名、養父母との続柄 身分事項の消除の記録
53	移記	5301	移記	5301	移記による基本事項の消除の記録	×	戸	訂正による戸籍事項移記の記録
							身	親子関係不存在の際の移記による身分事項の消除の記録 (移記前の戸籍の記録)
		5302	②移記	(5301)	移記による基本事項の記録	×	戸	訂正による戸籍事項移記の記録
							身	親子関係不存在の際の移記による身分事項の消除の記録 (移記後の戸籍の記録)
54	入籍	5401	入籍	5401	入籍	×	身	嫡出否認等による入籍の記録 ※ 皇室典範11条・13条による入籍の記録
		5402	子の入籍	5402	子の入籍による(養)父母の入籍後の記録	×	身	※の際に，子の入籍となる(養)父母の入籍後の記録
55	除籍	5501	除籍	5501	除籍の記録	×	身	嫡出否認等による除籍の記録
56	回復	5601	回復	5601	回復の記録	×	身	除籍事項の回復の記録 転籍により除籍となっている場合の回復の記録
57	引取り	5701	引取り	5701	棄児の引取りによる出生事項の消除の記録	×	身	棄児の引取りによる戸籍訂正の申請があった場合の記録 (18)

事件コード ： 50～57の「受付事件コード」は通常訂正系の「受付事件コード」となる。
訂正(市区町村長職権)
訂正(24条2項)
訂正(113条)
訂正(114条)
訂正(116条)
ただし，54，55，56の「受付事件コード」は通常系の「受付事件コード」となる場合もある。

第２３（７）	補足説明書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		3／6
適用業務名		作成日付	改定日付	版
戸籍／身分事項〔タイトル／記録コード対応表〕訂正系		平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

3／3

事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	※1	備考
58	子の復籍	5801	子の復籍	5801	子の復籍による父母の入除籍の記録	×	身	子の復籍により3代戸籍となる場合の父母の入除籍の記録

事件コード ： 58の「受付事件コード」は通常系の「受付事件コード」となる。

第２３（７）	補足説明書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	4／6
適用業務名		作成日付	改定日付	版
戸籍／身分事項〔タイトル／記録コード対応表〕更正系		平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1

（受付）事件ｺｰﾄﾞ	タイトルコード	記録コード	移記	*1	備考
70 更正	7001 更正	7001 基本事項の更正の記録	×	戸	戸籍特定事項（本籍）の更正の記録 →　行政区画変更 →　行政区画の名称変更　等
				身	個人特定事項の更正の記録 ・（養）父母氏名，（養）父母との続柄，名，出生年月日の更正
	7002 ②更正	(7001) 更正事項の記録 ⇨更正事項／事由は記録しない	×	身	出生事項中，届出人資格の更正の記録
	7011 文字更正	7011 基本事項の文字更正の記録	×	戸	戸籍特定事項の文字更正の記録　※１ ・氏（筆頭者欄の氏） 戸籍事項の文字更正の記録 ・戸籍事項中，氏及び名（筆頭者）
				身	個人特定事項の文字更正の記録　※２ ・名
	7012 文字関連更正	(7011) 文字更正による関連更正の記録 ⇨更正事項／事由は記録しない ⇨証明には未出力	×	戸	名の文字更正（※２）が筆頭者の場合の戸籍特定事項の更正の記載　※３ ・筆頭者欄の名
				身	※１，※２の文字更正による個人特定事項の更正の記録　※４ ・（養）父母氏名の更正事項
	7013 ②文字関連更正	(7011) 文字更正による関連更正の記録 ⇨更正事項／事由は記録しない ⇨証明には未出力	×	身	※１，※２の文字更正による基本事項中，氏名の更正の記録　※５
	7014 ②文字更正	(7011) 基本事項の文字更正の記録	×	身	身分事項の文字更正の記録　※２ ・身分事項中，氏及び名

※１：氏の文字更正
〔更正の及ぶ範囲〕
・氏の文字更正した者の（養）子：（養）父母の氏の更正 …… ※４
・婚姻の際に相手の氏を称した配偶者：婚姻事項中，配偶者の氏の更正 …… ※５
・氏の文字更正した者の養子：養子縁組中，養親の氏の更正 …… ※５
　└→ 他に，認知事項等もあり。
〔著しく差異のない字体の更正〕
・同一呼称上の氏：（養）父母の氏の更正 …… ※４
・同一呼称上の氏：身分事項中の氏の更正 …… ※５

※２：名の文字更正
〔更正の及ぶ範囲〕
・戸籍の表示：筆頭者の名の更正 …… ※３
　⇨ 名の文字を更正した者が筆頭者の場合
・名の文字更正した者の（養）子：（養）父母の名の更正 …… ※４
・配偶者：婚姻事項中，配偶者の名の更正 …… ※５
・名の文字更正した者の養子：養子縁組中，養親の名の更正 …… ※５
　└→ 他に，認知事項等もあり。

30033

第2 3 (7)	補足説明書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	4/6

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍/身分事項(タイトル/記録コード対応表)更正系	平成 6年12月 1日	平成16年7月16日	8.2

(受付)事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	*1	備考
70	更正	7001	更正	7001	基本事項の更正の記録	×	戸	戸籍特定事項(本籍)の更正の記録 → 行政区画変更 → 行政区画の名称変更 等
							身	個人特定事項の更正の記録 ・(養)父母氏名,(養)父母との続柄,名,出生年月日の更正
		7002	②更正	(7001)	更正事項の記録 ⇒更正事項/事由は記録しない	×	身	出生事項中,届出人資格の更正の記録
		7011	文字更正	7011	基本事項の文字更正の記録	×	戸	戸籍特定事項の文字更正の記録 ※1 ・氏(筆頭者欄の氏) 戸籍事項の文字更正の記録 ・戸籍事項中,氏及び名(筆頭者)
							身	個人特定事項の文字更正の記録 ※2 ・名
		7012	文字関連更正	(7011)	文字更正による関連更正の記録 ⇒更正事項/事由は記録しない ⇒証明には未出力	×	戸	名の文字更正(※2)が筆頭者の場合の戸籍特定事項の更正の記録 ※3 ・筆頭者欄の名
							身	※1,※2の文字更正による個人特定事項の更正の記録 ※4 ・(養)父母氏名の更正事項
		7013	②文字関連更正	(7011)	文字更正による関連更正の記録 ⇒更正事項/事由は記録しない ⇒証明には未出力	×	身	※1,※2の文字更正による基本事項中,氏名の更正の記録 ※5
		7014	②文字更正	(7011)	基本事項の文字更正の記録	×	身	身分事項の文字更正の記録 ※2 ・身分事項中,氏及び名
		7003	平成15年法律第111号3条	7003	性別変更の記録	○	身	個人特定事項の更正の記録 ・(養)父母との続柄の更正

※1:氏の文字更正

[更正の及ぶ範囲]

・氏の文字更正した者の(養)子:(養)父母の氏の更正 ―― ※4
・婚姻の際に相手の氏を称した配偶者:婚姻事項中,配偶者の氏の更正 ―― ※5
・氏の文字更正した者の養子:養子縁組中,養親の氏の更正 ―― ※5
　└→ 他に,認知事項等もあり。

[著しく差異のない字体の更正]

・同一呼称上の氏:(養)父母の氏の更正 ―― ※4
・同一呼称上の氏:身分事項中の氏の更正 ―― ※5

※2:名の文字更正

[更正の及ぶ範囲]

・戸籍の表示:筆頭者の名の更正 ―― ※3
　⇒ 名の文字を更正したものが筆頭者の場合
・名の文字更正した者の(養)子:(養)父母の名の更正 ―― ※4
・配偶者:婚姻事項中,配偶者の名の更正 ―― ※5
・名の文字更正した者の養子:養子縁組中,養親の名の更正 ―― ※5
　└→ 他に,認知事項等もあり。

30034

第２３（７）	補足説明書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	5／6
適用業務名		作成日付	改定日付	版
戸籍／身分事項〔タイトル／記録コード対応表〕追完系		平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

（受付）事件ｺｰﾄﾞ	タイトルコード	記録コード	移記	ｻﾌﾞ	備考
80 追完	8001 追完	8001 基本事項の追完の記録	×	戸	戸籍特定事項の追完訂正の記録 ・本籍，筆頭者
				身	個人特定事項の追完の記録 ・（養）父母氏名，（養）父母との続柄，名，出生年月日の追完
	8002 ②追完	（8001）基本事項の追完の記録	×	戸	戸籍事項の追完の記録
				身	身分事項の追完の記録 （インデックスの追加，削除，訂正）

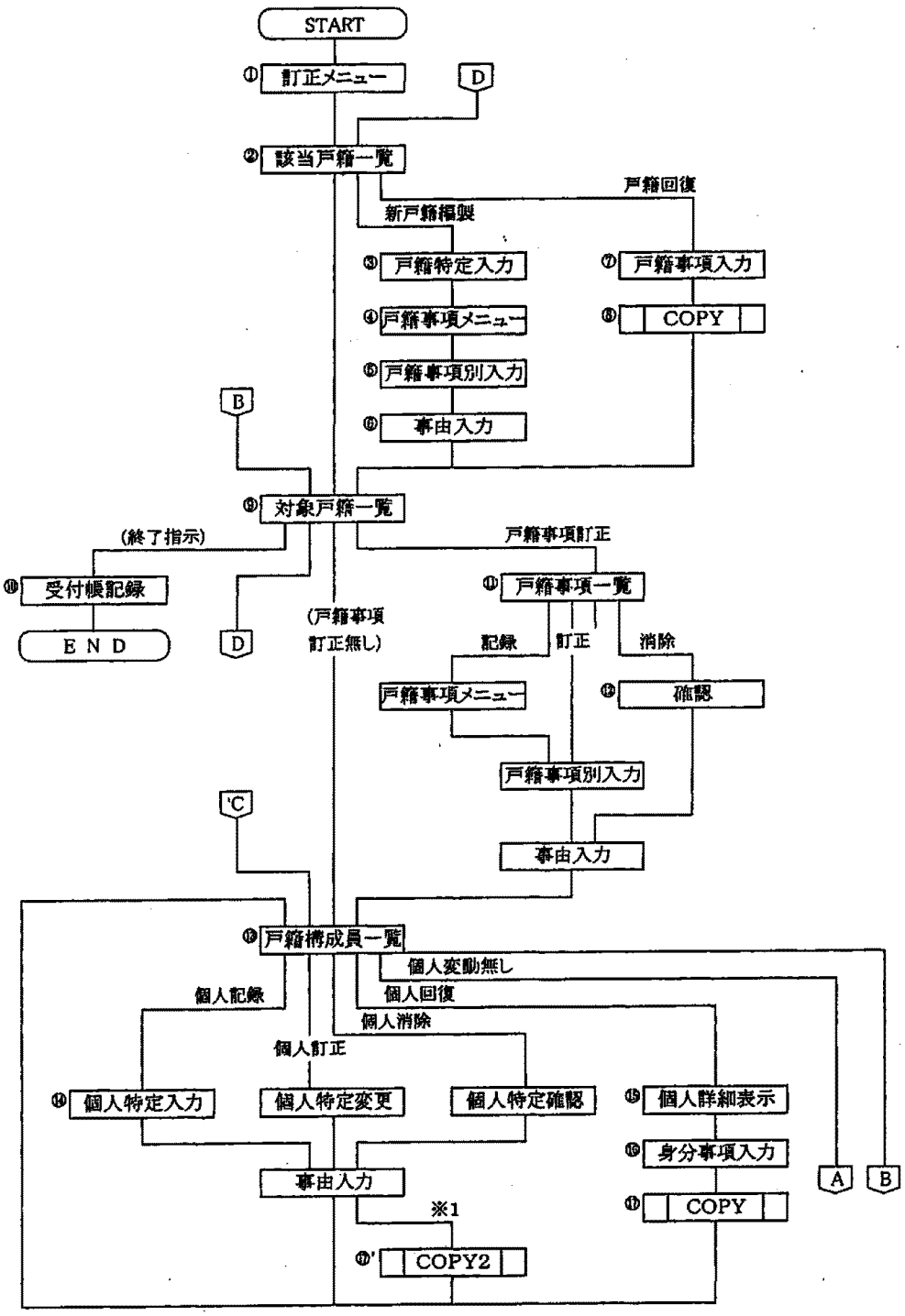
第２３（７）	補足説明書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	6／6

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍／身分事項〔タイトル／記録コード対応表〕変更系	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

事件コード	タイトルコード	記録コード	移記	*1	備考
90 外国人配偶者の国籍変更	9001 配偶者の国籍変更	9001 国籍変更の日本人配偶者の記録	○	身	日本人の婚姻事項中，外国人配偶者の国籍（【配偶者の国籍】）の変更事項
91 外国人配偶者の氏名変更	9101 配偶者の氏名変更	9101 氏名変更の日本人配偶者の記録	○	身	日本人の婚姻事項中，外国人配偶者の氏名（【配偶者氏名】）の変更事項

事件名は訂正（市区町村長）となる．

第14(5)	オンラインの流れ図(概要)	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/2
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
(11. 訂正・追完・更正)		平成 6年12月 1日	平成16年7月16日	8.2



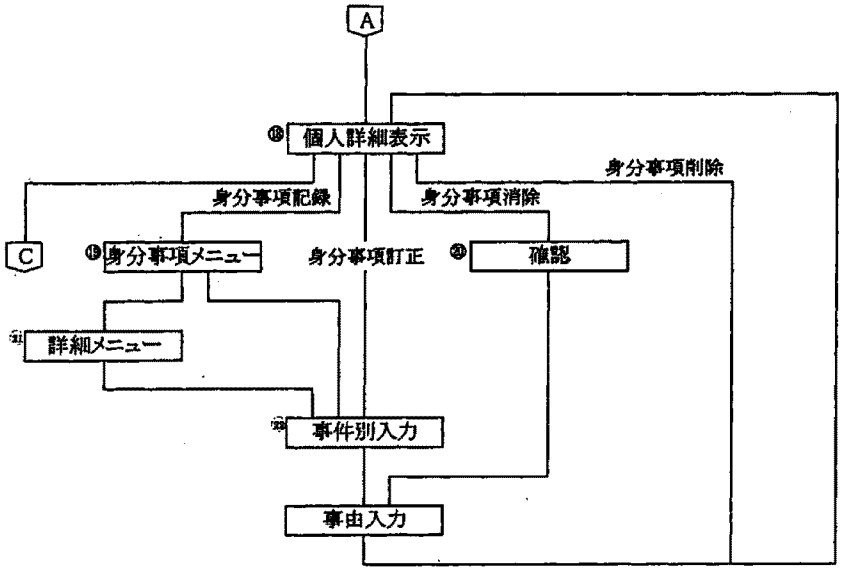
※1 平成15年法律111号3条による新戸籍編製が必要な場合

処理概要

①メニューより処理を選択する
・訂正、追完、更正等
②対象となる戸籍を検索・選択する
・新戸籍編製及び戸籍回復をする場合は各々指示入力をする
③戸籍特定情報を入力する
・編製日 等
・本籍、筆頭者、戸籍除区分
④戸籍事項メニューより選択する
⑤選択された戸籍事項入力画面に必要項目を入力する
⑥事由入力画面に日付、事由等を入力する
・裁判確定日、許可日、申請届出関連がない場合に市区町村限りの職権訂正とする
⑦回復元の戸籍消除事項に対する回復に関する日付、事由等を入力する
⑧回復元戸籍を元に回復戸籍を作成する為に複写する
・複写の際に戸籍除区分等は変更する
⑨対象戸籍一覧より選択する
・処理終了:処理した戸籍が1件以上の場合
→ 受付帳作成へ
・戸籍事項訂正指示
→ 戸籍事項訂正処理
⑩受付帳作成画面より入力・作成
・事件、事件本人、届出人 等
⑪戸籍事項表示し、対象事項を選択後に処理を選択する
⑫消除対象事項を再度確認する
⑬構成員一覧より対象者を選択し処理を選ぶ
⑭個人特定画面にて入力/修正/確認をする
・氏名、生年月日、性別、入籍日除籍日、筆頭者区分、配偶者区分、父母氏名、続柄、養父母氏名、養父母との続柄、個人除区分、個人異動区分
⑮回復原因となる身分事項を選択
⑯回復元の身分事項消除に対する日付、事由等を入力する
⑰回復元者を元に回復先者を作成する為に複写する
・複写の際に個人除区分等は変更する
⑰'対象者の新戸籍編製用の複写処理
・新戸籍情報(戸籍特定、戸籍事項、個人特定、身分事項、氏名)用に現在の状態をそのまま複写
・複写の際に個人除区分等は変更する

30037

第 1 4 (5)	オンラインの流れ図(概要)	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
(11. 訂正・追完・更正)		平成 6年12月 1日	平成16年7月16日	8.2



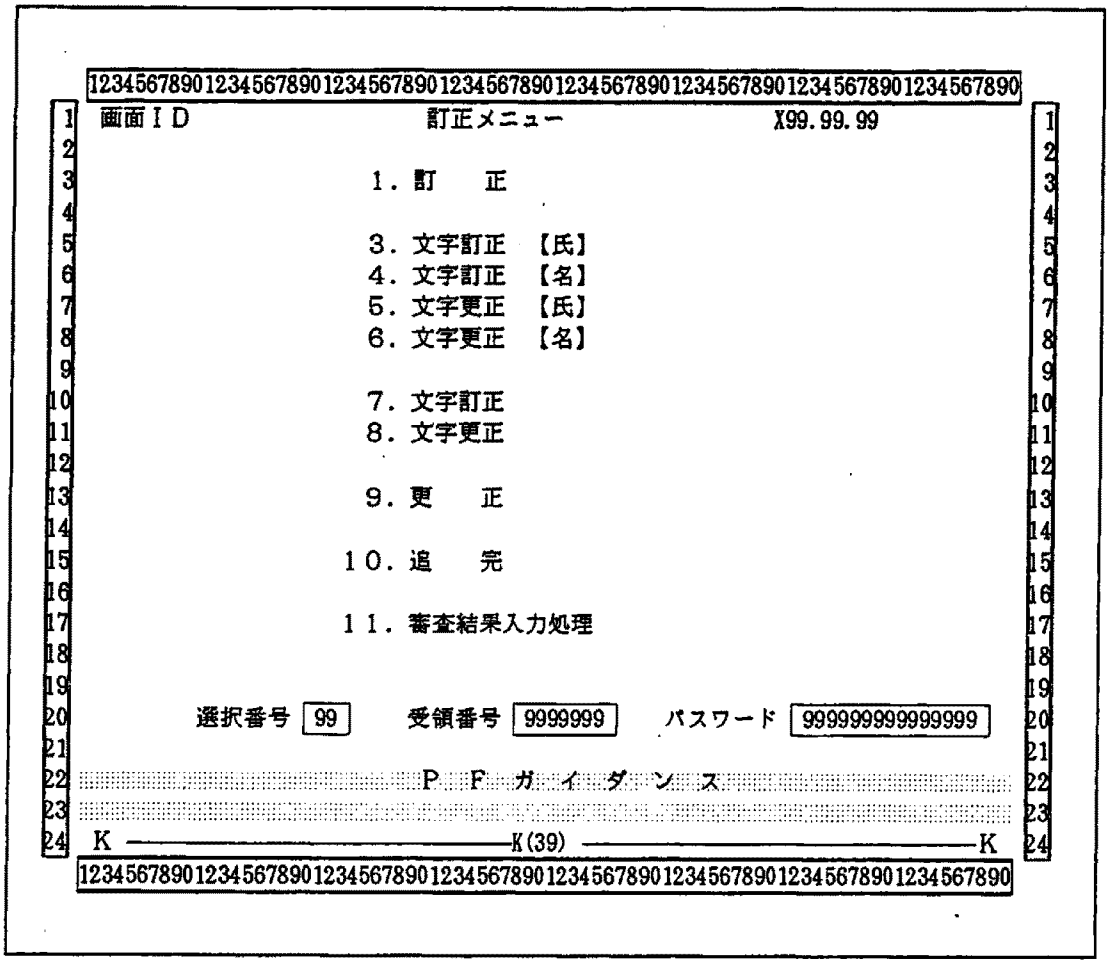
処理概要

⑱個人詳細表示より処理を選択する
・身分事項の変更、消除、追加
⑲事件メニューより記録追加する事件を選択する
⑳ 詳細メニューのある事件はさらに記録に従い選択する
㉑事件別画面により確認する
㉓事件別画面により入力／変更をする

※回復後の者の身分事項を改製方式に従って変更する為、回復後の者の修正はオールマイティとなる

30038

第24(3)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		/
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　訂正メニュー	(01)	平成6年12月　1日	平成　年　月　日	1
画面番号		画面名	訂正メニュー	



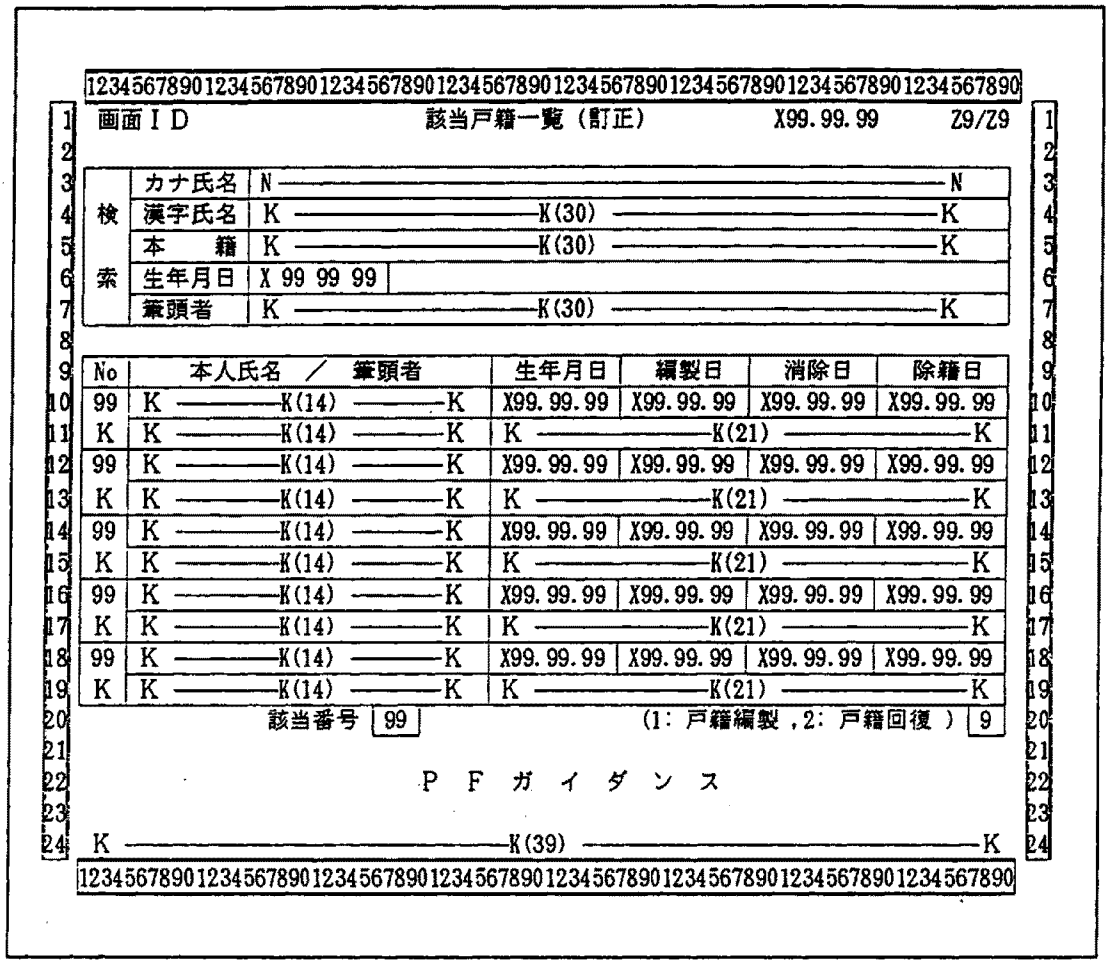
・処理を選択する
・決裁前に再度処理する場合は、受領番号を入力する
・パスワードによる厳密な使用制限をする

30039

第24(3)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	/

適用業務名	作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　該当戸籍一覧　(02)	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

画面番号		画面名	該当戸籍一覧

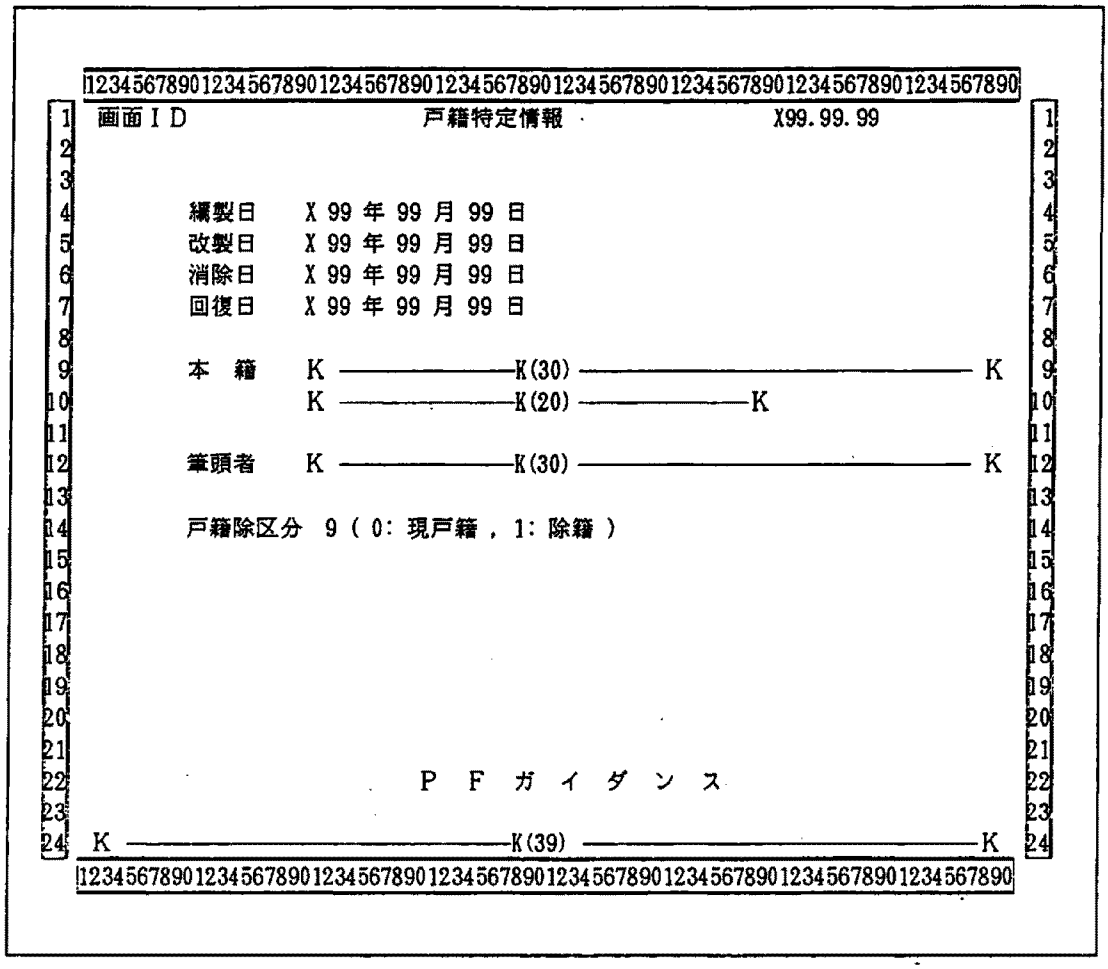


30040

第24(3)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	／

適用業務名	作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　戸籍特定情報　(03)	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

画面番号		画面名	戸籍特定情報

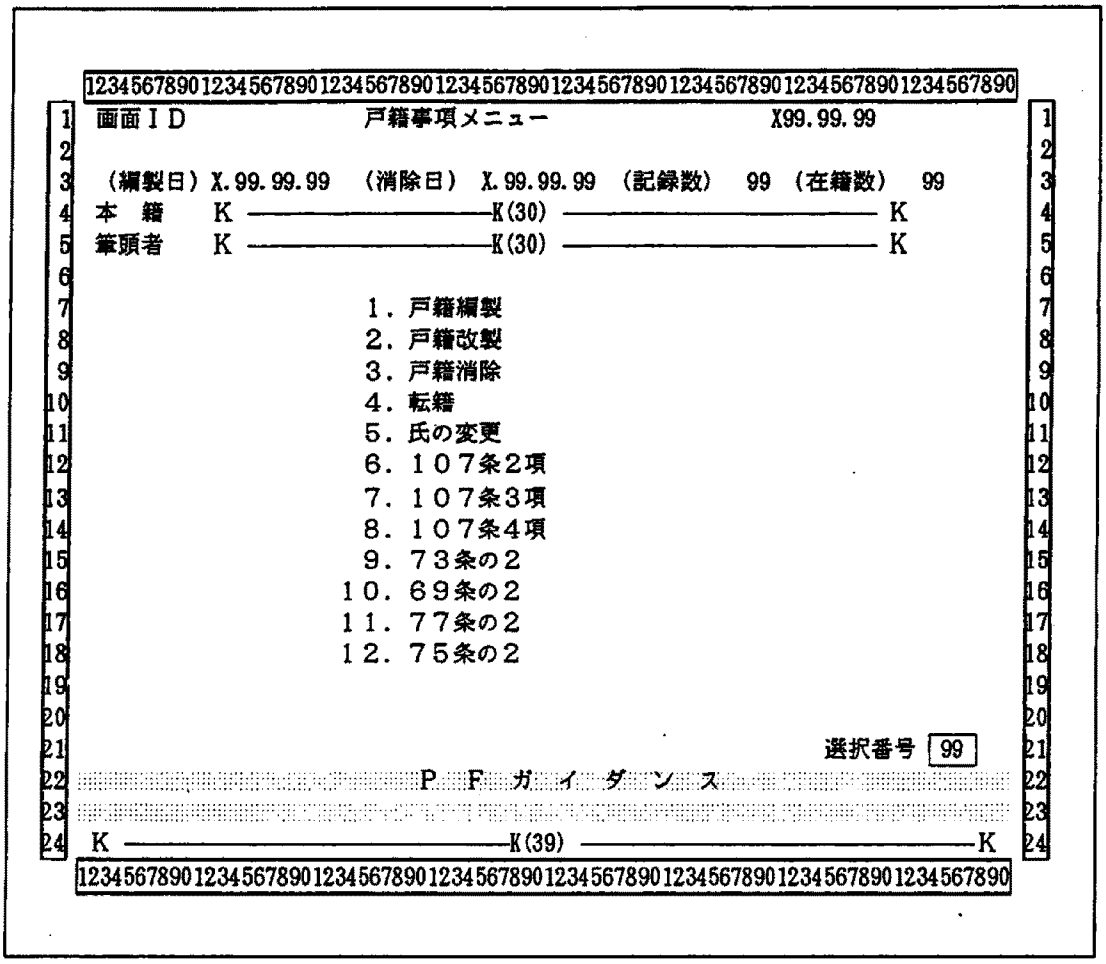


30041

第24(3)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	／

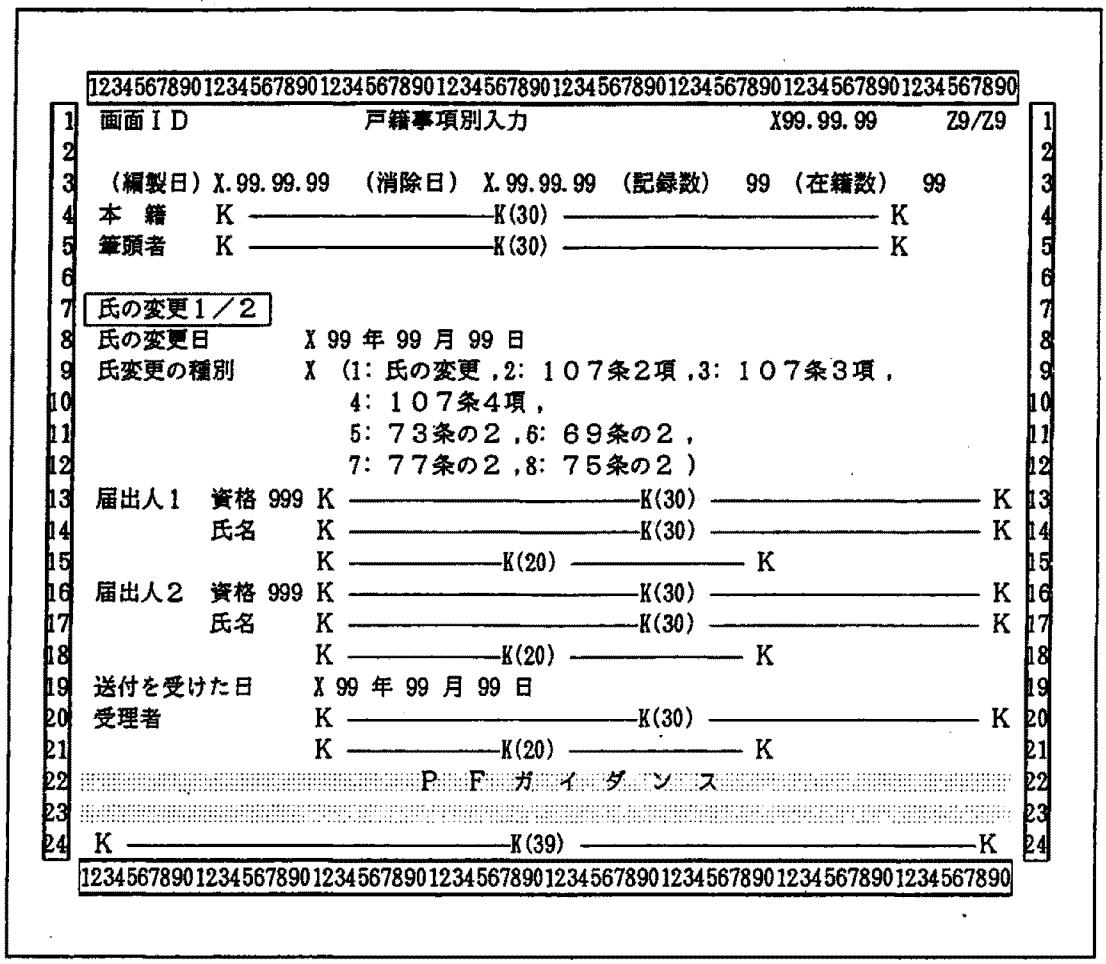
適用業務名	作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　戸籍事項メニュー　(04)	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

画面番号		画面名	戸籍事項メニュー



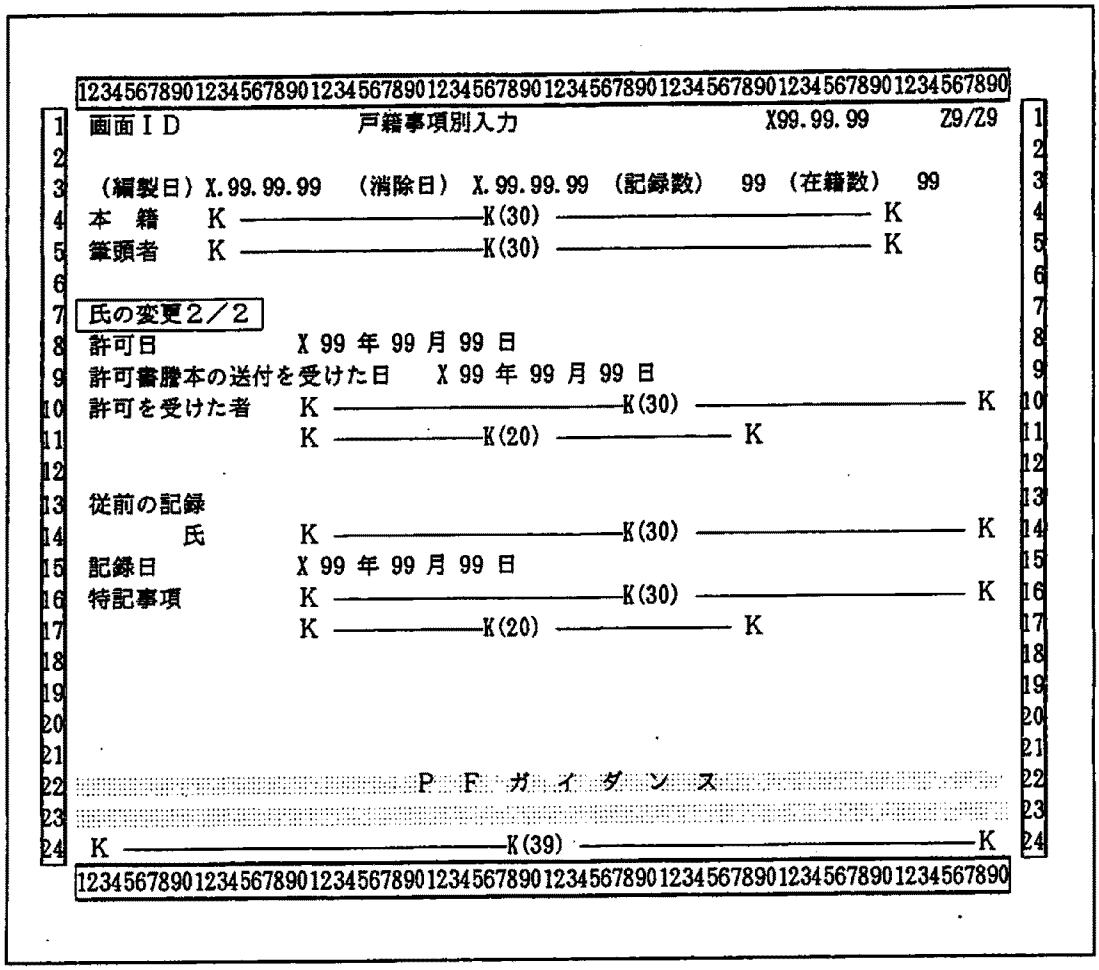
30042

第２４（３）	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	／
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　戸籍事項別入力　氏の変更（１／２）　05		平成6年12月　1日	平成　年　月　日	1
画面番号		画面名	戸籍事項別入力　氏の変更（１／２）



30043

第24(3)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	／
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　戸籍事項別入力　氏の変更（2／2）　05		平成6年12月　1日	平成　年　月　日	1
画面番号		画面名	戸籍事項別入力　氏の変更（2／2）	

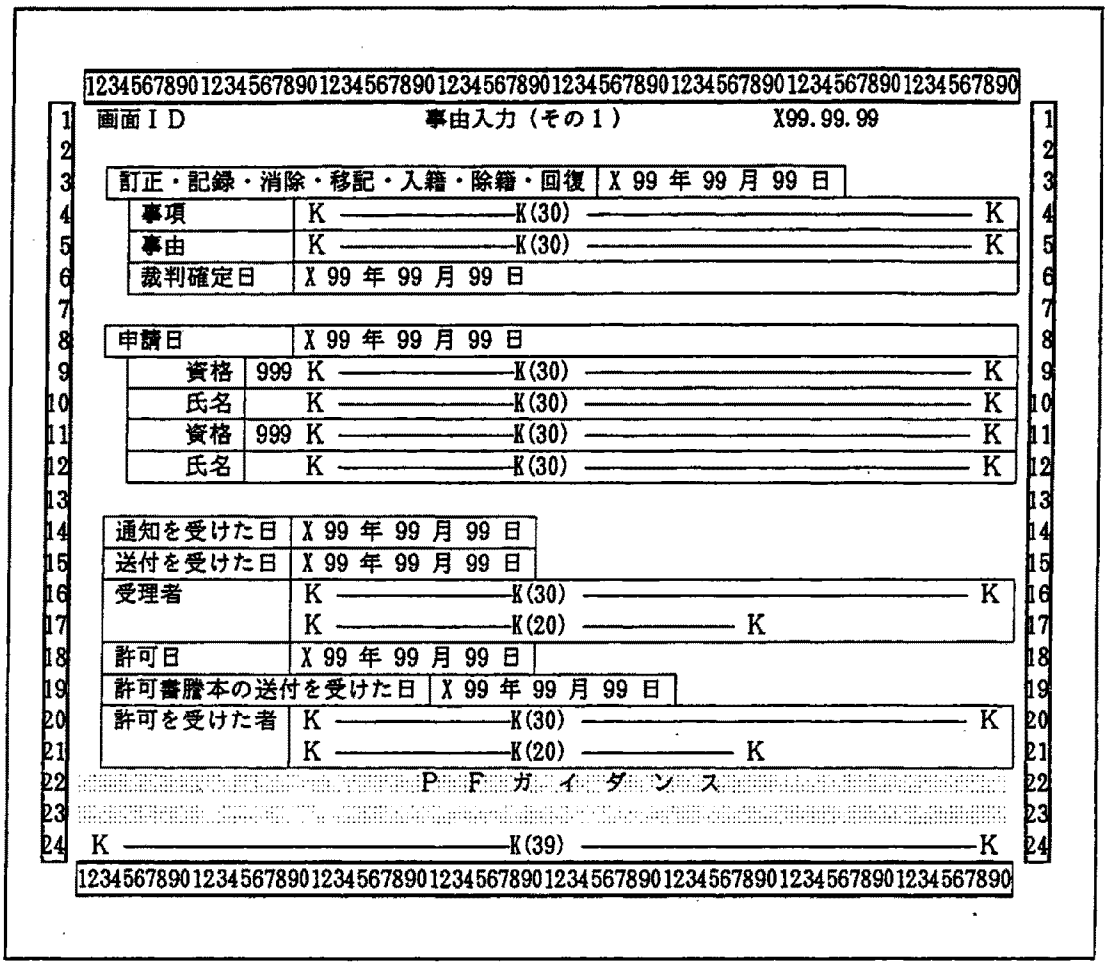


30044

第24(3)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	／

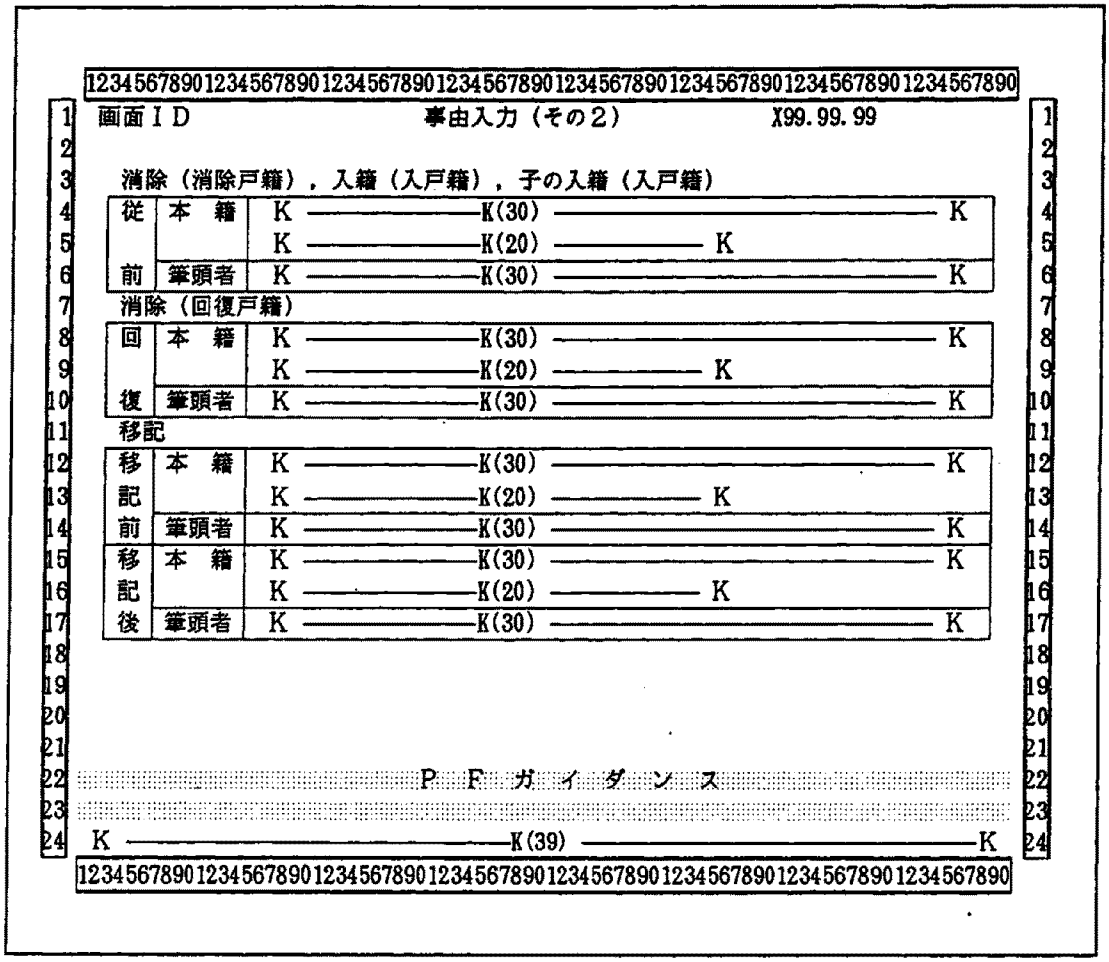
適用業務名	作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　事由入力画面（1／3）　06	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

画面番号		画面名	事由入力画面（1／3）



30045

第24(3)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	/
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　事由入力画面（2／3）	(06)	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1
画面番号		画面名	事由入力画面（2／3）	

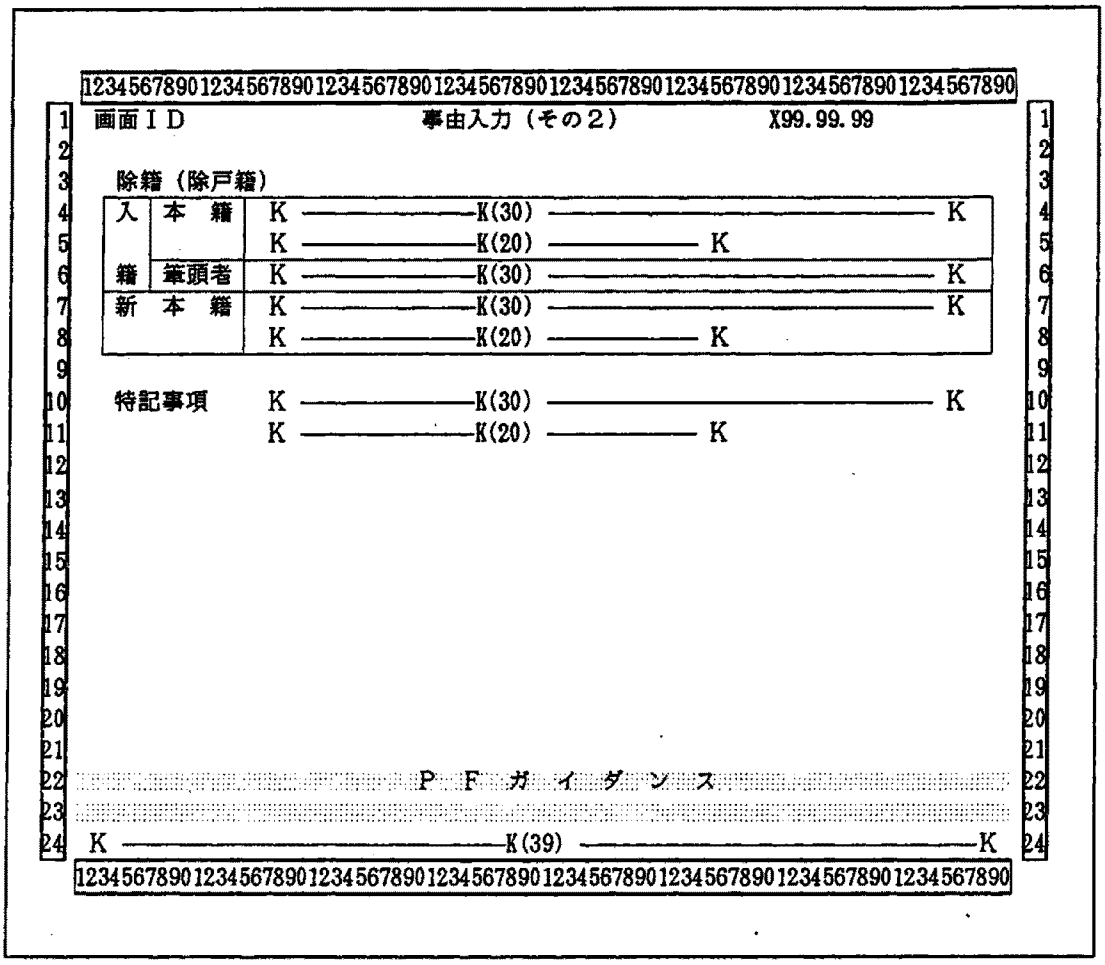


30046

第24(3)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	/

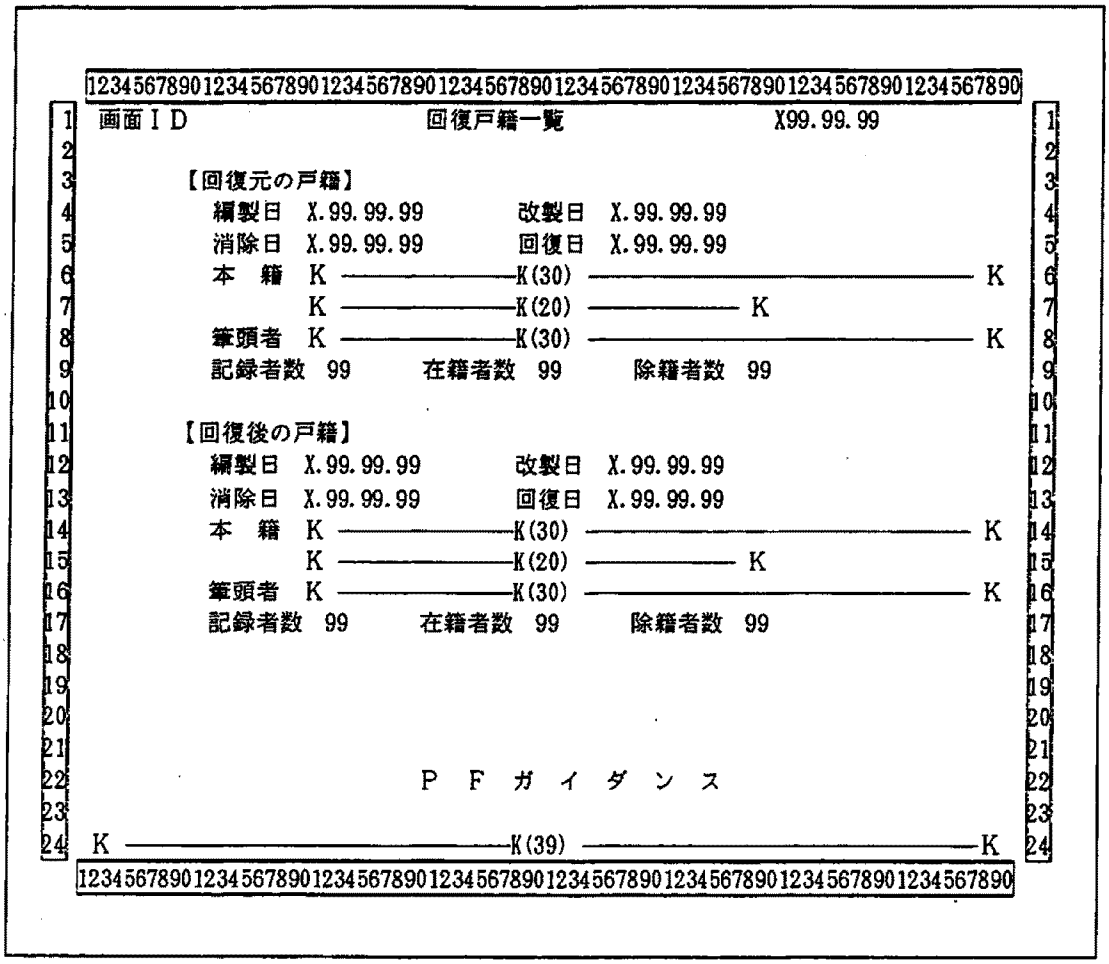
適用業務名	作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　事由入力画面（3／3）　06	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

画面番号		画面名	事由入力画面（3／3）



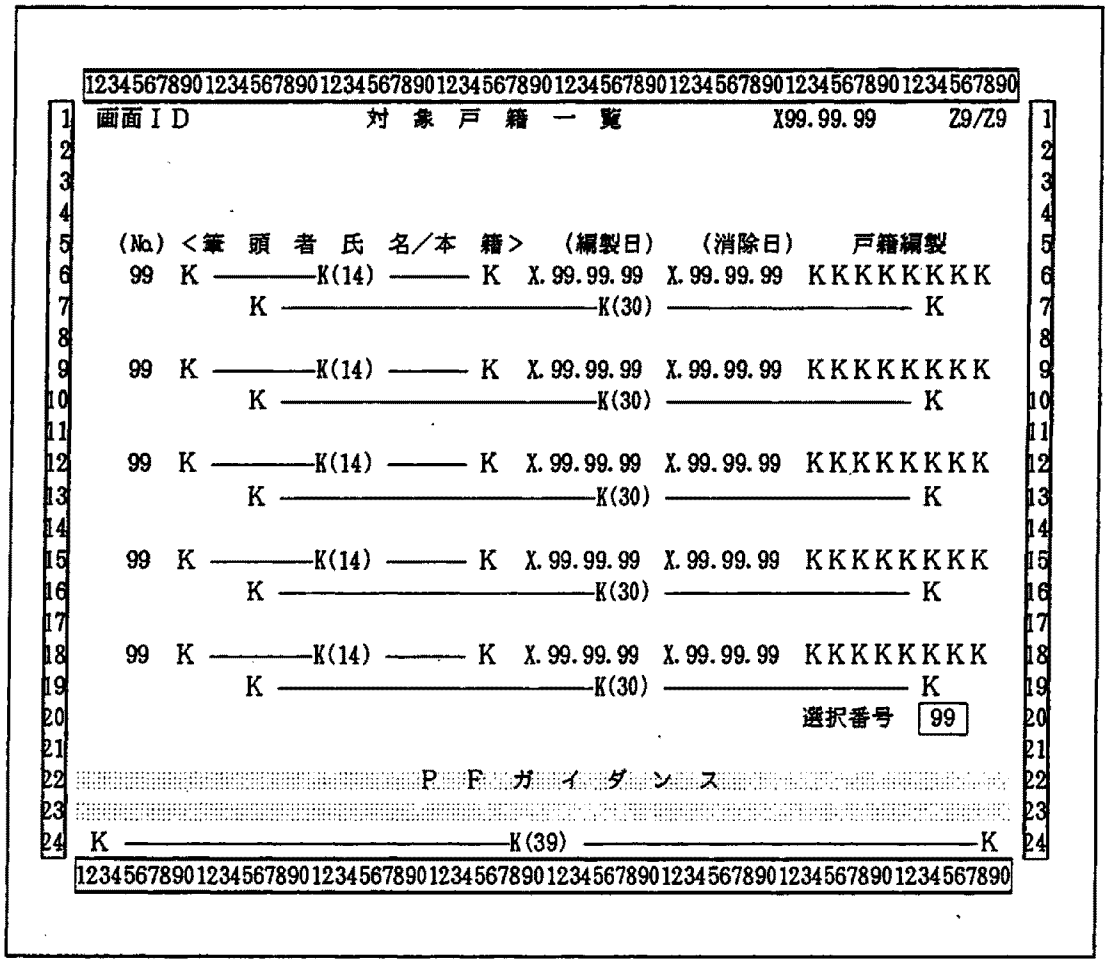
30047

第24(3)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		／
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　回復戸籍一覧	(08)	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1
画面番号		画面名	回復戸籍一覧	



30048

第24(3)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	／
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　対象戸籍一覧 (09)		平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1
画面番号		画面名	対象戸籍一覧

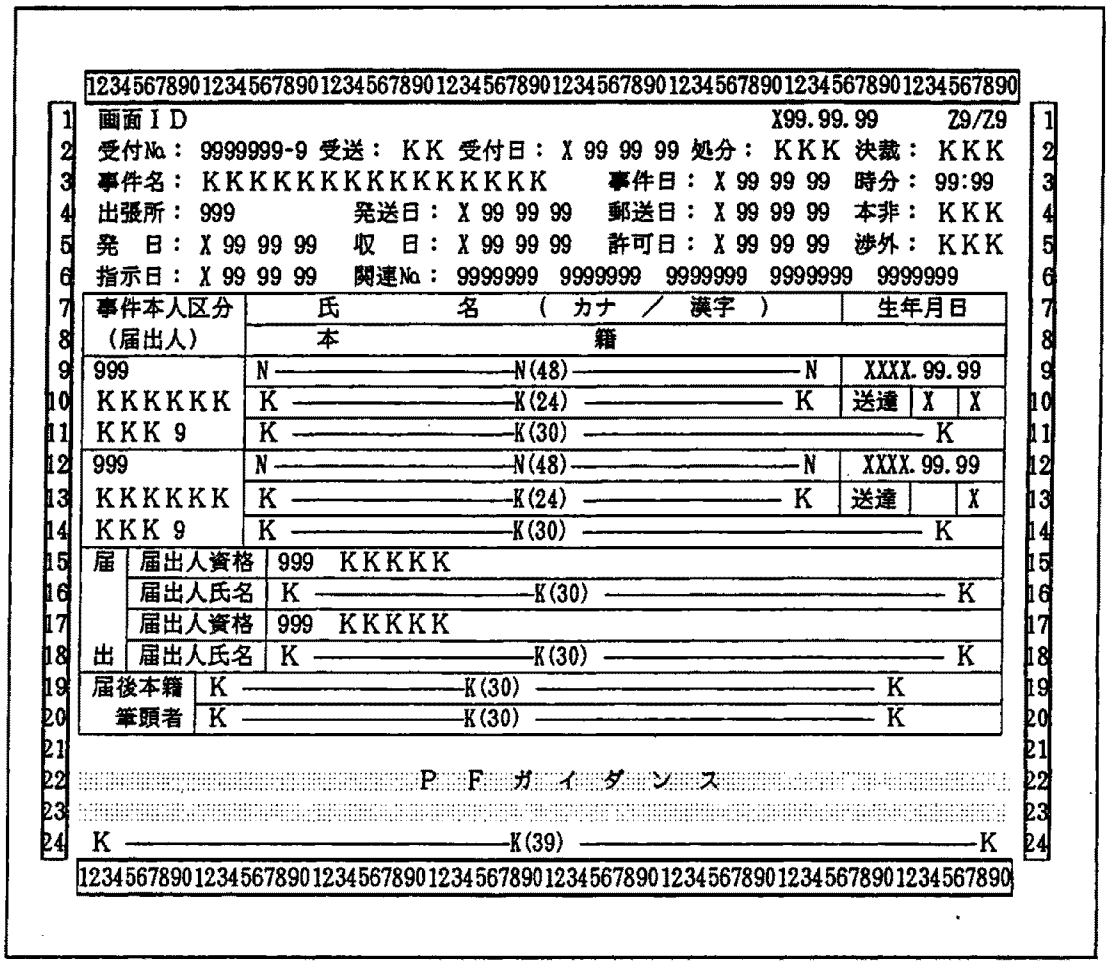


30049

第24(3)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	./

適用業務名	作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　受付帳記録 ⑩	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

画面番号		画面名	対象戸籍一覧



30050

第24(3)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	./

適用業務名	作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　戸籍事項表示 (11)	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

画面番号		画面名	戸籍事項表示

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
1  画面ＩＤ                    戸籍事項表示                    X99.99.99    Z9/Z9
2
3  （編製日）X.99.99.99  （消除日）X.99.99.99  （記録数）  99  （在籍数）  99
4  本　籍    K ──────────K(30)──────────K
5  筆頭者    K ──────────K(30)──────────K
6  No.  事件名称          戸籍事項記載項目
7  99   K ──K(8)── K     K ──────K(28)──────K
8  99   K ──K(8)── K     K ──────K(28)──────K
9  99   K ──K(8)── K     K ──────K(28)──────K
10 99   K ──K(8)── K     K ──────K(28)──────K
11 99   K ──K(8)── K     K ──────K(28)──────K
12 99   K ──K(8)── K     K ──────K(28)──────K
13 99   K ──K(8)── K     K ──────K(28)──────K
14 99   K ──K(8)── K     K ──────K(28)──────K
15 99   K ──K(8)── K     K ──────K(28)──────K
16 99   K ──K(8)── K     K ──────K(28)──────K
17 99   K ──K(8)── K     K ──────K(28)──────K
18 99   K ──K(8)── K     K ──────K(28)──────K
19 99   K ──K(8)── K     K ──────K(28)──────K
20
21          1：記録  2：修正  3：削除  4：並び変え [9]      選択番号 [99]
22                    ＰＦガイダンス
23
24 K ──────────K(39)──────────K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

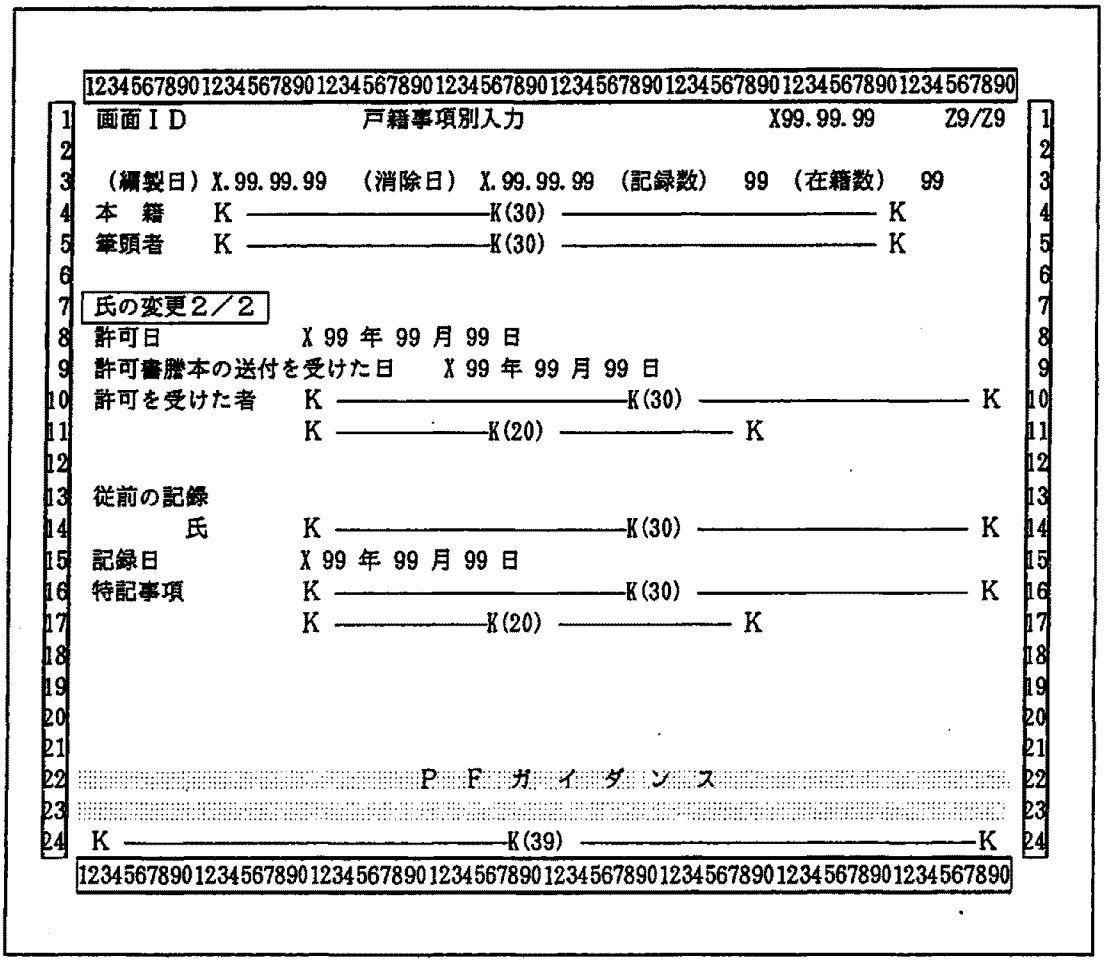
第２４（３）	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	／
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　戸籍事項確認　氏の変更（１／２）⑫		平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1
画面番号		画面名	戸籍事項確認　氏の変更（１／２）	

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1 画面ＩＤ                    戸籍事項別入力                          X99.99.99      Z9/Z9
 2
 3 （編製日）X.99.99.99　（消除日）X.99.99.99　（記録数）　99　（在籍数）　99
 4 本　籍　　K ―――――――――――――K(30)――――――――――――― K
 5 筆頭者　　K ―――――――――――――K(30)――――――――――――― K
 6
 7 氏の変更１／２
 8 氏の変更日          X 99 年 99 月 99 日
 9 氏変更の種別        X （1: 氏の変更 ,2: １０７条２項 ,3: １０７条３項 ,
10                        4: １０７条４項 ,
11                        5: ７３条の２ ,6: ６９条の２ ,
12                        7: ７７条の２ ,8: ７５条の２ ）
13 届出人１　資格 999 K ―――――――――――――K(30)――――――――――――― K
14           氏名　　K ―――――――――――――K(30)――――――――――――― K
15                   K ―――――――K(20)――――――― K
16 届出人２　資格 999 K ―――――――――――――K(30)――――――――――――― K
17           氏名　　K ―――――――――――――K(30)――――――――――――― K
18                   K ―――――――K(20)――――――― K
19 送付を受けた日     X 99 年 99 月 99 日
20 受理者             K ―――――――――――――K(30)――――――――――――― K
21                   K ―――――――K(20)――――――― K
22                              ＰＦ　ガイダンス
23
24 K ―――――――――――――――――――K(39)――――――――――――――――――― K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

第24(3)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	／

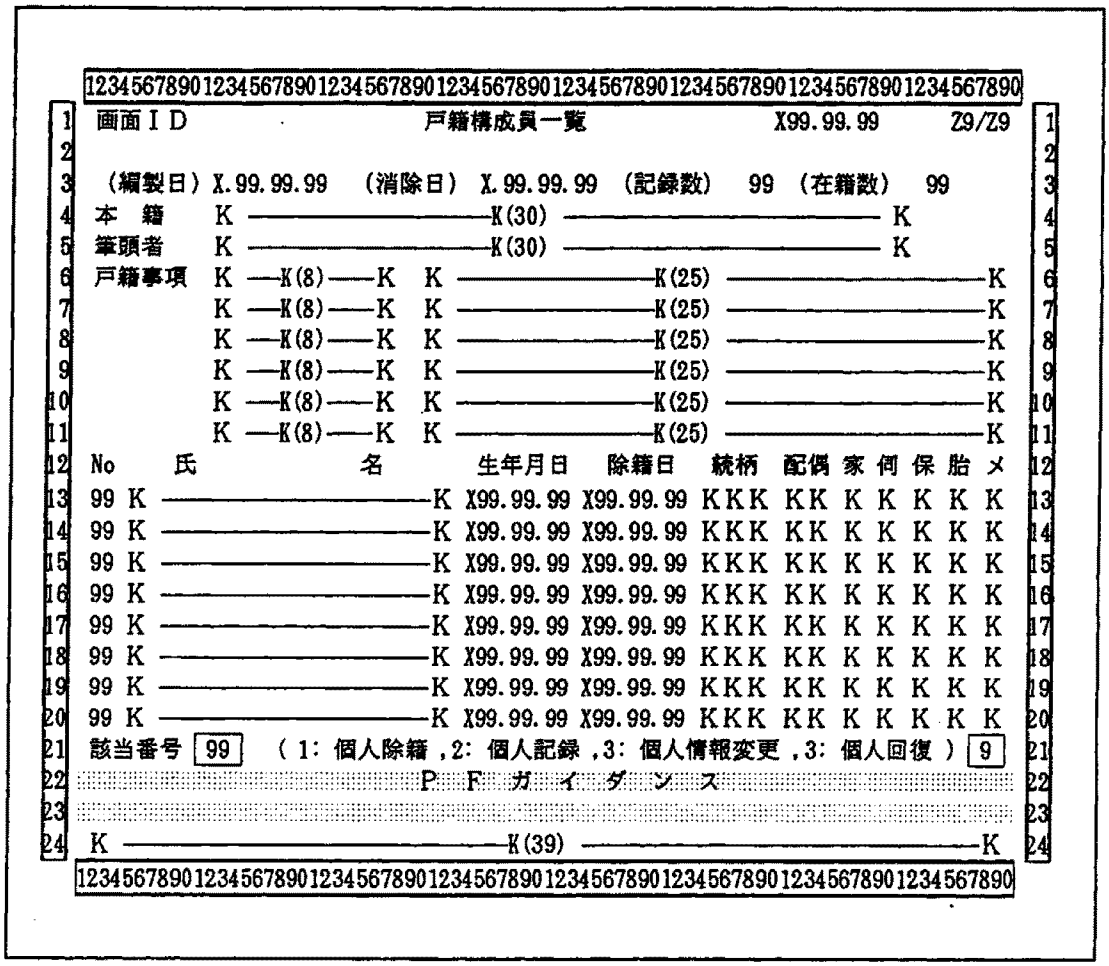
適用業務名	作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　戸籍事項確認　氏の変更（2／2）　⑫	平成6年12月　1日	平成　年　月　日	1

画面番号		画面名	戸籍事項確認　氏の変更（2／2）



30053

第24(3)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	／
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　戸籍構成員一覧　⑬		平成6年12月1日	平成　年　月　日	1
画面番号		画面名	戸籍構成員一覧	

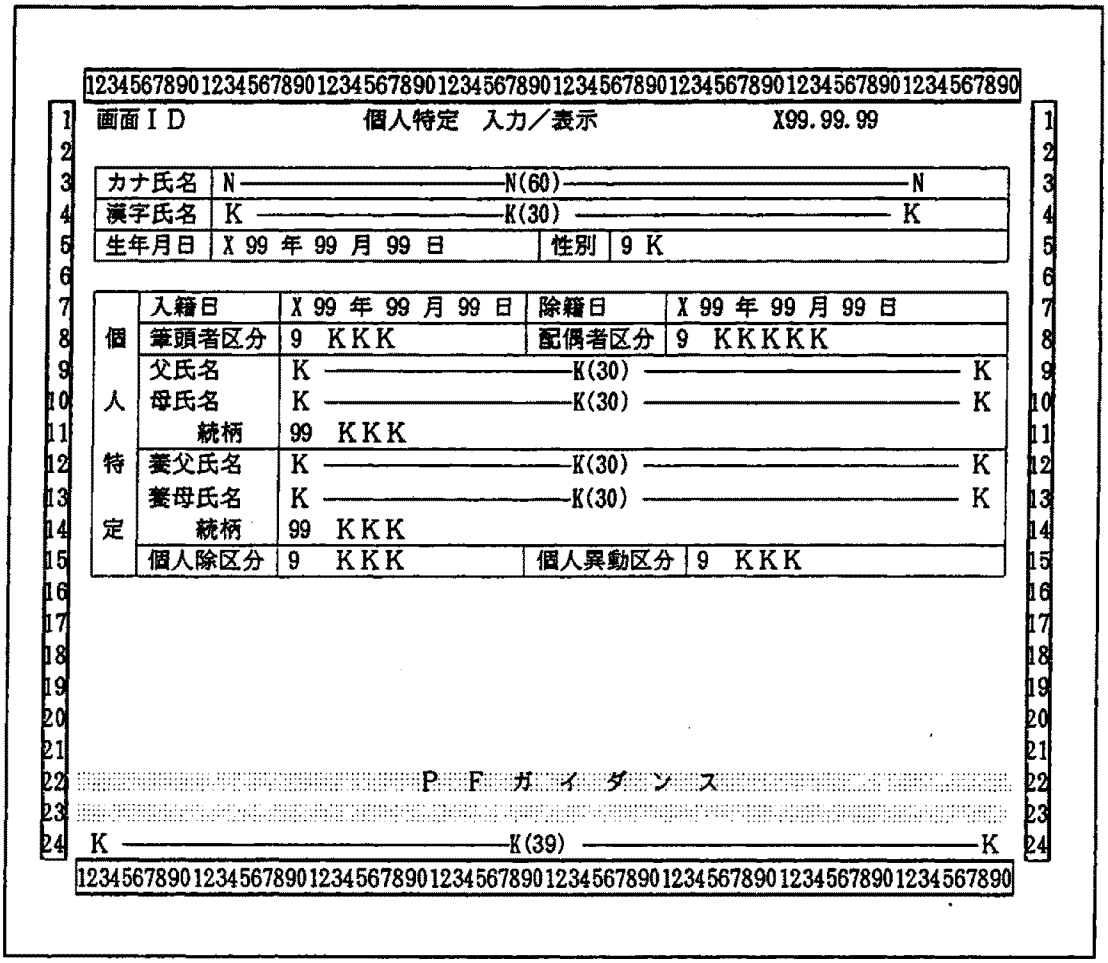


30054

第24(3)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	/

適用業務名	作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　個人特定画面 ⑭	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

画面番号		画面名	個人特定画面



30055

第24(3)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	／

適用業務名	作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　個人詳細表示　⑮	平成6年12月　1日	平成　年　月　日	1

画面番号		画面名	個人詳細表示

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
画面ＩＤ                    個人詳細表示                    X99.99.99      99/99
（編製日）X.99.99.99 （消除日）X.99.99.99 家Ｋ 個Ｋ 保Ｋ 胎Ｋ メＫ
本　籍    K ――――――――――――K(30)――――――――――――K
筆頭者    K ――――――――――――K(30)――――――――――――K
カナ氏名  N ――――――――――――N(60)――――――――――――N
漢字氏名  K ――――――――――――K(30)――――――――――――K
（生年月日）X.99.99.99 （除籍日）X.99.99.99 KKK KKKKK KKK
父 K ――――K(14)――――K  母 K ――――K(14)――――K KKK
養父 K ――――K(14)――――K 養母 K ――――K(14)――――K KKK
```

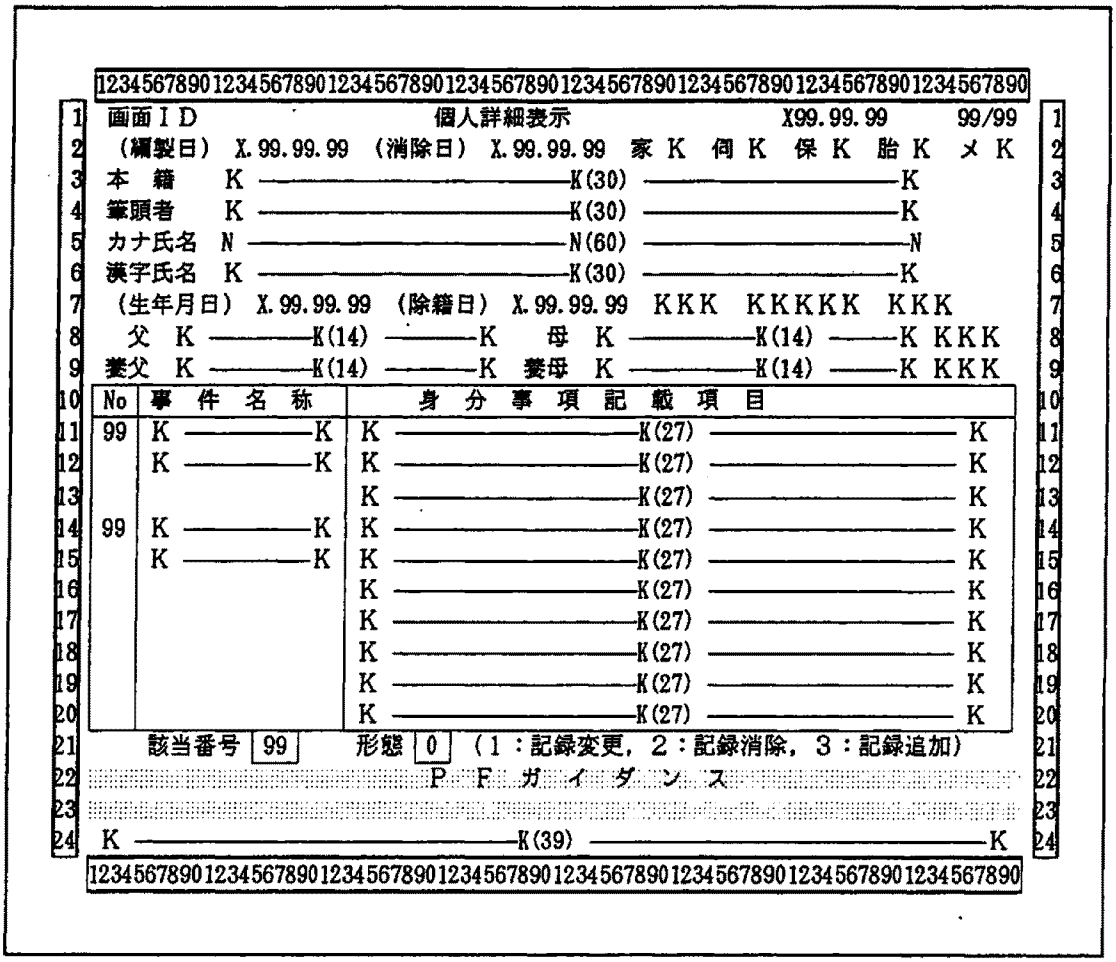
No	事件名称	身分事項記載項目
99	K ――――K	K ――――K(27)――――K
	K ――――K	K ――――K(27)――――K
		K ――――K(27)――――K
99	K ――――K	K ――――K(27)――――K
	K ――――K	K ――――K(27)――――K
		K ――――K(27)――――K
		K ――――K(27)――――K
		K ――――K(27)――――K
		K ――――K(27)――――K
		K ――――K(27)――――K

```
該当番号 [99]
                    ＰＦガイダンス
K ――――――――――――K(39)――――――――――――K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

第24(3)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	／

適用業務名	作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　個人詳細表示 ⑱	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

画面番号		画面名	個人詳細表示



30057

第２４（３）	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	／
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　事件メニュー　⑲		平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1
画面番号		画面名	事件メニュー	

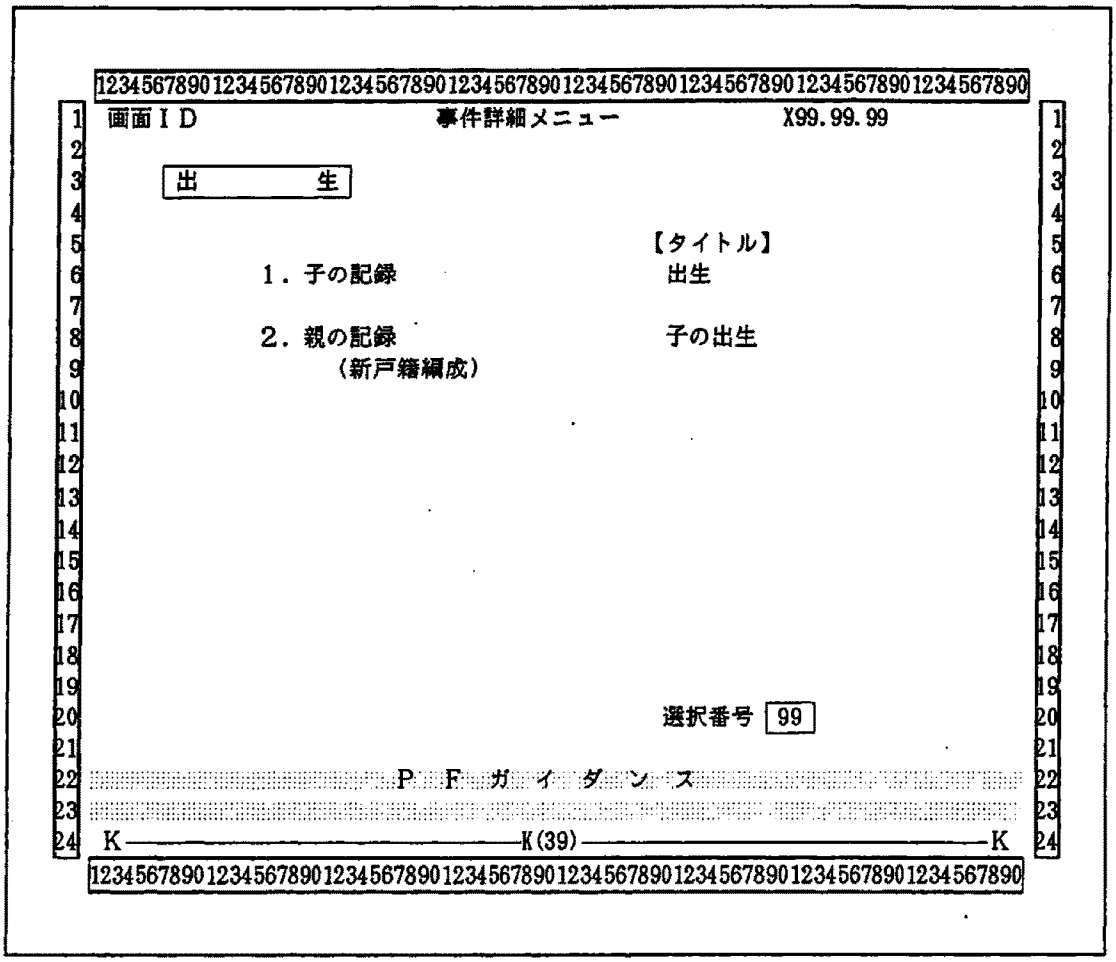


30058

第24(3)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	／

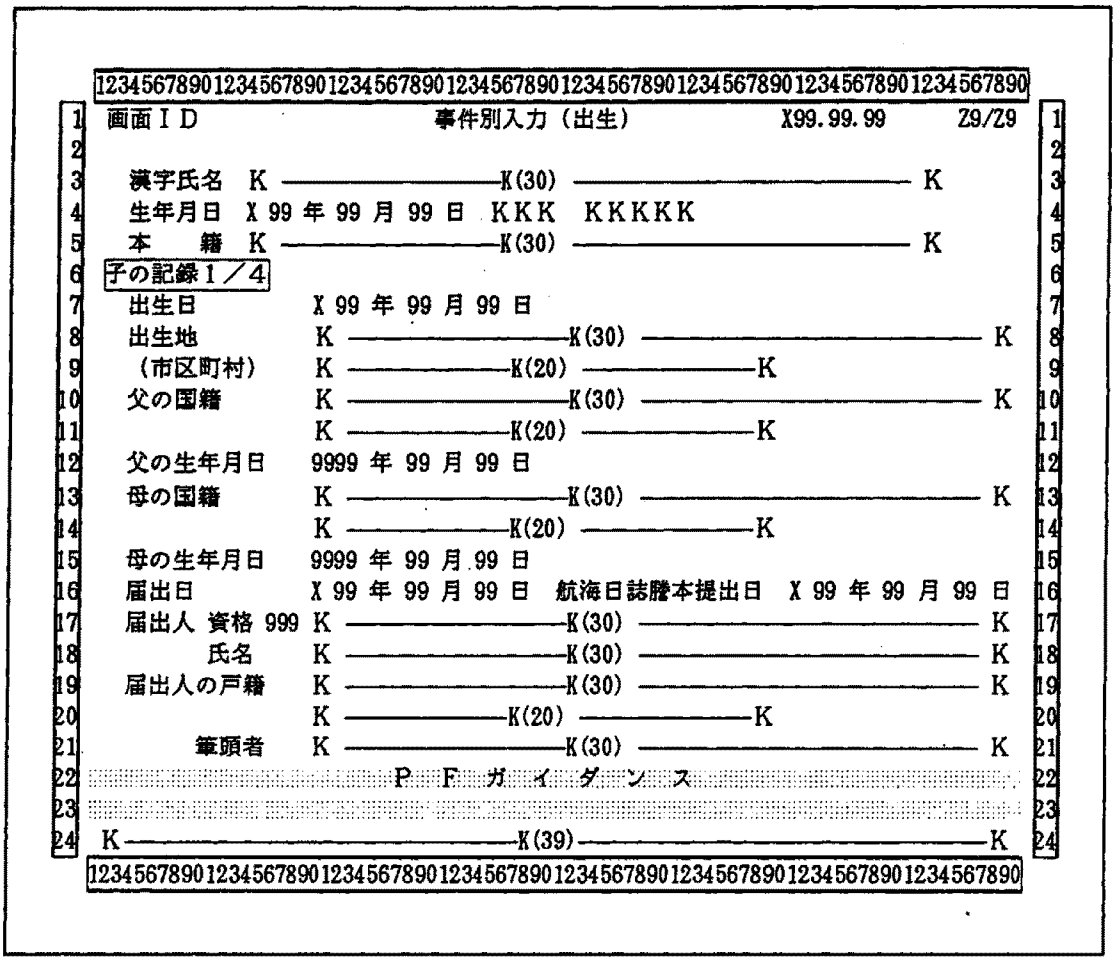
適用業務名	作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　事件詳細メニュー（出生）　⑳	平成6年12月　1日	平成　年　月　日	1

画面番号		画面名	事件詳細メニュー（出生）



30059

第24(3)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	/
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　事件別入力(出生)子の記録1／4 (21) (22)		平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1
画面番号		画面名	事件別入力（出生）子の記録1／4	

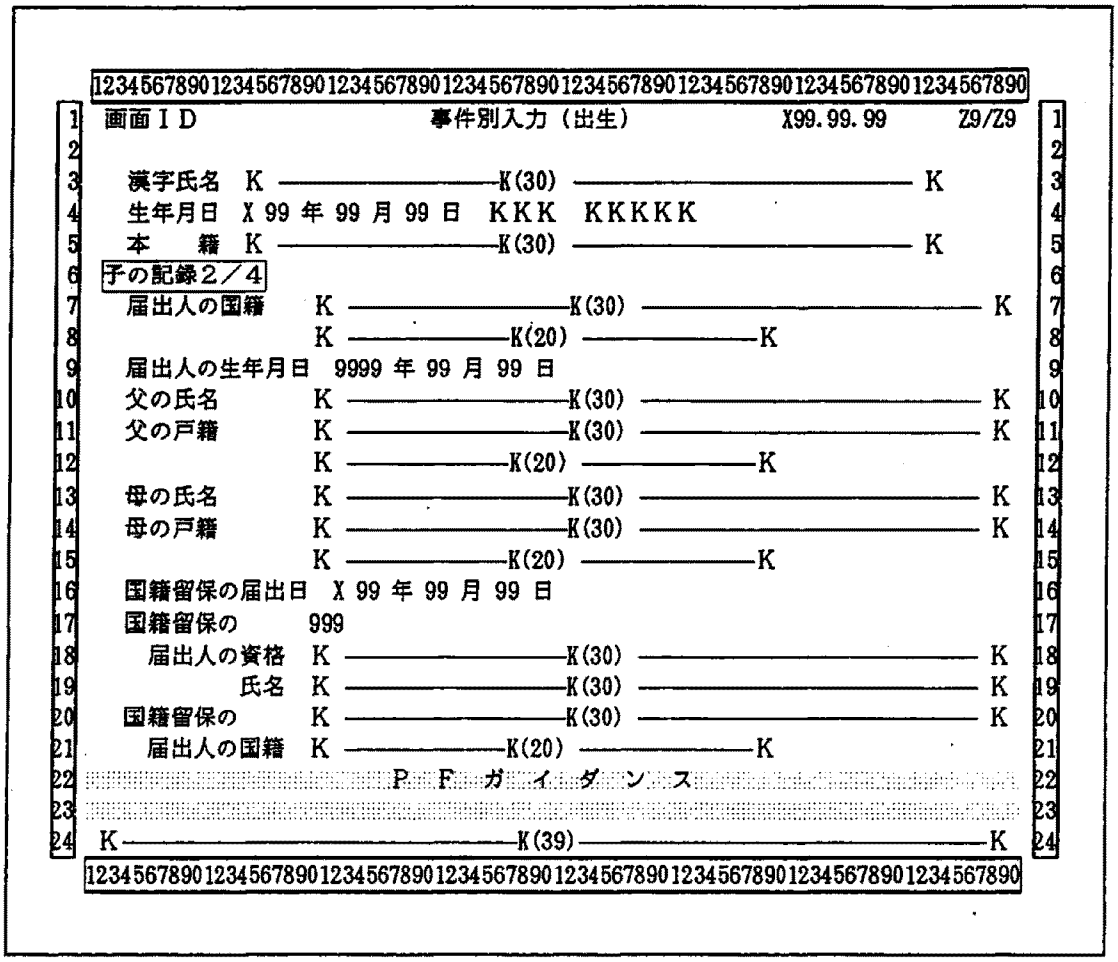


30060

第２４（３）	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	／

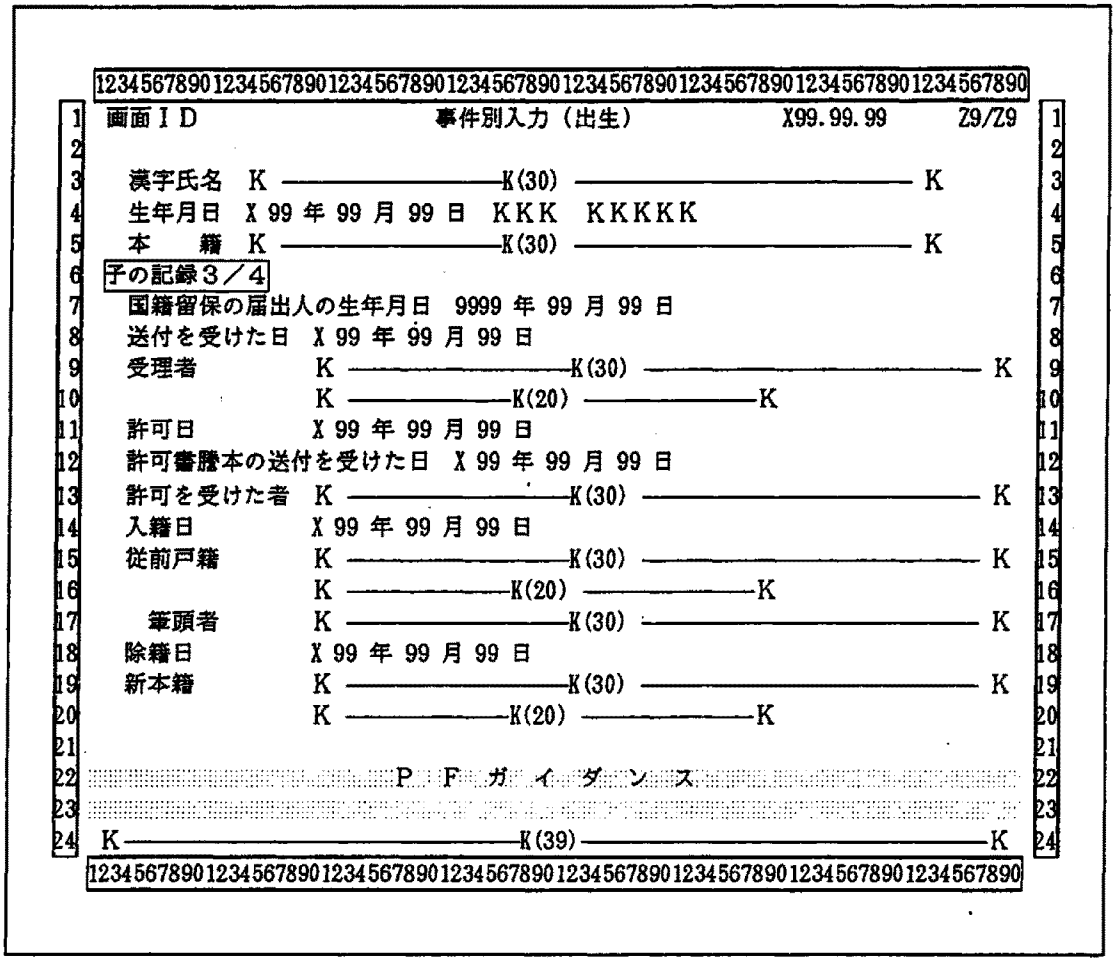
適用業務名	作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　事件別入力(出生)子の記録２／４　㉑㉒	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1

画面番号		画面名	事件別入力（出生）子の記録２／４



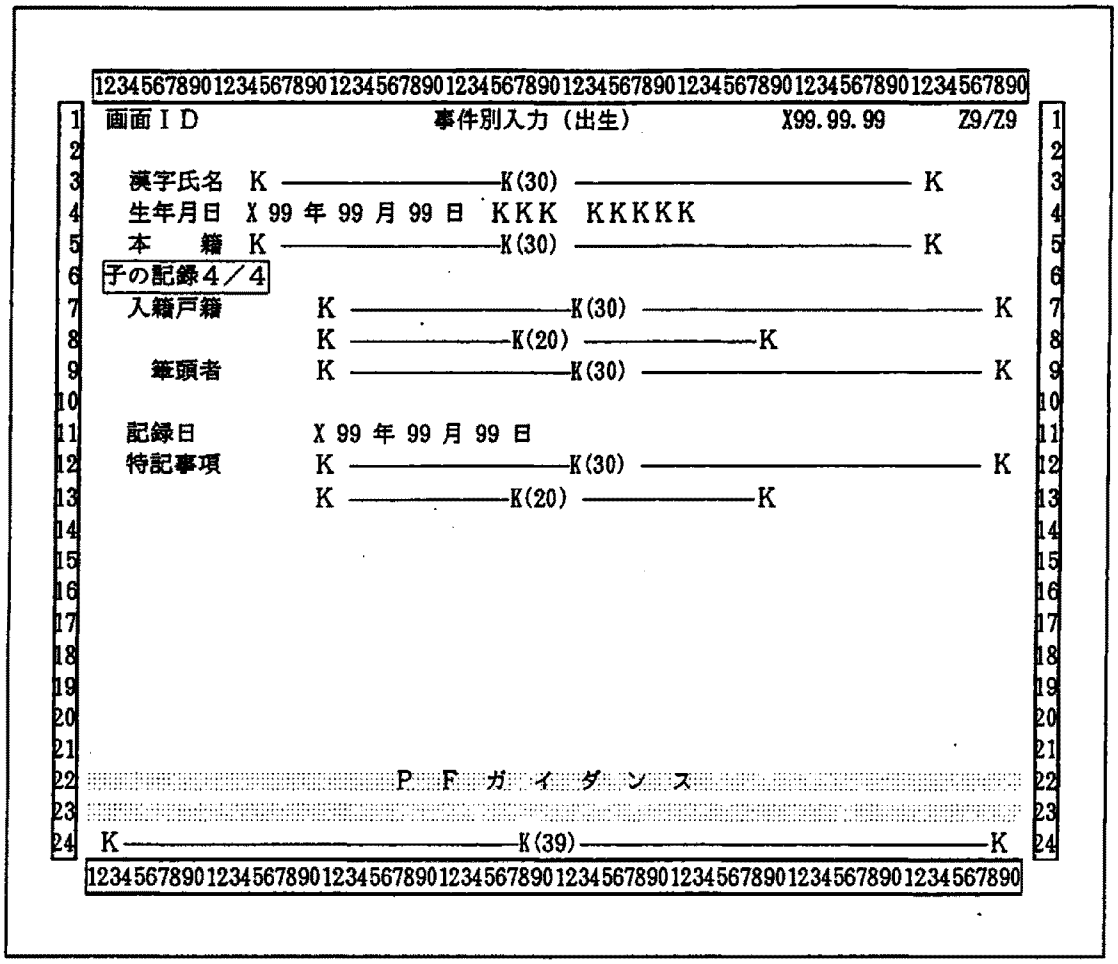
30061

第24(3)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		／
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　事件別入力(出生)子の記録3／4 (21) (22)		平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1
画面番号		画面名	事件別入力（出生）子の記録3／4	



30062

第24(3)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	/
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　事件別入力(出生)子の記録4／4 (21) (22)		平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1
画面番号		画面名	事件別入力（出生）子の記録4／4	



30063

第5.10.(12)

「決裁用帳票出力」処理

第５１０(12)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1／1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「決裁用帳票出力」処理		平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

〔処理概要〕

(1) 決裁における判断資料として，仮戸籍の内容を全部事項証明書イメージ（「第５－６(2) 帳票設計書」を参照のこと）で出力することができる。

〔順守事項〕

(1) 移記で決裁用帳票の出力ができること。

(2) 出力する仮戸籍の選択ができること。

〔留意点〕

(1) 処分決定および決裁でも出力させて構わない。

第5.10.(13)

「決裁」処理

137

第５１０(12)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1／1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「決裁」処理		平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

〔処理概要〕

(1) 審査，処分決定，移記が正しくなされているか最終的にチェックする。決裁がなされれば届における異動処理は完結する。

〔順守事項〕

(1) 未決裁一覧から決裁への処理の流れは順守する。

(2) 決裁で処理されるファイルで順守すべき処理を下記に示す。
①受付ＤＢに係わる処理
②戸籍ＤＢに係わる処理
③個人状態ファイルに係わる処理
④不受理申出ファイルに係わる処理
⑤仮戸籍ファイルに係わる処理
⑥エラー履歴ファイルに係わる処理

〔留意点〕

(1) 基準書では一つの異動処理（届）ですべての処理を完結させる仕様としたため，全処理をオンラインイメージで記述しているが，内容によってはバッチとして処理しても構わない。

(2) メーカでシステム外処理（手処理）としたものは決裁処理から削除すること。

(3) 附票，人口動態の連動を考えない戸籍システムを採用した場合は，連動の処理を決裁から削除すること。

30067

第5.10.(14)

「証明書発行」処理

第５１０(14)	詳細仕様説明書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1／1

ドキュメント名称	作成日付	改定日付	版
「証明書発行」処理	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

〔順守事項〕

(1) 様式については、「第５－６(2) 帳票設計」を参照。

(2) 検索キーは、「第５－１０(2) 検索処理」に準ずること。

(3) 各証明書の認証日は、処理日（システム日付）とする。

(4) １証明書に対して複数人証明できること。（留意点に補足）
「個人事項証明書」「一部事項証明書」が対象。

〔留意点〕

(1) 「全部事項証明書」「個人事項証明書」「一部事項証明書」の編集仕様は「第５－６(2) 帳票設計書」を熟読すること。

(2) 「証明書発行」として、基準書では、５つの選択番号を設定しているが、総合窓口による運用も考慮し特に限定しない。また、パスワードによる発行種別を限定させる機能を講じること。

(3) 画面遷移、画面レイアウトに関しては、サンプル的に示す。

(4) 今回［第７－２(12) 証明書発行］の要件定義書では、１証明書１人を前提に作成しているが、１証明書当り複数人を選択出力（証明）できるようにすること。
また、「個人事項証明書」で全員を選択された場合や「一部事項証明書」で全事項選択された場合は、エラーメッセージを出力すること。

30069

第5.10.(15)

「各種ファイル更新」処理

第５１０(15)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1／1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「各種ファイル更新」処理		平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

〔処理概要〕

(1) システムにおいて使用するファイルの更新を行う処理であり，操作者の限定を行う必要がある。
戸籍ＤＢ，受付ファイル，不受理申出ファイル，個人状態ファイルの４つのファイルの更新処理については「第７－２(13) 各種ファイル更新処理」の通りとすること。
受付ファイル更新以外は，基本的に個人の検索を行いそれぞれの処理へ流れる。以下に各々のファイル更新について説明する。
①戸籍ＤＢ更新
戸籍簿にあたる項目の更新は認めない（必ず訂正処理で行うこと）。戸籍簿にない項目で修正が可能な項目のみ更新可能とする。
②受付ファイル更新
便宜訂正，届書の返戻，発日・発送日更新，関連受領番号更新，受理後の処理伺い，送達確認取り込みの各処理を行う。条件により受付ファイルの直接更新とレコードを追加（履歴処理）するものに分かれる。上記以外の理由によるファイル更新は行えない。
③個人状態ファイル更新
各項目に対しての更新処理を行う。ただし犯歴区分の更新は民刑者担当に限られるべきであり，単純にファイル更新の操作権限があるだけでは不可とする。異動処理で自動的に付設される項目（禁治産者区分，準禁治産者区分，伺い区分，保留区分）もあるが，付設・解除ともに操作者が行うことが基本となる。
④不受理申出ファイル更新
不受理申出ファイルの作成，更新，削除を行う。失効区分等は期限を過ぎても送付分の届出の審査があるために，自動で更新は行わない。

〔順守事項〕

なし

〔留意点〕

なし

第5.10.(16)

「受領番号確保」処理

第５１０(16)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1／1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「受領番号確保」処理		平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

〔処理概要〕

(1) 閉庁日（休日および夜間）に届出られた届書を処理する場合に，前もって受領番号を確保する処理（受付ファイルの作成）であり，通常の異動処理を開始する以前に行う処理である。あくまで受領番号が付設された受付ファイルを作成するだけであるので戸籍のロック等の処理は行われない。その後の処理としては，届出選択で届出事件と受領番号を入力することにより以降通常の処理と同様になる。

〔順守事項〕

なし

〔留意点〕

なし

第5.10.(17)

「帳票出力」処理

第５１０(17)	詳細仕様説明書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1／1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「帳票出力」処理		平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

〔処理概要〕

(1) 戸籍システムで管理するファイルから出力する帳票をグループ化し「帳票出力」処理としている。事件表も考えられるが、「統計処理」から出力するようにした。

〔順守事項〕

特になし

〔留意点〕

(1) ［第５－３ オンラインの流れ図］で示しているように、各帳票を画面指示により起動（オンライン・バッチ処理）しているが、純然バッチ処理でも構わない。

(2) 月次処理、日次処理による出力帳票が存在するが、出力する際の範囲指定方法については任意とする。
（画面から指示，外部パラメタによる指示等）

第5.10.(18)

「統計」処理

第５１０（18）	詳細仕様説明書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1／1

ドキュメント名称	作成日付	改定日付	版
「統計」処理	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

〔処理概要〕

(1) 「統計」処理では、事件表を正確に作成するための処理を行う。

(2) 基本的には、［第５－７(2) ファイル仕様書］で示されている統計ファイルをシステムで集計できない項目を更新する。また、統計状況を参照する機能や事件表を出力指示する画面で構成する。

〔順守事項〕

(1) 事件表の様式は［第５－６(2) 帳票設計書］に従うこと。

〔留意点〕

(1) 最終的な機能としては、［第５－６(2) 帳票設計書］で示す事件表が正確に出力されればよい。

(2) 自治体の運用によっては、日計、週計、月計のサイクルで統計情報を取得している場合あるため、更新する手順については任意とする。

(3) 日計、週計、月計等による更新を行う場合には、ファイル仕様書（年計）で示すレコード以外に設けてもよい。（ただし、サブレコードとして位置づけること）

(4) 統計ファイル更新処理を使用するケース。
- ・第２表 届出事件件数 ：「不受理申出」の件数
  ※万一ｼｽﾃﾑで処理できない事件が発生した場合、統計ﾌｧｲﾙに反映させるため届出事件数を個別に更新する必要がある。
- ・第３表 処理事件数 ：「違反通知」「戸籍の再製・補完」「その他」
- ・第４表 謄抄本等件数 ：全て
- ・第５表 戸籍事務を～ ：全て
- ・第６表 職員数 ：全て

※ 事件表の様式について、現在検討中のため変更となる可能性あり。

30077

第5.10.(19)

「関連業務」処理

第５１０(19)	詳細仕様説明書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1／1

ドキュメント名称	作成日付	改定日付	版
「関連業務」処理	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

〔順守事項〕

〔留意点〕

(1) 戸籍関連業務メニューには、関連業務が今後追加される可能性がある。
（人口動態システムについては、現在検討中である）

(2) 法改正等によるシステム仕様変更が行われたとしても、戸籍システム及び関連業務システムに対して影響が相互に及ばぬよう独立させることが望ましい。
ＥＸ.
戸籍附票処理を選択した場合には、戸籍附票に関する照会、ファイル更新、証明書発行をその中で行う。
選択されたメニュー（入口）で制御を飛ばすだけで、戸籍システム本体への影響を最小限にとどめる工夫をすること。

第5.10.(20)

「一括」処理

第５１０(20)	詳細仕様説明書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1／1

ドキュメント名称	作成日付	改定日付	版
「一括」処理	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1

〔処理概要〕

(1) 一括処理では、年次処理又は、行政区画変更などの処理を対象に、大量データを扱うものをグループ化した。

(2) 戸籍データを全件読み込み、該当データを抽出するものや行政区画変更などある特定のデータを全件処理する場合など。

(3) 下記の２例について［第５－４バッチ処理の流れ図］で示す。
・「高齢者消除該当一覧」作成
・「行政区画変更（町名の変更）」処理による戸籍ＤＢへの記録および通知ハガキの作成

〔順守事項〕

なし

〔留意点〕

(1) 高齢者消除該当一覧を許可申請書として兼用する場合は、事前に法務局の承認を得ること。

(2) 高齢者消除を一括バッチ処理する場合は、戸籍事務(ｼｽﾃﾑ)の運用を十分理解のうえ方式を決定すること。
バッチ処理であっても、戸籍ＤＢに記録するため「処分決定」「決裁処理」の位置づけを明確にし正確性を確保すること。

30082

第6　戸籍システムと関連事務の処理概要

（目次）

1	はじめに	(1～1頁)
2	記載事務	(2～3頁)
3	証明事務	(3～3頁)
4	人口動態調査事務	(3～4頁)
5	民刑事務	(4～4頁)

第6　戸籍システムと関連事務の処理概要

1　はじめに

戸籍関連事務は，記載事務，証明事務，人口動態調査事務及び民刑事務とに大別され，市区町村の所管事務の大半を占める記載，転記及び照合・点検作業からなっている。

これらのシステム化は，事務処理の省力化，効率化及び正確性がより一層促進されることにあり，また，市区町村の長年の強い要望でもあることから，戸籍事務と合わせてパッケージ化（以下，戸籍システムと区別するために関連事務システムという。）を図ることとした。

ただし，関連事務システム各々の採用の有無については，各自治体のそれぞれの事情に基づく判断に委ねられることとなる。

ところで，関連事務システムにとって，リアルタイムに戸籍システムとの連動，リンケージが大きなメリットになるが，戸籍システム本体に直接影響なく，開発，運用されることが前提条件となる。将来，関連事務システムの追加・修正があった場合に，戸籍システムが無修正であることを担保とすることにある。

そこで，第１章の「戸籍情報システムの範囲と基準書について」における「システム化の範囲」で示された事務の中で，記載事務，人口動態調査事務及び証明事務の相続税通知等への連動のタイミングを検討したところ，戸籍システムの「決裁処理」以降の処理（連動ための「各種ファイル更新」等）に，その大半が位置づけられることとなった。

また，その他の証明事務及び民刑事務については，戸籍データベースや戸籍関連ファイル（届書ファイル，個人状態ファイル等）の直接的な活用の必要性から，戸籍システムのオンライン処理の流れに組み込むこととし，一部にデータの追加入力作業により事務処理を補完することになる。

なお，「各種ファイル更新」処理おいて作成・更新されるファイルは，住所地通知（住基法９－２，管外住所分），住民票異動（住基法９－２，管内住所分），附票通知（住基法１９－３），附票異動（住基法１９－１，附票ＤＢ更新用），５８条通知（相続税法），人口動態，民刑異動，発送（他市区町村等送付用）等の各ファイルである。

したがって，これらのファイルを即時的に活用し，主にオンライン処理もしくはバッチ処理にて，引き続き関連事務処理を行うこととする。

2　記載事務

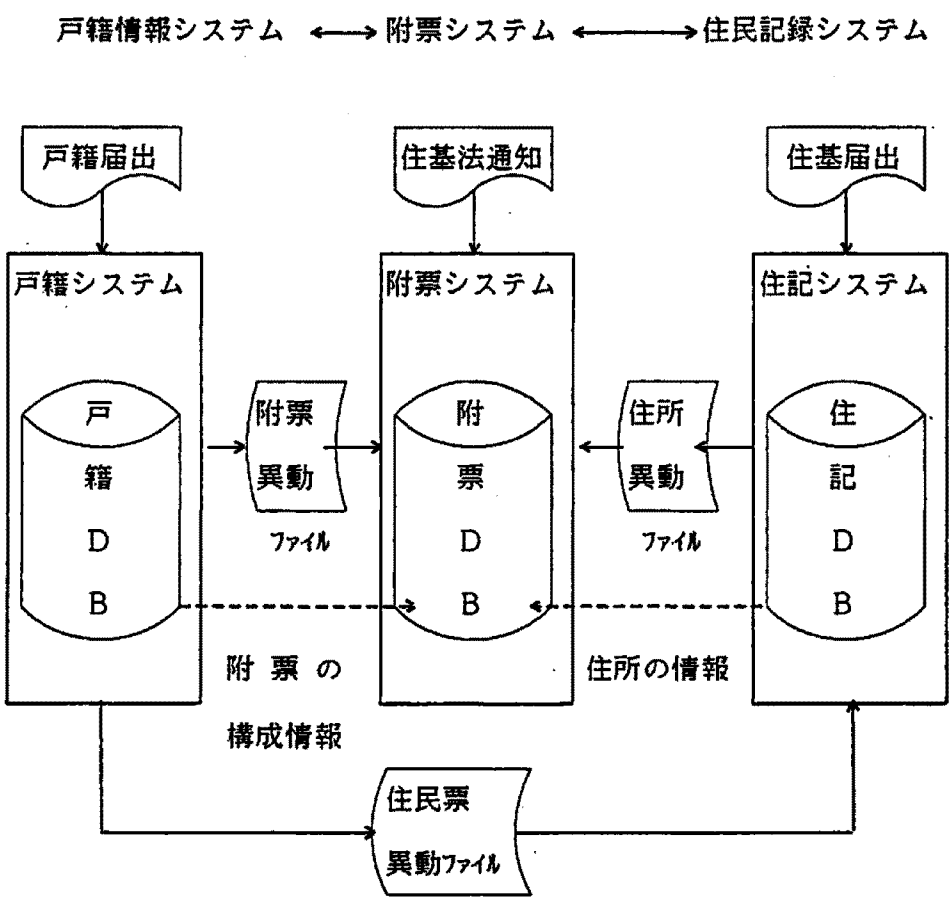
(1) 死産届書

厚生省で作成する基準書の「人口動態調査事務システム」において，システム化することとする。

(2) 附票事務及び住基法９－２関係

戸籍システム及び住民記録システムと連携した附票システムを構築することとする。これらの関連性については，次の「戸籍・附票・住民記録システムの関連図」を参照されたい。

「戸籍・附票・住民記録システムの関連図」



附票システムでは，戸籍システムで作成された附票異動ファイル，住民記録システムで作成された住所異動ファイル，及び住基法通知により，附票データベースの異動処理を行う。また，附票通知ファイルにより，通知書作成を行うものである。

なお，附票の証明様式，住所の履歴，改製の方法，及びセットアップの方法等については，第7章の「システム化に係わる『詳細設計』等資料編」の「その他関連資料」の「附票部会検討結果報告書」を参考にされたい。

一方，住基法９－２関係については，住民票異動（住基法９－２，管内住所分）ファイルにより，自庁の住民記録データベースの異動処理を行う。また，住所地通知（住基法９－２，管外住所分）ファイルにより，通知書作成を行うこととする。

３　証明事務

(1) 埋火葬許可証

戸籍システムの「処分決定」処理からの展開で，プリント出力を行う。

なお，「死胎埋火葬許可証」については，厚生省の基準書の「人口動態調査事務システム」において，システム化を行うこととなる。

(2) 身分証明書

オンライン処理の業務メニューの「関連業務」処理の帳票系において，プリント出力を行う。

この際，個人状態ファイルを参照し，禁治産者，準禁治産者，破産者の該当の有無を画面に表示することにより，証明発行の可否判断に対応することとする。

(3) 相続税５８条通知

相続税法第５８条に基づく税務署長への通知は，帳票の出力様式として連名方式または単票方式のいずれかを検討し，選択する。

オンライン処理の業務メニューの「関連業務」処理の帳票系において，５８条通知ファイルにより，一括してプリント出力を行う。

４　人口動態調査事務

市区町村は，厚生省の人口動態調査令，及び同令施行細則に基づき調査票及び送付票を作成し当該保健所長に送付しており，その作成に当たっては，国の主要な指定統計として完全性，正確性，迅速性が求められている。

そこで，戸籍システムの「決裁処理」後，届書ファイルから作成された「人口動態ファイル」を活用し，引き続き，オンライン処理において人口動態調査票等に必要なデータを付加入力することとなる。また，調査票及び送付票は，オンライン・バッチもしくはバッ

チ処理により作成する。

なお，厚生省において，戸籍情報システムの始動時期に合わせて「人口動態調査事務システム」の稼働が計画されており，現在，システム化のための基準書（標準仕様書）を作成している。

したがって，この厚生省の「基準書」により「人口動態ファイル」とのインターフェースを図るとともに，戸籍事務に連動した人口動態調査事務をシステム化することとする。

5　民刑事務

市区町村が地方自治法第２条及び公選法第１１条に基づき執行している民刑事務等は，自治体固有事務の中でも極めて秘匿性，プライバシー性の高いものである。この事務のシステム化については，最終的に市区町村のそれぞれの判断に委ねられることになる。

そこで，戸籍が磁気媒体となった場合に，少なくとも現行の「付箋」に代わるなんらかの判別表示が必要なため，また，民刑事務のシステム化に対応できるようにするために，個人状態ファイルにフラグ（有無の表示）を立てて対応することとする。

したがって，オンライン処理の「各種ファイルメンテ」において，フラグの入力処理を行い，身分証明書の発行の際に「該当の有無」が表示されることになる。

また，システム化後には，このフラグを活用した公選法第１１条に基づく通知作成のための抽出処理を考慮するものである。

30088

第７　システム化に係わる「詳細設計」等資料編

（ 目 次 ）

１　「システム処理」の要件定義について

２　要件定義書

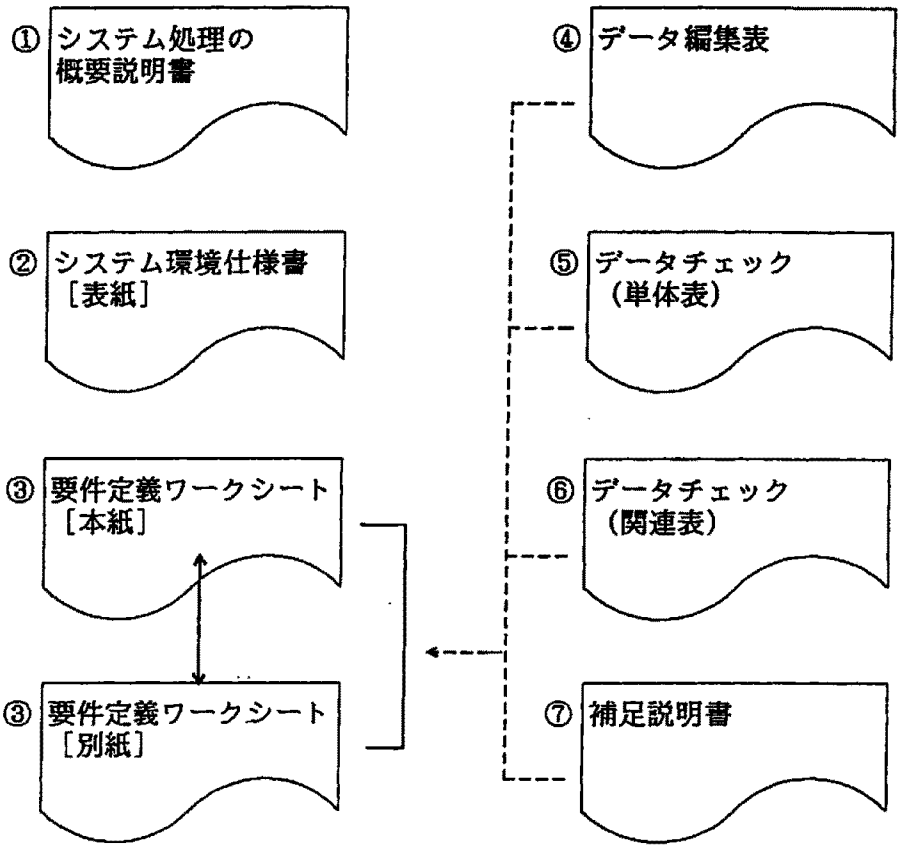
第７．１　「システム処理」の要件定義について

第7　システム化に係わる「詳細設計」等資料編

1　システム処理の要件定義について

(1) 要件定義書の作成方法

ア　要件定義書の構成



イ　要件定義書の各ドキュメントの内容

①　システム処理の概要説明書

プロセス単位又はいくつかプロセスをまとめて，それらのシステム処理の概要及びシステム処理しない部分を説明する。

②　システム環境仕様書

基本的に要件定義書の表紙となるもので，詳細フロー，使用ＤＢ・ファイル一覧処理の概要，機能体系（又は，要件定義書の構成），及び特記事項等を記述する。

③　要件定義ワークシート

本紙においては，処理のメーン・ロジックを自己完結型に記述し，各詳細については，別紙でトップダウン方式で展開する。

別紙においては，第三レベルまでに止どめ，本紙のロジックを補強する。また，各々自己完結型に詳細記述し，本紙に戻る。

30092

④ データ編集表

ＤＢ・各ファイル間や，画面と各ファイル間などで，データの受渡しを行う場合に，それらの項目をこの一覧表に記述する。

⑤ データチェック（単体表）

データの単体チェックの内容，エラーメッセージ及びエラーコード等を記述する。

⑥ データチェック（関連表）

データの関連チェックの内容，エラーメッセージ及びエラーコード等を記述する。

⑦ 補足説明書

必要に応じて，項目関連図（マトリックス）等を作成し，追加説明する。

ウ 要件定義ワークシート記載方法の基本パターン

ワークシートについては，次の点を考慮した。

①トップダウン方式や「基本パターン」でロジックを整理できること。

②プログラムの処理概要の全体を視覚的に把握，理解できること。

③入力部及び出力部を限定し，エラー処理が明確化できること。

④ワープロ作成ができること。（追加，修正に容易に対応できる）

「基本パターン」は，次のとおりである。

①順次処理

データを上から下へ，無条件で順番に処理するケース

(1)　処 理　A
(2)　処 理　B
(3)　処 理　C

②条件処理

一定の条件に基づいて，処理が２つに別れるケース

(1) 条件がＹＥＳか，ＮＯか？	
ＹＥＳ	(2)　処 理　A
	(3)　処 理　B
ＮＯ	(4)　処 理　C
	(5)　処 理　D

30093

③繰り返し処理

一定の条件を満たすまで繰り返し処理するケース

（1）一定の条件を満たすまで（2）～（5）を繰り返す	
	（2）　処 理　A
	（3）　処 理　B
	（4）　処 理　C
	（5）　処 理　D

④複合条件処理

複数の条件があり，それぞれの条件に対する処理があるケース

（1）条件が，「＞」，「＝」，「＜」，「その他」か？	
＞ の場合	（2）　処 理　A
	（3）　処 理　B
＝	（4）　処 理　C
	（5）　処 理　D
＜	（6）　処 理　E
	（7）　処 理　F
その他	（8）　処 理　G

オ　要件定義ワークシート記載方法の基本的ルール

(ｱ) 規定用語について

①プロセスから画面に展開する場合は

「画面を編集（出力）する」

②プロセスからプロセスに展開する場合は

「制御を渡す」

③ＤＢを読むときは

「（検索）キーとしてＤＢを読む」

④ファイルを読むときは

「（キーとして）ファイルを読む」

30094

⑤ＤＢ・ファイルの更新は

「追加，更新，削除する」

⑥条件（ケース）の処理は

「比較する，判定する，チェックする，選択する」

ＡＮＤ条件は，「かつ」

ＯＲ条件は，「または」

このほか，比較記号等を用いる（例，＝，≠，＜，＞等）

⑦エラーの表現は

「エラーメッセージ表示，確認メッセージ表示，」

⑧その他

「抽出する，（初期）設定する，処理する，作成する，実行する，変換する，

計算する，転送する，（キーとして昇順／降順）にソートする」

(イ) 「ＰＦキー」について

次のとおり，参考までに主な機能を割り当てた，下記以外は各プロセスで定める。

①ＰＦ１　戸籍業務メニューへ

②ＰＦ２　届出選択メニューへ

③ＰＦ５　前画面へ

④ＰＦ７　前頁へ

⑤ＰＦ８　後頁へ

⑥実行キー　実行処理

(2) 要件定義書の共通仕様について

ア　戸籍ＤＢの編集（戸籍編製マトリックス）

要件定義書（入力確認）においては，仮の戸籍ＤＢを編集する場合に，データ編集表と戸籍編製マトリックスを使用して記述されており，戸籍編製マトリックスは，次のような手順・要領に従っている。

【戸籍編製マトリックス】（サンプル）

	├ 条件項目 ┤								├ 戸籍編製パターン ┤			
項番	グループ１			グループ２			条件		戸　籍　A		戸籍B	新戸籍編製
	条件1	条件2	条件3	条件4	条件5	条件6	条件7		一部除籍 A.2 6.3	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 A.2 C.1 D.1	A.1 B.1 C.1 D.1
1	○			○							子 (5.1)	
2	○				○						子 (5.1)	母 (7.1)
3	○			－	－	－	○				子 (5.1)	

(ｱ) マトリックスは，「条件項目」と「戸籍編製パターン」に分けて記述する。

「条件項目」等が、多い場合は複数頁になる。

が，メッセージに対する流れは，メッセージの種類に影響されるので，「第５－８（３）メッセージ一覧表」の補足説明書及び後述の「審査の流れについて（エラー処理）」を参照のこと。

(イ) 『項番』は，「条件項目」の種類別を順番号で区別する。

(ウ) 「条件項目」中の記号は，次の４種である。

・『○』（マル）　　：条件に該当する内容。

・『－』（ハイフン）：条件対象外（何であろうと無関係）。

・『　』（ブランク）：入力なし。

・『×』（バツ）　　：条件に該当しない内容。

(エ) 「戸籍編製パターン」は，各事件の該当する戸籍単位の戸籍の編製を示す。

・『一部除籍』　：除籍後に他の在籍者あり。

・『全部除籍』　：除籍後に他の在籍者なし。

・『変動なし』　：戸籍事項／身分事項の記録のみ。

・『一部記載』　：該当戸籍に入籍。

・『新戸籍編製』：新しい戸籍の編製。

(オ) 「戸籍編製パターン」欄にあらわれる『 X.X 』の数字は，戸籍編製を行う場合に，使用されるデータ編集表の処理名の番号である。

また，英字で記述されているものは全届に対して共通なデータ編集表であり，中間ファイル（仮戸籍）の設定ひな型として使用している。

中間ファイル（仮戸籍）の設定ひな型については，後述の補足説明書を参照のこと。

(カ) 「条件項目」に該当した場合の処理を行うべき対象（者）を，「戸籍編製パターン」の該当する欄へ「子」「養子」「夫」等で記述するとともに，戸籍編製を行う場合に，使用されるデータ編集表の処理名の番号を記述する。

※（例）【戸籍編製マトリックス】（サンプル）の項番１の場合

・条件として，『条件１』『条件４』に該当して，他の「条件項目」に入力がない

・『戸籍Ｂ』『一部記載』の欄に，『子（5.1）』の記入があるので，戸籍Ｂへ子をデータ編集表の 5.1 及び中間ファイル（仮戸籍）の設定ひな型 A.2 , C.1 , D.1 を使用して記録処理を行う。

イ　メッセージ表示後の対応

要件定義書（入力審査）において，メッセージ表示後の対応は，エラーメッセージも確認メーッセージも，本紙もしくは要件定義書の前の処理へ戻るような記述をしている

第2 3 (7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（ひな型）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／9
処理名	中間ファイル（仮戸籍）の設定ひな型						

中間ファイル（仮戸籍）

分類	中間ファイル（仮戸籍）で管理する情報の名称	ひな型	ひな型の名称	ひな型の説明	中間ファイル（仮戸籍）への更新内容
A	戸籍特定情報 戸籍DBのうち，戸籍特定DBの内容に関して管理する	A．1	戸籍特定（編製）	・管内に新戸籍を編製または管外から管内への転籍で新しく戸籍を編製する場合に使用	戸籍特定ﾚｺｰﾄﾞの追加
		A．2	戸籍特定（記録）	・本籍・筆頭者が変更となる場合に使用（管内転籍または筆頭者の氏及び名の変更） ・戸籍の変動により全部除籍となる場合に使用 ・その他戸籍の変動により戸籍の記録者数等の戸籍情報に変更がある場合に使用	戸籍特定ﾚｺｰﾄﾞの更新
B	戸籍事項情報 戸籍DBのうち，戸籍事項DBの内容に関して管理する	B．1	戸籍事項（編製）	・管内に新戸籍を編製する場合に使用（管外から管内への転籍は転籍の審査で対応）	戸籍事項ﾚｺｰﾄﾞの追加
		B．2	戸籍事項（消除）	・戸籍の変動により全部除籍となる場合に使用	戸籍事項ﾚｺｰﾄﾞの追加
		———	———	・B．1及びB．2以外の記録は各審査で対応（氏の変更，管内転籍等）	戸籍事項ﾚｺｰﾄﾞの追加
C	個人特定情報 戸籍DBのうち，個人特定DBの内容に関して管理する	C．1	個人特定（入籍）	・戸籍の変動により戸籍に個人が入籍する場合に使用	個人特定ﾚｺｰﾄﾞの追加
		C．2	個人特定（記録）	・配偶者区分・父母名・養父母名が変更となる場合に使用する（婚姻，養子縁組した養子等） ・戸籍の変動により除籍者となる場合に使用	個人特定ﾚｺｰﾄﾞの更新
D	氏名情報 戸籍DBのうち，氏名DBの内容に関して管理する	D．1	氏名（入籍）	・戸籍の変動により戸籍に個人が入籍する場合に使用	氏名ﾚｺｰﾄﾞの追加
		D．2	氏名（記録）	・現在の氏名に変更があった場合に使用〔今までの氏名を旧氏名として履歴に残す〕（戸籍の変動がない氏の変更，名の変更）	氏名ﾚｺｰﾄﾞの追加（履歴作成）
E	身分事項情報 戸籍DBのうち，身分事項DBの内容に関して管理する	———	———	・身分事項情報の記録は各届出によりすべて異なるため，各審査で対応	身分事項ﾚｺｰﾄﾞの追加

30100

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（ひな型）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2／9

処理名	A. 1 戸籍特定（編製）編集・出力	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）／戸籍特定 ←（引渡側）中間ファイル（届書），戸籍編製処理

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	サ=サブルーチン	Z9.,	
中間ファイル（仮戸籍） 戸籍特定	戸籍番号							決裁処理で設定
	編製日		中間ファイル（届書）	処理日 （または送付日 または受領日）				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	改製日							
	消除日							
	回復日							
	本籍コード			届後本籍コード				
	本籍			届後本籍				
	筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	記録者数		戸籍編製処理					戸籍に記録されている人数を設定 記録者数＝在籍者数
	在籍者数							戸籍に在籍している人数を設定
	除籍者数							
	戸籍除区分							0：現戸籍を設定
	戸籍異動区分							0：解除を設定

600

30101

第2 3 (1)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（ひな型）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／9

処理名	A．2 戸籍特定（記録）編集・出力	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）／戸籍特定 ←（引渡側）中間ファイル（届書），戸籍編製処理

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル（仮戸籍） 戸籍特定	戸籍番号							
	編製日		中間ファイル（届書）					
	改製日							
	消除日			処理日（または送付日または受領日）				【全部除籍のとき設定】処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	回復日							
	本籍コード			新本籍コード				【管内転籍のとき設定】
	本籍			新本籍				同 上
	筆頭者			変更後の筆頭者氏名				【筆頭者の氏及び名の変更のとき設定】
	記録者数		戸籍編製処理					【戸籍情報に変更があるとき設定】戸籍に記録されている人数を設定 記録者数＝在籍者数＋除籍者数
	在籍者数							【戸籍情報に変更があるとき設定】戸籍に在籍している人数を設定
	除籍者数							【戸籍情報に変更があるとき設定】戸籍から除籍になっている人数を設定
	戸籍除区分							全部除籍のとき1：除籍を設定
	戸籍異動区分							0：解除を設定

010

30102

第２３（４）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（ひな型）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	4／9

処理名	Ｂ．１戸籍事項（編製）編集・出力	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）／戸籍事項 ←（引渡側）戸籍編製処理，中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	Ｚ９．，	
中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）戸籍事項	戸籍番号							決裁処理で設定
	行番号							システムで設定（ＲＤＢのみ）
	出力区分							０：可を設定
	タイトルコード		戸籍編製処理					０００１：編製を設定
	記録コード							０００１：戸籍編製事項の記録を設定
	事件発生日		中間ﾌｧｲﾙ（届書）					
	戸籍事項項目							【編製】の戸籍事項項目を使用
	編製日			処理日（または送付日または受領日）				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	特記事項							

011

第2(3)(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（ひな型）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5／9

処理名：B．2 戸籍事項（消除）編集・出力

（受取側）中間ファイル（仮戸籍）／戸籍事項 ←（引渡側）戸籍編製処理，中間ファイル（届書）

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 サブルーチン	出力形態 Z9..	備考
中間ファイル（仮戸籍）戸籍事項	戸籍番号							決裁処理で設定
	行番号							システムで設定（RDBのみ）
	出力区分							0：可を設定
	タイトルコード		戸籍編製処理					0002：消除を設定
	記録コード							0002：戸籍消除事項の記録を設定
	事件発生日		中間ファイル（届書）					
	戸籍事項項目							【消除】の戸籍事項項目を使用
	消除日			処理日（または送付日または受領日）				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	特記事項							

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（ひな型）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	6／9

処理名	C．1 個人特定（入籍）編集・出力	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）／個人特定 ←（引渡側）中間ファイル（届書），戸籍編製処理

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	ｻｰﾋﾞｽﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍） 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	入籍日		中間ﾌｧｲﾙ（届書）	処理日 （または送付日 または受領日）				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別			父母との続柄		有		
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	父			父氏名				
	母			母氏名				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父			養父氏名				
	養母			養母氏名				
	養父母との続柄			養父母との続柄				
	前個人番号		戸籍編製処理					本籍内異動のときに従前戸籍の個人番号を設定
	個人除区分							0：在籍者を設定

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(ひな型)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	7/9

処理名: C. 2 個人特定(記録)編集・出力

(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/個人特定 ←(引渡側)中間ファイル(届書), 戸籍処理

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	 Z9..	
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍) 個人特定	個人番号							
	戸籍番号							
	入籍日		中間ﾌｧｲﾙ(届書)					
	除籍日			処理日 (または送付日 または受領日)				【個人が除籍になるとき設定】 処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分			配偶者区分				【個人情報に変更があるとき設定】
	父			父氏名				同 上
	母			母氏名				同 上
	父母との続柄							
	養父			養父氏名				同 上
	養母			養母氏名				同 上
	養父母との続柄							
	前個人番号		戸籍編製処理					
	個人除区分							【個人が除籍になるとき設定】 1:除籍者を設定

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（ひな型）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	8／9

処理名	D．1 氏名（入籍）編集・出力	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）／氏名 ←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目		変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	％9．，	備考
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍） 氏名	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							1を設定（RDBのみ）
	カナ氏名		中間ﾌｧｲﾙ（届書）	カナ氏名（入籍者のカナ氏名）				
	漢字氏名			漢字氏名（入籍者の漢字氏名）				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（ひな型）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	9／9

処理名	D．2 氏名（記録）編集・出力	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）／氏名 ←（引渡側）中間ファイル（届書）

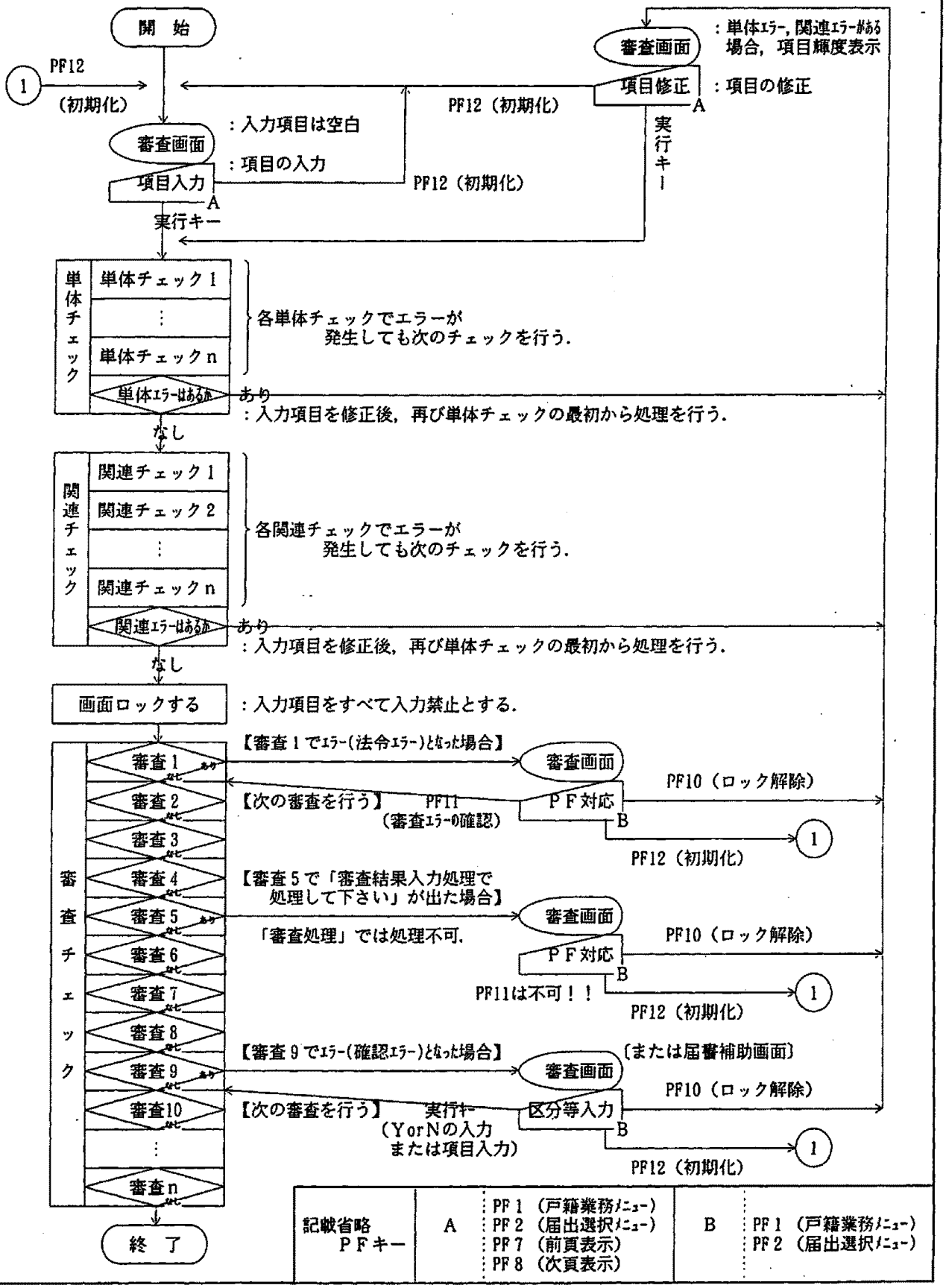
受取側			引渡側			コード変換有無 サーブルーチン	出力形態 Z9．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル（仮戸籍） 氏名	個人番号							
	行番号							システムで設定（RDBのみ）
	カナ氏名		中間ファイル（届書）	カナ氏名（事件本人のカナ氏名）				
	漢字氏名			漢字氏名（事件本人の漢字氏名）				

※ 現在の氏名に変更があった場合に，今までの氏名を旧氏名として履歴に残す。変更の要件としては下記のものがある。

- 戸籍の異動が無い氏の変更届（73条の2，77条の2関係も含む）
- 名の変更届
- 氏名の訂正

	補足説明書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1／1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
審査の流れについて（エラー処理）	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1



記載省略PFキー	A	PF1（戸籍業務ﾒﾆｭｰ） PF2（届出選択ﾒﾆｭｰ） PF7（前頁表示） PF8（次頁表示）	B	PF1（戸籍業務ﾒﾆｭｰ） PF2（届出選択ﾒﾆｭｰ）

30108

第7.2　要件定義書

（ 目 次 ）

(1)　「業務選択」処理
(2)　「検索」処理
(3)　「届出選択」処理
(4)　「異動検索」処理
(5)　「審査」処理
(6)　「処分決定」処理
(7)　「仮戸籍表示」処理
(8)　「エラー履歴表示」処理
(9)　「移記事項入力」処理
(10)　「決裁用帳票出力」処理
(11)　「決裁」処理
(12)　「証明書発行」処理
(13)　「各種ファイル更新」処理
(14)　「受領番号確保」処理
(15)　「帳票出力」処理
(16)　「統計」処理
(17)　「関連業務」処理
（帳票系，9条2項通知ファイル更新）
(18)　「一括」処理（高齢者消除，行政区画変更）

第7.2.(1)

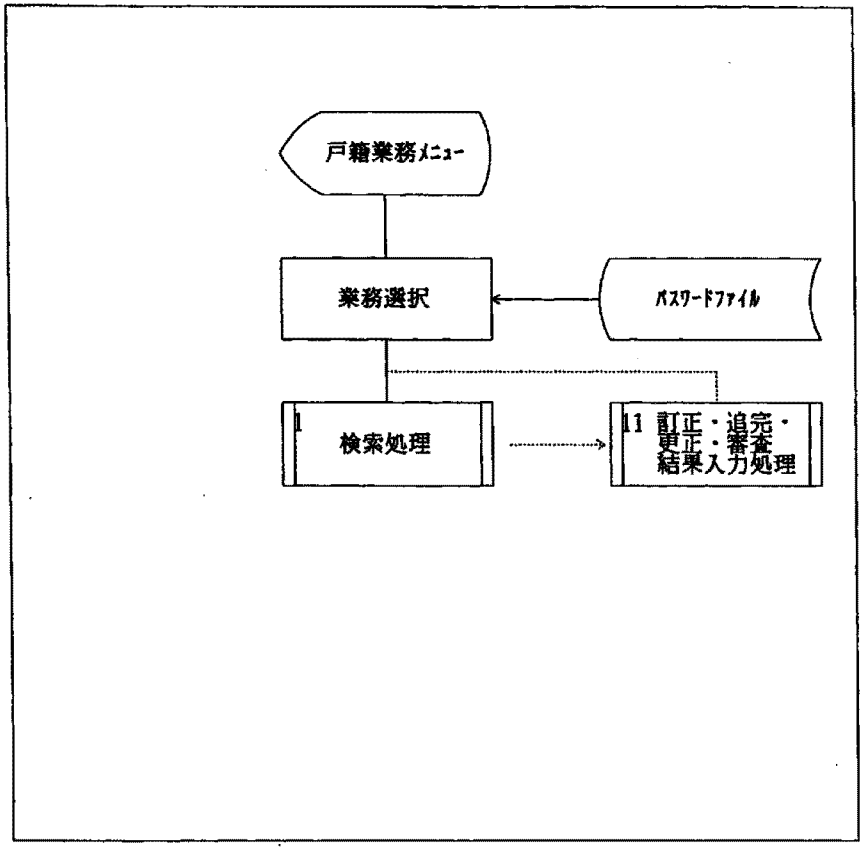
「業務選択」処理

第2(32)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		業務選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／5

30112

001

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
パスワードファイル	入力		

3．処理概要

(1) 業務選択番号の入力チェック

(2) 入力ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの入力チェック

(3) 検索処理～訂正･追完･更正･審査結果入力処理作業に制御を渡す

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙 ― 1.0 別紙1（パスワード・チェック）

└ 2.0 データチェック（単体表）

5．備考（特記事項含む）

(1) パスワードチェック　サブルーチン

第2(33)(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		業務選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2/5

処理名	0.0 本紙	根拠法令 (マニュアル処理)

(1) 戸籍業務メニュー画面を出力する						/	
(2) キー選択 (実行キー, その他)						/	
(3) 入力項目の単体チェック (OK:YES, NG:NO) [2.0]						/	
実行キー	YES	(4) パスワードのチェック (OK:YES, NG:NO) [1.0]				/	
		YES	(5) 業務選択番号 (1~11)			/	
			1	(6) 検索処理			(7) 検索処理に制御を渡す
			2	(8) 異動処理			(9) 異動処理に制御を渡す
			3	(10) 移記事項入力処理			(11) 移記事項入力処理に制御を渡す
			4	(12) 決裁処理			(13) 決裁処理に制御を渡す
			5	(14) 証明処理			(15) 証明処理に制御を渡す
			6	(16) 統計処理			(17) 統計処理に制御を渡す
			7	(18) 帳票出力処理			(19) 帳票出力処理に制御を渡す
			8	(20) 各種ファイル更新処理			(21) 各種ファイル更新処理に制御を渡す
			9	(22) 受領番号確保処理			(23) 受領番号確保処理に制御を渡す
			10	(24) 関連業務処理			(25) 関連業務処理に制御を渡す
			11	(26) 訂正・追完・更正・審査結果入力処理			(27) 訂正・追完・更正・審査結果入力処理に制御を渡す
		NO	(28) エラーメッセージ『パスワード・エラー』を表示する				(29) 同画面を編集する

30113

002

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		業務選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／5

処理名	0.0 本紙	根拠法令 (マニュアル処理)
実行キー	NO (30)エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示	(29)同画面を編集する
その他	(31)エラーメッセージ『無効なキーが入力されました』を表示する	

30114

003

第2(33)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		業務選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／5

処理名	1．0 別紙1（パスワード・チェック）			根拠法令 （マニュアル処理）
(1) 入力されたパスワードをキーにパスワードファイルを読む（ある：YES，なし：NO）		／		
YES	(2) 内容をチェックする（OK：YES，NG：NO） <<自治体，メーカー独自>>	／		パスワードチェック・サブルーチン
YES	(3) 操作員資格区分を参照する	／		
NO	(4) エラー	／		
NO	(5) エラー	／		

30115

004

第2(35)	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		業務選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5／5

処理名	画面名	画面ID	
2．0 入力項目チェック	業務選択メニュー		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	業務選択番号	○	数字	01～11であること	『項目エラーがあります。		
02	パスワード	○	数字	数字であること	正しく入力して下さい。』		

30116

005

30117

第7.2.(2)

「検索」処理

第 7. 2.（2）

「検 索」処 理

作業名

1．検索処理
2．検索選択
3．該当戸籍一覧表示
4．戸籍構成員一覧表示
5．個人詳細表示
6．不受理申出ファイル表示
7．個人状態ファイル表示
8．受付ファイル選択表示
9．受付ファイル検索

基準書修正履歴

平成 10 年 2 月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料No
1	第7.2.(2) 受付ファイル選択表示	1．受付ファイル選択 ・検索キーに，生年月日，受理送付区分を追加	34 37 37-1 39 41	
1	第7.2.(2) 受付ファイル検索	1．受付ファイル検索 ・事件本人の筆頭者表示	48	

30120

標準仕様書修正履歴

平成29年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(2) (「検索」処理)	1．標準仕様書修正 1．システム処理の概要説明 (受205) 受付ファイル検索の検索項目に生年月日と 受理送付区分を追記する。 ※併せて項目名を分かりやすく修正する。 2．関連チェック表 (受205) 生年月日を追記する。	 001 043	

1. 検索処理の概要

A. 個人検索
・個人検索処理には，該当戸籍一覧表示，戸籍構成員一覧表示，個人詳細表示，個人状態表示，不受理申出表示がある
・該当戸籍一覧表示では，該当戸籍を表示選択し，戸籍構成員一覧表示では，該当戸籍の構成員を表示し個人を選択する
個人詳細表示及び個人状態ファイル表示，不受理申出ファイル表示では，選択された個人の各ファイルを検索して表示する
・該当戸籍一覧表示での検索項目は，本籍，氏名，仮名氏名，生年月日，筆頭者の氏名，戸籍の編製日，戸籍の消除日，入籍日，除籍日及び戸籍又は除籍の別の10項目であり，当説明では，本籍，漢字氏名，カナ氏名，生年月日，筆頭者と称して5検索キーのみの説明を記す。

B. 受付検索
・受付検索には，受付ファイル選択，受付ファイル検索があり，受付ファイル選択で選択された受付ファイルの内容を受付ファイル検索で表示する
・受付ファイル選択での検索項目は，受付(受領)番号，氏名，カナ氏名，生年月日，届書等の受領年月日，届出事件の種別，渉外事件であるかどうかの別，受理か送付であるかどうかの別及び処分決定における処分の区分であり，当説明では，受領番号，漢字氏名，カナ氏名，生年月日，受領日，届出事件コード，渉外区分，受理送付区分，処分区分と称して説明を記す。

2. 各検索画面でのPFキー

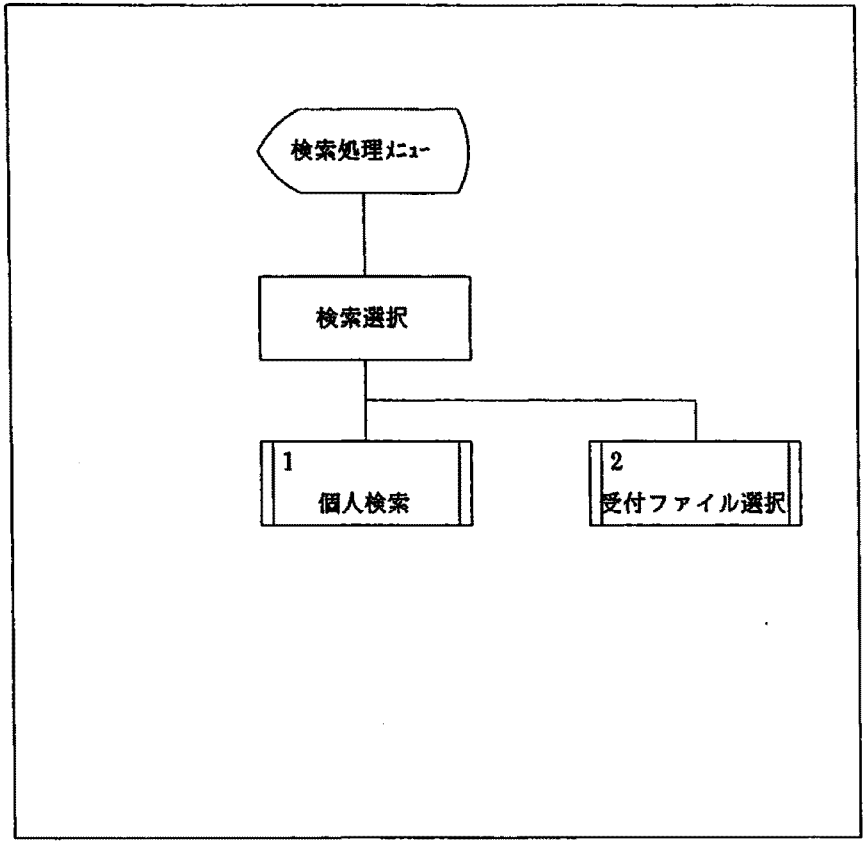
画面 / PFキー	検索処理メニュー	該当戸籍一覧	戸籍構成員一覧	個人詳細表示	不受理申出表示	個人状態表示	受付ﾌｧｲﾙ選択	受付ﾌｧｲﾙ検索
PF1	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー
PF2		検索処理メニュー	検索処理メニュー	検索処理メニュー	検索処理メニュー	検索処理メニュー	検索処理メニュー	検索処理メニュー
PF3				前頁構成員				前履歴表示
PF4				次頁構成員				次履歴表示
PF5			該当戸籍一覧	戸籍構成員一覧	戸籍構成員一覧	戸籍構成員一覧		受付ﾌｧｲﾙ選択
PF6				前戸籍個人表示				
PF7		前頁表示	構成員項目前頁	前頁表示	前頁表示		前頁表示	前頁表示
PF8		次頁表示	構成員項目次頁	次頁表示	次頁表示		次頁表示	次頁表示
PF9					個人詳細表示	個人詳細表示		
PF10			戸籍項目前頁	不受理申出表示		不受理申出表示		
PF11			戸籍項目次頁	個人状態表示	個人状態表示			
PF12		入力画面初期化					入力画面初期化	
実行キー	該当戸籍一覧 受付ﾌｧｲﾙ選択	戸籍構成員一覧	個人詳細表示				受付ファイル検索	

第2章(2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		検索選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2／4

30122

002

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分

3．処理概要

(1) 検索処理選択番号の入力チェック

(2) 個人検索，受付ファイル選択に制御を渡す

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙 ——— 1.0 データチェック（単体表）

5．備考（特記事項含む）

第2 (33)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		検索選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／4

処理名	0.0 本紙	根拠法令 (マニュアル処理)

(1) 検索処理メニュー画面を出力する					／	
(2) キー選択 (実行キー, PF1, その他)					／	
実行キー	(3) 選択番号の入力チェック (OK:YES, NG:NO) [1.0]				／	
	YES	(4) 選択番号 (1～2)			／	
		1	(5) 個人検索			(6) 該当戸籍一覧表示に制御を渡す
		2	(7) 受付ファイル検索			(8) 受付ファイル選択表示に制御を渡す
	NO	(9) エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示する				(10)同画面を編集する
PF1	⟶					(11)業務選択に制御を渡す
その他	(12)エラーメッセージ『無効なキーが入力されました』を表示する					(13)同画面を編集する

30123

003

第2 (53)	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		検索選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／4

処理名	画面名	画面ID	
1．0 検索処理選択番号のチェック	検索処理メニュー		

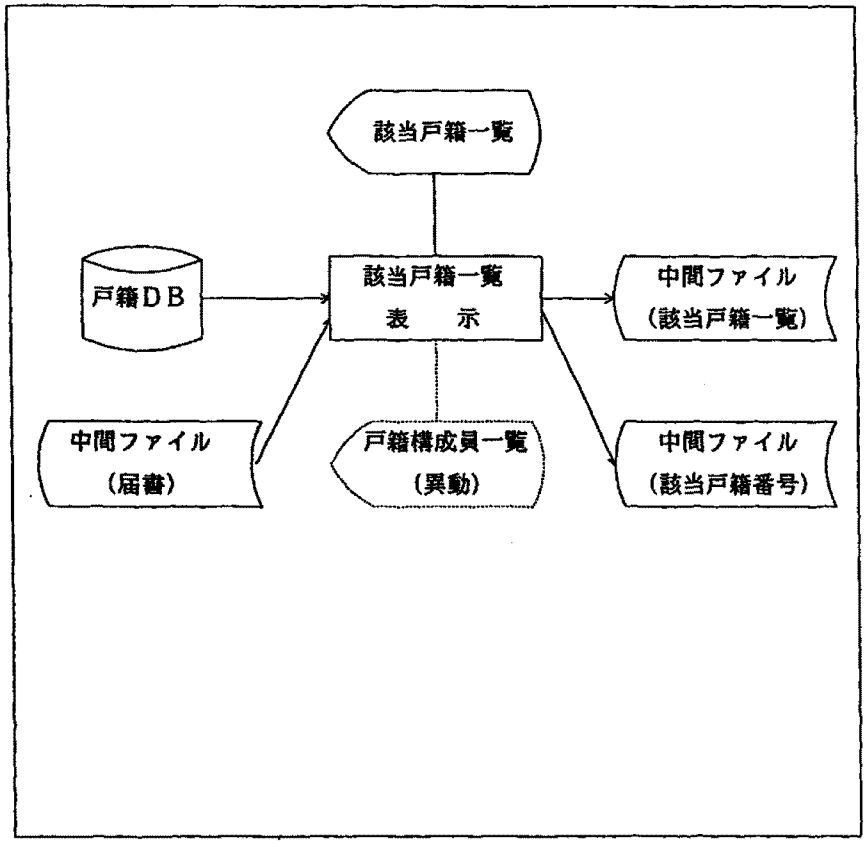
No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	選択番号	○	数字	1～2であること	『項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。』		

30124

004

第2(2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		該当戸籍一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／10

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名　称	入出力区分	名　称	入出力区分
戸籍ＤＢ	入力		
中間ファイル（該当戸籍一覧）	入出力		
中間ファイル（該当戸籍番号）	出力		

3．処理概要

(1) 検索キーの入力及びキーによる戸籍ＤＢの検索

a. カナ氏名（氏，氏名）　※従前のカナ氏名含む

b. 漢字氏名（氏，氏名）　※従前の漢字氏名含む

c. 本籍地　（前方一致）：各自治体の判断により異なる

d. 生年月日（前方一致）

e. 筆頭者　（氏名）

(2) 該当戸籍の表示及び該当戸籍選択

(3) 戸籍構成員一覧へ制御を渡す

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙
- 1.0 別紙１（検索）
- 2.0 データ編集表（中間ファイル作成（該当戸籍一覧））
- 3.0 データ編集表（該当戸籍一覧画面作成）
- 4.0 データ編集表（中間ファイル作成（該当戸籍番号））
- 5.0 データチェック（単体表）
- 6.0 データチェック（単体表）
- 7.0 データチェック（関連表）

5．備考（特記事項含む）

第2 (33)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		該当戸籍一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2／10

処理名	0．0 本紙 (1／2)	根拠法令 (マニュアル処理)

(1) 該当戸籍一覧画面を出力する											／		
(2) キー選択 (実行キー，PF1，PF2，PF12，その他)											／		
実行キー	(3) 入力検索キーのチェック (OK：YES，NG：NO) [5.0] [7.0]										／		
	YES	(4) カナ氏名～筆頭者で検索する [1.0]									／		
		(5) 0<検索人数<100か？(YES，NO)									／		MAX件数は任意
		YES	(6) 該当戸籍一覧画面編集・出力する [3.0]								／		
			(7) キー選択 (該当番号の入力 (実行キー)，PF1，PF2，PF7，PF8，PF12，その他)								／		
			実行キー	(8) 該当番号のチェック (OK：YES，NG：NO) [6.0]							／		
				YES	(9) 中間ファイル (該当戸籍番号) を編集・出力する [4.0]							(10)戸籍構成員一覧表示に制御を渡す	
				NO	(11)エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示する							(12)同画面を編集する	
			PF1	⟶								(13)業務選択に制御を渡す	
			PF2	⟶								(14)検索選択に制御を渡す	
			PF7	(15)前ページがあるか？(ある：YES，なし：NO)							／	(17)同画面を編集する	
				YES	(16)前ページ分の該当戸籍一覧画面編集								
				NO	(18)エラーメッセージ『先頭ページです』を表示する								
			PF8	(19)次ページがあるか？(ある：YES，なし：NO)							／		
				YES	(20)次ページ分の該当戸籍一覧画面編集								
				NO	(21)エラーメッセージ『最終ページです』を表示する								
			PF12	(22)入力画面を初期化する									
			その他	(23)エラーメッセージ『無効なキーが入力されました』を表示する									
		NO	(24)検索人数=0	エラーメッセージ『該当者がありません。再度，検索キーを入力して下さい。』を表示する									

30126

900

第2(33) (33)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		該当戸籍一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3/10
処理名	0.0 本紙 (2/2)				根拠法令 (マニュアル処理)		

実行キー	YES	NO	(25)検索人数>99	エラーメッセージ『該当者が多過ぎます。再度、検索キーを入力して下さい。』を表示する	(17)同画面を編集する
	NO	(26)エラーメッセージ			
PF1	→				(27)業務選択に制御を渡す
PF2	→				(28)検索選択に制御を渡す
PF12	(29)入力画面を初期化する				(30)同画面を編集する
その他	(31)エラーメッセージ『無効なキーが入力されました。』を表示する				

30127

007

第2 (33)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		該当戸籍一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4/10

処理名	1.0 別紙1（検索処理）	根拠法令 （マニュアル処理）

(1) 検索キー（カナ氏名）の入力あるか			／		
YES	(2) カナ名の入力あるか		／		
	YES	(3) カナ氏名を検索キーとする	／		
	NO	(4) カナ氏のみを検索キーとする	／		
NO	(5) カナ氏名は検索キーとしない		／		
(6) 検索キー（漢字氏名）の入力あるか			／		
YES	(7) 漢字名の入力あるか		／		
	YES	(8) 漢字氏名を検索キーとする	／		
	NO	(9) 漢字氏のみを検索キーとする	／		
NO	(10)漢字氏名は検索キーとしない		／		
(11)検索キー（本籍地）の入力あるか			／		
YES	(12)本籍地を検索キーとする		／		
NO	(13)本籍地は検索キーとしない		／		
(14)検索キー（生年月日）の入力あるか			／		
YES	(15)生年月日を検索キーとする		／		
NO	(16)生年月日は検索キーとしない		／		
(17)検索キー（筆頭者）の入力あるか			／		
YES	(18)筆頭者を検索キーとする		／		
NO	(19)筆頭者は検索キーとしない		／		
(20)上記で指定した検索キーで戸籍ＤＢを全件読み込む （カナ氏名・漢字氏名は、旧氏名の場合もあるため、個人の氏名履歴全て対象とする）			／		
	(21)中間ファイル（該当戸籍一覧）に編集・出力する	[2.0]	／		
(22)検索終了				(23)本紙へ	
			／		
			／		
			／		
			／		
			／		
			／		

30128

008

第2(3)(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		該当戸籍一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5/10

処理名	2.0 中間ファイル（該当戸籍一覧）作成処理	（受取側）中間ファイル（該当戸籍一覧）	← （引渡側）戸籍DB

受取側			引渡側			コード変換有無（ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ）	出力形態 Z9..	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル（該当戸籍一覧）	戸籍番号		戸籍DB戸籍特定	戸籍番号				
	本人氏名		戸籍DB氏名	漢字氏名				※ 最新の戸籍DB氏名よりセット
	筆頭者		戸籍DB戸籍特定	筆頭者				
	生年月日		戸籍DB個人特定	生年月日				
	編製日		戸籍DB戸籍特定	編製日				
	消除日			消除日				
	除籍日		戸籍DB個人特定	除籍日				個人除区分が『2』（戸籍消除者）の場合のみ all『－』（ハイフン）をセット
	本籍・住所コード		戸籍DB戸籍特定	本籍・住所コード				
	本籍地番			本籍地番				
	旧氏名表示		戸籍DB氏名	－				※ 検索した氏名が戸籍DB氏名の最新でない場合『1』セット

30129

009

30130

第2(3)(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		該当戸籍一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	6/10

処理名	3.0 該当戸籍一覧編集処理	(受取側) 該当戸籍一覧画面	← (引渡側) 中間ファイル (該当戸籍一覧)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
該当戸籍一覧画面	現ページ，総ページ		−	−				
	カナ氏名		該当戸籍一覧画面	(同項目)				
	漢字氏名			(同項目)				
	本籍			(同項目)				
	生年月日			(同項目)				
	筆頭者			(同項目)				
(本人氏名～本籍地) 最大1画面 5人	本人氏名 1～5		中間ファイル (該当戸籍一覧)	本人氏名				
	旧氏名表示 1～5			旧氏名表示				1の場合『旧』
	筆頭者 1～5			筆頭者				
	生年月日 1～5			生年月日		有		
	編製日 1～5			編製日		有		
	消除日 1～5			消除日		有		
	除籍日 1～5			除籍日		有		
	本籍地 1～5			本籍・住所コード		有		
				本籍地番				
	該当番号		—	—				

010

30131

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		該当戸籍一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	7/10

処理名	4.0 中間ファイル（該当戸籍番号）作成処理	（受取側）中間ファイル（該当戸籍番号）	← （引渡側）中間ファイル（該当戸籍一覧）

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9..	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル （該当戸籍番号）	戸籍番号		中間ファイル （該当戸籍一覧）	戸籍番号				

011

第2編（5）	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		該当戸籍一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	8／10

処理名	画面名	画面ID	
5．0 入力検索キーのチェック	該当戸籍一覧		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
01	カナ氏名		カナ		『項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。』		
02	漢字氏名		漢字				
03	本籍		漢字	『管内本籍住所変換サブルーチン』			
04	生年月日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
05	筆頭者		漢字	氏、名共に入力があること			

30132

第2編（5）	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		該当戸籍一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	9／10

処理名	画面名	画面ID	
6．0 該当番号のチェック	該当戸籍一覧		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
01	該当番号	○	数字	表示している該当戸籍のNo（MAX05）	『項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。』		

30133

013

第2表(3/6)	データチェック（関連表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		該当戸籍一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	10／10

処理名	画面名	画面ID	
7．0 入力検索キーのチェック	該当戸籍一覧		

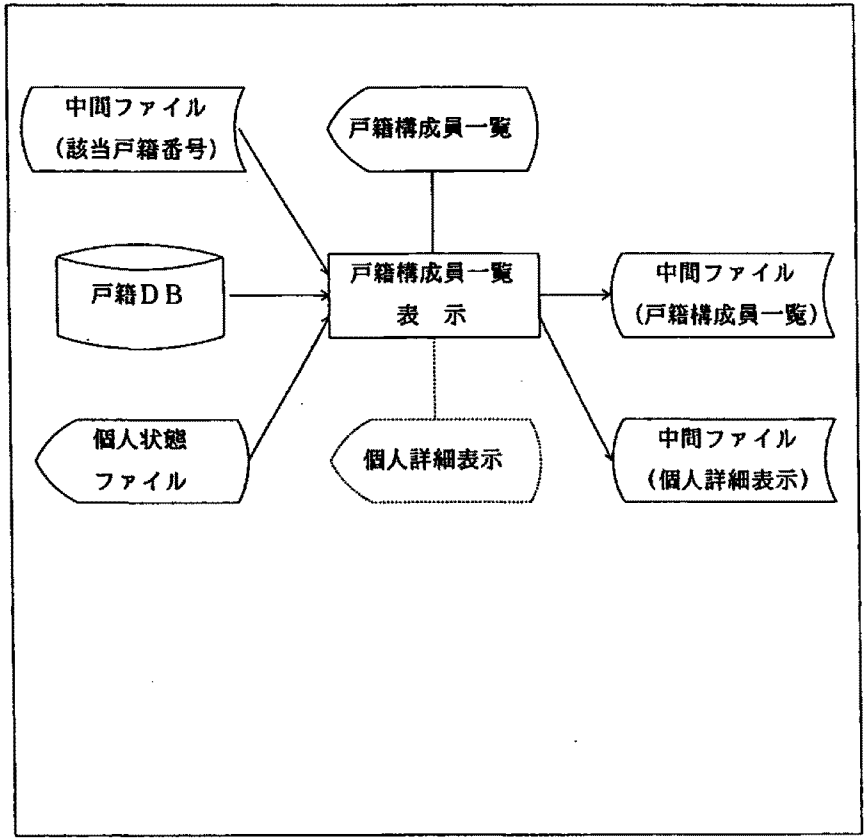
No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.1) カナ氏名，(NO.2) 漢字氏名，(NO.3) 本籍，(NO.4) 生年月日，(NO.5) 筆頭者のいずれかに必ず入力があること（複数入力可能）	『関連エラーがあります。正しく入力して下さい。』		

30134

014

第2章（2）	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		戸籍構成員一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／9

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名　称	入出力区分	名　称	入出力区分
戸籍ＤＢ	入力	中間ファイル（個人詳細表示）	出力
中間ファイル（該当戸籍番号）	入力		
中間ファイル（戸籍構成員一覧）	入出力		
個人状態ファイル	入力		

3．処理概要

(1) 中間ファイル（該当戸籍番号）の戸籍番号をキーに戸籍ＤＢ，個人状態ファイルを検索し，戸籍事項，個人事項等を編集する

(2) 戸籍構成員の個人番号をキーに個人状態ファイルを読み込み編集する

(3) 戸籍構成員一覧の表示及び個人詳細番号の選択

(4) 選択された中間ファイル（個人詳細表示）を編集・出力する

(5) 個人詳細表示へ制御を渡す

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表（中間ファイル作成（戸籍構成員一覧））
- 2.0 データ編集表（戸籍構成員一覧画面作成）
- 3.0 データ編集表（中間ファイル作成（個人詳細表示））
- 4.0 データチェック（単体表）

5．備考（特記事項含む）

第2(3)(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍構成員一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2/9

処理名	0.0 本紙 (1/2)	根拠法令 (マニュアル処理)

(1) 中間ファイル（該当戸籍番号）を読む			/		
(2) 中間ファイル（該当戸籍番号）の戸籍番号をキーとして戸籍DBをよむ			/		
(3) 戸籍DBの個人特定を全件読む			/		
(4) 戸籍DB．個人特定の個人番号をキーとして個人状態ファイルを読む			/		
(5) 中間ファイル（戸籍構成員一覧）に編集・出力する [1.0]			/		
(6) 戸籍構成員一覧画面を編集する [2.0]				(7)同画面を編集する	
(8) キー選択（詳細選択番号の入力（実行キー），PF1，PF2，PF5，PF7，PF8，PF10，PF11，その他）			/		
実行キー	(9)詳細選択番号のチェックをする（OK：YES，NG：NO） [4.0]		/		
	YES	(10)中間ファイル（戸籍構成員一覧）を全件読む	/		
		(11)中間ファイル（戸籍構成員一覧）を中間ファイル（個人詳細表示）へ編集・出力する [3.0]		(12)個人詳細表示に制御を渡す	
	NO	(13)エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示する		(14)同画面を編集する	
PF1	⟶			(15)業務選択に制御を渡す	
PF2	⟶			(16)検索選択に制御を渡す	
PF5	⟶			(17)該当戸籍一覧表示に制御を渡す	
PF7	(18)戸籍構成員の前ページがあるか（ある：YES，なし：NO）		/	(20)同画面を編集する	
	YES	(19)前ページ分の構成員欄の戸籍構成員一覧画面を編集する			
	NO	(21)エラーメッセージ『先頭のページです』を表示する			
PF8	(22)戸籍構成員の次ページがあるか（ある：YES，なし：NO）		/		
	YES	(23)次ページ分の構成員欄の戸籍構成員一覧画面を編集する			
	NO	(24)エラーメッセージ『最終のページです』を表示する			
PF10	(25)戸籍事項の前ページがあるか（ある：YES，なし：NO）		/		
	YES	(26)前ページ分の戸籍事項欄の戸籍構成員一覧画面を編集する			
	NO	(27)エラーメッセージ『先頭のページです』を表示する			

第2 (33)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍構成員一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3/9

処理名	0.0 本紙 (2/2)	根拠法令 (マニュアル処理)

	(28)戸籍事項の次ページがあるか (ある：YES，なし：NO)	/	(20)同画面を編集する	
PF11	YES	(29)次ページ分の戸籍事項欄の戸籍構成員一覧画面を編集する		
	NO	(30)エラーメッセージ『最終のページです』を表示する		
その他	(31)エラーメッセージ『無効なキーが入力されました』を表示する			

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍構成員一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4/9

処理名	1．0 中間ﾌｧｲﾙ(構成員一覧)作成 1／2	(受取側) 中間ファイル (戸籍構成員一覧)	← (引渡側) 戸籍ＤＢ，個人状態

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
ＤＢ・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ＤＢ・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (戸籍構成員一覧)	編製日		戸籍ＤＢ戸籍特定	編製日				
	消除日			消除日				
	記録数		戸籍ＤＢ個人特定	－				個人特定の数
	在籍数			－				個人特定中，在籍者の数
	本籍・住所コード		戸籍ＤＢ戸籍特定	本籍・住所コード				
	本籍地番			本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	戸籍事項コード		戸籍ＤＢ戸籍事項	戸籍事項コード				複数有り
	戸籍事項			戸籍事項項目				
	個人番号		戸籍ＤＢ個人特定	個人番号				
	カナ氏名		戸籍ＤＢ氏名	カナ氏名				最新のもの
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日		戸籍ＤＢ個人特定	生年月日				
	除籍日			除籍日				個人除区分が『２』(戸籍消除者)の場合のみ all『－』(ハイフン)をセット
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	父			父				
	母			母				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母との続柄			養父母との続柄				
	前個人番号			前個人番号				
	タイトルコード		戸籍ＤＢ身分事項	タイトルコード				複数有り
	記載コード			記載コード				

第2章3節(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍構成員一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5/9

処理名	1.0 中間ﾌｧｲﾙ(構成員一覧)作成 2/2	(受取側) 中間ファイル (戸籍構成員一覧)	← (引渡側) 戸籍DB, 個人状態

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (戸籍構成員一覧)	身分事項		戸籍DB身分事項	身分事項				複数有り
	家裁		個人状態	裁判所通知区分				
	破産宣告人区分			破産宣告人区分				証明業務での身分証明書発行検索でのみセット
	受理伺い区分			受理伺い区分				
	保留区分			保留区分				
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	メモ区分			メモ				メモにデータがあれば『1』セット

30140

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍構成員一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	6/9

処理名	2.0 戸籍構成員一覧編集処理	(受取側) 戸籍構成員一覧画面	← (引渡側) 中間ファイル (戸籍構成員一覧)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
戸籍構成員一覧画面	現ページ, 総ページ		−	−			Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル (戸籍構成員一覧)	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍・住所コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	戸籍事項			戸籍事項				複数有り
	氏名 1～8			漢字氏名				
	生年月日 1～8			生年月日		有		
	除籍日 1～8			除籍日		有		
	続柄 1～8			続柄		有		
	配偶 1～8			配偶者区分		有		
	家裁 1～8			家裁				1の場合『※』
	受理伺い 1～8			受理伺い区分				1の場合『※』
	保留 1～8			保留区分				1の場合『※』
	胎児 1～8			胎児認知区分				1の場合『※』
	メモ 1～8			メモ区分				1の場合『※』
	詳細選択番号		−	−				

020

30141

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍構成員一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	7/9

処理名	3．0 中間ﾌｧｲﾙ(個人詳細)作成 1／2	(受取側) 中間ファイル (個人詳細表示)	← (引渡側) 中間ファイル (戸籍構成員一覧)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9..	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (個人詳細表示)	選択区分		—	—				選択されたものに『1』セット
	編製日		中間ファイル (戸籍構成員一覧)	編製日				
	消除日			消除日				
	記録数			記録数				
	在籍数			在籍数				
	本籍・住所コード			本籍・住所コード				
	本籍地番			本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	個人番号			個人番号				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	除籍日			除籍日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	父			父				
	母			母				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母との続柄			養父母との続柄				
	前個人番号			前個人番号				
	事件名			事件名				複数有り
	身分事項			身分事項				
	家裁			家裁				
	破産宣告人区分			破産宣告人区分				

021

30142

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍構成員一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	8/9

処理名	3.0 中間ﾌｧｲﾙ(個人詳細)作成 2/2	(受取側) 中間ファイル (個人詳細表示)	← (引渡側) 中間ファイル (戸籍構成員一覧)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9..	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (個人詳細表示)	受理伺い区分		中間ファイル (戸籍構成員一覧)	受理伺い区分				
	保留区分			保留区分				
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	メモ区分			メモ区分				

022

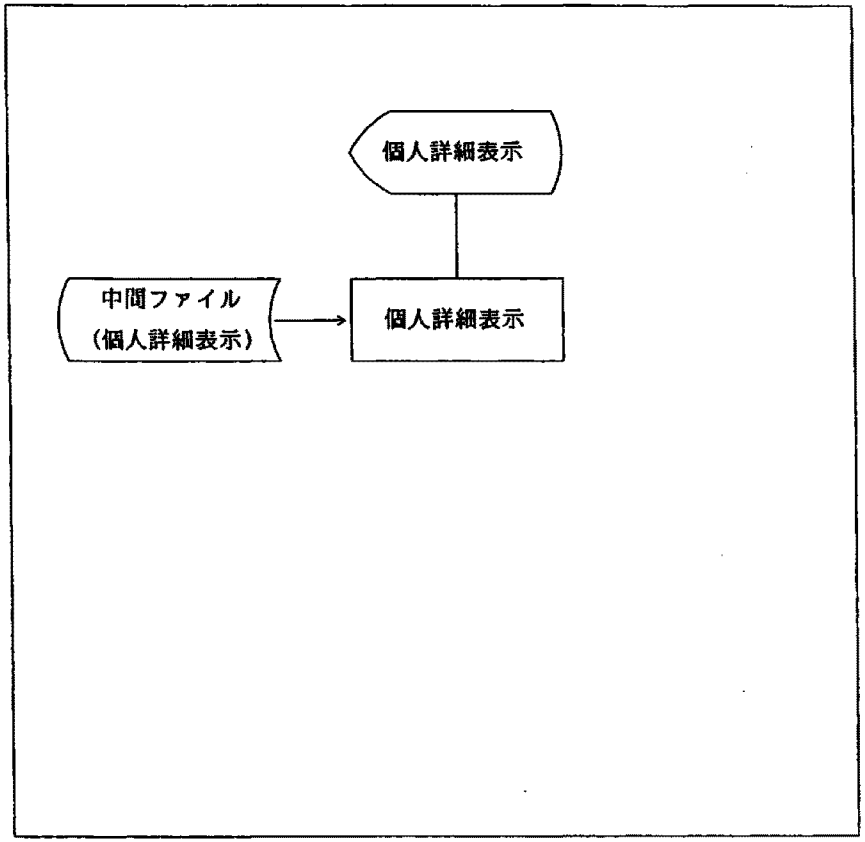
第2章（5）	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍構成員一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	9／9

処理名	画面名	画面ID	
4．0 詳細選択番号のチェック	戸籍構成員一覧		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	詳細選択番号	○	数字	表示している構成員のNo（MAX08）	『項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。』		

第2(33)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		個人詳細表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／4

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (個人詳細表示)	入力		

3．処理概要

(1) 中間ファイル（個人詳細表示）を読み込み，個人事項等を編集する

(2) 個人詳細表示画面の表示

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙 ——— 1.0 データ編集表（個人詳細表示画面作成）

5．備考（特記事項含む）

第2 3 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人詳細表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2/4

処理名	0.0 本紙	根拠法令	（マニュアル処理）

(1) 中間ファイル（個人詳細表示）を選択されたデータ（選択区分='1'）まで読みとばし，該当データを読み込む		／		
(2) 個人詳細表示画面を編集・表示する [1.0]		／		
(3) キー選択（PF1，PF2，PF3，PF4，PF5，PF7，PF8，PF10，PF11，その他）		／		
PF1	⟶		(4) 業務選択に制御を渡す	
PF2	⟶		(5) 検索選択に制御を渡す	
PF3	(6) 一件前の中間ファイル（個人詳細表示）があるか？（ある：YES，なし：NO）	／	(9) 同画面を編集する	
	YES (7) 該当する中間ファイル（個人詳細表示）を読み (2)へ	／		
	NO (8) エラーメッセージ『この前には構成員がありません』を表示する			
PF4	(10)一件後の中間ファイル（個人詳細表示）があるか？（ある：YES，なし：NO）	／		
	YES (11)該当する中間ファイル（個人詳細表示）を読み (2)へ	／		
	NO (12)エラーメッセージ『この後には構成員がありません』を表示する			
PF6	(13)中間ファイル（個人詳細表示）の前個人番号にデータがあるか？（ある:YES，なし:NO）	／		前戸籍個人表示（要件定義書省略）からの戻りは，頭初の個人詳細表示へ制御を渡す
	YES (14)前個人番号により前戸籍個人を検索し編集する			
	NO (15)エラーメッセージ『該当する戸籍はありません』を表示する			
PF7	(16)前ページがあるか？（ある：YES，なし：NO）	／		
	YES (17)前ページ分の個人詳細表示を編集する			
	NO (18)エラーメッセージ『先頭のページです』を表示する			
PF8	(19)次ページがあるか？（ある：YES，なし：NO）	／		
	YES (20)次ページ分の個人詳細表示を編集する			
	NO (21)エラーメッセージ『最後のページです』を表示する			
PF10	⟶		(22)不受理申出表示に制御を渡す	
PF11	⟶		(23)個人状態表示に制御を渡す	
その他	(24)エラーメッセージ『無効なキーが入力されました』を表示する		(25)同画面を編集する	

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人詳細表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／4

処理名	1．0 個人詳細表示編集処理 1／2	（受取側）個人詳細表示画面	← （引渡側）中間ファイル（戸籍構成員一覧）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
個人詳細表示画面	現ページ，総ページ		－	－			Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル（個人詳細表示）	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	家裁通知			家裁				1の場合『有』
	伺い			受理伺い区分				1の場合『有』
	保留			保留区分				1の場合『有』
	胎児			胎児認知区分				1の場合『有』
	メモ			メモ区分				1の場合『有』
	本籍			本籍・住所コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	除籍日			除籍日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分				1の場合『筆頭者』
	配偶者区分			配偶者区分		有		
	破産宣告人区分			破産宣告人区分				1の場合『破産者』
	父			父				
	母			母				
	父母との続柄			父母との続柄		有		
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母との続柄			養父母との続柄		有		
	事件SEQ		－	－				

30147

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人詳細表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／4

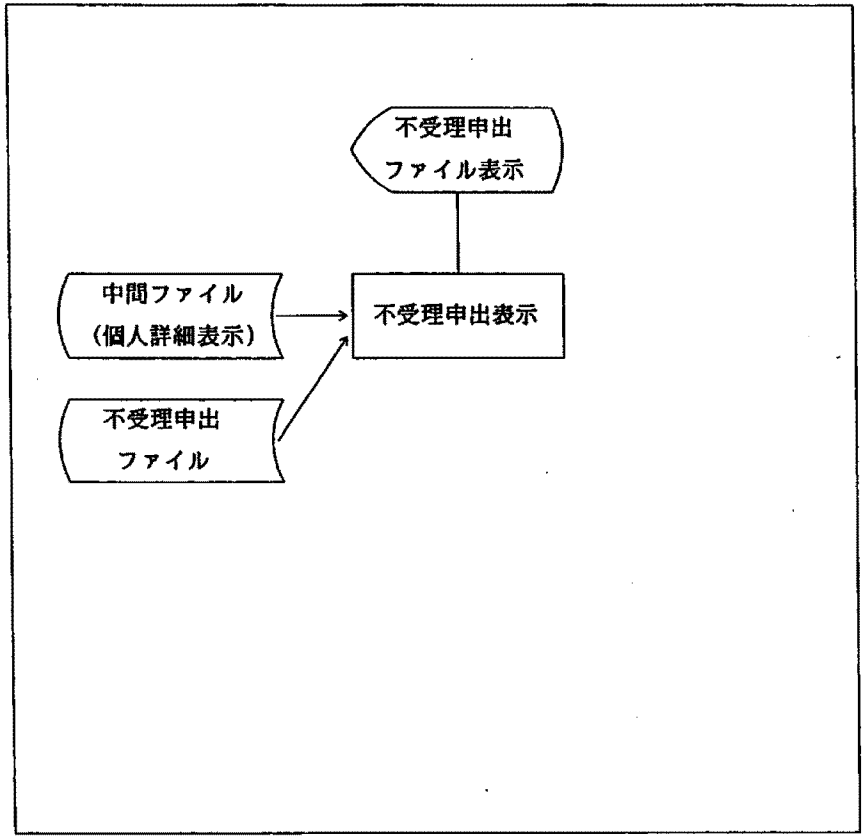
処理名	1．0 個人詳細表示編集処理 2／2	(受取側) 個人詳細表示画面	← (引渡側) 中間ファイル (戸籍構成員一覧)

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 ｻｰﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9．，	
個人詳細表示画面	事件名称		中間ファイル (個人詳細表示)	事件名		有		複数有り 事項証明書と同形式が基本であるが画面表示する場合で1身分事項内に限り，ベタ打ちを可とする
	身分事項記録項目			身分事項				

027

第2(3)(2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		不受理申出ファイル表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／3

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル（個人詳細表示）	入力		
不受理申出ファイル	入力		

3．処理概要

(1) 中間ファイル（個人詳細表示）の個人番号をキーに不受理申出ファイルを検索し，ファイルの内容等を編集する

(2) 不受理申出ファイル表示画面の表示

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙 ——— 1.0 データ編集表（不受理申出ファイル表示画面編集）

5．備考（特記事項含む）

第2(33)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		不受理申出ファイル表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2/3

処理名	0.0 本紙 (3) 不受理申出ファイル表示画面を編集・表示する	根拠法令 (マニュアル処理)

(1) 中間ファイル(個人詳細表示)を選択されたデータ(選択区分='1')まで読みとばし, 該当データを読み込む		/	
(2) 中間ファイル(個人詳細表示)の個人番号をキーとして不受理申出ファイルを検索する ※整理番号違いで複数件有り (OK:YES, NG:NO)		/	
YES	(3) 不受理申出ファイル表示画面を編集・表示する [1.0]	/	
NO	(4) エラーメッセージ『不受理申出はありません』を表示する		(5) 同画面を編集する
(6) キー選択(PF1, PF2, PF5, PF7, PF8, PF9, PF11, その他)		/	
PF1	⟶		(7) 業務選択に制御を渡す
PF2	⟶		(8) 検索選択に制御を渡す
PF5	⟶		(9) 戸籍構成員一覧表示に制御を渡す
PF7	(10)不受理申出の前ページがあるか(ある:YES, なし:NO)	/	(12)同画面を編集する
	YES (11)前ページ分の不受理申出ファイル表示画面を編集する		
	NO (13)エラーメッセージ『最終のページです』を表示する		
PF8	(14)不受理申出の次ページがあるか(ある:YES, なし:NO)	/	
	YES (15)次ページ分の不受理申出ファイル表示画面を編集する		
	NO (16)エラーメッセージ『最終のページです』を表示する		
PF9	⟶		(17)個人詳細表示に制御を渡す
PF11	⟶		(18)個人状態表示に制御を渡す
その他	(19)エラーメッセージ『無効なキーが入力されました』を表示する		(20)同画面を編集する

30150

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		不受理申出ファイル表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／3

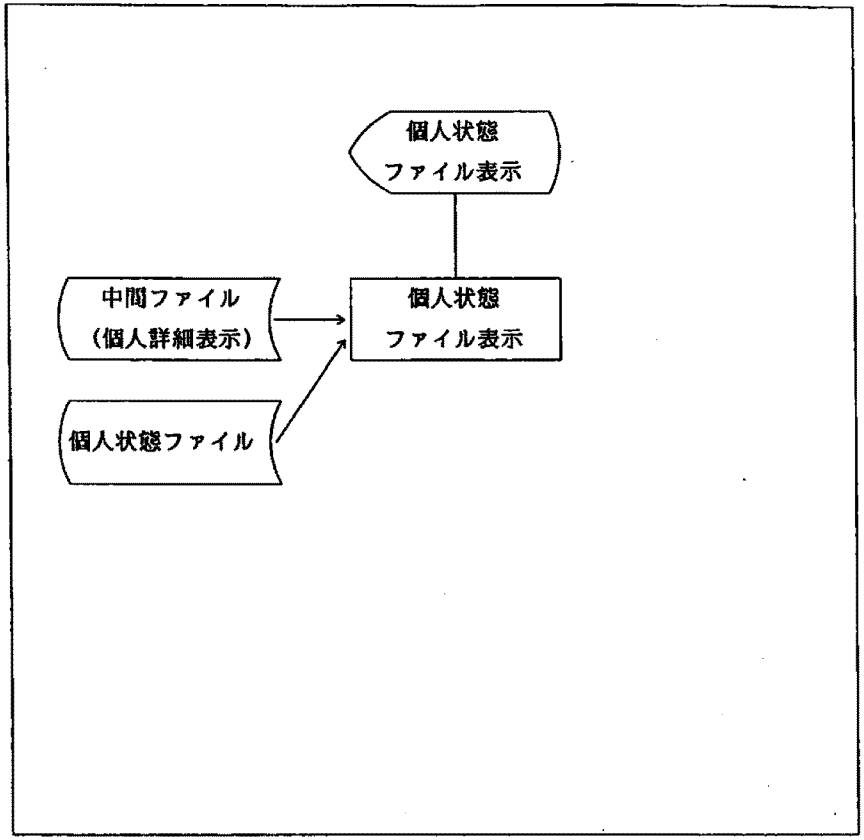
処理名	1．0 不受理申出ファイル表示画面編集	(受取側) 不受理申出ファイル表示画面	← (引渡側) 中間ファイル(個人詳細), 不受理申出ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
不受理申出	現ページ，総ページ		—	—				
ファイル表示画面	カナ氏名		中間ファイル	カナ氏名				
	漢字氏名		(個人詳細表示)	漢字氏名				
	本籍			本籍・住所コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	生年月日			生年月日		有		
(整理番号～	項番 1～2		—	—				01から件数分表示する
相手氏名2)	出張所番号 1～2		不受理申出	出張所番号				
最大1画面 2件	受理送付区分 1～2		ファイル	受理送付区分				
	開始日 1～2			開始日		有		
	送付日 1～2			送付日		有		
	失効日 1～2			失効日		有		
	失効区分 1～2			失効区分		有		
	事件コード 1～2			不受理申出事件ｺｰﾄﾞ				
	事件名 1～2			不受理申出事件ｺｰﾄﾞ		有		
	相手氏名1 1～2			相手方氏名1				
	相手氏名2 1～2			相手方氏名2				

030

第2(3)(2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		個人状態ファイル表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／3

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (個人詳細表示)	入力		
個人状態ファイル	入力		

3．処理概要

(1) 中間ファイル（個人詳細表示）の個人番号をキーに個人状態ファイルを検索し，ファイルの内容等を編集する

(2) 個人状態ファイル表示画面の表示

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙 ——— 1.0 データ編集表（個人状態ファイル表示画面編集）

5．備考（特記事項含む）

第2(33)(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人状態ファイル表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2/3
処理名	0.0 本紙				根拠法令 (マニュアル処理)		

(1) 中間ファイル(個人詳細表示)を選択されたデータ(選択区分='1')まで読みとばし,該当データを読み込む		／		
(2) 中間ファイル(個人詳細表示)の個人番号をキーとして個人状態ファイルを検索する (OK:YES,NG:NO)		／		
YES	(3) 個人状態ファイル表示画面を編集・表示する [1.0]	／		
NO	(4) エラーメッセージ『個人状態はありません』を表示する		(5) 同画面を編集する	
(6) キー選択(PF1, PF2, PF5, PF9, PF10, その他)		／		
PF1	⟶		(7) 業務選択に制御を渡す	
PF2	⟶		(8) 検索選択に制御を渡す	
PF5	⟶		(9) 戸籍構成員一覧表示に制御を渡す	
PF9	⟶		(10)個人詳細表示に制御を渡す	
PF10	⟶		(11)不受理申出表示に制御を渡す	
その他	(12)エラーメッセージ『無効なキーが入力されました』を表示する		(13)同画面を編集する	

30152

032

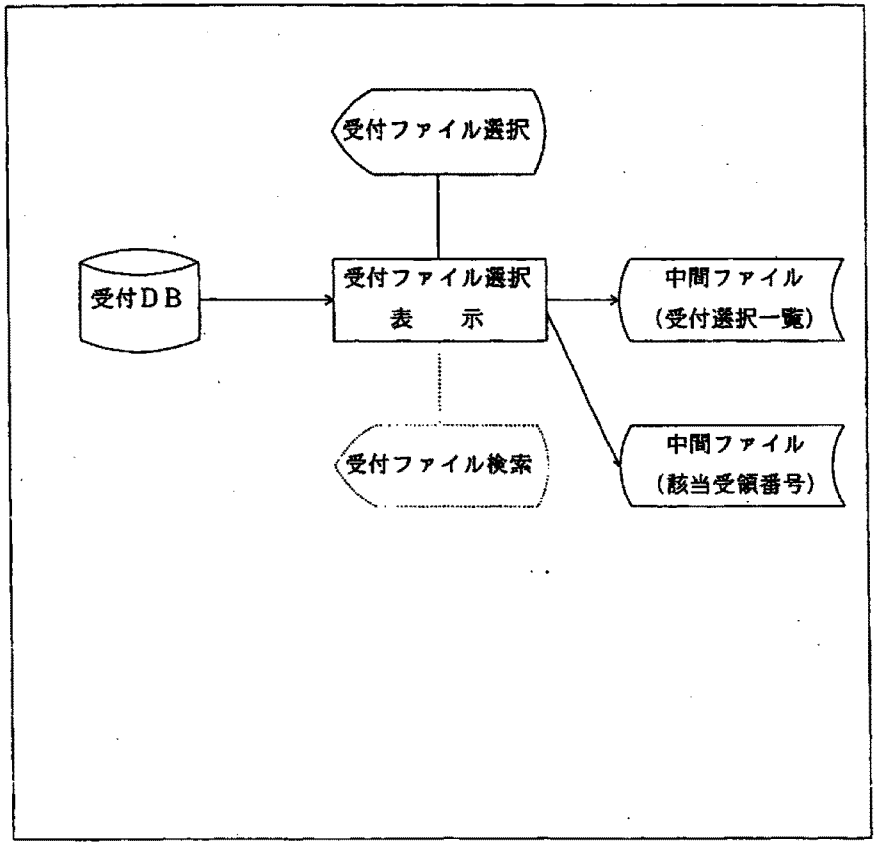
第2-3-(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人状態ファイル表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／3

処理名	1．0 個人状態ファイル表示画面編集	(受取側) 個人状態ファイル表示画面	← (引渡側) 中間ファイル(個人詳細), 個人状態ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
個人状態ファイル表示画面	カナ氏名		中間ファイル (個人詳細表示)	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	本籍			本籍・住所コード		有		
				本籍地番				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者			筆頭者				
	禁治産者区分		個人状態ファイル	禁治産者区分				個人状態ファイルがない場合 全ての項目へ0（ゼロ）をセット
	準禁治産者区分			準禁治産者区分				
	破産宣告人区分			破産宣告人区分				破産宣告人区分は，証明業務での身分証明書発行検索でのみ表示
	裁判所通知区分			裁判所通知区分				
	(犯歴区分)			(犯歴区分)				犯歴区分は，民刑担当者が操作の場合のみ表示する等，市町村の判断に委ねられる
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	受理・処理伺い			受理伺い区分				
	保留			保留区分				
	メモ			メモ				

第2(33(2))	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		受付ファイル選択表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	1/10

1．詳細フロー



2．使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
受付DB	入力		
中間ファイル (受付選択一覧)	入出力		
中間ファイル (該当受領番号)	出力		

3．処理概要

(1) 検索キーの入力及びキーによる受付DBの検索

a. 受領番号（7桁）：受付DBの受付番号の3～9桁
b. 受付日　※範囲指定の検索も可能
c. 処分区分
d. カナ氏名（氏，氏名）
e. 漢字氏名（氏，氏名）
f. 受付事件
g. 渉外区分
h. 生年月日
i. 受理・送付区分

(2) 受付ファイル選択の表示及び事件番号選択

(3) 受付ファイル検索へ制御を渡す

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙
- 1.0 別紙1（検索）
- 2.0 データ編集表（中間ファイル作成（受付選択一覧））
- 3.0 データ編集表（受付ファイル選択画面作成）
- 4.0 データ編集表（中間ファイル作成（該当受領番号））
- 5.0 データチェック（単体表）
- 6.0 データチェック（単体表）
- 7.0 データチェック（関連表）

5．備考（特記事項含む）

034

第2(33)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル選択表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2／10
処理名	0．0 本紙 （1／2）				根拠法令（マニュアル処理）		

(1) 受付ファイル選択画面を出力する					／		
(2) キー選択（実行キー，PF1，PF2，PF12，その他）					／		
実行キー	(3) 入力検索キーのチェック（OK：YES，NG：NO） [5.0] [7.0]				／		
	YES	(4) 受領番号～渉外区分で受付DBを検索する [1.0]			／		
		(5) 0<検索人数<100か？（YES，NO）			／		
		YES	(6) 受付ファイル選択画面を編集・表示する [3.0]		／		
			(7) キー選択（該当番号の入力（実行キー），PF1，PF2，PF7，PF8，PF12，その他）		／		
			実行キー	(8) 該当番号のチェック（OK：YES，NG：NO） [6.0]	／		
				YES (9) 中間ファイル（該当受領番号）を編集・出力する [4.0]		(10)受付ファイル検索に制御を渡す	
				NO (11)エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示する		(12)同画面を編集する	
			PF1	→		(13)業務選択に制御を渡す	
			PF2	→		(14)検索選択に制御を渡す	
			PF7	(15)前ページがあるか？（ある：YES，なし：NO）	／	(17)同画面を編集する	
				YES (16)前ページ分の受付ファイル選択画面編集			
				NO (18)エラーメッセージ 『先頭ページです』を表示する			
			PF8	(19)次ページがあるか？（ある：YES，なし：NO）	／		
				YES (20)次ページ分の受付ファイル選択画面編集			
				NO (21)エラーメッセージ 『最終ページです』を表示する			
			PF12	(22)入力画面を初期化する			
			その他	(23)エラーメッセージ 『無効なキーが入力されました』を表示する			

第2 (33)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル選択表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／10

処理名	0.0 本紙 (2／2)	根拠法令 (マニュアル処理)

	YES	NO	(24)検索人数=0	エラーメッセージ『該当者がありません。再度，検索キーを入力して下さい。』を表示する	(17)同画面を編集する
			(25)検索人数>99	エラーメッセージ『該当者が多過ぎます。再度，検索キーを入力して下さい。』を表示する	
	NO		(26)エラーメッセージ		
PF1	⟶				(27)業務選択に制御を渡す
PF2	⟶				(28)検索選択に制御を渡す
PF12	(29)入力画面を初期化する				(30)同画面を編集する
その他	(31)エラーメッセージ『無効なキーが入力されました。』を表示する				

30157

第2 (33)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル選択表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	4／10

処理名	1．0 別紙1（検索処理） （1／2）	根拠法令（マニュアル処理）
	(1) 検索キー（受領番号）の入力あるか ／	
YES	(2) 受領番号を検索キーとする ／	
NO	(3) 受領番号は検索キーとしない ／	
	(4) 検索キー（受付日）の入力あるか ／	
YES	(5) 受付日を検索キーとする ／	
NO	(6) 受付日を検索キーとしない ／	
	(7) 検索キー（処分区分）の入力あるか ／	
YES	(8) 処分区分を検索キーとする ／	
NO	(9) 処分区分を検索キーとしない ／	
	(10)検索キー（カナ氏名）の入力あるか ／	
YES	(11)カナ名の入力あるか ／	
	YES (12)カナ氏名を検索キーとする ／	
	NO (13)カナ氏のみを検索キーとする ／	
NO	(14)カナ氏名を検索キーとしない ／	
	(15)検索キー（漢字氏名）の入力あるか ／	
YES	(16)漢字名の入力あるか ／	
	YES (17)漢字氏名を検索キーとする ／	
	NO (18)漢字氏のみを検索キーとする ／	
NO	(19)漢字氏名を検索キーとしない ／	
	(20)検索キー（受付事件）の入力あるか ／	
YES	(21)受付事件を検索キーとする ／	
NO	(22)受付事件を検索キーとしない ／	
	(23)検索キー（渉外区分）の入力あるか ／	
YES	(24)渉外区分を検索キーとする ／	
NO	(25)渉外区分を検索キーとしない ／	
	(25-1)検索キー（生年月日）の入力あるか ／	
YES	(25-2)生年月日を検索キーとする ／	
NO	(25-3)生年月日を検索キーとしない ／	

037

第2 (332)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル選択表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	4-1／10
処理名	1．0 別紙1（検索処理） （2／2）				根拠法令 （マニュアル処理）		

(25-4)検索キー（受理・送付区分）の入力あるか		／		
YES	(25-5)受理・送付区分を検索キーとする	／		
NO	(25-6)受理・送付区分を検索キーとしない	／		
(26)上記で指定した検索キーで受付DBを全件読み込む 但し，検索キー（受領番号）以外では，決裁区分：欠番は対象外とする		／		
	(27)中間ファイル（受付選択一覧）に編集・出力する [2.0]	／		
(28)検索終了			(29)本紙へ	

037-1

第2.3.(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル選択表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5／10

処理名：2．0 中間ファイル（受付選択一覧）作成　（受取側）中間ファイル（受付選択一覧）　←（引渡側）受付ＤＢ

受取側			引渡側			コード変換有無（ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ）	出力形態 Ｚ９．，	備考
ＤＢ・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ＤＢ・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル（受付選択一覧）	受領番号		受付ＤＢ	受領番号				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	処分区分			処分区分				「受理」の時はブランク
	決裁区分			決裁区分				「決裁」の時はブランク
	受付日			受付日				
	事件コード			受付事件コード				
	渉外区分			渉外区分				
	事件本人漢字氏名		受付ＤＢ事件本人	事件本人漢字氏名				

注）受付ＤＢの受領番号は枝番で履歴管理しているため，最新のデータを対象とし，該当するデータを移す。

但し，処分区分『誤処理』での検索の場合のみ，すべてのデータを対象とし，該当するデータをそのまま移す。

038

30160

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル選択表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	6／10

処理名	3．0 受付ファイル選択画面表示	(受取側) 受付ファイル選択画面	← (引渡側) 中間ファイル (受付選択一覧)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
受付ファイル選択画面	現ページ，総ページ		－	－				
	検索・受領番号		受付ファイル選択画面	(同項目)				
	受付日1			(同項目)				
	受付日2			(同項目)				
	処分区分			(同項目)				
	処分名			処分区分		有		
	カナ氏名			(同項目)				
	漢字氏名			(同項目)				
	受付事件			(同項目)				
	生年月日			(同項目)				
	受理・送付区分			(同項目)				
	渉外区分			(同項目)				
	渉外区分名			－				渉外区分より変換 1:ブランク，2:渉外，3:外国人
(処分 ～ 事件本人) 最大1画面 6人	処分 1～6		中間ファイル (受付選択一覧)	処分区分		有		
	事件名 1～6			事件コード		有		
	受理送付 1～6			受理送付区分		有		
	本非 1～6			本非区分		有		
	渉外 1～6			渉外区分		有		
	受付日 1～6			受付日		有		
	決裁 1～6			決裁区分		有		
	受領番号 1～6			受領番号				3桁目以降を表示する
	事件本人 1～6			事件本人漢字氏名				
	選択番号		－	－				

239

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル選択表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	7/10

処理名	4.0 中間ファイル（該当受領番号）作成	（受取側）中間ファイル（該当受領番号）	← （引渡側）中間ファイル（受付選択一覧）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	(サブルーチン)	Z9..	
中間ファイル （該当受領番号）	受領番号		中間ファイル （受付選択一覧）	受領番号				

第2表（5）	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル選択表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	8／10

処理名	画面名	画面ID
5．0 入力検索キーのチェック	受付ファイル選択画面面	

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	受領番号		数字		『項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。』		
02	受付日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
03	処分区分		数字	1（受理）～ 9（誤処理）であること			
04	カナ氏名		カナ				
05	漢字氏名		漢字				
06	受付事件		数字	受付事件コードの頭2桁であること			
06-1	生年月日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
06-2	受理・送付区分		数字	ブランク，1（受理），2（送付）であること			
07	渉外区分		数字	0（日本人のみ）～ 2（外国人のみ）であること			

04/40

第32(35)	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル選択表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	9／10

処理名	画面名	画面ID
6．0 該当番号のチェック	受付ファイル選択画面	

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	該当番号	○	数字	表示している事件のNo（MAX06）	『項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。』		

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		受付ファイル選択表示	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	10／10

処　理　名	画　面　名	画 面 Ｉ Ｄ	
7.0 入力検索キーのチェック	受付ファイル選択画面		

No	内　容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備　考
01	(№1)受領番号,(№2)受付日,(№3)処分区分,(№4)カナ氏名,(№5)漢字氏名,(№6-1)生年月日のいずれかに必ず入力があること(複数入力可能)	『関連エラーがあります。 正しく入力してください。』		

30164

043

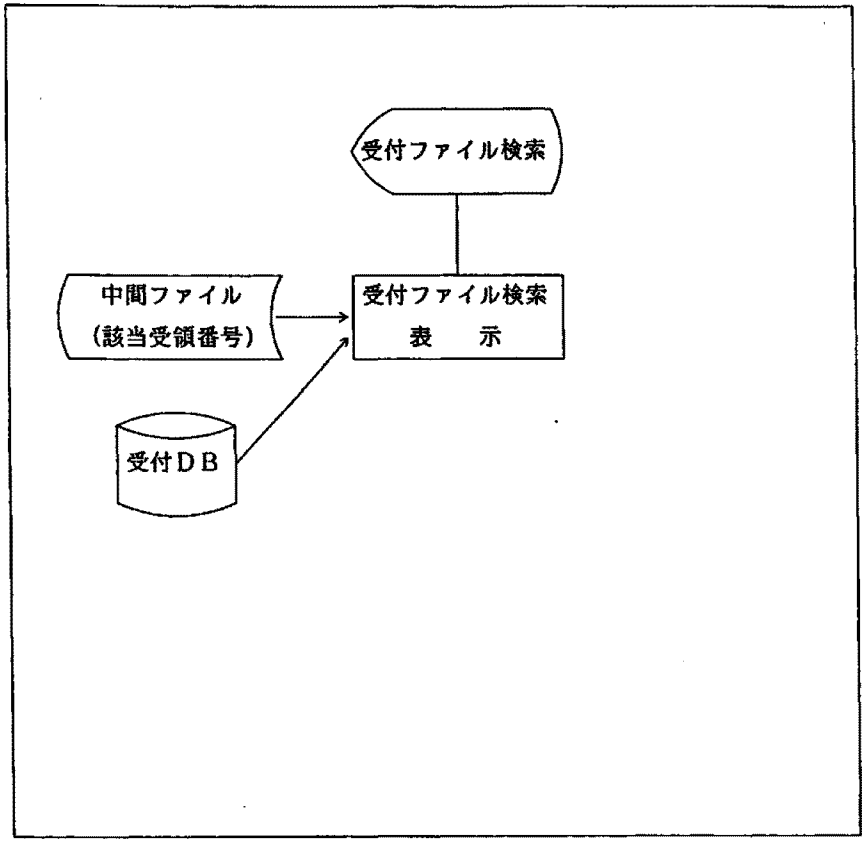
30165

044

欠　　番

第2(3)(2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		受付ファイル検索	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／4

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名　称	入出力区分	名　称	入出力区分
中間ファイル（該当受領番号）	入力		
受付ＤＢ	入力		

3．処理概要

(1) 中間ファイル（該当受領番号）の受領番号をキーに受付ＤＢを検索し，ＤＢの内容等を編集する

(2) 受付ファイル検索画面の表示

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙 ―― 1.0 データ編集表（受付ファイル検索画面の編集）

5．備考（特記事項含む）

第2(33)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル検索	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2／4

処理名	0．0 本紙	根拠法令 （マニュアル処理）

(1) 中間ファイル（該当受領番号）を読む		／		
(2) 中間ファイル（該当受領番号）の受領番号をキーとして受付ファイルを検索する		／		
(3) 受付ファイル検索画面を編集・表示する	[1.0]	／		
(4) キー選択（PF1，PF2，PF3，PF4，PF5，PF7，PF8，その他）		／		
PF1	⟶		(5) 業務選択に制御を渡す	
PF2	⟶		(6) 検索選択に制御を渡す	
PF3	(7) 前履歴分の受付ファイルはあるか？ （ある：YES，なし：NO）	／		
	YES (8) 該当する受付ファイルを検索し，(3)へ		(9) 同画面を編集する	
	NO (10)エラーメッセージ 『この前の履歴はありません。』を表示する。			
PF4	(11)次履歴分の受付ファイルはあるか？ （ある：YES，なし：NO）	／		
	YES (12)該当する受付ファイルを検索し，(3)へ			
	NO (13)エラーメッセージ 『この後の履歴はありません。』を表示する。			
PF5	⟶		(14)受付ファイル選択表示に制御を渡す	
PF7	(15)前ページがあるか？（YES，NO）	／		
	YES (16)前ページ分の受付ファイル検索画面編集		(17)同画面を編集する	
	NO (18)エラーメッセージ 『先頭ページです。』を表示する			
PF8	(19)次ページがあるか？（YES，NO）	／		
	YES (20)次ページ分の受付ファイル検索画面編集			
	NO (21)エラーメッセージ 『最終ページです。』を表示する			
その他	(22)エラーメッセージ 『無効なキーが入力されました。』を表示する			

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル検索	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／4

処理名	1．0 受付ファイル検索画面編集(1／2)	(受取側) 受付ファイル検索画面	← (引渡側) 受付DB

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9..	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
受付ファイル検索画面	現ページ，総ページ		－	－				
	受領番号		受付DB	受領番号				3～9桁目を表示
	受理送付			受理送付区分		有		
	受付日			受付日		有		
	処分区分			処分区分		有		
	事件名			事件コード		有		
	事件日			事件発生日		有		
	時分			事件発生時分				
	決裁区分			決裁区分		有		
	出張所			出張所番号				
	発送日			発送日		有		
	郵送日			郵送日		有		
	本非区分			本非区分		有		
	発日			発日		有		
	収日			収日		有		
	許可日			許可日		有		
	渉外区分			渉外区分		有		但し，1：日本人のときブランク
	指示日			指示日		有		
(事件本人区分	関連受領番号1～5			関連受領番号1～5				
～ 本籍)	事件本人区分1～2		受付DB事件本人	事件本人区分		有		
最大1画面 2人	届出人区分 1～2			－				事件本人＝届出人の場合 『届出人』を表示
	カナ氏名 1～2			事件本人カナ氏名				
	漢字氏名 1～2			事件本人漢字氏名				
	生年月日 1～2			生年月日		有		
	送達1 1		受付DB	送達確認1				最初の事件本人に移送する

第2-3(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル検索	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	4/4

処理名	1．0 受付ファイル検索画面編集(2／2)	(受取側) 受付ファイル検索画面	← (引渡側) 受付DB

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
受付ファイル検索画面	送達2 1～2		受付DB事件本人	送達確認2				
	本籍 1～2		受付DB	事件本人本籍地				'本籍地△筆頭者' で編集
				事件本人筆頭者				
	届出人1資格			届出人資格区分1		有		
	届出人1氏名			届出人氏名1				
	届出人2資格			届出人資格区分2		有		
	届出人2氏名			届出人氏名2				
	届後本籍 筆頭者 (※1)			届後本籍地 (死亡の場合，内容は '死亡日時')				(※1) 死亡の場合，受付DBの届後本籍地に '死亡日時' がセタットされている為，画面タイトルを『死亡日時』とする。
				届後戸籍の筆頭者				

8470

30170

第7.2.(3)

「届出選択」処理

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:21.０
平成３０年　３月３１日

項番	業務（届書）名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料№
1	第７．２．（３） （「届出選択」 処理）	標準仕様書見直しによる第２１版の仕様書改訂 （１）「受理照会」「処理照会」がそれぞれ「受理伺い」「処理伺い」となっていたため修正。あわせて、「該当の受領番号の届は，伺いではありません。」のエラーメッセージも、「該当の受領番号の届は，照会ではありません。」に修正	００８	

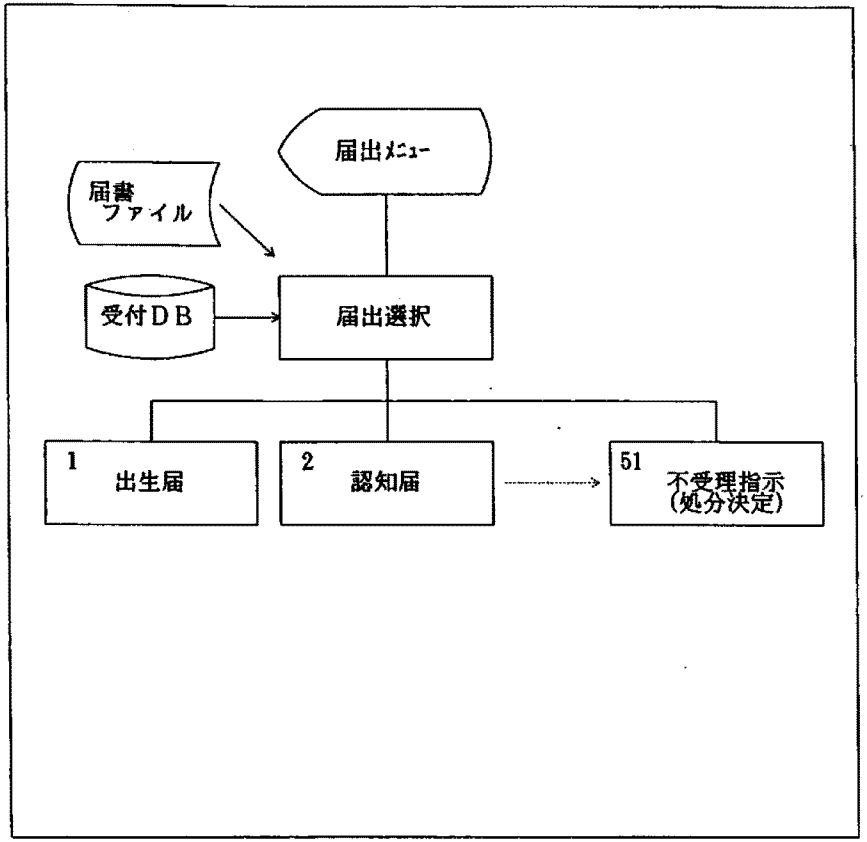
標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:22.０
平成３１年　３月

項番	業務（届書）名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料No.
1	第７．２．（３） （「届出選択」 処理）	標準仕様書見直しによる第２２版の仕様書改訂		
		-1 後見届を削除する。	003	
		-2 第4版:「成年後見法施行によるシステム対応」の修正漏れの対応をする。	005 006	

第2(32)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		届出選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／12

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
受付ＤＢ	入		
届書ファイル	入		

3．処理概要

(1) 届出選択（事件コード）の入力チェック

(2) 受領番号入力時の届書Ｆ項目及び受付ＤＢ項目とのチェック

(3) 出生届～不受理指示に制御を渡す

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙
- 1.0 データチェック（単体表）
- 2.0 データチェック（関連表）
- 3.0 届書ファイル及び受付ＤＢとのチェック
- 4.0 仮受付ファイル（データ）

5．備考（特記事項含む）

001

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		届出選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2／12

処理名	0.0 本紙 (1／4)	根拠法令 (マニュアル処理)

(1) 届出メニュー画面を出力する							／		
(2) キー選択 (実行キー，PF1，その他)							／		
実行キー	(3) 該当事件コード，受領番号の入力チェック				(OK:YES,NG:NO)	[1.0]	／		
	YES	(4) 該当事件コード，受領番号の関連チェック			(OK:YES,NG:NO)	[2.0]	／		
		YES	(5) 届書F及び受付DBとのチェック		(OK:YES,NG:NO)	[3.0]	／		
			YES	(6) → (10)			／		
			NO	(7) →				(8) 同画面を編集する	
		NO	(9) →						
	(10)該当事件コード (1～40，50，51)						／		再入力時点で届書ファイルの排他区分を設定
	1	(11)出生届						(12)出生届に制御を渡す	する
	2	(13)認知届						(14)認知届に制御を渡す	
	3	(15)養子縁組届						(16)養子縁組届に制御を渡す	
	4	(17)養子離縁届						(18)養子離縁届に制御を渡す	
	5	(19)特別養子縁組届						(20)特別養子縁組届に制御を渡す	
	6	(21)特別養子離縁届						(22)特別養子離縁届に制御を渡す	審査結果入力
	7	(23)73条の2届						(24)73条の2届に制御を渡す	
	8	(25)養子離縁届同時73条の2届						(26)養子離縁届同時73条の2届に制御を渡す	
	9	(27)婚姻届						(28)婚姻届に制御を渡す	
	10	(29)離婚届						(30)離婚届に制御を渡す	

第２３(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		届出選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	3／12

処理名		0.0 本紙（2／4）				根拠法令（マニュアル処理）
実行キー	YES	11	(31)77条の2届		(32)77条の2届に制御を渡す	
		12	(33)離婚届同時77条の2届		(34)離婚届同時77条の2届に制御を渡す	
		13	(35)親権(管理権)届		(36)親権(管理権)届に制御を渡す	
		14	(37)~~後見届~~		(38)~~後見届に制御を渡す~~	(37)～(38)第22版で削除
		15	(39)保佐届		(40)保佐届に制御を渡す	
		16	(41)死亡届		(42)死亡届に制御を渡す	
		17	(43)失踪届		(44)失踪届に制御を渡す	
		18	(45)復氏届		(46)復氏届に制御を渡す	
		19	(47)姻族関係終了届		(48)姻族関係終了届に制御を渡す	
		20	(49)推定相続人廃除届		(50)推定相続人廃除届に制御を渡す	
		21	(51)入籍届		(52)入籍届に制御を渡す	
		22	(53)分籍届		(54)分籍届に制御を渡す	
		23	(55)国籍取得届		(56)国籍取得届に制御を渡す	
		24	(57)帰化届		(58)帰化届に制御を渡す	

第2 (33)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		届出選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／12

処理名	0．0 本紙 (3／4)	根拠法令 (マニュアル処理)

実行キー	YES				
		25	(59)国籍喪失届	(60)国籍喪失届に制御を渡す	
		26	(61)国籍選択届	(62)国籍選択届に制御を渡す	
		27	(63)外国国籍喪失届	(64)外国国籍喪失届に制御を渡す	
		28	(65)氏の変更届	(66)氏の変更届に制御を渡す	
		29	(67)１０７条の２届	(68)１０７条の２届に制御を渡す	
		30	(69)１０７条の３届	(70)１０７条の３届に制御を渡す	
		31	(71)１０７条の４届	(72)１０７条の４届に制御を渡す	
		32	(73)名の変更届	(74)名の変更届に制御を渡す	
		33	(75)転籍届	(76)転籍届に制御を渡す	
		34	(77)就籍届	(78)就籍届に制御を渡す	
		35	(79)縁組取消届	(80)縁組取消届に制御を渡す	審査結果入力
		36	(81)離縁取消届	(82)離縁取消届に制御を渡す	審査結果入力
		37	(83)婚姻取消届	(84)婚姻取消届に制御を渡す	審査結果入力
		38	(85)離婚取消届	(86)離婚取消届に制御を渡す	審査結果入力

30175

004

第２３(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		届出選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	5／12

処理名		0.0 本紙（4／4）			根拠法令（マニュアル処理）
実行キー	YES	39	(87)失踪宣告取消届	(88)失踪宣告取消届に制御を渡す	審査結果入力
		40	(89)推定相続人廃除取消届	(90)推定相続人廃除取消届に制御を渡す	審査結果入力
		41	(90-1)未成年者の後見届	(90-2)未成年者の後見届に制御を渡す	
		50	(91)受理指示 受理指示事件コードにより届出事件を判別する	(92)各処理に制御を渡す	
		51	(93)不受理指示	(94)処分決定処理に制御を渡す	
	ＮＯ	(95)エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示する		(96)同画面を編集する	
PF1		→		(97)業務選択に制御を渡す	
その他	(98)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する			(99)同画面を編集する	

30179
005

第2 3 (5)	データチェック(単体表)	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		届出選択	システム化調査研究会	平成6年12月　1日	平成31年3月31日	22	6／12

処　理　名	画　面　名	画 面 ＩＤ	
1．0　該当事件コードのチェック	届出メニュー		

No	項　目　名	必須	属性	内　容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備　考
01	該当事件コード	○	数字	1～41、50～51であること	『項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。』		
02	受領番号		数字				

第2(36)	データチェック（関連表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		届出選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	7/12

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック	届出メニュー		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.1)該当事件コードが５０～５１の場合,(NO.2)受領番号に入力があること	『関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。』		

30178

007

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		届出選択	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	8／12

処理名	3.0 別紙			根拠法令(マニュアル処理)
(1) 入力された受領番号をキーに届書ファイルを検索する (ある : YES, ない : NO)		／		
YES	(2) 届書排他区分＝1 :『排他』である (YES, NO)	／		
	YES	(3) エラーメッセージ 「該当の受領番号の届は現在処理中です。移動処理は行えません。」を表示	(4) 本紙へ	
	N O	(5) → (6) へ	／	
N O				
(6) 入力された受領番号をキーに受付DBを検索する (ある : YES, ない : NO)		／		
YES	(7) 決裁区分は 1 :『決裁』 又は 4 :『欠番』である (YES, NO)	／		
	YES	(8) エラーメッセージ 「該当の受領番号の届は, 再処理は行えません。」を表示	(9) 本紙へ	
	N O	(10) → (13) へ	／	
N O	(11) エラーメッセージ 「該当の受領番号の届はありません。」を表示		(12) 本紙へ	
(13) 画面入力された該当事件コードは 50 :『受理指示』 又は 51 :『不受理指示』である (YES, NO)		／		
YES	(14) 処分区分は 3 :『受理照会』 又は 4 :『処理照会』である (YES, NO)			
	YES	(15) → (19) へ		
	N O	(16) エラーメッセージ 「該当の受領番号の届は, 照会ではありません。」を表示	(17) 本紙へ	
N O	(18) → (19) へ	／		
(19) 受付DB. 関連受領番号1～5まで繰り返す		／		
	(20) 受付DB. 関連受領番号に入力がある (YES, NO)	／		
	YES	(21) 入力された受領番号 ＜ 受付DB. 関連受領番号である (YES, NO)	／	
		YES	(22) →	／
		N O	(23) エラーメッセージ 「関連する届があります。基本となる届の受領番号を入力してください。」を表示	(24) 本紙へ
	N O	(25) →	／	
(26) 受理指示事件コードを初期化する				
(27) 該当事件コード(4, 8, 10, 12, 50, 51, その他)				

第2章3節(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		届出選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	9/12

処理名	3.0 別紙	根拠法令 (マニュアル処理)

4 (離縁)	(28)受付DB．関連受領番号に入力がある(YES,NO)		／		
	YES	(29)エラーメッセージ 「関連する届があります。正しい該当事件コードを入力して下さい。」を表示		(30)本紙へ	
	NO	(31)受付事件コード＝『離縁』である(YES,NO)	／		
		YES (32) →		(33)本紙へ	
		NO (34)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届と選択された事件が異なっています。」を表示			
8 (離縁同時73条の2)	(35)受付DB．関連受領番号に入力がある(YES,NO)		／		
	YES	(36)受付事件コード＝『離縁』である(YES,NO)	／		
		YES (37) →		(38)本紙へ	
		NO (39)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届と選択された事件が異なっています。」を表示			
	NO	(40)エラーメッセージ 「関連する届があります。正しい該当事件コードを入力して下さい。」を表示			
10 (離婚)	(41)受付DB．関連受領番号に入力がある(YES,NO)		／		
	YES	(42)エラーメッセージ 「関連する届があります。正しい該当事件コードを入力して下さい。」を表示		(43)本紙へ	
	NO	(44)受付事件コード＝『離婚』である(YES,NO)	／		
		YES (45) →		(46)本紙へ	
		NO (47)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届と選択された事件が異なっています。」を表示			
12 (離婚同時77条の2)	(48)受付DB．関連受領番号に入力がある(YES,NO)		／		
	YES	(49)受付事件コード＝『離婚』である(YES,NO)	／		
		YES (50) →		(51)本紙へ	
		NO (52)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届と選択された事件が異なっています。」を表示			
	NO	(53)エラーメッセージ 「関連する届があります。正しい該当事件コードを入力して下さい。」を表示			
51	(54)受理指示事件コードに，選択事件コードを，受付事件コードで判別してセットする		／		

30180

009

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		届出選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	10／12
処理名	3.0 別紙				根拠法令 (マニュアル処理)		

(受理指示)	(55)受付DB．関連受領番号に入力がある(YES,NO)			／		
	YES	(56)受付事件コード＝『離縁』である(YES,NO)		／		
		YES	(57)受付指示事件コードに選択事件コード：離縁同時73条の2をセットする	／		
		NO	(58) → (59)へ	／		
		(59)受付事件コード＝『離婚』である(YES,NO)		／		
		YES	(60)受付指示事件コードに選択事件コード：離婚同時77条の2をセットする		(61)本紙へ	
		NO	(62) →			
	NO					
52	(63) →				(64)本紙へ	
その他	(65)選択事件コードと受付事件コードのチェックをする(OK：YES, NG：NO)			／		
	YES	(66) →			(67)本紙へ	
	NO	(68)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届と選択された事件が異なっています。」を表示				

30181

010

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		届出選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	11/12

処理名	4.0 仮受付ファイル作成	(受取側) 仮受付ファイル	← (引渡側) 受付DB

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.,	備考
仮受付ファイル	受領番号		受付DB	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			受付事件コード				
	受付日			受付日				
	事件発生日			事件発生日				
	事件発生時分			事件発生時分				
	事件発生日時			事件発生日時				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日			発送日				
	郵送日			郵送日				
	発日			発日				
	収日			収日				
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	関連受領番号(1~5)			関連受領番号(1~5)				
	届出人資格区分1			届出人資格区分1				
	届出人資格名称1			届出人資格名称1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格区分2			届出人資格区分2				
	届出人資格名称2			届出人資格名称2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分			届後本籍区分				
	届後本籍コード			届後本籍コード				
	届後本籍			届後本籍				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		届出選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	12/12

処理名	4．0 仮受付ファイル作成	（受取側）仮受付ファイル	← （引渡側）受付DB

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
仮受付ファイル	届後戸籍の筆頭者		受付DB	届後戸籍の筆頭者				
	送達確認1			送達確認1				
	証書提出区分			証書提出区分				
	届書送付目録区分			届書送付目録区分				
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

30183

012

第7.2.(4)

「異動検索」処理

標準仕様書修正履歴

平成30年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(4) (異動検索)	1.標準仕様書修正 除籍者を選択した場合の感化について記述を追加 「7). 除籍者が選択された場合は, 注意喚起 のメッセージ等を表示」を追加。 2.「後見届」を「未成年後見届」に修正 「被後見人」を「未成年被後見人」に修正 「後見人」を「未成年後見人」に修正	1 4	

★前提★

ここに記述するものは，基本的な例であり，処理機能・画面等は，各自治体・メーカー一任とする。

但し，次に掲げる事項は，必須とする。

1)．該当者選択時における審査不可区分のチェック

区分	新メッセージ内容
1	審査不可区分が設定されています。(渉外婚姻)
2	審査不可区分が設定されています。(婿養子縁組婚姻，入夫婚姻)

2)．不受理申出がある場合の，不受理申出画面の強制表示

3)．出生子の名に使える文字のチェック

4)．本籍，住所等選択入力の場合のコードの設定

5)．戸籍DBの排他制御(ロック)処理(エラーメッセージ表示含む)

6)．その他，処理に必要なコード等の設定

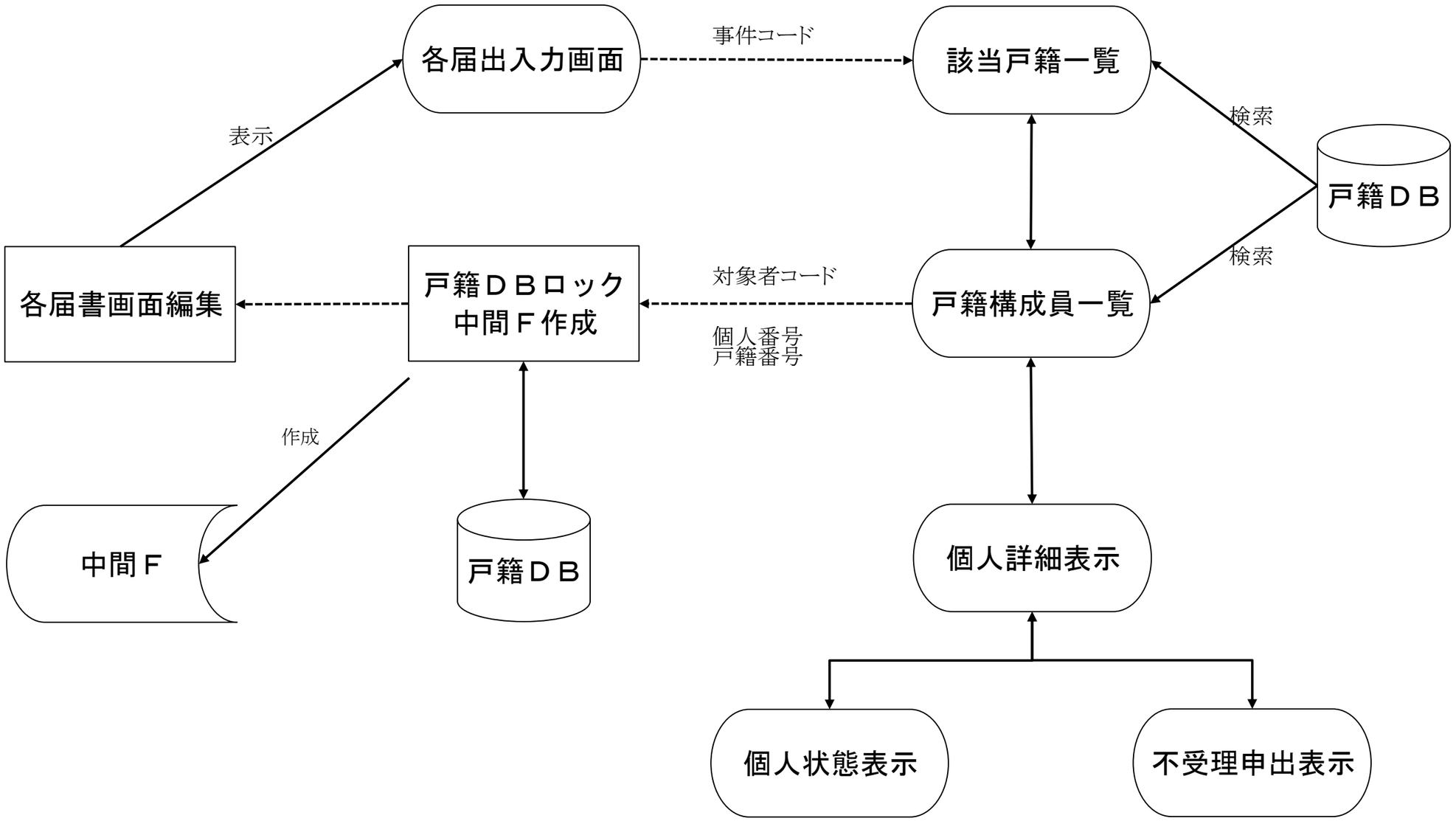
7)．除籍者が選択された場合は，注意喚起のメッセージ等を表示

第 2 3 （ 1 ）	システム処理の概要説明書	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日 付	版	頁
		異動検索	システム化調査研究会	平成　6年12月　1日	平成　年　月　日	1	2／4

30187

002

1. 異動検索処理業務の概要図



第 2 3 (1)	システム処理の概要説明書	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		異動検索	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成　年　月　日	1	3／4

30188

003

1. 異動検索処理業務の概要

A. 各届書入力画面からの制御

・各届書入力画面から，事件コードを受け取る。

B. . 該当戸籍一覧～個人詳細表示

・該当戸籍選択：検索処理と同様

・戸籍構成員一覧：与えられた事件コードに対する該当者及び該当戸籍を選択する。【次頁参照】 ｝該当者／該当戸籍分繰り返す

・個人詳細表示：検索処理と同様

・個人状態表示：検索処理と同様

・不受理申出表示：検索処理と同様

C. . 該当者選択終了後

・該当者に不受理申出Fが存在すれば，不受理申出に該当するかどうかの判断入力ができる不受理申出の画面を強制的に出力させる。
判断結果は，異動入力へと引き継ぐ。

・該当する戸籍に対して，ロックをかける

・届書画面に対応する中間Fを作成する。

D. . 届書画面編集

・作成した中間Fより画面へ編集する。

届書名	該当者	該当戸籍	備考
出生届	父 母 届出人	入るべき戸籍	新本籍の入力
認知届	被認知者(子) 認知者(父) 被認知者の母 (子の母)		
養子縁組届	養子・養女 養父 養母		新本籍の入力
養子離縁届	養子・養女 養父 養母	戻る戸籍(の筆頭者)	新本籍の入力
特別養子縁組届	養子・養女 養父 養母		
特別養子離縁届	養子・養女 養父 養母	戻る戸籍(の筆頭者)	新本籍の入力
法73条の2届(法69条の2届)	縁氏続称者		新本籍の入力
養子離縁届同時73条の2届	養子・養女 養父 養母		新本籍の入力
婚姻届	夫 妻		新本籍の入力
離婚届	夫 妻	戻る戸籍	新本籍の入力
77条の2届	婚氏続称者		新本籍の入力
離婚届同時77条の2届	夫 妻		新本籍の入力
親権(管理権)届	未成年者 親権者(管理権者)		
未成年後見届	未成年被後見人 未成年後見人		
保佐届	被保佐人 保佐人		

届書名	該当者	該当戸籍	備考
死亡届	死亡者 死亡者の 生存配偶者		
失踪宣告届	失踪者 失踪者の 生存配偶者		
復氏届	復氏届	戻る戸籍(の筆頭者)	新本籍の入力
姻族関係終了届	姻族関係終了者		
推定相続人廃除届	被廃除者 廃除者		
入籍届	入籍者 入籍者の配偶者	入籍戸籍	
分籍届	分籍者		
国籍取得届		入籍戸籍(の筆頭者)	新本籍の入力
帰化届		入籍戸籍(の筆頭者)	新本籍の入力
国籍喪失届	国籍喪失者 国籍喪失者の 配偶者		
国籍選択届	国籍選択者		
外国国籍喪失届	外国国籍選択者		
107条1項届	氏変更者 氏変更の筆頭者		
107条2項届	氏変更者		新本籍の入力
107条3項届	氏変更者		新本籍の入力
107条4項届	氏変更者		新本籍の入力
名の変更届	名変更者		
転籍届	転籍者 転籍の筆頭者		新本籍の入力
就籍届		入籍戸籍	新本籍の入力

第7.2.(5)

「審査」処理

第7.2.(5)「異動」処理

1.出生届

基準書修正履歴

平成 10 年 2 月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料No.
	第7.2.(5).1 (出生)	1．審査 ・海外出生の届出期間審査の変更	18 19	
		2．受付ファイル編集 ・事件本人の筆頭者の設定	102	
		3．9条2項ファイル編集 ・備考欄に注意事項記載	126	

30195

標準仕様書修正履歴

平成14年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).1 (出生届)	保健婦助産婦看護婦法改正によるシステムの対応 1. 審査 (1)単体チェック ・出生証明書区分である「1:医師・助産婦」を「1:医師・助産師」に変更 ・届出人資格である「080:助産婦」を「115:助産師」に変更 (2)審査 ・届出人資格である「助産婦」を「助産師」に変更 ・エラーメッセージである「出生証明者が医師・助産婦以外です。」を「出生証明者が医師・助産師以外です。」に変更 2. 入力確認 (1)子の入籍 ・届出人資格である「助産婦」を「助産師」に変更 3. 届出人コード一覧 (1)届出人コードチェック ・届出人資格である「080:助産婦」を「115:助産師」に変更 ・届出義務者・届出人資格名称・項目化記載例である「助産婦」を「助産師」に変更	004 004 062,063, 064 065 116 127 127	
		4. 審査 (1)審査 ・「受理伺い」を「受理照会」に変更	063,065	

標準仕様書修正履歴

平成16年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).1 (出生届)	1. データ編集表の項目名称変更 項目名称を送付元から発送元へ修正する。 〃 〃 〃	 108 111 113 117	

標準仕様書修正履歴

平成16年7月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).1 (出生届)	1. 平成15年法律第111号3条に伴う修正 (1) システム処理の概要説明書 出生業務範囲外の処理に(18)を追加 (2) 要件ワークシート(審査) (164-1)～(164-33) 父母が性同一性障害者であった場合の審査を追加	001 020～ 020-2	

標準仕様書修正履歴

平成16年11月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).1 (出生届)	「続柄の記載更正(申出)」に伴うシステムへの対応 (1) データチェック(単体表) No.16 出生子.続柄コードのチェックを変更	004	
		(2) 要件ワークシート(審査) 3.14 審査(出生区分=棄児) 審査削除(27～30) 審査削除に伴う行き先の変更	061	
		3.15 審査(出生区分=嫡出子) 審査削除(15～23) 審査削除に伴う行き先の変更	062	
		3.16 審査(出生区分=準正嫡出子) 審査削除(10～13) 審査削除に伴う行き先の変更	063	
		3.17 審査(出生区分=非嫡出子) 審査削除(13～16) 審査削除に伴う行き先の変更	064	

標準仕様書修正履歴

平成17年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).1 (出生届)	1. 審査 (1)関連チェック表(2／6) ・関連チェックの追加 ： 項番16 入るべき戸籍の父又は母に入力がある場合、入るべき戸籍の本籍及び筆頭者は入力があること	010	
		2. 確認 (1)3.0中間ファイル仮受付の編集 ・届出後本籍コード, 届後本籍, 届後本籍の筆頭者の編集条件の追加	101	
		(2)4.0中間ファイル仮受付・事件本人の編集 ・認知(62条)の場合の届書送付目録区分の設定の変更	105	

標準仕様書修正履歴

平成18年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).1 (出生届)			
	出生23	戸籍喪失者(筆頭者)とその配偶者の嫡出子出生届が 処理できないため、下記対応を行った。 システム処理の概要説明書の出生業務範囲外の処理に 下記、1文を追加。 「(20).国籍喪失者(筆頭者)とその配偶者の嫡出子出生届 (外国人と日本人の嫡出子出生届)(審査結果入力) →. 戸籍編製マトリックスで判断項目が不足しているため、 審査結果入力対象とする。」 また、要件定義ワークシート(レアケース)に 審査結果処理への判定を追加	001 20-2	
	出生28	受理照会審査を受理分の届だけに限定 (送付分の届の場合は審査をスキップ)	065 066	
	出生29	仮受付DBの受付事件本人ファイルに「戸籍の筆頭者」が 存在しない。 基準書通達には存在する。 →「戸籍の筆頭者」を追加した。	102 103 106	
	出生30	出生子の身分事項中、以下の項目編集の備考欄が 不適切であるため、備考欄の記載内容を削除し 別紙に編集仕様を追加した。 「父の国籍」「父の生年月日」 「母の国籍」「母の生年月日」	116 117-1	
	出生35	胎児認知後の出生届において、双方の届書が 送付された場合は、子の胎児認知事項にも 「送付日」「受理者」を編集する。	122	併せて121, 123も提示
	出生37	システム処理の概要説明書の出生業務範囲外の処理に 下記、1文を追加。 「日本人男と外国人母が婚姻し、離婚後300日以内 に出生、別の日本人男が胎児認知届を行い、 前夫との嫡出否認の裁判の出生届」	001	

標準仕様書修正履歴

版数:11.0
平成19年3月1日

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料No.
1	第7.2.(5).1 (出生届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1.　要件定義ワークシート (1) 3.0　審査 受領日と送付日が同一の場合の審査を追加 2.　要件定義ワークシート (1) 3.18　審査 事件名「その他」の場合、送付分の場合の受付Fの事件本人は母となることから、本・非区分は「1(本籍人)」となる。 →受理分の場合は「2(非本籍)」、送付分の場合は「1(本籍)」の審査を追加 3　データ編集表 (1) 9.1 出生　9条2項ファイル編集・出力 9条2項のファイル編集時に、受理日に対して届書ファイルより処理日が設定されていたため、 「送付日又は受領日」に変更。	 020-2 065 065-1 124 126	

30202

標準仕様書修正履歴

平成20年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．1 (出生届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1．システム処理の概要説明書 (1) 出生業務範囲外の処理 業務処理範囲外の追加　(21) 2．データチェック(関連表) (1)　2.0 関連チェック表(6－1／6) ・婚姻中の筆頭者が国籍喪失となっている 戸籍チェック追加 No.68～No.71 追加 3．要件定義ワークシート (1)　3.0 審査 ・出生子の生年月日から300日前と入るべき戸籍の 婚姻日の審査の追加 017及び018は017－1の追加によるもの ・非本籍であっても入るべき戸籍の父又は母の氏と 出生子の氏の審査追加 入るべき戸籍の父の入籍日の有無条件の削除 入るべき戸籍の母の入籍日の有無条件の削除 (2)　3.17 審査 ・非嫡出子・新戸籍編製の際に母以外の届出の場合、 新戸籍＝母の従前本籍の審査追加	001 014－1 017 017－1 018 019 020 064	

30203

標準仕様書修正履歴

平成22年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).1 (出生届)			
	出生59	出生届の裁判区分に「強制認知」がありますが、これを選択しても特記事項へ記録がされない。 特記事項のデータ編集を修正した。	117	
	出生63	出生届の記載例について、戸籍六法の記載例と標準仕様書の記載方法の不一致があるため、標準仕様書を修正する。 特記事項の備考を修正	117	
	出生65	子の父母として外国人と除籍者を入力した場合、受理できてしまうため審査結果となるよう、審査を修正する。 (74)～(81)を審査処理を追加。 017-1の変更内容は017に上記審査処理追加に伴い(98)～(103)を017-1へ移動した。	017 017-1	
	出生69	(123-3)確認メッセージ「届出期間を経過していますので注意して下さい。」に(YES,NO)がない。 確認メッセージをメッセージに変更 「(123-4) 本紙へ」を削除	018	
	出生72	胎児認知届がされている出生届について色々と議論されたが、受理・受理以外は審査結果入力となるよう、審査を修正する。 要件定義ワークシートを修正した。 ※本修正で10版出生35の修正は無効となる	015	
	出生74	在外公館からの送付で母につき新戸籍の場合の従前本籍地の受付帳の事件名は「その他」であるため、そのように修正する。 受付事件コードの備考の在外送付区分判定に「2(在外公館の直接送付)」を追加、 各コードに項目名を付加	100	
	出生81	第11版にて審査(164－34)～(164－39)が追加されているが、飛び元の処理(164―33)が修正されていない。 「(164-33)→(165)」を「(164-33)→(164－34)」に変更	020-2	
	出生82	第12版にて追加された審査(17)～(21)について、YESの場合は不受理となるので、備考部分に「不受理」を追加した方がいい。 (17)に「/」を追加。 (18)の備考に「不受理」を追加。	064	
	出生83	母の死亡届受領後に受領した出生届の審査について審査メッセージ内容を変更する。 (61)を「入るべき戸籍の母が除籍者です。入るべき戸籍に誤りがなければ、審査結果入力にて処理してください。」に変更。	017	

標準仕様書修正履歴

平成24年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).1 (出生届)	標準仕様書修正 1．要件定義ワークシート (出生85) 入るべき戸籍の母が除籍者の場合は、審査結果入力とする。 (出生86) 離婚後300日以内の出生子への「親権」事項の記載について、昭和36年12月5日付民事甲第3061号通達にて記載省略の通達があるが、コンピュータ化の際には省略せず記載することとなっている。システム処理の概要説明に明示することとした。 (出生84) (127-1)～(127-2)責めに帰することのできない事由により、期間経過後に出生届と共に国籍留保の届がされた場合の記載について、出生事項中に【特記事項】として「責めに帰することのできない事由により期間経過」を記載しますが、在外送付区分に関係なく記載することとした。 (128)根拠法令欄の「受理伺い」は誤植。	001 001 019	

標準仕様書修正履歴

平成25年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).1 (出生届)	1. 標準仕様書修正(出生100(2010年1月22日議事)) 12版で追加された(17)～(21)審査について、不受理要件となる内容を修正 (修正前) (17) 届出人. 資格≠母 かつ 新戸籍の本籍≠入るべき戸籍. 本籍 (YES,NO) (修正後) (17) 届出人. 資格≠母 かつ 新戸籍の本籍≠入るべき戸籍. 本籍 かつ 新戸籍の本籍≠スペース かつ 入るべき戸籍. 本籍≠スペース (YES,NO)	64	

標準仕様書修正履歴

平成26年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．1 (出生届)	1．標準仕様書修正(出生106(2013年2月15日議事)) 1．審査処理 ・父外国人・母日本人かつ除籍者の際に「審査結果入力」とする審査を追加 (2008年度13版で追加した(49-1)～(49-4)の審査が2009年度13版で落丁したため、再度追加) 2.追記 ・(50)～(59)が未使用のため、備考に欠番である旨を記述	16－1 17 17	

標準仕様書修正履歴

平成27年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．1 (出生届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1．関連チェック ・ 氏等の関連チェックの追加 修正対象外とする 2.母50歳以上の出生について ・ 医療法第1条の5第1項に規定する病院で出生した場合は、受理して差し支えない。 ・ 学齢に達した審査を送付分を行う 3.データ編集表 ・7.1 子の入籍(一部記録)個人特定 出力区分 異動事件コード 項目削除	 65 65-1 115	

標準仕様書修正履歴

平成28年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．1 (出生届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1．3.0 審査 3/11(レアケース,不受理,以降の処理制御) ・誤植 (78)～(81) を欠番 2．平成26.1.27民一77号による変更 ・父が性同一性障害の場合、確認メッセージにより審査続行とする。 3．3.17 審査 (出生区分＝非嫡出子) ・誤植 ”不受理” 記載もれ 4．3.18 審査 1/2 (受理照会等) ・誤植 飛び先 ”11” を ”10-1” へ	017 20-1 64 65	

標準仕様書修正履歴

平成29年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．1 (出生届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1．関連チェック ・処理日と受領日のチェック ・父母婚姻中の配偶者区分のチェック 2．審査 ・遷移先の誤植 ・12版の修正漏れ ・19版の修正誤植 ・誤植 ・年齢判定記載の変更	 9 14－1 16－1 20 20－1 64 39 65 75	

標準仕様書修正履歴

平成30年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).1 (出生届)	1.標準仕様書修正(出生112) 事実主義の審査が、管内のみに限定されているため、 管外についても審査がされるように修正する。 ①管外で入籍事件日が空欄の場合、(250)まで、スキップ していた処理を削除 ②管外で入籍事件日が空欄の場合の判定を追加 2.標準仕様書修正(出生138) 20版修正の年齢起算の不等号の向きの修正 3.標準仕様書修正(出生139) 審査の飛び先の番号誤り 誤:(164-39)→(165) 正:(164-39)→(164-40) 4.標準仕様書修正(出生141) 住所と世帯主の入力項目がある場合にチェックの有無が 届書でバラツキがあるためチェックを行なう。 以下の関連チェックを追加。 ①(NO.19)出生子.住所＝スペースの時、 (NO.20)出生子.世帯主氏名＝スペースであること ②(NO.20)出生子.世帯主氏名≠スペースの時、 (NO.19)出生子.住所≠スペースであること	20-2,21 33,36,39 39-1,69 72,75,76 82 39,65,75 20-2 11	

標準仕様書修正履歴

平成31年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).1 (出生届)	1.標準仕様書修正(出生142) 21版で追加した関連チエックが不要のため削除 No32、No33 2.標準仕様書修正(出生143) 21版で追加した審査の修正漏れ (92)～(93-1)を削除 3.標準仕様書修正(出生145) 届出期間の計算式の修正	011 075 017-1, 018 ,021, 022, 023, 024, 031, 034, 037, 041, 067, 070, 073, 077, 081	

1. 出生業務範囲外の処理

(1). 国外の出生地主義，条件付出生地主義，血統主義に関する審査
(2). 裁判以外の嫡出の推定を排除する例外事由の内容についての審査
(3). 新国籍法施行前(昭和25年6月30日以前)の出生届(審査結果業務)
(4). 改正国籍法施行前(昭和59年12月31日以前)に外国人と婚姻し，現在も(養)父母の戸籍にいる者の出生届(審査結果業務)
(5). 入るべき戸籍の父母双方が除籍である場合(審査結果業務)
(6). 母重婚中に出生した出生届(審査結果業務)
(7). 親子関係存在確認の裁判によるもの(審査結果業務)
(8). 父母又は母の親子関係不存在確認の裁判によるもの(審査結果業務)
(9). 国籍留保届出人が法定代理人である場合の出生届(審査結果業務)
(10). 非嫡出子を出生した母(構成員，配偶者区分＝未)が，出生当時の戸籍より除籍となっている場合の出生届(審査結果業務)
(11). 父母婚姻前出生，又は婚姻後200日以内出生の時，胎児認知があり，胎児認知者が母の夫以外である場合の出生届(審査結果業務)
(12). 嫡出子出生届により，既に入籍している子の弟妹につき父母との続柄を訂正する場合の訂正処理(訂正業務)
(13). 出生子の名のみの届出の場合(審査結果業務)
(14). 胎児認知がある場合，胎児認知を届け出た市区町村以外への出生の届出(審査結果業務)
及び，送付分による父のみの胎児認知の記録の出生届
(15). 同一人との再婚後に出生した場合の出生届(審査結果業務)
(16). 入るべき戸籍の本籍が管外であり，入籍事件日への入力がない場合は，入るべき戸籍，出生区分等の審査(審査3．5～3．12)については審査しない。
但し，入籍事件日への入力がある場合は，通常の審査を行う。
(17). 改正国籍法施行前(昭和59年12月31日以前)に国外で出生した場合の出生届(審査結果業務)
(18). 父又母が性同一性障害者で，性同一性障害による性別変更以前に出生した出生届(審査結果業務)
(19). 日本人男と外国人母が婚姻し、離婚後300日以内に出生、別の日本人男が胎児認知届を行い、前夫との嫡出否認の裁判の出生届
(20). 国籍喪失者(筆頭者)とその配偶者の嫡出子出生届(外国人と日本人の嫡出子出生届)(審査結果入力)→戸籍編製マトリックスで判断項目が不足しているため、審査結果入力対象とする。
(21). 胎児認知届が証書提出の場合→出生届に証書関連の入力項目が存在しないため、審査結果入力対象とする。
(22). 入るべき戸籍の母が除籍者の場合は、審査結果入力対象とする。

2. 出生届出入力画面の意義

(1). その1画面：出生子・届出人の各項目を入力する。
(2). その2画面：入るべき戸籍・父母の各項目を入力する。
(3). その3画面：上記入力以外の身分事項記載用データを入力する。

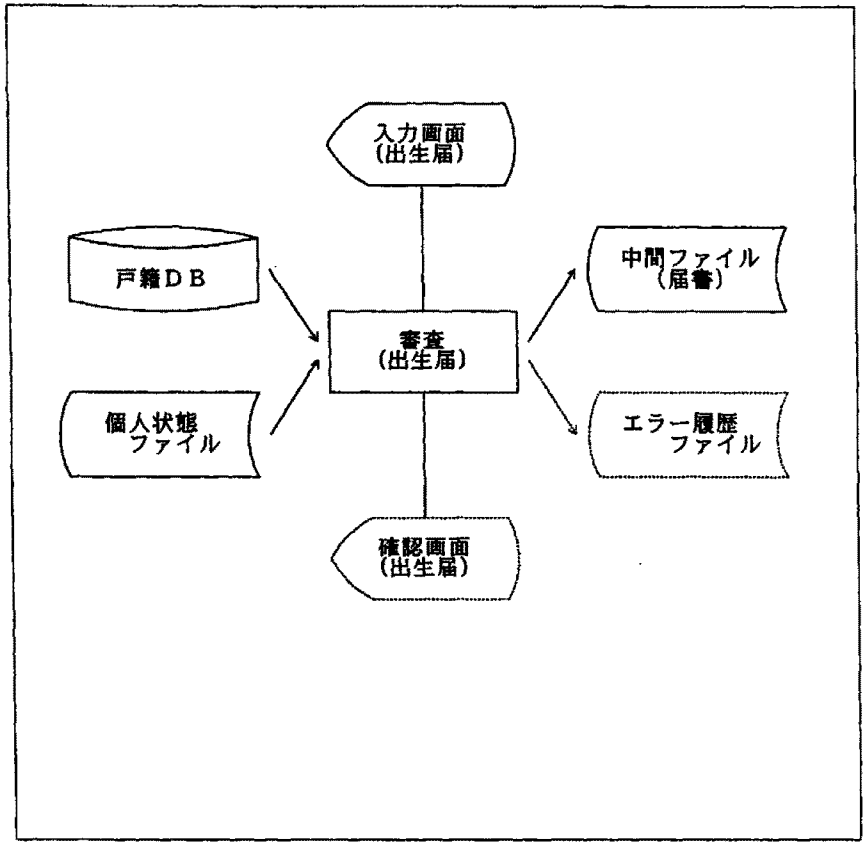
3. その他

(1). 対象父(現夫，前後夫，届書の父)について
・審査で使用している対象父の考えは，画面上に入力された父を現夫として取り扱っている。
従って，審査のパターンによっては，母の実際の夫が後夫として取り扱われる場合もある。
(2). 離婚後300日以内の出生子への「親権」事項の記載について
・昭和36年12月5日民事甲第3061号において、記載不要との先例があるが、コンピュータ化後の記載としては省略せずに記載するものとする。

30205

002

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名　称	入出力区分	名　称	入出力区分
戸籍ＤＢ	入		
個人状態ファイル	入		
中間ファイル（届書）	出		
エラー履歴ファイル	出		

3．処理概要

(1)出生届の内容を画面入力する
(2)出生届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)出生届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)出生届から中間ファイル(届書)を編集・出力する
(6)確認画面(出生届)に制御を渡す

4．機能体系（要件定義書の構成）

- 0.0 本紙
  - 1.0 単体チェック
  - 2.0 関連チェック
  - 3.0 審査(レアケース,不受理,以降の処理制御)
    - 3.1 審査(嫡出否認の裁判)
    - 3.2 審査(親子関係不存在確認の裁判)
    - 3.3 審査(父を定める訴の裁判)
    - 3.4 審査(強制認知の裁判)
    - 3.5 審査(父母日本人婚姻後201日以降出生)
    - 3.6 審査(父母日本人婚姻後200日以内出生)
    - 3.7 審査(父母日本人婚姻前出生)
    - 3.8 審査(父母日本人,母未婚・婚姻解消後出生)
    - 3.9 審査(父日本人,母外国人婚姻後201日以降出生)
    - 3.10 審査(父日本人,母外国人婚姻後200日以内出生)
    - 3.11 審査(父日本人,母外国人婚姻前出生)
    - 3.12 審査(父日本人,母外国人,母未婚・婚姻解消後出生)
    - 3.13 審査(父母外国人・無国籍人出生)
    - 3.14 審査(棄児)
    - 3.15 審査(嫡出子)
    - 3.16 審査(準正嫡出子)
    - 3.17 審査(非嫡出子)
    - 3.18 審査(受理伺い)
    - 3.19 審査(母日本人,父外国人婚姻後201日以降出生)
    - 3.20 審査(母日本人,父外国人婚姻後200日以内出生)
    - 3.21 審査(母日本人,父外国人婚姻前出生)
    - 3.22 審査(母日本人,父外国人,母未婚・婚姻解消後出生)
    - 3.23 審査(母日本人未婚・婚姻解消後出生)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル[届書])

5．備考（特記事項含む）

第２３（３）	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	3／79

処理名	0.0 本紙				根拠法令（マニュアル処理）
(1) 入力画面（出生届）の表示			／		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う。
(2) キー選択（実行キー，ＰＦ１，ＰＦ２，ＰＦ１０，ＰＦ１１，ＰＦ１２，その他）			／		
実行キー	(3) 入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]		／		
	ＹＥＳ	(4) 入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]	／		
		ＹＥＳ (5) 画面の入力項目を全て入力禁止とする	／		
		(6) 審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]	／		
		ＹＥＳ (7) 中間ファイル(届書)を編集・出力する [4.0]		(8) 入力確認処理へ制御を渡す	
		ＮＯ (9) メッセージの種類（審査エラー，確認）	／		
		審査エラー (10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
		確認 (12)確認メッセージを表示し、応答した後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		ＮＯ			
	ＮＯ	(13)エラーメッセージを表示する			
ＰＦ１	―――→			(14)業務選択に制御を渡す	
ＰＦ２	―――→			(15)届出選択に制御を渡す	
ＰＦ７	(16)前ページがあるか(YES,NO)		／		
	ＹＥＳ	(17)前ページ出生画面表示		(18)同画面を編集する	
	ＮＯ	(19)「先頭ページです」			
ＰＦ８	(20)次ページがあるか(YES,NO)		／		
	ＹＥＳ	(21)次ページ出生画面表示		(22)同画面を編集する	
	ＮＯ	(23)「最終ページです」			
ＰＦ１０	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する				入力項目が入力禁止の時のみ有効
ＰＦ１１	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する				審査エラー発生時のみ有効
ＰＦ１２	(26)同画面を初期化する				
その他	(27)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示				

30206

003

第2 3 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	4/79

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表(2/6)	養子縁組(その1) 1/2		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
3	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	発送元		漢字				
5	在外送付区分	○	数字	(0:受理分, 1:国内からの送付, 2:在外公館の直接送付, 3:在外公館の国内経由)であること			
6	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
7	本・非本区分	○	数字	(1:本籍, 2:非本籍)であること			
8	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	動態区分	○	数字	(0:要, 1:不要)であること			
10	報告区分	○	数字	(1:創設的届出, 2:報告的届出)であること			
11	出生証明書区分	○	数字	(0:無, 1:医師・助産師, 2:その他)であること			
12	出生子.カナ氏名	○	カナ	(氏△名 又は 氏)であること			
13	〃 .漢字氏名	○	漢字	(氏△名 又は 氏)であること			
14	〃 .生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出チェックサブルーチン」			
15	〃 .出生区分	○	数字	(1:嫡出子, 2:準正嫡出子, 3:非嫡出子, 4:棄児)であること			
16	〃 .続柄コード	○	数字	~~(10～49,99)であること~~ (11～29,31～49,99)であること			
17	〃 .出生地		漢字				
18	〃 .国籍		漢字				
19	〃 .住所	○	漢字				
20	〃 .世帯主氏名	○	漢字				
21	〃 .世帯主との続柄コード	○	数字				
22	届出人.資格コード	○	数字	(001:父, 002:母, 005:父母, 077:法定代理人, 079:医師, 115:助産師, 081:その他立会人, 082:親族, 085:同居者,			

第２３（５）	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	5／79

処理名	画面名	画面ＩＤ	
1.0 単体チェック表(2/5)	出生（その１）		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
				０９２：船長，０９３：公設所の長，０９７：市区町村長）であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
２３	届出人．資格名称		漢字				
２４	〃　．氏名		漢字	届出人の資格＝００５，０９７の場合未入力 届出人の資格≠００５，０９７の場合入力必須			

005

第2-3（5）	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	6／79

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック表(3/5)	出生（その2）		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
－	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
－	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
－	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
－	発送元		漢字				
－	在外送付区分	○	数字	（0：受理分，1：国内からの送付，2：在外公館の直接送付，3：在外公館の国内経由）であること			
－	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
－	本・非本区分	○	数字	（1：本籍，2：非本籍）であること			
－	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
－	動態区分	○	数字	（0：不要，1：要）であること			
－	報告区分	○	数字	（1：創設的届出，2：報告的届出）であること			
25	入るべき戸籍．婚姻日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
27	〃 ．嫡出子例外区分		数字	（0：無，1：有）であること			
28	〃 ．婚姻解消日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
29	〃 ．母前婚姻解消日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
30	〃 ．本籍		漢字				
31	〃 ．筆頭者		漢字				
32	〃 ．父氏名		漢字				
33	〃 ．父筆頭者区分		数字	（0：構成員，1：筆頭者）であること			
37	〃 ．父配偶者区分		数字	（0：未，1：夫，3：生存配偶者）であること			
34	〃 ．父生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			

第２３（５）	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	7／79

処理名	画面名	画面ＩＤ
1.0 単体チェック表(4/5)	出生（その２）	

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
35	〃　．父入籍事件日		英数	「日付チェックサブルーチン」	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
36	入るべき戸籍．父除籍日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
38	〃　．母氏名		漢字				
39	〃　．母筆頭者区分		数字	（０：構成員，１：筆頭者）であること			
43	〃　．母配偶者区分		数字	（０：未，２：妻，３：生存配偶者）であること			
40	〃　．母生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
41	〃　．母入籍事件日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
42	〃　．母除籍日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
44	届書．父氏名		漢字				
45	〃．父本籍		漢字				
46	〃．父生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
47	〃．父筆頭者		漢字				
48	〃．父外国人区分		数字	（０：日本人，１：外国人）であること			
49	〃．母氏名		漢字				
50	〃．母本籍		漢字				
51	〃．母生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
52	〃．母筆頭者		漢字				
53	〃．母外国人区分		数字	（０：日本人，１：外国人）であること			
54	胎児認知区分		数字	（０：無，１：有）であること			
55	胎児認知日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
56	関連受領番号		数字				

30210

007

第２３(５)	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	8／79

処理名	画面名	画面ＩＤ	
1.0 単体チェック表(5/5)	出生（その３）		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
－	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
－	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
－	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
－	発送元		漢字				
－	在外送付区分	○	数字	（０：受理分，１：国内からの送付，２：在外公館の直接送付，３：在外公館の国内経由）であること			
－	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
－	本・非本区分	○	数字	（１：本籍，２：非本籍）であること			
－	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
－	動態区分	○	数字	（０：不要，１：要）であること			
－	報告区分	○	数字	（１：創設的届出，２：報告的届出）であること			
５７	新戸籍．本籍		漢字				
５８	〃　．筆頭者		漢字				
５９	国籍留保届出人区分		数字	（０：無，１：父，２：母，３：父母）であること			
６０	在外公館名		漢字				
６１	裁判．区分		数字	（０：無，１：嫡出否認，２：親子関係不存在，３：父を定める訴，４：強制認知）であること			
６２	〃　．確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
６３	〃　．子の氏変更申出区分		数字	（０：無，１：有）であること			
６４	〃　．対象父氏名		漢字				
６５	〃　．対象父生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
６８	国内遅延理由区分		数字	（０：無，１：国内有）であること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 29 年 3 月 31日	20	9／79

処　理　名	画　面　名	画 面 ＩＤ	
2.0 関連チェック表(1／6)	出生(共通項目欄)		

No	内　容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備　考
1	(No.3)送付日＝スペースの時，(No.4)発送元＝スペース　であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.3)送付日≠スペースの時，(No.4)発送元≠スペース　であること			
3	(No.3)送付日≠スペースの時，(No.3)送付日≧(No.2)受領日　であること			
4	(No.3)送付日＝スペースの時，(No.5)在外送付区分＝0:受理分　であること			
5	(No.3)送付日＝スペース，かつ，(No.15)出生子の出生区分≠4の時， (No.9)動態区分＝1:要　であること			
6	(No.4)発送元≠スペースの時，(No.5)在外送付区分≠0:受理分　であること			
7	(No.4)発送元≠スペース，かつ，(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外のとき (No.5)在外送付区分＝1:国内からの送付　であること			
8	(No.4)発送元≠スペース，かつ，(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外のとき (No.5)在外送付区分＝2:在外公館の直接送付　または (No.5)在外送付区分＝3:在外公館の国内経由　であること			
9	(No.4)発送元≠スペース，かつ，(No.5)在外送付区分＝2:在外公館の直接送付　のとき (No.9)動態区分＝1:要　であること			
10	(No.4)発送元≠スペース，かつ，(No.5)在外送付区分＝1:国内からの送付　　または (No.5)在外送付区分＝3:在外公館の国内経由　のとき (No.9)動態区分＝0:不要　であること			
11	(No.6)処理日≠スペースの時，(No.6)処理日＞(No.2)受領日　であること			第20版変更
12	(No.8)郵送日≠スペースの時，(No.3)送付日＝スペース　であること			
13	(No.8)郵送日≠スペースの時，(No.8)郵送日≦(No.2)受領日　であること			

30212

009

第2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成17年 3月 1日	9	10/79

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表(2/6)	出生(その1～その3)		

No	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
15	(No.15)出生子の出生区分＝4の時,(No.9)動態区分＝0 であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
16	(No.32～37)父欄のいずれか 又は (No.38～43)母欄のいずれかに入力がある場合, (No.30)本籍≠スペース,(No.31)筆頭者≠スペース であること			
17	(No.28)婚姻解消日≠スペースの時, (No.25)婚姻日≠スペース,(No.28)婚姻解消日≧(No.25)婚姻日 であること			
18	(No.32～37)父欄のいずれかに入力がある場合, (No.32)父氏名,(No.33)父筆頭者区分,(No.34)父生年月日, (No.37)父配偶者区分≠スペース であること			
19	(No.38～43)母欄のいずれかに入力がある場合, (No.38)母氏名,(No.39)母筆頭者区分,(No.40)母生年月日, (No.43)母配偶者区分≠スペース であること			
20	(No.30)本籍≠スペース 又は (No.31)筆頭者≠スペースの時 (No.30)本籍≠スペース,(No.31)筆頭者≠スペース であること (No.32～37)父欄(関連No.18項目) (No.38～43)母欄(同No.19項目) の双方又は一方に入力があること			
21	(No.44～47)父氏名,父本籍,父生年月日,父筆頭者のいずれかに入力がある時 (No.48)父外国人区分＝0の場合 (No.44)父氏名≠スペース,(No.45)父本籍＝本籍,(No.46)父生年月日＝和暦, (No.47)父筆頭者氏名≠スペース であること (No.48)父外国人区分＝1の場合 (No.44)父氏名≠スペース,(No.45)父本籍＝国籍,(No.46)父生年月日＝西暦, (No.47)父筆頭者氏名＝スペース であること			
22	(No.49～52)母氏名,母本籍,母生年月日,母筆頭者のいずれかに入力がある時 (No.53)母外国人区分＝0の場合 (No.49)母氏名≠スペース,(No.50)母本籍＝本籍,(No.51)母生年月日＝和暦, (No.52)母筆頭者氏名≠スペース であること (No.53)母外国人区分＝1の場合 (No.49)母氏名≠スペース,(No.50)母本籍＝国籍,(No.51)母生年月日＝西暦,			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6 年12月 1 日	平成31年 3月31日	22	11／79

30214

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック(3／6)	出生(その1～その3)		

NO	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
	(NO.52)母筆頭者氏名=スペースであること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
23	(NO.57)本籍≠ スペース 又は (NO.58)筆頭者≠ スペースの時 (NO.57)本籍≠ スペースかつ (NO.58)筆頭者≠ スペースであること			
24	(NO.59)国籍留保届出人区分≠ スペースの時、(NO.60)在外公館名=スペースであること			
25	(NO.60)在外公館名≠ スペースの時、(NO.59)国籍留保届出人区分=スペースであること			
26	(NO.61)区分=1, 2の時 (NO.62)確定日≠ スペース,(NO.64)対象父氏名≠ スペース, (NO.65)対象父生年月日≠ スペースであること			
27	(NO.61)区分=3, 4の時 (NO.62)確定日≠ スペース,(NO.63)子の氏変更申出区分=スペース, (NO.64)対象父氏名≠ スペース,(NO.65)対象父生年月日≠ スペースであること			
28	(NO.62)確定日≠ スペースの時 (NO.61)区分≠ スペース,(NO。64)対象父氏名≠ スペース, (NO.65)対象父生年月日≠ スペースであること			
29	(NO.63)子の氏変更申出区分≠ スペースの時 (NO.61)区分=1又は2,(NO.62)確定日≠ スペース,(NO.64)対象父氏名≠ スペース, (NO.65)対象父生年月日≠ スペースであること			
30	(NO.64)対象父氏名≠ スペースの時 (NO.61)区分≠ スペース,(NO.62)裁判確定日≠ スペース, (NO.65)対象父生年月日≠ スペースであること			
31	(NO.65)対象父生年月日≠ スペースの時 (NO.61)区分≠ スペース,・(NO.62)確定日≠ スペース, (NO.64)対象父氏名≠ スペースであること			
32				22版(出生142)
33				22版(出生142)
34	(NO.68)国内遅延理由区分≠ スペースの時 (NO.5)在外送付区分=1、かつ、(NO.4)発送元≠ スペースであること			

011

第2 3 (6)	データチェック（関連表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	12／79

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック(4/6)	出生（その1～その3）		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
35	(NO.22)届出人．資格コード＝０７７（法定代理人），０９３（公設所の長）の時 (NO.23)届出人．資格名称≠スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
36	(NO.22)届出人．資格コード≠０７７（法定代理人），０９３（公設所の長），０９７（市区町村長）の時 (NO.23)届出人．資格名称＝スペースであること			
37	(NO.11)出生証明書区分＝１　又は　(NO.22)届出人資格コード＝０９２（船長）の時 (NO.17)出生地≠スペースであること			
39	(NO.32)父氏名≠スペース　かつ　(NO.38)母氏名≠スペースの時 (NO.32)父氏名（氏）＝(NO.38)母氏名（氏）であること			
40	(NO.48)父外国人区分＝１　かつ　(NO.53)母外国人区分＝１の時 (NO.25~43)入るべき戸籍欄＝スペースであること			
41	(NO.55)胎児認知日≠スペースの時 (NO.32~37)入るべき戸籍の父欄　又は　(NO.44~48)届書の父欄の一方には入力があること			
42	(NO.12)カナ氏名＝氏のみの時 (NO.13)漢字氏名＝氏のみであること			
43	(NO.12)カナ氏名＝氏△名の時 (NO.13)漢字氏名＝氏△名であること			
44	(NO.32)父氏名≠スペースの時 (NO.44~48)届書の父欄＝スペースであること			
45	(NO.38)母氏名≠スペースの時 (NO.49~53)届書の母欄＝スペースであること			
46	(NO.44)父氏名≠スペース (NO.32~37)入るべき戸籍の父欄＝スペースであること			
47	(NO.49)母氏名≠スペースの時 (NO.38~43)入るべき戸籍の母欄＝スペースであること			

第２３（６）	データチェック（関連表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	１３／７９

処理名	画面名	画面ＩＤ
2.0 関連チェック(5/6)	出生（その１～その３）	

Ｎｏ	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
４８	(NO.22)資格コード＝００１（父）の時 (NO.24)氏名＝(NO.32)入るべき戸籍の父氏名　又は (NO.24)氏名＝(NO.44)届書の父氏名　であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
４９	(NO.22)資格コード＝００２（母）の時 (NO.24)氏名＝(NO.38)入るべき戸籍の母氏名　又は (NO.24)氏名＝(NO.49)届書の母氏名　であること			
５０	(NO.22)資格コード＝００５（父母）の時 (NO.32~37)入るべき戸籍の父欄≠スペース　又は　(NO.44~48)届書の父欄≠スペース　かつ (NO.38~43)入るべき戸籍の母欄≠スペース　又は　(NO.49~53)届書の母欄≠スペース　であること			
５１	(NO.25)婚姻日≠スペース　かつ　(NO.28)婚姻解消日＝スペース　かつ (NO.32~37)入るべき戸籍の父欄≠スペースの時 (NO.38~43)入るべき戸籍の母欄≠スペース　又は　(NO.49~53)届書の母欄≠スペースであること			
５２	(NO.25)婚姻日≠スペース　かつ　(NO.28)婚姻解消日＝スペース　かつ (NO.38~43)入るべき戸籍の母欄≠スペースの時 (NO.32~37)入るべき戸籍の父欄≠スペース　又は　(NO.44~48)届書の父欄≠スペースであること			
５３	(NO.25)婚姻日≠スペース　かつ　(NO.28)婚姻解消日＝スペース　かつ (NO.32~37)入るべき戸籍の父欄≠スペース　かつ　(NO.38~43)入るべき戸籍の母欄≠スペースの時 (NO.49~53)届書の母欄＝スペース　かつ　(NO.44~48)届書の父欄＝スペースであること			
５４	(NO.25)婚姻日≠スペース　かつ　(NO.28)婚姻解消日＝スペース　かつ (NO.32~37)入るべき戸籍の父欄＝スペース　かつ　(NO.38~43)入るべき戸籍の母欄＝スペースの時 (NO.49~53)届書の母欄≠スペース　かつ　(NO.44~48)届書の父欄≠スペースであること			
５５	(NO.25)婚姻日＝スペース　かつ　(NO.38~43)入るべき戸籍の母欄≠スペースの時 (NO.32~37)入るべき戸籍の父欄＝スペース　かつ　(NO.49~53)届書の母欄＝スペースであること			
５６	(NO.25)婚姻日＝スペース　かつ　(NO.49~53)届書の母欄≠スペースの時 (NO.38~43)入るべき戸籍の母欄＝スペースであること			
５７	(NO.44~48)届書の父欄≠スペースの時 (NO.38~43)入るべき戸籍の母欄≠スペース　又は　(NO.49~53)届書の母欄≠スペースであること			

第2-3（6）	データチェック（関連表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	14／79

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック(6/6)	出生（その1～その3）		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
58	(NO.32~37)入るべき戸籍の父欄≠スペース　かつ　(NO.38~43)入るべき戸籍の母欄≠スペースの時 (NO.25)婚姻日≠スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
59	(NO.15)出生区分＝4の時 (NO.17)出生地＝スペースであること			
60	(NO.11)出生証明書区分＝1の時 (NO.15)出生区分≠4であること			
61	(NO.15)出生区分≠4の時 (NO.38~43)入るべき戸籍の母欄≠スペース　又は　(NO.49~53)届書の母欄≠スペースであること			
62	(NO.54)胎児認知区分，(NO.55)胎児認知日，(NO.56)関連受領番号のいずれかに入力がある時 (NO.54~56)全てに入力があること			
63	(NO.30)本籍≠スペース　かつ　本籍＝管内の時 (NO.32~37)父欄のいずれかに入力がある場合 (NO.35)父入籍事件日≠スペースであること (NO.38~43)母欄のいずれかに入力がある場合 (NO.41)母入籍事件日≠スペースであること			
64	(NO.36)父除籍日≠スペースの時 (NO.35)父入籍事件日≠スペースであること			
65	(NO.42)母除籍日≠スペースの時 (NO.41)母入籍事件日≠スペースであること			
66	入るべき戸籍の父，入るべき戸籍の母≠スペース　かつ　父母の一方が本籍人の時 入るべき戸籍の父．戸籍番号＝入るべき戸籍の母．戸籍番号であること			
67	(NO.14)生年月日＝和暦の時 (NO.18)国籍＝スペースであること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成　6年12月　1日	平成29年　3月　31日	20	14-1／79

処　理　名	画　面　名	画　面　ＩＤ	
2.0 関連チェック表(6－1／6)	出生(その1～その3)		

No	内　容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備　考
68	(№33)入るべき戸籍.父筆頭者区分＝1 かつ (№36)入るべき戸籍.父除籍日≠スペース かつ (№42)入るべき戸籍.母除籍日＝スペース の時、 (№43)入るべき戸籍.母配偶者区分≠2 であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		12版追加
69	(№36)入るべき戸籍.父除籍日＝スペース かつ (№39)入るべき戸籍.母筆頭者区分＝1 かつ (№42)入るべき戸籍.母除籍日≠スペース の時、 (№37)入るべき戸籍.父配偶者区分≠1 であること			12版追加
70	(№33)入るべき戸籍.父筆頭者区分＝0 かつ (№36)入るべき戸籍.父除籍日＝スペース かつ (№37)入るべき戸籍.父配偶者区分＝1 の時、 (№49)届書.母氏名 ～ (№53)届書.母外国人区分 ＝ (未入力) であること			
71	(№39)入るべき戸籍.母筆頭者区分＝0 かつ (№42)入るべき戸籍.母除籍日＝スペース かつ (№43)入るべき戸籍.母配偶者区分＝2 の時、 (№44)届書.父氏名 ～ (№48)届書.父外国人区分 ＝ (未入力) であること			
72	(№32) 入るべき戸籍.父氏名≠スペース かつ (№36) 入るべき戸籍.父除籍日＝スペース かつ (№25) 入るべき戸籍.婚姻日≠スペース かつ (№28) 入るべき戸籍.婚姻解消日＝スペース かつ (№38)入るべき戸籍.母氏名≠スペース の時、 (№37)入るべき戸籍.父配偶者区分＝1 であること			20版追加
73	(№37) 入るべき戸籍.母氏名≠スペース かつ (№39) 入るべき戸籍.母除籍日＝スペース かつ (№25) 入るべき戸籍.婚姻日≠スペース かつ (№28) 入るべき戸籍.婚姻解消日＝スペース かつ (№32)入るべき戸籍.父氏名≠スペース の時、 (№43)入るべき戸籍.母配偶者区分＝2 であること			20版追加

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年 12月 1日	平成22年 3月 1日	13	15／79

処理名	3.0 審査 1/11 (レアケース, 不受理, 以降の処理制御)			根拠法令 (マニュアル処理)
(1) 関連受領№≠スペース (YES,NO)		／		
YES	(2) 受けF. 受付事件コード≠0202 (YES,NO)	／		
YES	(3) エラーメッセージ 「入力された関連受領№は、胎児認知の受付帳ではありません。」を表示		(4) 本紙へ	不受理
N O	(5) 受けF. 受理送付区分＝1 かつ 在外送付区分＝0 (YES,NO)	／		※出生:受理、胎児認知:受理だけ審査対象 それ以外は審査結果入力
YES	(5-1) → (6)へ	／		
N O	(5-2) エラーメッセージ 「出生、胎児認知が受理分以外の場合は審査結果業務で処理して下さい。」を表示		(5-3) 本紙へ	審査結果入力
N O	(5-4) → (6)へ			
(6) 出生子の生年月日＜昭和25年7月1日 (YES,NO)		／		新国籍法(昭和25. 7. 1施行)
YES	(7) エラーメッセージ 「出生日が新国籍法施行前の出生処理は審査結果業務で処理して下さい。」を表示		(8) 本紙へ	審査結果入力
N O	(9) → (10)へ	／		
(10) 入るべき戸籍の母前婚姻解消日≠スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日≠スペース (YES,NO)		／		
YES	(10-1) 確認メッセージ (YES,NO) 「同一人の再婚でないものとして処理を続行しますか。」を表示		(10-2) 本紙へ	
YES	(10-3) → (10-7)へ	／		
N O	(10-4) エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(10-5) 本紙へ	審査結果入力
N O	(10-6) → (10-7)へ	／		
(10-7) 入るべき戸籍の父氏名≠スペース かつ 届書の母氏名≠スペース かつ 届書の母外国人区分＝1 (YES,NO)		／		
YES	(11) 入るべき戸籍の婚姻日≠スペース (YES,NO)	／		
YES	(13) 父母渉外婚姻区分に1を移送	／		父母渉外婚姻区分は審査処理上の区分
	(14) → (17)へ			
N O	(15) 父母渉外婚姻区分に3を移送	／		
	(16) → (17)へ	／		
N O				
(17) 入るべき戸籍の母氏名≠スペース かつ 届書の父氏名≠スペース かつ 届書の父外国人区分＝1 (YES,NO)		／		
YES	(18) 入るべき戸籍の婚姻日≠スペース (YES,NO)	／		
YES	(20) 父母渉外婚姻区分に2を移送	／		
	(21) → (24)へ	／		

30219

015

第2(3)(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	16／79

処理名	3.0 審査 2/11（レアケース,不受理,以降の処理制御）			根拠法令（マニュアル処理）
NO	(22)父母渉外婚姻区分に4を移送	／		
	(23) → (24)へ	／		
NO				
(24)入るべき戸籍の婚姻日≠スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日＜昭和60年1月1日(YES,NO)		／		改正国籍法(昭和60. 1. 1施行)
YES	(25)父母渉外婚姻区分＝1(YES,NO)	／		
YES	(26)入るべき戸籍の筆頭者≠入るべき戸籍の父氏名(YES,NO)	／		
YES	(27)エラーメッセージ「改正前国籍法下での渉外の婚姻です。審査結果業務より処理して下さい。」を表示		(28)本紙へ	審査結果入力
NO	(29) → (35)へ	／		
NO	(30)父母渉外婚姻区分＝2(YES,NO)	／		
YES	(31)入るべき戸籍の筆頭者≠入るべき戸籍の母氏名(YES,NO)	／		
YES	(32)エラーメッセージ「改正前国籍法下での渉外の婚姻です。審査結果業務より処理して下さい。」を表示		(33)本紙へ	審査結果入力
NO	(34) → (35)へ			
NO		／		
NO				
(35)出生子の生年月日＜昭和60年1月1日(YES,NO)		／		改正国籍法(昭和60. 1. 1施行)
YES	(36)父母渉外婚姻区分＝2(YES,NO)	／		
YES	(37)出生子の生年月日＝和暦(YES,NO)	／		
YES	(38)エラーメッセージ「出生子は外国人です。出生子の生年月日を西暦で入力して下さい。」を表示		(39)本紙へ	不受理
NO	(40) → (46)へ			
NO		／		
NO				
(46)入るべき戸籍の父入籍事件日≠スペース かつ 入るべき戸籍の父除籍日≠スペース かつ 入るべき戸籍の母入籍事件日≠スペース かつ 入るべき戸籍の母除籍日≠スペース(YES,NO)		／		

30220

016

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年 12月 1日	平成 29 年 3 月 31日	20	16-1／79

処理名	3.0 審査 3/11 (レアケース, 不受理, 以降の処理制御)			根拠法令 (マニュアル処理)
YES	(47) エラーメッセージ 「入るべき戸籍に父母が在籍していない為, 審査結果業務より処理して下さい。」を表示		(48) 本紙へ	審査結果入力
N O	(49) → (49-1)へ	／		第20版変更
(49-1) 入るべき戸籍の父氏名～入るべき戸籍の父除籍日＝スペース かつ 届書の父氏名～届書の父外国人区分のいずれかに入力があり かつ 入るべき戸籍の母除籍日≠スペース (YES,NO)		／		第13版変更
YES	(49-2) エラーメッセージ 「入るべき戸籍に母が在籍していない為, 審査結果業務より処理して下さい。」を表示		(49-3) 本紙へ	審査結果入力
N O	(49-4) → (60)へ	／		

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年 12月 1日	平成28年 3 月 31 日	19	17／79

処理名	3.0 審査 3/11 (レアケース, 不受理, 以降の処理制御)			根拠法令 (マニュアル処理)
				(50)～(59)は欠番
		／		
(60) 入るべき戸籍の母筆頭者区分＝0 かつ 入るべき戸籍の母配偶者区分＝0 かつ 入るべき戸籍の母除籍日＞出生子の生年月日 (YES,NO)		／		
YES	(61) エラーメッセージ 「入るべき戸籍の母が除籍者です。入るべき戸籍に誤りがなければ、審査結果入力にて処理して下さい。」 を表示		(62) 本紙へ	不受理 若しくは 一時的に3代戸籍となる場合は審査結果入力
N O	(63) → (64)へ	／		
(64) 胎児認知区分＝1 (YES,NO)		／		
YES	(65) 出生子の生年月日≦胎児認知日 (YES,NO)	／		
YES	(66) エラーメッセージ 「出生後に胎児認知があります。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示		(67) 本紙へ	不受理
N O	(68) → (69)へ	／		
	(69) 関連受領番号に対応する受付F. 事件本人漢字氏名・生年月日＝ 入るべき戸籍の父 又は 届書の父 (YES,NO)	／		
YES	(70) → (98)へ	／		
N O	(71) エラーメッセージ 「胎児認知者と入るべき戸籍の父又は届書の父が違います。」を表示		(72) 本紙へ	審査結果入力
N O	(73) → (74)へ	／		
(74) 入るべき戸籍. 父入籍事件日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍. 父除籍日 ≠ スペース かつ 届書. 母外国人区分 ＝ 1(外国人) (YES,NO)		／		
YES	(75) エラーメッセージ 「入るべき戸籍の父母が在籍していない為, 審査結果入力より処理して下さい。」を表示		(76) 本紙へ	審査結果入力
N O	(77) → (98)へ	／		
				(78)～(81)は欠番

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年 12月 1日	平成31年 3月31日	22	17-1／79

処理名	3.0 審査 3／11 (レアケース, 不受理, 以降の処理制御)	根拠法令 (マニュアル処理)
	(98) 入るべき戸籍の母入籍事件日＋300日≧出生子の生年月日 (YES,NO) ／	
YES	(99) 入るべき戸籍の母入籍事件日＞出生子の生年月日 (YES,NO) ／	
YES	(100) 確認メッセージ (YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は, 入力した戸籍でよろしいですね。」を表示	(101) 本紙へ
YES	(102) → (112)へ ／	
N O	(103) →	(104) 本紙へ 不受理
N O	(104-1) 入るべき戸籍の母の婚姻日＋300日≧出生子の生年月日 (YES,NO) ／	
YES	(105) 入るべき戸籍の母前婚姻解消日＝スペース (YES,NO) ／	
YES	(106) 確認メッセージ (YES,NO) を表示 「母に前婚姻解消の履歴がないものとして処理を続行しますか。」	(107) 本紙へ
YES	(108) → (112)へ ／	
N O	(109) →	(110) 本紙へ 不受理
N O	(111) → (112)へ ／	
N O	／	

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年 12月 1日	平成31年 3月31日	22	18／79

30223

処理名 3.0 審査 4／11 (レアケース, 不受理, 以降の処理制御)				根拠法令 (マニュアル処理)
N O	(111-1) 入るべき戸籍の父入籍事件日＋300日≧出生子の生年月日 (YES,NO)	／		
YES	(111-2)入るべき戸籍の父入籍事件日＞出生子の生年月日 (YES,NO)	／		
YES	(111-3) 確認メッセージ (YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示		(111-4) 表紙へ	
YES	(111-5) → (112)へ	／		
N O	(111-6) →		(111-7) 本紙へ	不受理
N O	(111-8) → (112)へ			
N O				
(112) 出生子の出生地＝国外 かつ 出生子の生年月日≧昭和60年1月1日 かつ 出生子の国籍＝スペース (YES,NO)		／		
YES	(113) 国籍留保届出人区分＝スペース (YES,NO)	／		戸104Ⅰ,昭和23.6.24 民事甲1989号通達
YES	(114) 在外公館名＝スペース (YES,NO)	／		昭和32.9.21 民事甲1833号通達
YES	(115) 確認メッセージ (YES,NO) 「外国国籍を取得していませんね。」 を表示		(116) 本紙へ	
YES	(117) → (123-1)へ	／		
N O	(118) →		(119) 本紙へ	不受理
N O	(120) 確認メッセージ (YES,NO) 「在外公館職員は父として処理を続行しますか。」 を表示			
YES	(121) 中間F(届書). 大使館職員区分に1を移送	／		
N O	(122) 中間F(届書). 大使館職員区分に2を移送	／		
	(123) → (123-1)へ	／		
	(123-1) 受領日≦出生子の生年月日 ＋3ヶ月(YES,NO)	／		戸104Ⅰ
YES	(123-2) → (133)へ	／		
N O	(123-3) メッセージ 「届出期間を経過していますので注意して下さい。」 を表示			戸104Ⅲ

018

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年 12月 1日	平成 24 年 3月 1日	15	19／79

処理名			3.0 審査 5/11 (レアケース, 不受理, 以降の処理制御)			根拠法令 (マニュアル処理)
			(123-4-1) → (133)へ	／		
			(123-4-2) から (123-7) まで, 削除	／		
				／		
				／		
				／		
				／		
	N O		(124) 受領日≦出生子の生年月日＋3ケ月 (YES,NO)	／		戸104 I
		YES	(125) → (133)へ	／		
		N O	(126) 確認メッセージ (YES,NO) 「遅延理由書の添付があるものとして処理を続行しますか。」 を表示		(127) 本紙へ	戸104III
			~~(127-1) 在外送付区分＝2又は3 (YES,NO)~~	／		(15版修正)
			~~YES (127-2) →(133)へ~~	／		(15版修正)
			~~N O~~ (128) 中間F(届書). 国外遅延理由区分に1を移送	／		~~受理伺へ~~ 誤植(15版修正)
			(129) → (133)へ	／		
			N O (130) →		(131) 本紙へ	不受理, 大正13.11.14 民事11606号回答
	N O		(132) 出生子の出生地＝国外 かつ 出生子の生年月日＜昭和60年1月1日 (YES,NO)	／		
		YES	(132-1) エラーメッセージ 「改正国籍法以前の国外出生の出生届は審査結果で行って下さい。」 を表示		(132-2) 本紙へ	審査結果入力
		N O	(132-3) → (133)へ	／		
			(133) 出生子の漢字氏名(名)＝スペース (YES,NO)	／		
	YES		(134) 確認メッセージ (YES,NO) 「出生子は名未定として処理を続行しますか。」 を表示		(135) 本紙へ	
		YES	(136) → (140)へ	／		
		N O	(137) 確認メッセージ (YES,NO) 「名のみの届出ですか。」 を表示		(138) 本紙へ	
			YES (138-1) エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			審査結果入力
			N O (138-2) →			不受理
	N O		(139) → (140)へ	／		
			(140) ~~入るべき戸籍の父入籍事件日≠スペース~~ かつ 入るべき戸籍の父除籍日＝スペース かつ 出生子の生年月日＝和暦 かつ 入るべき戸籍の婚姻日≠スペース (YES,NO)	／		昭和39.8.5-6 島根県戸住協決 12版改修

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年 12月 1日	平成 29 年 3 月 31 日	20	20／79

処理名	3.0 審査 6/11 (レアケース, 不受理, 以降の処理制御)			根拠法令 (マニュアル処理)
YES	(140-1) 入るべき戸籍の父氏名≠スペース (YES,NO)	／		第20版変更
	YES (141) 入るべき戸籍の父氏名(氏)＝出生子の漢字氏名(氏) (YES,NO)			民790Ⅰ本文, 民790Ⅱ 第20版変更
	YES (142) → (145)へ	／		第20版変更
	N O (143) エラーメッセージ 「入るべき戸籍の父と出生子の氏(漢字)が違います。」 を表示		(144) 本紙へ	不受理 第20版変更 第20版変更
	(145) 入るべき戸籍の父氏名(名)＝出生子の漢字氏名(名) (YES,NO)	／		昭和40.6.21 民事甲1430号回答 第20版変更
	YES (146) エラーメッセージ 「入るべき戸籍の父と出生子の名(漢字)が同じです。」 を表示		(147) 本紙へ	不受理 第20版変更 第20版変更
	N O (148) → (149)へ			第20版変更
	N O	／		第20版変更
N O				
(149) ~~入るべき戸籍の母入籍事件日≠スペース~~ かつ 入るべき戸籍の母除籍日＝スペース かつ 出生子の生年月日＝和暦 (YES,NO)		／		昭和39.8.5～6 島根県戸住協決 12版改修
YES	(149-1) 入るべき戸籍の母氏名≠スペース (YES,NO)	／		第20版変更
	YES (150) 入るべき戸籍の母氏名(氏)＝出生子の漢字氏名(氏) (YES,NO)	／		民790Ⅰ本文, 民790Ⅱ 第20版変更
	YES (151) → (154)へ	／		第20版変更
	N O (152) エラーメッセージ 「入るべき戸籍の母と出生子の氏(漢字)が違います。」 を表示		(153) 本紙へ	不受理 第20版変更 第20版変更
	(154) 入るべき戸籍の母氏名(名)＝出生子の漢字氏名(名) (YES,NO)	／		昭和40.6.21 民事甲1430号回答 第20版変更
	YES (155) エラーメッセージ 「入るべき戸籍の母と出生子の名(漢字)が同じです。」 を表示		(156) 本紙へ	不受理 第20版変更 第20版変更
	N O (157) → (158)へ			第20版変更
	N O	／		第20版変更
N O				
(158) 入るべき戸籍の本籍＝管内 かつ 出生子の漢字氏名(名)≠スペース かつ (入るべき戸籍の母配偶者区分＝2又は3 又は 入るべき戸籍の母筆頭者区分＝1) (YES,NO)		／		
YES	(159) 入るべき戸籍の構成員数分繰り返す(構成員の個人特定DB. 個人除区分＝0の者のみ)	／		
	(160) 入るべき戸籍の構成員n番の氏名(名)＝出生子の漢字氏名(名) (YES,NO)	／		
	YES (161) エラーメッセージ 「入るべき戸籍の構成員と出生子の名(漢字)が同じです。」 を表示		(162) 本紙へ	不受理
	N O (163) → (164-1)へ	／		
N O	(164) → (164-1)へ	／		

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年 12月 1日	平成 29 年 3 月 31 日	20	20-1／79

処理名	3.0 審査 6-1/11 (レアケース, 不受理, 以降の処理制御)			根拠法令 (マニュアル処理)
(164-1) 入るべき戸籍の本籍＝管内 (YES,NO)		／		
YES	(164-2) 入るべき戸籍の父氏名≠スペース (YES,NO)	／		
	YES (164-3) 父の身分事項に性同一性障害(7003)がある (YES,NO)	／		平成15年法律第111号3条
		YES (164-4) 確認メッセージ (YES,NO) 「父に性同一性障害の記録があります。 よろしければ処理を続行してください。」を表示		(164-5) 本紙へ	第19版変更
		YES (164-6) → (164-10)へ	／		第19版変更
		ＮＯ (164-8) →			不受理 第20版変更
	ＮＯ (164-9) → (164-10)へ		／		
	ＮＯ				
	(164-10)入るべき戸籍の母氏名≠スペース (YES,NO)	／		
	YES (164-11) 母の身分事項に性同一性障害(7003)がある (YES,NO)	／		平成15年法律第111号3条
		YES (164-12) 確認メッセージ (YES,NO) 「母に性同一性障害の記録があります。 母に間違いありませんね？」を表示		(164-13) 本紙へ	
		YES (164-14) エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(164-15) 本紙へ	審査結果入力
		ＮＯ (164-16) →			不受理 第20版変更
	ＮＯ (164-17) → (164-18)へ				
	ＮＯ		／		
ＮＯ					
(164-18) 届書の父本籍＝管内 (YES,NO)		／		
YES	(164-19) 父の身分事項に性同一性障害(7003)がある (YES,NO)	／		平成15年法律第111号3条
	YES (164-20) 確認メッセージ (YES,NO) 「父に性同一性障害の記録があります。父に間違いありませんね？」を表示			(164-21) 本紙へ	
		YES (164-22) エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(164-23) 本紙へ	審査結果入力
		ＮＯ (164-24) →			不受理 第20版変更
	ＮＯ (164-25) → (164-26)へ		／		
ＮＯ					

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年 12月 1日	平成 30 年 3月31日	21	20-2／79

処理名	3.0 審査 6-2／11 (レアケース, 不受理, 以降の処理制御)			根拠法令 (マニュアル処理)
(164-26)届書の母本籍＝管内 (YES,NO)		／		
YES	(164-27)母の身分事項に性同一性障害(7003)がある (YES,NO)	／		平成15年法律111号
YES	(164-28)確認メッセージ (YES,NO) 「母に性同一性障害の記録があります。母に間違いありませんね。」(YES,NO)		(164-29)本紙へ	
YES	(164-30)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」		(164-31)本紙へ	審査結果入力
N O	(164-32) →			画面項目修正(審査完了しない)
N O	(164-33) → (164-34)へ	／		
N O		／		
(164-34)出生子、出生区分＝1(嫡出子) (YES,NO)		／		
YES	(164-35) 入るべき戸籍の父筆頭者区分 ＝ 0:構成員かつ 入るべき戸籍の父配偶者区分 ≠ 0:未 かつ 届書の母外国人区分 ＝ 1:外国人 または、 入るべき戸籍の母筆頭者区分 ＝ 0:構成員かつ 入るべき戸籍の母配偶者区分 ≠ 0:未 かつ 届書の父外国人区分 ＝ 1:外国人 (YES,NO)	／		
YES	(164-36) 審査メッセージ 「日本人父又は母が構成員で、外国人配偶者との嫡出子出生届です。」(YES、NO)	／		
YES	(164-37) エラーメッセージ 「審査結果入力で処理してください。」		(164-38)本紙へ	
N O				
N O	(164-39) → (164-40)へ	／		21版(出生139)
N O				
(164-40)受領日＝送付日の場合 確認メッセージ (YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示		／		
YES	(164-41) → (165)へ	／		
N O	(164-42) →		(164-43)本紙へ	
				21版で削除(出生112)

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年 12月 1日	平成31年 3月31日	22	21／79

処理名	3.0 審査 7／11 (レアケース, 不受理, 以降の処理制御)	根拠法令 (マニュアル処理)

(165) 裁判区分 (0 : 無, 1 : 嫡出否認, 2 : 親子関係不存在, 3 : 父を定める訴, 4 : 強制認知)			／		
0	(166) → (187) へ		／		
1	(167) 嫡出否認の裁判審査処理へ	[3.1]	／		
	(171) → (187) へ		／		
2	(172) 親子関係不存在確認の裁判審査処理へ	[3.2]	／		
	(176) → (187) へ		／		
3	(177)父を定める訴の裁判審査処理へ	[3.3]	／		
	(178) 3.3審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)		／		
	YES (179) →			(180) 本紙へ	
	NO (181) → (187) へ		／		
4	(182) 強制認知の裁判審査処理へ	[3.4]	／		
	(186) → (187) へ		／		
(187) 入るべき戸籍の母欄≠ スペース 又は 届書の母欄≠ スペース かつ 届書の母外国人区分=0(YES,NO)			／		
YES	(188) 入るべき戸籍の父欄≠ スペース 又は 届書の父欄≠ スペース かつ 届書の父外国人区分=0(YES,NO)		／		
	YES	(189) (入るべき戸籍の婚姻解消日＝スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日＋200日＜出生子の生年月日) 又は (入るべき戸籍の婚姻解消日≠スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日＋200日＜出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の婚姻解消日＋300日≧出生子の生年月日) (YES、NO)	／		
		YES (190) 父母日本人,婚姻後201日以降出生審査処理へ [3.5]	／		
		(191) 3.5審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	／		
		YES (192) →		(193) 本紙へ	
		NO (194) → (250) へ	／		
		NO (195) (入出る生べき戸籍の婚姻解消日=スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日＜出生子の生年月日) 又は (入るべき戸籍の婚姻解消日≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日＜出生子の生年月日 かつ	／		

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年 12月 1日	平成31年 3月31日	22	22／79

処理名	3.0 審査 8／11 (レアケース, 不受理, 以降の処理制御)					根拠法令 (マニュアル処理)
			入るべき戸籍の婚姻日＋200日≧出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の婚姻解消日＜出生子の生年月日(YES,NO)	／		
		YES	(196) 父母日本人,婚姻後200日以内出生審査処理へ [3.6]	／		
			(197) 3.6審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある (YES,NO)	／		
			YES (198) →		(199)本紙へ	
			NO (200) → (250) へ	／		
		NO	(201) 出生子の生年月日≦ 入るべき戸籍の婚姻日かつ 入るべき戸籍の婚姻解消日=スペース(YES,NO)	／		
			YES (201-1) 父母日本人,婚姻前出生審査処理へ [3.7]	／		
			(202) 3.7審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	／		
			YES (203) →		(204) 本紙へ	
			NO (205) → (250)へ	／		
			NO (206) 父母日本人,未婚・婚姻解消後出生審査処理へ[3.8]	／		
			(207) 3.8審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	／		
			YES (208) →		(209)本紙へ	
			NO (210) → (250) へ	／		
	NO	(210-1)届書の父欄≠ スペース かつ 届書の父外国人区分=1(YES,NO)		／		
		YES	(210-2) 入るべき戸籍の婚姻解消日=スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日＋200日＜出生子の生年月日 又は 入るべき戸籍の婚姻解消日≠スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日＋200日＜出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の婚姻解消日＋300日≧出生子の生年月日 (YES,NO)		／	
			YES (210-3) 母日本人・父外国人,婚姻後201日以降出生審査処理へ [3.19]	／		
			(210-4) 3.19審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	／		
			YES (210-5) →		(210-6)本紙へ	
			NO (210-7) → (250) へ	／		

30230

処理名	3.0 審査 9／11 (レアケース, 不受理, 以降の処理制御)				根拠法令 (マニュアル処理)
NO	(210-8) (入るべき戸籍の婚姻解消日＝スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日＜出生子の生年月日) 又は (入るべき戸籍の婚姻解消日≠スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日＜出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の婚姻日＋200日≧出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の婚姻解消日＜出生子の生年月日) (YESNO)	／		
	YES (210-9) 母日本人・父外国人,婚姻後200日以内出生審査処理へ [3.20]	／		
	(210-10) 3,20審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	／		
	YES (210-11) →		(210-12) 本紙へ	
	NO (210-13) → (250) へ	／		
	NO (210-14) 出生子の生年月日 ≦ 入るべき戸籍の婚姻日 かつ 入るべき戸籍の婚姻解消日=スペース(YES,NO)	／		
	YES (210-15) 母日本人・父外国人,婚姻前出生審査処理へ [3.21]	／		
	(210-16) 3.21審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES, NO)	／		
	YES (210-17) →	／	(210-18)本紙へ	
	NO (210-19) → (250)へ	／		
	NO (210-20) 母日本人・父外国人,未婚・婚姻解消後出生審査処理へ [3.22]	／		
	(210-21) 3.22審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	／		
	YES (210-22) →		(210-23) 本紙へ	
	NO (210-24) → (250)へ	／		
NO	(210-25)母日本人,未婚・婚姻解消後出生審査処理へ [3.23]	／		
	(210-36) 3.23審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある (YSE, NO)	／		
	YES (210-37)		(210-38) 本紙へ	
	NO (210-39) → (250) へ	／		

023

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年 12月 1日	平成31年 3月31日	22	24／79

処理名	3.0 審査 10／11 (レアケース, 不受理, 以降の処理制御)		根拠法令 (マニュアル処理)
NO	(211) 入るべき戸籍の父欄≠ スペース 又は 届書の父欄≠ スペース かつ 届書の父外国人区分=0(YES,NO)	／	
YES	(213) (入るべき戸籍の婚姻解消日＝スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日＋200日＜出生子の生年月日) 又は (入るべき戸籍の婚姻解消日≠スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日＋200日＜出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の婚姻解消日＋300日≧出生子の生年月日)(YES、NO)	／	
YES	(214) 父母日本人,母外国人,婚姻後201日以降出生審査処理へ [3.9]	／	
	(215) 3.9審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	／	
	YES (216) →		(217) 本紙へ
	NO (218) → (250) へ	／	
NO	(219) (入るべき戸籍の婚姻解消日＝スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日＜出生子の生年月日) 又は (入るべき戸籍の婚姻解消日≠スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日＜出生子の生年月日＞ かつ 入るべき戸籍の婚姻日＋200日≧出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の婚姻解消日＜出生子の生年月日)(YES、NO)	／	
	YES (220) 父日本人,母外国人,婚姻後200日以内出生審査処理へ[3.10]	／	
	(221) 3.10審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある (YES, NO)	／	
	YES (222) →		(223)本紙へ
	NO (224) → (250) へ	／	
NO	(225) 出生子の生年月日≦ 入るべき戸籍の婚姻日かつ 入るべき戸籍の婚姻解消日=スペース(YES,NO)	／	
	YES (225-1)父日本人,母外国人,婚姻前出生審査処理へ [3.11]	／	
	(226) 3.11審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	／	
	YES (227) →		(228) 本紙へ
	NO (229) → (250)へ	／	
	NO (230)父日本人,母外国人,未婚・婚姻解消後出生審査処理へ [3.12]	／	
	(231) 3.12審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセ		

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	25／79

処理名	3.0 審査 11/11（レアケース,不受理,以降の処理制御）	根拠法令（マニュアル処理）

					ージがある(YES,NO)								
					YES	(232) →			(233) 本紙へ				
					NO	(234) → (250) へ		／					
	NO	(235)届書の母氏名≠スペース(YES,NO)						／					
		YES	(236) 父母外国人・無国籍の出生審査処理へ [3.13]					／					
			(237) 3.13審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある (YES,NO)					／					
			YES	(238) →					(239) 本紙へ				
			NO	(240) → (269) へ				／					
		NO	(241) 確認メッセージ(YES,NO) 「棄児の処理として続行しますか。」を表示						(242) 本紙へ				
			YES	(243) 棄児の審査処理へ [3.14]				／					
				(244) 3.14審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある (YES,NO)				／					
				YES	(245) →				(246) 本紙へ				
				NO	(247) → (250) へ			／					
			NO	(248) →					(249) 本紙へ	受理伺い			
(250) 出生子の生年月日＝西暦 かつ 出生子の出生区分≠2 (YES,NO)								／					
YES	(251) → (269)へ							／					
NO	(252) → (253)へ							／					
(253) 出生子の出生区分（1：嫡出子，2：準正嫡出子，3：非嫡出子）								／					
1	(254) 嫡出子の審査処理へ [3.15]							／					
	(255) 3.15審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)							／					
	YES	(256) →							(257) 本紙へ				
	NO	(258) → (269) へ						／					
2	(259) 準正嫡出子の審査処理へ [3.16]							／					
	(260) 3.16審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)							／					
	YES	(261) →							(262) 本紙へ				
	NO	(263) → (269) へ						／					

30232

025

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	25-1／79

処理名	3.0 審査 11-1/11（レアケース,不受理,以降の処理制御）	根拠法令（マニュアル処理）

3	(264) 非嫡出子の審査処理へ [3.17]		／		
	(265) 3.17審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)		／		
	YES	(266) →		(267) 本紙へ	
	NO	(268) → (269) へ	／		
(269) 受理伺いの審査処理へ [3.18]			／		
(270) →				(271) 本紙へ	

30233

026

第2章(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	26／79

処理名	3.1 審査（嫡出否認の裁判）	根拠法令（マニュアル処理）

(1) 裁判の対象父氏名・生年月日＝入るべき戸籍の父氏名・生年月日 又は 裁判の対象父氏名・生年月日＝届書の父氏名・生年月日(YES,NO)	／		
YES	(2) 対象父区分に1（現夫）を移送		(3) 3.0審査へ	対象父区分は審査上の区分
NO	(4) 対象父区分に2（前後夫）を移送			
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		

30234

027

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	27／79

処理名	3.2 審査（親子関係不存在確認の裁判）			根拠法令 （マニュアル処理）
	(1) 裁判の対象父氏名・生年月日＝入るべき戸籍の父氏名・生年月日 又は 裁判の対象父氏名・生年月日＝届書の父氏名・生年月日(YES,NO)	／		
YES	(2) 対象父区分に1（現夫）を移送		(3) 3.0審査へ	対象父区分は審査上の区分
NO	(4) 対象父区分に2（前後夫）を移送			

30235

028

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	28／79

処理名	3.3 審査（父を定める訴の裁判）		根拠法令 （マニュアル処理）
(1) 裁判の対象父氏名・生年月日＝入るべき戸籍の父氏名・生年月日 又は 裁判の対象父氏名・生年月日＝届書の父氏名・生年月日(YES,NO)	／		
YES	(2) →		(3) 3.0審査へ
NO	(4) エラーメッセージ 「父を定める裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示		不受理

第２３（３）	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	２９／７９

処理名	3.4 審査（強制認知の裁判）			根拠法令　（マニュアル処理）
(1) 裁判の対象父氏名・生年月日＝入るべき戸籍の父氏名・生年月日(YES,NO)		／		
ＹＥＳ	(2) 対象父区分に１（現夫）を移送		(3) 3.0審査へ	対象父区分は審査上の区分
Ｎ　Ｏ	(4) → (5)へ	／		
(5) 裁判の対象父氏名・生年月日＝届書の父氏名・生年月日(YES,NO)		／		
ＹＥＳ	(6) 対象父区分に３（届書の父）を移送		(7) 3.0審査へ	
Ｎ　Ｏ	(7) 対象父区分に２（前後夫）を移送			
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		

30237

030

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年 12月 1日	平成31年 3月31日	22	30／79

処理名	3.5 審査 1／3 (父母日本人婚姻後201日以降出生)		根拠法令 (マニュアル処理)
(1) 入るべき戸籍の母前婚姻解消日＋300日≧出生子の生年月日(YES,NO)		／	民772Ⅱ
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示		(3) 3.0審査へ
YES	(11)裁判の区分 (0 : 無, 1 : 嫡出否認, 2 : 親子関係不存在, 3 : 父を定める訴, 4 : 強制認知)	／	
0	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。 」を表示		(13) 3.0審査へ 昭28. 7.20 民事甲 1238号回答
YES	(14) → (63) へ	／	
NO	(15)入るべき戸籍の嫡出子例外区分 (0 : 無, 1 : 有)	／	
0	(19)出生子の出生区分=1(YES,NO)	／	戸49Ⅱ1
YSE	(20)中間F (届書) . 父未定区分に 1 を移送	／	戸54
	(21) → (63)へ	／	
NO	(22)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示		(23) 3.0審査へ 不受理 昭20. 9.24 民事特甲 408号回答 昭24. 9. 5 民事甲 1942号回答
1	(24)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項入力して下さい。」を表示		不受理
1.2	(25)対象父区分(1 : 現夫, 2 : 前後夫)	／	民775
1	(26)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(27) 3.0審査へ 不受理
2	(28)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示		
YES	(29) → (63)へ	／	
NO	(30) →		(30-1) 3.0審査へ 不受理
3	(31) → (63)へ	／	民773
4	(36)対象父区分(1 : 現夫, 2 : 前後夫, 3 : 届書の父)	／	
1. 3	(37) → (63)へ	／	

30238
031

第2(3)(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	31／79

処理名	3.5 審査 2/3（父母日本人婚姻後201日以降出生）					根拠法令（マニュアル処理）
			2	(38)エラーメッセージ「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(39)3.0審査へ	不受理
	N O	(40) → (41)へ			／		
N O					／		
(41)裁判の区分（0：無，1：嫡出否認，2：親子関係不存在，3：父を定める訴，4：強制認知）					／		
0	(42) → (63)へ				／		
1，2	(43)対象父区分（1：現夫，2：前後夫）				／		民775
	1	(44) → (78)へ			／		
	2	(50) → (63)へ			／		
3	(54) → (63)へ				／		民773
4	(55)対象父区分（1：現夫，2：前後夫，3：届書の父）				／		民787
	1，3	(56) → (63)へ			／		
	2	(57)エラーメッセージ「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示				(58)3.0審査へ	不受理
(63)入るべき戸籍の嫡出子例外区分（0：無，1：有）					／		
0	(64)出生子の出生区分＝1(YES,NO)				／		戸49II1
	YES	(65)胎児認知日＝スペース(YES,NO)			／		
		YES	(66)出生子の生年月日＝和暦(YES,NO)		／		
			YES	(67) →		(68)3.0審査へ	
			N O	(69)エラーメッセージ「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
		N O		(70)エラーメッセージ「現夫の嫡出子です。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示			不受理
	N O			(71)エラーメッセージ「出生子の出生区分は1（嫡出子）でなければなりません。」を表示			不受理
1	(72) → (78)へ				／		
(78)胎児認知日＝スペース(YES,NO)					／		

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年 12月 1日	平成30年 3月31日	21	32／79

処理名	3.5 審査 3/3 (父母日本人婚姻後201日以降出生)			根拠法令 (マニュアル処理)
YES	(79)入るべき戸籍の婚姻解消日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻解消日 < 出生子の生年月日(YES,NO)	／		
YES	(79-1)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の本籍 = 管外 かつ 入るべき戸籍の母入籍事件日 = スペース(YES, NO)	／		21版(出生112)
YES	(79-2) → (88) へ	／		21版(出生112)
NO	(79-3) → (80) へ	／		21版(出生112)
	(80) 入るべき戸籍の母入籍事件日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の母除籍日 = スペース(YES, NO)	／		
YES	(81) → (88) へ	／		
NO	(82)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示		(83)3.0審査へ	
YES	(84) → (88) へ	／		
NO	(85) →		(86)3.0審査へ	不受理
NO	(87) → (88) へ	／		
	(88)出生子の出生区分 = 3(YES,NO)	／		戸49II 1
YES	(89)出生子の生年月日 = 和暦(YES,NO)	／		
YES	(90) →		(91)3.0審査へ	
NO	(92)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(93)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(107)エラーメッセージ 「現夫による胎児認知は出来ません。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示			不受理

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年 12月 1日	平成31年 3月31日	22	36／79

処理名	3.6 審査 1／3 (父母日本人婚姻後200日以降出生)			根拠法令 (マニュアル処理)
(1) 入るべき戸籍の母前婚姻解消日＋300日≧出生子の生年月日(YES,NO)		／		
	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示		(3)3.0審査へ	民772
YES	(11)裁判の区分(0 ： 無, 1 ： 嫡出否認, 2 ： 親子関係不存在, 3 ： 父を定める訴, 4 ： 強制認知)	／		
0	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。 」を表示		(13)3.0審査	
YES	(14) → (52)へ	／		
NO	(15)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(16)3.0審査へ	不受理
1	(17)対象父区分(1 ： 現夫, 2 ： 前後夫)	／		民775
1	(18)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(19)3.0審査へ	不受理
2	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示			
YES	(20-1) → (52)へ	／		
NO	(20-2) →		(20-3)3.0審査へ	不受理
2	(20-4)対象父区分 (1 ： 現夫, 2 ： 前後夫)	／		民775
1	(20-5)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(20-6)3.0審査へ	不受理
2	(20-7)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示			
YES	(20-8) → (52)へ	／		
NO	(20-9) →		(20-10)3.0審査へ	不受理
3	(21)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示			不受理 民773
4	(22)対象父区分(1 ： 現夫, 2 ： 前後夫, 3 ： 届書の父)	／		民787

30241

034

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	37／79

処理名	3.6 審査 2/3（父母日本人婚姻後200日以内出生）			根拠法令 （マニュアル処理）
	1，3	(23) → (52)へ	／	
	2	(24)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示	(25)3.0審査へ	不受理
	NO	(31) → (32)へ	／	
NO			／	
(32)裁判の区分（0：無，1：嫡出否認，2：親子関係不存在，3：父を定める訴，4：強制認知）			／	
0	(33) → (52)へ		／	
1	(34)対象父区分（1：現夫，2：前後夫）		／	民775
	1	(35)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示	(36)3.0審査へ	不受理
	2	(37) → (52)へ	／	
2	(38)対象父区分（1：現夫，2：前後夫）		／	民775
	1	(39)出生子の出生区分＝3 (YES,NO)	／	
	YES	(40) → (59)へ	／	
	NO	(41)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3（非嫡出子）でなければなりません。」を表示	(41-1)3.0審査へ	不受理
	2	(41-2) → (52)へ	／	
3	(42)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示		(42-1)3.0審査へ	不受理
4	(43)対象父区分（1：現夫，2：前後夫，3：届書の父）		／	民787
	1，3	(44) → (52)へ	／	
	2	(45)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示	(46)3.0審査へ	不受理
(52)届出人＝母 かつ 出生子の出生区分＝3 (YES,NO)			／	昭和26. 6.27 民事甲 1332号回答
YES	(53) → (59)へ		／	
NO	(54)出生子の出生区分＝1 (YES,NO)		／	戸49II1
	YES	(55)胎児認知日＝スペース(YES,NO)	／	

30242

035

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年 12月 1日	平成30年 3月31日	21	38／79

処理名						3.6 審査 3/3 (父母日本人婚姻後200日以内出生)			根拠法令 (マニュアル処理)
		YES				(56)出生子の生年月日＝和暦(YES,NO)			
			YES			(57) →		(57－1)3.0審査へ	
			NO			(57-2)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
		NO				(58)エラーメッセージ 「現夫の嫡出子です。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示			不受理
	NO					(58-1)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1 (嫡出子) でなければなりません。」を表示			不受理
(59)胎児認知日=スペース(YES,NO)							／		
YES	(74)入るべ巻戸籍の婚姻解消日≠ スペースかつ 入るべき戸籍の婚姻解消日＜出生子の生年月日(YES,NO)						／		
	YES	(74-1)入るべき戸籍の本籍≠スペース かつ 入るべき戸籍の本籍＝管外 かつ 入るべき戸籍の母入籍事件日＝スペース(YES, NO)					／		21版(出生112) 21版(出生112)
		YES	(74-2) → (83) へ				／		21版(出生112)
		NO	(74-3) → (75) へ				／		21版(出生112)
		(75)入るべき戸籍の母入籍事件日≠ スペースかつ 入るべき戸籍の母除籍日=スペース(YES,NO)					／		
		YES	(76) → (83)へ				／		
		NO	(77)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示					(78)3.0審査へ	
			YES	(79) → (83)へ			／		
			NO	(80) →				(81)3.0審査へ	不受理
	NO	(82) → (83)へ					／		
	(83)出生子の出生区分=3(YES,NO)						／		戸49Ⅱ1
	YES	(84)出生子の生年月日=和暦(YES,NO)					／		
		YES	(85) →					(86)3.0審査へ	
		NO	(87)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示						不受理
	NO	(88)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3 (非嫡出子) でなければなりません。」を表示							不受理
NO	(89)エラーメッセージ 「現夫による胎児認知は出来ません。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示								不受理

30243

036

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年 12月 1日	平成31年 3月31日	22	40／79

処理名	3.7 審査 1／4 (父母日本人婚姻前出生)			根拠法令 (マニュアル処理)
(1) 入るべき戸籍の母前婚姻解消日＋300日≧出生子の生年月日(YES,NO)		／		
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示		(3) 3.0審査へ	民772
YSE	(11)裁判の区分(0 ： 無, 1 ： 嫡出否認, 2 ： 親子関係不存在, 3 ： 父を定める訴, 4 ： 強制認知)	／		
0	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示		(13)3.0審査へ	
YES	(14) → (59)へ	／		
NO	(15)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(16)3.0審査へ	不受理
1	(17)対象父区分(1 ： 現夫, 2 ： 前後夫)	／		民775
1	(18)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(19)3.0審査へ	不受理
2	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示			
YES	(20－1) → (59)へ	／		
NO	(20－2) →		(20－3)3.0審査	不受理
2	(20-4)対象父区分(1 ： 現夫, 2 ： 前後夫)	／		民775
1	(20-5)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(20－6)3.0審査へ	不受理
2	(20－7)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示			
YES	(20－8) → (59)へ	／		
NO	(20－9) →		(20－10)3.0審査へ	不受理
3	(21)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示			不受理 民773
4	(22)対象父区分(1 ： 現夫, 2 ： 前後夫, 3 ： 届書の父)	／		民787.昭和41. 3.14 民事甲 655号回答

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	41／79

処理名	3.7 審査 2/4（父母日本人婚姻前出生）		根拠法令（マニュアル処理）
	1，3 (23) → (59)へ	／	
	2 (24)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示	(25)3.0審査へ	不受理
	NO (38) → (39)へ	／	
NO		／	
(39)裁判の区分（0：無，1：嫡出否認，2：親子関係不存在，3：父を定める訴，4：強制認知）		／	
0	(40) → (59)へ	／	
1，2	(41)エラーメッセージ	(42)3.0審査へ	不受理
3	「認知以外の裁判区分を入力することは出来ません。」を表示		
4	(43)対象父区分（1：現夫，2：前後夫，3：届書の父）	／	民787
	1，3 (44) → (59)へ	／	戸49II1
	2 (45)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示	(46)3.0審査へ	不受理
(59)胎児認知日＝スペース(YES,NO)		／	
YES	(59-1)裁判の区分＝4 かつ 対象父区分＝1又は3(YES,NO)	／	
	YES (59-2) → (112)へ	／	
	NO (59-3) → (60)へ	／	
	(60)届出人の資格＝001又は005(YES,NO)	／	戸62,大正 8. 9. 13 民 3686号回答
	YES (61)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子は死亡していますか。」を表示	(62)3.0審査へ	民783II前段 大正 6. 3. 6 民 197号回答
	YES (63)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子には、直系卑属がいるものとして処理を続行しますか。」を表示		民783II前段
	YES (64)確認メッセージ(YES,NO) 「直系卑属は成年に達していますか。」を表示		民3,783II後段
	YES (65)確認メッセージ(YES,NO) 「直系卑属の承諾があるものとして処理を続行しますか。」を表示		

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年 12月 1日	平成30年 3月31日	21	42／79
処理名	3.7 審査 3/4 (父母日本人婚姻前出生)				根拠法令（マニュアル処理）		

					YES	(66) → (112)へ	／		
					NO	(70) →		(71)3.0審査へ	不受理
				NO		(72) → (112)へ	／		
			NO			(75) →			不受理
		NO				(76)子の生年月日＋20年≦受領日(YES,NO)	／		民3,782 21版(出生138)
			YES			(77)確認メッセージ(YES,NO) 「認知に対する出生子の承諾があるものとして処理を続行しますか。」を表示		(78)3.0審査へ	大正7.5.30民1159号回答 昭和43.4.5民事甲689号回答
				YES		(79) → (112)へ	／		
				NO		(82) →		(83)3.0審査へ	不受理
			NO			(84) → (112)へ	／		
	NO					(88)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人が父・父母以外の為、準正嫡出子にはなれませんがよろしいですか。」を表示		(89)3.0審査へ	
		YES				(88-1)入るべき戸籍の本籍≠スペース かつ 入るべき戸籍の本籍＝管外 かつ 入るべき戸籍の母入籍事件日＝スペース(YES, NO)	／		21版(出生112) 21版(出生112)
			YES			(88-2) → (118) へ	／		21版(出生112)
			NO			(88-3) → (90) へ	／		21版(出生112)
						(90)入るべき戸籍の母入籍事件日＜出生子の生年月日(YES,NO)	／		
			YES			(91) → (118)へ	／		
			NO			(94)入るべき戸籍の母入籍事件日＞出生子の生年月日(YES,NO)	／		
				YES		(95)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示		(96)3.0審査へ	
					YES	(97) → (118)へ	／		
					NO	(98) →		(99)3.0審査へ	不受理
				NO		(100) →			受理伺い
		NO				(101) →			不受理
NO	(111) → (112)へ						／		

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年 12月 1日	平成30年 3月31日	21	42-1／79

処理名	3.7 審査 3/4 (父母日本人婚姻前出生)			根拠法令 (マニュアル処理)
(112)出生子の出生区分＝2(YES,NO)		／		
YES	(113)出生子の生年月日＝和暦(YES,NO)	／		
	YES (114) →		(115)3.0審査へ	
	NO (116)エラーメッセージ			不受理

30246-2

10-630

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	43／79

処理名	3.7 審査 4/4（父母日本人婚姻前出生）			根拠法令 （マニュアル処理）
	「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			
NO	(117) エラーメッセージ 「出生子の出生区分は2（単正嫡出子）でなければなりません。」を表示			不受理
(118) 出生子の出生区分＝3 (YES, NO)		／		
YES	(119) 出生子の生年月日＝和暦(YES, NO)	／		
	YES (120) →		(121) 3.0審査へ	
	NO (122) エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(123) エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3（非嫡出子）でなければなりません。」を表示			不受理

040

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年 12月 1日	平成31年 3月31日	22	46／79

30248

処理名	3.8 審査 1／3 (父母日本人、母未婚・婚姻解消後出生)		根拠法令 (マニュアル処理)
(1) 届書の母欄≠ スペース(YES,NO)		／	
YES	(2)エラーメッセージ 「届書の母を入るべき戸籍の母欄へ入力して下さい。」を表示	(3)3.0審査へ	不受理
NO	(4) → (5)へ	／	
(5) 入るべき戸籍の母前婚姻解消日＋300日≧出生子の生年月日(YES,NO)		／	
YES	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示	(7)3.0審査へ	民772
YES	(8) 裁判の区分 (0 : 無, 1 : 嫡出否認, 2 : 親子関係不存在, 3 : 父を定める訴, 4 : 強制認知)	／	
0	(9)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示	(10)3.0審査へ	
YES	(11) → (42)へ	／	
NO	(12)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示	(13)3.0審査へ	不受理
1	(14)対象父区分(1 : 現夫, 2 : 前後夫)	／	民775
1	(14-1)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示	(14-2)3.0審査へ	不受理
2	(15)出生子の生年月日≦ 入るべき戸籍の母前婚姻解消日(YES,NO)	／	
YES	(16)裁判の子の氏変更申出区分≠ スペース(YES,NO)	／	
YES	(17) → (42)へ	／	
NO	(18)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示	(19)3.0審査へ	不受理
YES	(19-1) → (42)へ	／	
NO	(19-2) →	(19-3)3.0審査へ	不受理
NO	(20) → (42)へ	／	
2	(21)対象父区分 (1 : 現夫, 2 : 前後夫)	／	民775
1	(22)エラーメッセージ	(22-1)3.0審査へ	不受理

041

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	47／79

処理名	3.8 審査 2/3（父母日本人，母未婚・婚姻解消後出生）			根拠法令（マニュアル処理）
	「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示			
	2 (22-2)出生子の生年月日≦入るべき戸籍の母前婚姻解消日(YES,NO)	／		
	YES (22-3)裁判の子の氏変更申出区分≠スペース(YES,NO)	／		
	YES (22-4) → (42)へ	／		
	NO (22-5)確認メッセージ(YES,NO)「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示		(22-6)3.0審査へ	
	YES (22-7) → (42)へ	／		
	NO (22-8) →		(22-9)3.0審査へ	不受理
	NO (22-10) → (42)へ			
	3 (23)エラーメッセージ「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示			不受理 民773
	4 (24)対象父区分（1：現夫，2：前後夫，3：届書の父）	／		民787
	1，3 (25) → (65)へ	／		
	2 (28)エラーメッセージ「前夫の出生子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(29)3.0審査へ	不受理
	NO (30) → (31)へ	／		
NO		／		
(31)裁判の区分（0：無，1：嫡出否認，2：親子関係不存在，3：父を定める訴，4：強制認知）		／		
0	(32) → (42)へ	／		
1	(33)対象父区分（1：現夫，2：前後夫）	／		民775
	1 (33-1)エラーメッセージ「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(33-2)3.0審査へ	不受理
	2 (33-3)確認メッセージ(YES,NO)「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示			
	YES (33-4) → (42)へ	／		
	NO (33-5) →		(33-6)3.0審査へ	不受理

042

30249

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	48／79

処理名	3.8 審査 3/3（父母日本人，母未婚・婚姻解消後出生）			根拠法令（マニュアル処理）
2	(33-7)対象父区分（1：現夫，2：前後夫）	／		民775
1	(33-8)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(33-9)3.0審査へ	不受理
2	(33-10) 確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示			
YES	(33-11) → (42)へ	／		
NO	(33-12) →		(33-13) 3.0審査へ	不受理
3	(34)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示			不受理
4	(35)対象父区分（1：現夫，2：前後夫，3：届書の父）	／		民787
1，3	(36) → (65)へ	／		
2	(40)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示		(41)3.0審査へ	不受理
(42)胎児認知日＝スペース(YES,NO)		／		
YES	(43)エラーメッセージ 「父欄を入力することは出来ません。」を表示		(44)3.0審査へ	不受理
NO	(61)確認メッセージ(YES,NO) 「母に婚姻の履歴はありませんね。」を表示			
YES	(62) → (65)へ	／		
NO	(63) →		(64)3.0審査へ	不受理
(65)出生子の出生区分＝3(YES,NO)		／		戸49II 1
YES	(66)出生子の生年月日＝和暦(YES,NO)	／		
YES	(67) →		(68)3.0審査へ	
NO	(69)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(70)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3（非嫡出子）でなければなりません。」を表示			不受理
		／		

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	49／79

処理名	3.9 審査 1/3（父日本人，母外国人婚姻後201日以降出生）	根拠法令（マニュアル処理）

(1) 確認メッセージ(YES,NO) 「外国人母に婚姻解消の履歴がありますか。」を表示											(2) 3.0審査へ		
YES	(3) 確認メッセージ(YES,NO) 「前夫及び外国人母の本国法により前夫の嫡出の推定を受けますか。」を表示												民772
	YES	(11)裁判の区分（0：無，1：嫡出否認， 2：親子関係不存在，3：父を定める訴，4：強制認知）								／			
		0	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示									(13)3.0審査へ	昭28. 7.20 民事甲 1238号回答
			YES	(14) → (52)へ							／		
			NO	(15)入るべき戸籍の嫡出子例外区分（0：無，1：有）							／		
				0	(19)出生子の出生区分＝1(YES,NO)						／		戸49II1
					YES	(20)中間F（届書），父未定区分に2を移送					／		戸54，戸規50
						(21) → (60)へ					／		
					NO	(22)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1（嫡出子）でなければなりません。」を表示						(23)3.0審査へ	不受理 昭20. 9.24 民事特甲 408号回答 昭24. 9. 5 民事甲 1942号回答
				1	(24)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示								不受理
		1，2	(25)対象父区分（1：現夫，2：前後夫）								／		民775
			1	(26)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示								(27)3.0審査へ	不受理
			2	(28)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示									
				YES	(29) → (52)へ						／		
				NO	(30) →							(31)3.0審査へ	不受理
		3	(32) → (52)へ								／		民773
		4	(36)対象父区分（1：現夫，2：前後夫，3：届書の父）								／		

第2(3)(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	50／79

処理名	3.9 審査 2/3（父日本人，母外国人婚姻後201日以降出生）		根拠法令（マニュアル処理）
	1，3 (37) → (52)へ	／	
	2 (38)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示	(39)3.0審査へ	不受理
	NO (40) → (41)へ	／	
NO		／	
(41)裁判の区分（0：無，1：嫡出否認，2：親子関係不存在，3：父を定める訴，4：強制認知）		／	
0	(42) → (52)へ	／	
1，2	(43)対象父区分（1：現夫，2：前後夫）	／	民775
	1 (44) → (60)へ	／	
	2 (45) → (52)へ	／	
3	(47) → (52)へ	／	
4	(48)対象父区分（1：現夫，2：前後夫，3：届書の父）	／	
	1，3 (49) → (52)へ	／	
	2 (50)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示	(51)3.0審査へ	不受理
(52)入るべき戸籍の嫡出子例外区分（0：無，1：有）		／	
0	(53)出生子の出生区分＝1 (YES,NO)	／	戸49II1
	YES (54)胎児認知日＝スペース(YES,NO)	／	
	YES (55)出生子の生年月日＝和暦(YES,NO)	／	
	YES (56) →	(56-1)3.0審査へ	
	NO (56-2)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示		不受理
	NO (57)エラーメッセージ 「現夫の嫡出子です。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示		不受理
	NO (58)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1（嫡出子）でなければなりません。」を表示		不受理
1	(59) → (60)へ	／	

錦2(3/3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	５１／７９

処理名	3.9 審査 3/3（父日本人，母外国人婚姻後201日以降出生）	根拠法令	（マニュアル処理）

| | | |

第2(3)(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	53／79

処理名	3.10 審査 1/3（父日本人，母外国人婚姻後200日以内出生）	根拠法令 （マニュアル処理）

(1) 確認メッセージ(YES,NO) 「外国人母に婚姻解消の履歴がありますか。」を表示						(2) 3.0審査へ	
YES	(3) 確認メッセージ(YES,NO) 「前夫及び外国人母の本国法により前夫の嫡出の推定を受けますか。」を表示						民772
	YES	(11)裁判の区分（0：無，1：嫡出否認， 2：親子関係不存在，3：父を定める訴，4：強制認知）			／		
		0	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示			(13)3.0審査へ	
			YES	(14) → (51)へ	／		
			NO	(15)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(16)3.0審査へ	不受理
		1	(17)対象父区分（1：現夫，2：前後夫）		／		民775
			1	(18)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(19)3.0審査へ	不受理
			2	(20)確認メッセージ 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示			
				YES (20-1) → (51)へ	／		
				NO (20-2) →		(20-3)3.0審査へ	不受理
		2	(20-4)対象父区分（1：現夫，2：前後夫）		／		民775
			1	(20-5)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(20-6)3.0審査へ	不受理
			2	(20-7)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示			
				YES (20-8) → (51)へ	／		
				NO (20-9) →		(20-10) 3.0審査へ	不受理
		3	(21)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示				不受理

30254

047

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	54／79

処理名	3.10 審査 2/3（父日本人，母外国人婚姻後200日以内出生）			根拠法令（マニュアル処理）
	4	(22)対象父区分（1：現夫，2：前後夫，3：届書の父）	／	民787
	1，3	(23) → (51)へ	／	
	2	(27)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示	(28)3.0審査へ	不受理
	NO	(32) → (33)へ	／	
NO			／	
(33)裁判の区分（0：無，1：嫡出否認，2：親子関係不存在，3：父を定める訴，4：強制認知）			／	
0	(34) → (51)へ		／	
1	(35)対象父区分（1：現夫，2：前後夫）		／	
	1	(36)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示	(36-1)3.0審査へ	不受理
	2	(36-2) → (51)へ	／	
2	(37)対象父区分（1：現夫，2：前後夫）		／	
	1	(38) → (60)へ	／	
	2	(38-6) → (51)へ	／	
3	(41)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示		(41-1)3.0審査へ	不受理
4	(42)対象父区分（1：現夫，2：前後夫，3：届書の父）		／	
	1，3	(43) → (51)へ	／	
	2	(47)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示	(48)3.0審査へ	不受理
(51)届出人＝母 かつ 出生子の出生区分＝3（YES,NO）			／	
YES	(52) → (60)へ		／	
NO	(54)出生子の出生区分＝1（YES,NO）		／	
	YES	(55)胎児認知日＝スペース（YES,NO）	／	
		YES (56)出生子の生年月日＝和暦（YES,NO）	／	
		YES (57) →	(57-1)3.0審査へ	

第2 3 (33)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	55／79

処理名	3.10 審査 3/3（父日本人，母外国人婚姻後200日以内出生）	根拠法令	（マニュアル処理）

| | | |

第2(3)(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	56／79

処理名	3.11 審査 1/4（父日本人，母外国人婚姻前出生）	根拠法令（マニュアル処理）

| | | |

第2(3)(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	57／79

処理名	3.11 審査 2/4（父日本人，母外国人婚姻前出生）				根拠法令（マニュアル処理）
	4	(21)対象父区分（1：現夫，2：前後夫，3：届書の父）	／		民787
		1，3 (23) → (76)へ	／		戸49II 1
		2 (41)エラーメッセージ「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(42)3.0審査へ	不受理
	NO	(46) → (47)へ	／		
NO					
(47)裁判の区分（0：無，1：嫡出否認，2：親子関係不存在，3：父を定める訴，4：強制認知）			／		
0	(48) → (76)へ		／		
1，2	(49)エラーメッセージ「認知以外の裁判区分を入力することは出来ません。」を表示			(50)3.0審査へ	不受理
3					
4	(51)対象父区分（1：現夫，2：前後夫，3：届書の父）		／		民787
	1，3 (53) → (76)へ		／		
	2 (71)エラーメッセージ「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示			(72)3.0審査へ	不受理
(76)胎児認知日＝スペース(YES,NO)			／		
YES	(76-1)裁判の区分＝4 かつ 対象父区分1又は3(YES,NO)		／		
	YES (76-2)出生子の出生区分＝2(YES,NO)		／		
	YES (76-3)届書の母の国籍≠無国籍(YES,NO)		／		
	YES (76-4)出生の生年月日＝西暦(YES,NO)		／		
	YES (76-5) →			(76-6)3.0審査へ	
	NO (76-7)エラーメッセージ「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示				不受理
	NO (76-8)出生子の生年月日＝和暦(YES,NO)		／		
	YES (76-9) →			(76-10) 3.0審査へ	
	NO (76-11) エラーメッセージ「出生子の生年月日は、和暦でなければなりませ				不受理

第2(3)(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	58／79

処理名	3.11 審査 3/4（父日本人，母外国人婚姻前出生）	根拠法令（マニュアル処理）

| | | |

第2編(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	59／79

処理名							根拠法令（マニュアル処理）
		3.11 審査 4/4（父日本人，母外国人婚姻前出生）					
		YES	(89)以下の項目に入力がある(YES,NO) 出生子欄　カナ・漢字氏名，生年月日 届書母欄　筆頭者欄を除く項目		／		
			YES	(93)出生子の生年月日＝西暦(YES,NO)	／		
				YES	(94)出生子の出生区分＝3 (YES,NO)	／	
					YES	(95) →		(95-1)3.0審査へ	
					NO	(95-2)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3（非嫡出子）でなければなりません。」を表示			不受理
				NO		(96)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示			不受理
			NO			(97)エラーメッセージ 「外国人出生子の場合の入力項目に入力がありません。」を表示			不受理
		NO				(98) →			不受理
NO						(99)父母渉外婚姻区分＝1 (YES,NO)	／		
	YES					(100) 出生子の出生区分＝2 (YES,NO)	／		戸49II1
		YES				(101)出生子の生年月日＝和暦(YES,NO)	／		
			YES			(102) →		(102-1) 3.0審査へ	
			NO			(102-2) エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
		NO				(103) エラーメッセージ 「出生子の出生区分は2（準正嫡出子）でなければなりません。」を表示			不受理
	NO					(104) エラーメッセージ 「胎児認知者と母の夫が違います。審査結果業務で処理した下さい。」を表示			審査結果入力
							／		
							／		

第2(3)(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	62／79

処理名	3.12 審査 1/3（父日本人，母外国人，母未婚・婚姻解消後出生）	根拠法令（マニュアル処理）

(1) 確認メッセージ(YES,NO) 「外国人母に婚姻解消の履歴がありますか。」を表示					(2) 3.0審査へ	
YES	(3) 確認メッセージ(YES,NO) 「前夫及び外国人母の本国法により前夫の嫡出の推定を受けますか。」を表示					民772
	YES	(4) 裁判の区分（0：無，1：嫡出否認， 2：親子関係不存在，3：父を定める訴，4：強制認知）		／		
		0	(5) 確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示		(6) 3.0審査へ	
			YES	(7) → (37)へ	／	
			NO	(8) エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示	(9) 3.0審査へ	不受理
		1	(10)対象父区分（1：現夫，2：前後夫）		／	民775
			1	(11)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示	(11-1)3.0審査へ	不受理
			2	(12) → (37)へ	／	
		2	(13)対象父区分（1：現夫，2：前後夫）		／	民775
			1	(13-1)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示	(13-2)3.0審査へ	不受理
			2	(13-3) → (37)へ	／	
		3	(14)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示		(14-1)3.0審査へ	不受理 民773
		4	(15)対象父区分（1：現夫，2：前後夫，3：届書の父）		／	民787
			1，3	(16) → (37)へ	／	
			2	(22)エラーメッセージ 「前夫の出生子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示	(22-1)3.0審査へ	不受理
	NO	(23) → (24)へ				

第2(3)(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	63／79

処理名	3.12 審査 2/3（父日本人，母外国人，母未婚・婚姻解消後出生）	根拠法令（マニュアル処理）

NO							
(24)裁判の区分（0：無，1：嫡出否認，2：親子関係不存在，3：父を定める訴，4：強制認知）					／		
0	(25) → (37)へ				／		
1	(26)対象父区分（1：現夫，2：前後夫）				／		
	1	(27)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示				(28)3.0審査へ	不受理
	2	(29) → (37)へ			／		
2	(30)対象父区分（1：現夫，2：前後夫）				／		
	1	(31)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示				(32)3.0審査へ	不受理
	2	(33) → (37)へ			／		
3	(34)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示					(35)3.0審査へ	不受理
4	(36)対象父区分（1：現夫，2：前後夫，3：届書の父）				／		
	1，3	(36-1) → (37)へ			／		
	2	(36-2)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示				(36-3)3.0審査へ	不受理
(37)胎児認知日＝スペース(YES,NO)					／		
YES	(38)入るべき戸籍欄≠スペース(YES,NO)				／		
	YES	(39)エラーメッセージ 「出生子は外国人です。入るべき戸籍欄には入力出来ません。」を表示				(40)3.0審査へ	不受理
	NO	(41)以下の項目に入力がある(YES,NO) 出生子欄　カナ・漢字氏名，生年月日 届書母欄　筆頭者欄を除く項目			／		
		YES	(42)出生子の生年月日＝西暦(YES,NO)		／		戸49II1
			YES	(43)出生子の出生区分＝3(YES,NO)	／		
				YES (44) →		(44-1)3.0審査へ	
				NO (44-2)エラーメッセージ			不受理

第2(3)(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	64／79

処理名	3.12 審査 3/3（父日本人，母外国人，母未婚・婚姻解消後出生）			根拠法令（マニュアル処理）
	「出生子の出生区分は3（非嫡出子）でなければなりません。」を表示			
	NO (45)エラーメッセージ「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示			不受理
	NO (46)エラーメッセージ「外国人出生子の場合の入力項目に入力がありません。」を表示			不受理
NO	(47)確認メッセージ(YES,NO)「母に婚姻の履歴はありませんね。」を表示			
YES	(48)出生子の出生区分＝3(YES,NO)	／		
YES	(49)出生の生年月日＝和暦(YES,NO)	／		
YES	(50) →		(51)3.0審査へ	
NO	(52)エラーメッセージ「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(53)エラーメッセージ「出生子の出生区分は3（非嫡出子）でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(54) →			不受理
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	65／79

処理名	3.13 審査 1/4（父母外国人・無国籍人出生）	根拠法令 （マニュアル処理）

| | | |

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	66／79

処理名	3.13 審査 2/4（父母外国人・無国籍人出生）		根拠法令	（マニュアル処理）
NO	(19)確認メッセージ(YES,NO) 「母の非嫡出子であり、母の国籍証明資料があるものとして処理を続行しますか。」を表示		(20)3.0審査へ	
YES	(21)以下の項目に入力がある(YES,NO) 出生子欄　カナ・漢字氏名，生年月日 届書母欄　筆頭者欄を除く項目	／		
YES	(22) → (25)へ	／		
NO	(23)エラーメッセージ 「外国人出生子の場合の入力項目に入力がありません。」を表示		(24)3.0審査へ	不受理
	(25)出生子の生年月日＝西暦(YES,NO)	／		
YES	(26)出生子の出生区分＝3(YES,NO)	／		
YES	(27) →		(27-1)3.0審査へ	
NO	(27-2)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3（非嫡出子）でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(28)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(29) →			不受理
(30)確認メッセージ(YES,NO) 「父母又は母が無国籍人であるものとして処理を続行しますか。」を表示				
YES	(31) → (34)へ	／		
NO	(32) →		(33)3.0審査へ	不受理
(34)出生証明書区分＝1(YES,NO)		／		
YES	(35)出生子の出生地＝日本国内(YES,NO)	／		国2
YES	(36) → (43)へ	／		
NO	(37)エラーメッセージ 「国外で出生した出生子の出生届は受理出来ません。」を表示		(38)3.0審査へ	不受理
NO	(39)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子は日本で出生したものとして処理を続行しますか。」を表示			

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	67／79

処理名	3.13 審査 3/4（父母外国人・無国籍人出生）			根拠法令（マニュアル処理）
YES	(40) → (43)へ	／		
NO	(41) →		(42)3.0審査へ	不受理
(43)新戸籍欄＝スペース(YES,NO)		／		国2
YES	(44)エラーメッセージ 「出生子の新戸籍を新戸籍欄へ入力して下さい。」を表示		(45)3.0審査へ	不受理
NO	(46) → (47)へ	／		
(47)入るべき戸籍欄≠スペース(YES,NO)		／		
YES	(48)エラーメッセージ 「無国籍人の出生子の場合、入るべき戸籍欄には入力出来ません。」を表示		(49)3.0審査へ	不受理
NO	(50) → (51)へ	／		
(51)届書の父氏名≠スペース(YES,NO)		／		
YES	(52)確認メッセージ(YES,NO) 「父母の婚姻後の出生ですか。」を表示		(53)3.0審査へ	
YES	(54)出生子の出生区分＝1(YES,NO)			戸49II1，昭和57．7．6 民二 265号通達
YES	(55) → (63)へ	／		
NO	(56)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1（嫡出子）でなければなりません。」を表示		(57)3.0審査へ	不受理
NO	(58)確認メッセージ(YES,NO) 「父母は婚姻しているものとして処理を続行しますか。」を表示			
YES	(58-1)出生子の出生区分＝2(YES,NO)	／		
YES	(58-2) → (63)へ	／		
NO	(58-3)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は2（準正嫡出子）でなければなりません。」を表示		(58-4)3.0審査へ	不受理
NO	(58-5)出生子の出生区分＝3(YES,NO)	／		
YES	(58-6) → (63)へ	／		
NO	(58-7)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3（非嫡出子）でなければなりません。」を表示		(58-7)3.0審査へ	不受理

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	67-1／79

処理名	3.13 審査 4/4（父母外国人・無国籍人出生）			根拠法令（マニュアル処理）
NO	(58-9) → (59)へ			
	(59)出生子の出生区分＝3 (YES,NO)	／		戸49II1,昭和57. 7. 6 民二 265号通達
YES	(60) → (63)へ	／		
NO	(61)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3（非嫡出子）でなければなりません。」を表示		(62)3.0審査へ	不受理
	(63)出生子の生年月日＝和暦(YES,NO)	／		
YES	(64) →		(65)3.00審査へ	受理伺い
NO	(66)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	68/79

処理名	3.14 審査 (出生区分=棄児)			根拠法令 (マニュアル処理)
(1) 出生子の出生地＝国外 (YES,NO)		／		
YES	(2) エラーメッセージ 「国外で出生した出生子の出生届は受理出来ません。」を表示		(3) 3.0審査へ	不受理
N O	(4) → (5)	／		
(5) 出生子の出生区分≠4 (YES,NO)		／		戸49Ⅱ1
YES	(6) エラーメッセージ 「出生子の出生区分は4(棄児)でなければなりません。」を表示		(7) 3.0審査へ	不受理
N O	(8) → (9)	／		
(9) 届出人の資格≠市区町村長 (YES,NO)		／		戸57
YES	(10) 確認メッセージ(YES,NO) 「届出人を市区町村長として処理を続行しますか。」を表示		(11) 3.0審査へ	
YES	(12) 中間F(届書). 届出人資格, 資格名称に市区町村コード, 市区町村名を移送	／		
N O	(13) →		(14) 3.0審査へ	不受理
N O	(15) → (20)へ	／		
(20) 新戸籍欄＝スペース (YES,NO)		／		戸57Ⅱ
YES	(21) エラーメッセージ 「新戸籍欄へ入力して下さい。」を表示		(22) 3.0審査へ	不受理
N O	(23) 新戸籍の本籍≠管内 (YES,NO)	／		昭和25. 4.10 民事甲 932号回答
YES	(24) エラーメッセージ 「新戸籍の本籍は管内に作成して下さい。」を表示		(25) 3.0審査へ	不受理
N O	(26) →		(26-1) 3.0審査へ	
(27) 削除		／		(27)～(30)を削除(続柄更正申出対応8.3版)
YES	(28) 削除		(29) 削除	
N O	(30) 削除			

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	69/79

処理名	3. 15 審査 (出生区分=嫡出子)			根拠法令 (マニュアル処理)
(1) 新戸籍≠スペース (YES,NO)		／		
YES	(2) 届書の父母双方≠無国籍人 (YES,NO)	／		
	YES	(3) エラーメッセージ 「嫡出子出生処理の為、新戸籍欄には入力出来ません。」を表示	(4) 3.0審査へ	不受理
	N O	(5) → (6)へ	／	
N O				
(6) 中間F(届書). 父未定区分＝1又は2 (YES,NO)				
YES	(7) 届出人. 資格＝母, 同居者, 医師, 助産師, 立会人, 法定代理人, 公設署の長, 船長, 親族のいずれかである (YES,NO)	／		戸52
	YES	(8) →	(8-1) 3.0審査へ	
	N O	(9) エラーメッセージ 「父母離婚後(父未定)・嫡出子出生の場合の届出人資格に間違いがあります。」を表示	(10) 3.0審査へ	不受理
YES	(11) 届出人. 資格＝父, 母, 父母, 同居者, 医師, 助産師, 立会人, 法定代理人, 公設署の長, 船長, 親族のいずれかである (YES,NO)	／		戸52 昭和36.7.18～19 第20回福島県下戸連合協決
	YES	(12) →	(12-1) 3.0審査へ	
	N O	(13) エラーメッセージ 「父母婚姻中・嫡出子出生の場合の届出人資格に間違いがあります。」を表示	(14) 3.0審査へ	不受理
(15) 削除		／		(15)～(23)を削除(続柄更正申出対応8.3版)
YES	(16) 削除	／		
	YES	(17) 削除	(18) 削除	
	N O	(19) 削除		
N O	(20) 削除	／		
	YES	(21) 削除	(22) 削除	
	N O	(23) 削除		

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	70/79

処理名	3. 16 審査 (出生区分=準正嫡出子)			根拠法令 (マニュアル処理)
(1) 新戸籍≠スペース (YES,NO)		／		
YES	(2) 届書の父母双方≠無国籍人 (YES,NO)	／		
	YES (3) エラーメッセージ 「準正嫡出子出生処理の為、新戸籍欄には入力出来ません。」を表示		(4) 3.0審査へ	不受理
	N O (5) → (6)へ	／		
N O		／		
(6) 届出人の資格=父又は父母 (YES,NO)		／		戸62,大正11.11.30 民事 4297回答
YES	(7) → (14)へ	／		
N O	(8) 胎児認知区分=1 又は 裁判の区分=4 (YES,NO)	／		
	YES (9) 届出人. 資格=母, 同居者, 医師, 助産師, 立会人, 法定代理人, 公設署の長, 船長, 親族のいずれかである (YES,NO)	／		
	YES (9-1) → (14)へ	／		
	N O (9-2) エラーメッセージ 「準正嫡出子の場合の届出人資格に間違いがあります。」を表示		(9-3) 3.0審査へ	不受理
	N O (9-4) エラーメッセージ 「準正嫡出子の場合の届出人資格に間違いがあります。」を表示			不受理
(10) 削除		／		(10)～(13)を削除(続柄更正申出対応8.3版)
YES	(11) 削除	／		
N O	(12) 削除		(13) 削除	
(14) 母の本籍=無国籍 かつ 胎児認知日=スペース かつ 裁判の区分≠4 かつ 父の本籍≠国籍 (YES,NO)				
YES	(15) →		(16) 3.0審査へ	受理照会
N O	(17) →			

063

処理名	3. 17 審査 (出生区分＝非嫡出子)			根拠法令 (マニュアル処理)
(1) 入るべき戸籍欄≠スペース かつ 入るべき戸籍の母筆頭者区分＝0 かつ 入るべき戸籍の母配偶者区分＝0 又は 届書の父外国人区分＝0 かつ 届書の母外国人区分＝1 かつ 胎児認知日≠スペース 又は 届書の母外国人区分＝1 かつ 届書の母本籍＝無国籍 (YES,NO)		／		
YES	(2) 新戸籍欄≠スペース (YES,NO)	／		
YES	(3) → (9)へ	／		
ＮＯ	(4) 届書の母外国人区分＝1 (YES,NO)	／		
YES	(5) エラーメッセージ 「子につき新戸籍編製ですが、新戸籍欄への入力がありません。」 を表示		(6) 3.0審査へ	不受理
ＮＯ	(7) エラーメッセージ 「母につき新戸籍編製ですが、新戸籍欄への入力がありません。」 を表示			不受理
ＮＯ	(8) 新戸籍の本籍≠スペース (YES,NO)	／		
YES	(8-1) エラーメッセージ 「母の現在戸籍への入籍です。新戸籍欄への入力は出来ません。」 を表示		(8-2) 3.0審査へ	不受理
ＮＯ	(8-3) → (9)へ	／		
(9) 届出人. 資格＝母, 同居者, 医師, 助産師, 立会人, 法定代理人, 公設所の長, 船長, 親族 のいずれかである (YES,NO)		／		戸52
YES	(10) →		(10-1) 3.0審査へ	
ＮＯ	(11) エラーメッセージ 「非嫡出子出生の場合の届出人資格に間違いがあります。」 を表示		(12) 3.0審査へ	不受理
(13) 削除		／		(13)～(16)を削除
YES	(14) 削除		(15) 削除	
ＮＯ	(16) 削除			
(17) 届出人. 資格≠母 かつ 新戸籍の本籍≠入るべき戸籍. 本籍 かつ 新戸籍の本籍≠スペース かつ 入るべき戸籍. 本籍≠スペース(YES,NO)				16版改修 第20版誤植変更
YES	(18) エラーメッセージ 「新本籍と従前の本籍は同一でなければなりません。」 を表示		(19) 3.0審査へ	戸籍法30－3 不受理 第19版変更
ＮＯ	(20) →		(21) 3.0審査へ	

30271 0964

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年 12月 1日	平成30年 3月31日	21	72／79

処理名	3. 18 審査 1／2 (受理照会等)			根拠法令 (マニュアル処理)
				↑
				↑
				第18版削除
(1) 出生子の生年月日＝西暦 かつ 出生証明書区分＝1 (YES,NO)		／		昭和36.5.17民事甲1196号回答
YES	(2) → (10-1)へ	／		第19版変更
N O	(3) 子の出生日＋6年(6歳以上)≦受領日 (YES,NO)	／		昭和34.8.27民事甲1545号通達 21版(出生138)
YES	(4) 確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の年齢が学齢を越えています。受理してよろしいですか?」 を表示	／		第18版変更 ↓
YES	(4-1) → (7)へ	／		↓
N O	(4-2) →		(5) 3.0審査へ	受理照会 ↓ 昭和36.5.12～13佐賀県戸協決 ↓
N O	(6) → (7)へ	／		↓
(7) 母の生年月日＋50年(50歳以上)≦子の出生日 (YES,NO)		／		平成26.7.3民一737号通達 21版(出生138)
YES	(7-1) 確認メッセージ(YES,NO) 「出生時、母年齢が50歳以上です。出生施設は医療法上の病院ですか？」を表示			第18版変更 ↓
YES	(7-2) → (10-1)へ	／		第19版変更
N O	(8) エラーメッセージ 「出生当時の母の年齢が50歳を越えています。」 を表示		(9) 3.0審査へ	受理照会 第18版変更 昭和36.9.5民事甲2008号通達 ↓
N O	(10) → (10-1)へ	／		↓
(10-1) 在外送付区分＝0:受理分 (YES,NO)		／		送付分の届書は受理照会の対象外とする。
YES	(10-2) → (11)へ	／		↓
N O	(10-3) → (21)へ	／		↓
(11) 出生証明書区分≠1 かつ 届出人. 資格≠船長 かつ 出生子. 出生区分≠4 (YES,NO)		／		戸49Ⅲ
YES	(12) エラーメッセージ 「出生証明者が医師・助産師以外です。」 を表示		(13) 3.0審査へ	受理照会, 昭和23.12.1民事甲1998号回答 昭和54.9.27～28高知県連協決
N O	(14) → (15)へ	／		
(15) 出生子の出生場所＝国内である (YES,NO)		／		
YES	(16) 出生子の生年月日＋14日(14日未満)＞受領日 (YES,NO)	／		戸49 I 21版(出生138)
YES	(17) → (21)へ	／		
N O	(18) エラーメッセージ 「出生の届出が出生日から14日を過ぎています。」 を表示		(19) 3.0審査へ	受理 (失期通知を裁判所へ提出)
N O	(20) → (21)へ	／		

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年 12月 1日	平成27年 3月 1日	18	72-1／79

処　理　名	3. 18 審査 1/2 (受理照会等)			根 拠 法 令 (マニュアル処理)
(21) 出生子の出生区分＝3 (YES,NO)		／		
YES	(22) 入るべき戸籍の本籍＝管内 かつ 新戸籍の本籍＝管外 (YES,NO)	／		
YES	(22-1) 在外送付区分=0:受理 又は2:在外公館の直接送付(YES,NO)	／		
YES	(23) 本・非本区分＝2 (YES,NO)	／		
YES	(24) → (37)へ	／		
N O	(26) エラーメッセージ 「本・非本区分は2(非本籍)でなければなりません。」 を表示		(25) 3.0審査へ	不受理
N O	(26-1) 本・非本区分=1(YES,NO)	／		
YES	(26-2) → (37)へ	／		
N O	(26-3) エラーメッセージ 「本・非本区分は1(本籍)でなければなりません。」 を表示		(26-4) 3.0審査へ	不受理
N O	(27) → (28)へ	／		
N O		／		

30273

065－1

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	73/79

処理名	3.18 審査 2/2 (受理照会等)			根拠法令 (マニュアル処理)
(28) 入るべき戸籍の本籍＝管内 又は 新戸籍の本籍＝管内(YES, NO)		／		
YES	(29) 本・非本区分＝1(YES, NO)	／		
	YES (30) → (37)へ	／		
	N O (31) エラーメッセージ 「本・非本区分は1(本籍)でなければなりません。」を表示		(32) 3.0審査へ	不受理
N O	(33) 本・非本区分＝2(YES, NO)	／		
	YES (34) → (37)へ	／		
	N O (35) エラーメッセージ 「本・非本区分は2(非本籍)でなければなりません。」を表示		(36) 3.0審査へ	不受理
(37) 出生子の出生区分＝2 かつ 入るべき戸籍の本籍≠スペース かつ 届書の母外国人区分＝1 かつ 胎児認知日＝スペース かつ 在外送付区分＝1(YES, NO)		／		
YES	(38) 報告区分＝1(YES, NO)	／		
	YES (39) →		(40) 3.0審査へ	
	N O (41) エラーメッセージ 「報告区分は1(創設的届出)でなければなりません。」を表示			不受理
N O	(42) 報告区分＝2(YES, NO)	／		
	YES (43) →		(44) 3.0審査へ	
	N O (45) エラーメッセージ 「報告区分は2(報告的届出)でなければなりません。」を表示			不受理

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	73-1／79

処理名	3.19審査1／3(母日本人,父外国人婚姻後201日以降出生)	根拠法令（マニュアル処理）

(1) 入るべき戸籍の母前婚姻解消日＋300日≧出生子の生年月日(YES,NO)													／		民772Ⅱ
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示													(3)3.0審査へ	
	YES	(11)裁判の区分(0 ： 無，1 ； 嫡出否認， 2 ： 親子関係不存在，3 ： 父を定める訴，4 ： 強制認知)											／		
		0	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示											(13)3.0審査へ	昭28．7.20 民事甲 1238号回答
			YES	(14) → (63)へ									／		
			NO	(15)入るべき戸籍の嫡出子例外区分(0 ： 無，1 ： 有)									／		
				0	(19)出生子の出生区分=1(YES,NO)								／		戸49Ⅱ1
					YES	(20)中間F（届書）．父未定区分に1を移送							／		戸54
						(21) → (63)へ							／		
					NO	(22)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示								(23)3.0審査へ	不受理 昭20．9.24 民事特甲 408号回答 昭24．9．5 民事甲 1942号回答
				1	(24)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示										不受理
		1．2	(25)対象父区分(1 ： 現夫，2 ： 前後夫)										／		民775
			1	(26)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示										(27)3.0審査へ	不受理
			2	(28)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示											
				YES	(29) → (63)へ								／		
				NO	(30) →									(31)3.0審査へ	不受理
		3	(32) → (63)へ										／		民773.戸49Ⅱ1
		4	(39)対象父区分(1 ： 現夫，2 ： 前後夫，3 ： 届書の父)										／		
			1．3	(39-1) → (63)へ									／		

30275

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	73-2／79

処理名	3.19 審査 2/3（母日本人，父外国人婚姻後201日以降出生）		根拠法令（マニュアル処理）
	2 (39-2)エラーメッセージ「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示	(39-3)3.0審査へ	不受理
	N O (40) → (41)へ	／	
N O		／	
(41)裁判の区分（0：無，1：嫡出否認，2：親子関係不存在，3：父を定める訴，4：強制認知）		／	
0	(42) → (63)へ	／	
1，2	(43)対象父区分（1：現夫，2：前後夫）	／	民775
	1 (44) → (78)へ	／	
	2 (53) → (63)へ	／	
3	(54) → (63)へ	／	民773
4	(62)対象父区分（1：現夫，2：前後夫，3：届書の父）	／	
	1，3 (62-1) → (63)へ	／	
	2 (62-2)エラーメッセージ「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示	(62-3)3.0審査へ	不受理
(63)入るべき戸籍の嫡出子例外区分（0：無，1：有）		／	
0	(64)出生子の出生区分＝1(YES,NO)	／	戸49II1
	YES (65)胎児認知日＝スペース(YES,NO)	／	
	YES (66)出生子の生年月日＝和暦(YES,NO)	／	
	YES (67) →	(68)3.0審査へ	
	N O (69)エラーメッセージ「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示		不受理
	N O (70)エラーメッセージ「現夫の嫡出子です。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示		不受理
	N O (71)エラーメッセージ「出生子の出生区分は1（嫡出子）でなければなりません。」を表示		不受理
1	(72) → (78)へ	／	
(78)胎児認知日＝スペース(YES,NO)		／	

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	73-3／79

処理名	3.19 審査 3/3(母日本人,父外国人婚姻後201日以降出生)			根拠法令 (マニュアル処理)
YES	(79)入るべき戸籍の婚姻解消日≠ スペースかつ 入るべき戸籍の婚姻解消日＜出生子の生年月日(YES,NO)	／		
YES	(79-1)入るべき戸籍の本籍≠スペース かつ 入るべき戸籍の本籍＝管外 かつ 入るべき戸籍の母入籍事件日＝スペース(YES, NO)	／		21版(出生211)
YES	(79-2) → (88) へ	／		21版(出生211)
NO	(79-3) → (80) へ	／		21版(出生211)
	(80)入るべき戸籍の母入籍事件日≠ スペースかつ 入るべき戸籍の母除籍日=スペース(YES,NO)	／		21版(出生211)
YES	(81) → (88)へ	／		
NO	(82)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示		(83)3.0審査へ	
YES	(84) → (88)へ	／		
NO	(85) →		(86)3.0審査へ	不受理
NO	(87) → (88)へ	／		
	(88)出生子の出生区分=3(YES,NO)	／		
YES	(89)出生子の生年月日=和暦(YES,NO)	／		
YES	(90) →		(91)3.0審査へ	
NO	(92)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(93)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(107)エラーメッセージ 「現夫による胎児認知は出来ません。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示			不受理

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	73-4／79

処理名	3. 20 審査1／3(母日本人・父外国人婚姻後200日以内出生)	根拠法令（マニュアル処理）

(1) 入るべき戸籍の母前婚姻解消日＋300日≧出生子の生年月日(YES,NO)			／			
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示			(3)3.0審査へ	民772	
	YES	(4)裁判の区分（0 ： 無，1 ： 嫡出否認， 2 ： 親子関係不存在，3 ： 父を定める訴，4 ： 強制認知）	／			
		0	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示	(6)3.0審査へ		
			YES (7) → (47)へ	／		
			NO (8)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示	(9)3.0審査へ	不受理	
		1	(10)対象父区分（1 ： 現夫，2 ： 前後夫）	／	民775	
			1 (11)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示	(12)3.0審査へ	不受理	
			2 (13)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示			
			YES (14) → (47)へ	／		
			NO (15) →	(16)3.0審査へ	不受理	
		2	(17)対象父区分(1 ： 現夫，2 ： 前後夫)	／	民775	
			1 (18)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示	(19)3.0審査へ	不受理	
			2 (20)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示			
			YES (21) → (47)へ	／		
			NO (22) →	(23)3.0審査へ	不受理	
		3	(24)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示		不受理 民773	
		4	(25)対象父区分(1 ： 現夫，2 ： 前後夫，3 ： 届書の父)	／	民787	

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	73-5／７９

処理名	3.20 審査 2/3（母日本人，父外国人婚姻後200日以内出生）			根拠法令（マニュアル処理）
	1，3	(26) → (47)へ	／	
	2	(27)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示	(28)3.0審査へ	不受理
	ＮＯ	(29) → (30)へ	／	
ＮＯ			／	
(30)裁判の区分（０：無，１：嫡出否認，２：親子関係不存在，３：父を定める訴，４：強制認知）			／	
0	(31) → (47)へ		／	
1	(32)対象父区分（１：現夫，２：前後夫）		／	
	1	(33)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示	(34)3.0審査へ	不受理
	2	(35) → (47)へ	／	
2	(36)対象父区分（１：現夫，２：前後夫）		／	
	1	(37)出生子の出生区分＝３(YES,NO)	／	
	ＹＥＳ	(38) → (53)へ	／	
	ＮＯ	(39)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は３（非嫡出子）でなければなりません。」を表示	(40)3.0審査へ	不受理
	2	(41) → (47)へ	／	
3	(42)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示		(42-1)3.0審査へ	不受理
4	(43)対象父区分（１：現夫，２：前後夫）		／	
	1	(44) → (47)へ	／	
	2	(45)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示	(46)3.0審査へ	不受理
(47)届出人＝母　かつ　出生子の出生区分＝３(YES,NO)			／	昭和26. 6.27 民事甲 1332号回答
ＹＥＳ	(48) → (53)へ		／	
ＮＯ	(49)出生子の出生区分＝１(YES,NO)		／	戸49 II 1
	ＹＥＳ	(50)胎児認知日＝スペース(YES,NO)	／	

30279

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	73-6／79

処理名			3.20 審査 3/3(母日本人, 父外国人婚姻後200日以内出生)			根拠法令（マニュアル処理）
		YES	(51)出生子の生年月日=和暦(YES,NO)	／		
			YES (51-1) →		(51-2)3.0審査へ	
			NO (51-3)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
		NO	(51-4)エラーメッセージ 「現夫の嫡出子です。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示			不受理
	NO		(52)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理
(53)胎児認知日=スペース(YES,NO)				／		
YES			(54)入るべき戸籍の婚姻解消日≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻解消日＜出生子の生年月日(YES,NO)	／		
	YES		(54-1)入るべき戸籍の本籍≠スペース かつ 入るべき戸籍の本籍＝管外 かつ 入るべき戸籍の母入籍事件日＝スペース(YES, NO)	／		21版(出生211) 21版(出生211)
		YES	(54-2) → (63) へ	／		21版(出生211)
		NO	(54-3) → (55) へ	／		21版(出生211)
			(55)入るべき戸籍の母入籍事件日≠ スペース かつ 入るべき戸籍の母除籍日=スペース(YES,NO)	／		
		YES	(56) → (63)へ	／		
		NO	(57)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示		(58)3.0審査へ	
			YES (59) → (63)へ	／		
			NO (60) →		(61)3.0審査へ	不受理
	NO		(62) → (63)へ	／		
	(63)出生子の出生区分=3(YES,NO)			／		
	YES		(64)出生子の生年月日=和暦(YES,NO)	／		
		YES	(65) →		(66)3.0審査へ	
		NO	(67)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
	NO		(68)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3（非嫡出子）でなければなりません。」を表示			不受理
NO			(69)エラーメッセージ 「現夫による胎児認知は出来ません。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示			不受理

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	73-7／79

処理名	3. 21 審査1／4(母日本人・父外国人婚姻前出生)		根拠法令（マニュアル処理）
(1) 入るべき戸籍の母前婚姻解消日＋300日≧出生子の生年月日(YES,NO)		／	
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示		(3)3.0審査へ	民772
YES	(11)裁判の区分(0 ： 無，1 ： 嫡出否認， 2 ： 親子関係不存在，3 ： 父を定める訴，4 ： 強制認知)	／		
0	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示		(13)3.0審査へ	
YES	(14) → (59)へ	／		
NO	(15)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(16)3.0審査へ	不受理
1	(17)対象父区分(1 ： 現夫，2 ： 前後夫)	／		民775
1	(18)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(19)3.0審査へ	不受理
2	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示			
YES	(20-1) → (59)へ	／		
NO	(20-2) →		(20－3)3.0審査へ	不受理
2	(20-4)対象父区分(1 ： 現夫，2 ： 前後夫)	／		民775
1	(20-5)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(20－6)3.0審査へ	不受理
2	(20-7)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示			
YES	(20-8) → (59)へ	／		
NO	(20-9) →		(20－10)3.0審査へ	不受理
3	(21)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示			不受理 民773
4	(22)対象父区分(1 ： 現夫，2 ： 前後夫，3 ： 届書の父)	／		民787.昭和41. 3.14 民事甲 655号回答

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	73-8／79

処理名	3.21 審査 2/4（母日本人，父外国人婚姻前出生）					根拠法令（マニュアル処理）
		1，3	(23) → (59)へ	／		
		2	(24)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(25)3.0審査へ	不受理
	NO		(38) → (39)へ	／		
NO				／		
(39)裁判の区分（0：無，1：嫡出否認，2：親子関係不存在，3：父を定める訴，4：強制認知）				／		
0	(40) → (59)へ			／		
1，2 3	(41)エラーメッセージ 「認知以外の裁判区分を入力することは出来ません。」を表示				(42)3.0審査へ	不受理
4	(43)対象父区分（1：現夫，2：前後夫，3：届書の父）			／		民787
	1，3	(44) → (59)へ		／		戸49II1
	2	(45)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示			(46)3.0審査へ	不受理
(59)胎児認知日＝スペース(YES,NO)				／		
YES	(59-1)裁判の区分＝4　かつ　対象父区分＝1又は3(YES,NO)			／		
	YES	(59-2) → (112)へ		／		
	NO	(59-3) → (60)へ		／		
	(60)届出人の資格＝001又は005(YES,NO)			／		戸62,大正 8. 9. 13 民　3686号回答
	YES	(61)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子は死亡していますか。」を表示			(62)3.0審査へ	民783II前段 大正 6. 3. 6 民　197号回答
		YES	(63)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子には、直系卑属がいるものとして処理を続行しますか。」を表示			民783II前段
			YES (64)確認メッセージ(YES,NO) 「直系卑属は成年に達していますか。」を表示			民3,783II後段
			YES (65)確認メッセージ(YES,NO) 「直系卑属の承諾があるものとして処理を続行しますか。」を表示			

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年 12月 1日	平成31年 3月31日	22	73-9／79

処理名	3.21 審査 3／4 (母日本人,父外国人婚姻前出生)						根拠法令 (マニュアル処理)
				YES	(66) → (112)へ	／	
				NO	(70) →	(71)3.0審査へ	不受理
			NO		(72) → (112)へ	／	
		NO			(75) →		不受理
		NO	(76)子の生年月日＋20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)			／	民3,782 21版(出生138)
		YES	(77)確認メッセージ(YES,NO) 「認知に対する出生子の承諾があるものとして処理を続行しますか。」を表示				大正7.5.30 民 1159号回答 昭和43.4.5 民事甲 689号回答
				YES	(79) → (112)へ	／	
				NO	(82) →	(83)3.0審査へ	不受理
			NO		(84) → (112)へ	／	
	NO	(88)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人が父・父母以外の為、準正嫡出子にはなれませんがよろしいですか。」を表示				(89)3.0審査へ	
	YES	(88-1)入るべき戸籍の本籍≠スペース かつ 入るべき戸籍の本籍＝管外 かつ 入るべき戸籍の母入籍事件日＝スペース(YES, NO)				／	21版(出生211)
				YES	(88-2) → (118) へ	／	21版(出生211)
				NO	(88-3) → (90) へ	／	21版(出生211)
			(90)入るべき戸籍の母入籍事件日＜出生子の生年月日(YES,NO)			／	21版(出生211)
				YES	(91) → (118)へ	／	
			NO				22版(出生143)
							22版(出生143)
							22版(出生143)
							22版(出生143)
					(94)入るべき戸籍の母入籍事件日＞出生子の生年月日(YES,NO)	／	
				YES	(95)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示		(96)3.0審査へ
					YES (97) → (118)へ	／	
					NO (98) →		(99)3.0審査へ 不受理
				NO	(100) →		受理照会
		NO	(101) →				不受理

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年 12月 1日	平成30年 3月31日	21	73-10／79

処理名	3.21審査4／4(母日本人，父外国人婚姻前出生)			根拠法令（マニュアル処理）
NO	(111) → (112)へ	／		
(112)出生子の出生区分＝2（YES,NO)		／		
YES	(113)出生子の生年月日＝和暦(YES,NO)	／		
	YES (114) →		(115)3.0審査へ	
	NO (116)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(117)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は2（準正嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理
(118)出生子の出生区分＝3(YES,NO)		／		
YES	(119)出生子の生年月日＝和暦(YES,NO)	／		
	YES (120) →		(121)3.0審査へ	
	NO (122)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(123)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		
		／		

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年 12月 1日	平成31年 3月31日	22	73-11／79

処理名	3.22審査1／4(母日本人，父外国人，母未婚・婚姻解消後出生)			根拠法令（マニュアル処理）
(1) 届書の母欄 ≠ スペース(YES,NO)		／		
YES	(2)エラーメッセージ 「届書の母を入るべき戸籍の母欄へ入力して下さい。」を表示		(3)3.0審査へ	不受理
NO	(4) → (5)へ	／		
(5)入るべき戸籍の母前婚姻解消日＋300日≧出生子の生年月日(YES,NO)		／		
YES	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示		(7)3.0審査へ	民772
YES	(8)裁判の区分(0:無，1:嫡出否認， 2:親子関係不存在，3:父を定める訴，4:強制認知)	／		
0	(9)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示		(10)3.0審査へ	
YES	(11) → (42)へ	／		
NO	(12)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		**(13)3.0審査へ**	不受理
1	(14)対象父区分(1:現夫，2:前後夫)	／		民775
1	(14-1)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(14-2)3.0審査へ	不受理
2	(15)出生子の生年月日 ≦ 入るべき戸籍の母前婚姻解消日(YES,NO)	／		
YES	(16)裁判の子の氏変更申出区分 ≠ スペース(YES,NO)	／		
YES	(17) → (42)へ	／		
NO	(18)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示		(19)3.0審査へ	不受理
YES	(19-1) → (42)へ	／		
NO	(19-2) →		(19-3)3.0審査へ	不受理
NO	(20) → (42)へ	／		
2	(21)対象父区分（1:現夫，2:前後夫)	／		民775
1	(22)エラーメッセージ		(22-1)3.0審査へ	不受理

第2(3)(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	73-12/79

処理名	3.22 審査 2/4（母日本人，父外国人，母未婚・婚姻解消後出生）		根拠法令（マニュアル処理）
	「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		
	2 (22-2)出生子の生年月日≦入るべき戸籍の母前婚姻解消日(YES,NO)	／	
	YES (22-3)裁判の子の氏変更申出区分≠スペース(YES,NO)	／	
	YES (22-4) → (42)へ	／	
	NO (22-5)確認メッセージ(YES,NO)「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示		(22-6)3.0審査へ
	YES (22-7) → (42)へ	／	
	NO (22-8) →		(22-9)3.0審査へ 不受理
	NO (22-10) → (42)へ		
	3 (23)エラーメッセージ「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示		不受理 民773
	4 (24)対象父区分（1：現夫，2：前後夫，3：届書の父）	／	民787
	1，3 (25) → (65)へ	／	
	2 (28)エラーメッセージ「前夫の出生子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(29)3.0審査へ 不受理
	NO (30) → (31)へ	／	
NO		／	
(31)裁判の区分（0：無，1：嫡出否認，2：親子関係不存在，3：父を定める訴，4：強制認知）		／	
0	(32) → (42)へ	／	
1	(33)対象父区分（1：現夫，2：前後夫）	／	民775
	1 (33-1)エラーメッセージ「嫡出否認裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(33-2)3.0審査へ 不受理
	2 (33-3)確認メッセージ(YES,NO)「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示		
	YES (33-4) → (42)へ	／	
	NO (33-5) →		(33-6)3.0審査へ 不受理

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	73-13/79

処理名	3.22 審査 3/4（母日本人，父外国人，母未婚・婚姻解消後出生）			根拠法令（マニュアル処理）
2	(33-7)対象父区分（1：現夫，2：前後夫）	／		民775
	1 (33-8)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(33-9)3.0審査へ	不受理
	2 (33-10) 確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示			
	YES (33-11) → (42)へ	／		
	NO (33-12) →		(33-13) 3.0審査へ	不受理
3	(34)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示			不受理
4	(35)対象父区分（1：現夫，2：前後夫，3：届書の父）	／		民787
	1，3 (36) → (65)へ	／		
	2 (40)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示		(41)3.0審査へ	不受理
(42)胎児認知日＝スペース(YES,NO)		／		
YES	(43)出生子の生年月日≧平成2年1月1日(YES,NO)	／		改正法例(平成2年1月1日施行)
	YES (44)確認メッセージ(YES,NO) 「父は事実主義国の外国人として処理を続行しますか。」を表示		(45)3.0審査へ	法18 I
	YES (46)確認メッセージ(YES,NO) 「父の事実主義に関する証明書の添付があるものとして処理を続行しますか。」を表示			平成元年.10. 2 民二 3900号通達 第3の2（2）ア
	YES (47) → (65)へ	／		
	NO (48) →		(49)3.0審査へ	不受理
	NO			
	NO (50)エラーメッセージ 「改正法例前における事実主義にもとずく父欄の入力は出来ません。」を表示			不受理
NO	(61)確認メッセージ(YES,NO) 「母に婚姻の履歴はありませんね。」を表示			
	YES (62) → (65)へ	／		

第2 (33)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	73-14/79

処理名	3.22 審査 4/4（母日本人，父外国人，母未婚・婚姻解消後出生）		根拠法令 （マニュアル処理）
ＮＯ	(63) →	(64)3.0審査へ	不受理
(65)出生子の出生区分＝3 (YES,NO)			戸49II 1
ＹＥＳ	(66)出生子の生年月日＝和暦(YES,NO)		
ＹＥＳ	(67) →	(68)3.0審査へ	
ＮＯ	(69)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示		不受理
ＮＯ	(70)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は３（非嫡出子）でなければなりません。」を表示		不受理

30288

080

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	73-15／79

処理名	3. 21 審査2／4(母日本人・父外国人婚姻前出生)			根拠法令（マニュアル処理）
(1)届書の母欄≠ スペース(YES,NO)		／		
YES	(2)エラーメッセージ 「届書の母を入るべき戸籍の母欄へ入力して下さい。」を表示		(3).3.0審査へ	不受理
NO	(4)→(5)へ	／		
(5)入るべき戸籍の母前婚姻解消日＋300日≧出生子の生年月日(YES,NO)		／		
YES	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示		(7)3.0審査へ	民772
YES	(8)裁判の区分(0:無，1:嫡出否認， 2:親子関係不存在，3:父を定める訴，4:強制認知)	／		
0	(9)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示		(10)3.0審査へ	
YES	(11)→(38)へ	／		
NO	(12)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(13)3.0審査へ	不受理
1，2	(14)出生子の生年月日≦ 入るべき戸籍の母前婚姻解消日(YES,NO)	／		民775
YES	(15)裁判の子の氏変更申出区分≠ スペース(YES,NO)	／		
YES	(16)→(38)へ	／		
NO	(17)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示		(18)3.0審査へ	不受理
YES	(19)→(38)へ	／		
NO	(20)→		(21)3.0審査へ	不受理
NO	(22)→(38)へ	／		
3	(23)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示		(24)3.0審査へ	不受理 民773
4	(25)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示			不受理

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	73-16／79

処理名		3. 23 審査 2/2(母日本人未婚･婚姻解消後出生)			根拠法令（マニュアル処理）
	NO	(26)→(27)へ	／		
NO					
(27)裁判の区分(0:無，1:嫡出否認，2:親子関係不存在，3:父を定める訴，4:強制認知)			／		
0		(28)→(38)へ	／		
1，2		(29)入るべき戸籍の婚姻解消日≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻解消日＜出生子の生年月日(YES,NO)	／		
	YES	(29-1)入るべき戸籍の本籍≠スペース かつ 入るべき戸籍の本籍＝管外 かつ 入るべき戸籍の母入籍事件日＝スペース(YES，NO)	／		21版(出生211) 21版(出生211)
		YES (29-2) → (38) へ	／		21版(出生211)
		NO (29-3) → (30) へ	／		21版(出生211)
		(30)入るべき戸籍の母入籍事件日≠ スペースかつ 入るべき戸籍の母除籍日＝スペース(YES,NO)	／		
		YES (31)→(38)へ	／		
		(32)エラーメッセージ 「出生子は、母の現在戸籍への入籍です。母の現在戸籍を入力して下さい。」を表示		(33)3.0審査へ	不受理
	NO	(34)→(38)へ	／		
3		(35)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示		(36)3.0審査へ	不受理
4		(37)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示	／		不受理
(38)出生子の出生区分=3(YES,NO)					戸49Ⅱ1
YES		(39)出生子の生年月日=和暦(YES,NO)			
	YES	(40)→		(41)3.0審査へ	不受理
	NO	(42)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			
NO		(43)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理

第2(3)(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	74／79

処理名	4.0 中間ファイル(届書) 1／6	（受取側）中間ファイル(届書)	← （引渡側）届出書入力画面，その他

受取側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9..	備考
中間ファイル(届書)共通	受領番号		出生(その1)画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							01（出生届）
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分＝0：1 在外送付区分≠0：2
	本非区分			本・非本区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態区分				
	届区分			報告区分				
	渉外区分			外国人区分(届書父) 外国人区分(届書母) 国籍留保届出人区分				父母双方に入力がある場合 父母双方日本人：0 父母の一方が日本人：1 父母双方外国人：2 父母の一方に入力がある場合 入力がある者は日本人：0 入力がある者は外国人：2 但し、上記区分＝0であるとき 国籍留保届出人≠0の場合：1
	同時決裁受領番号(1～5)							
	ロック戸籍番号(1)		本籍人サブシステムインターフェイス	戸籍番号				入るべき戸籍，届書の父，届書の母が本籍人の場合、選択戸籍番号をセット
	ロック戸籍番号(2)			戸籍番号				
	ロック戸籍番号(3)			戸籍番号				
	ロック戸籍番号(4)							

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	75／79

処理名	4.0 中間ファイル(届書) 2／6	(受取側) 中間ファイル(届書)	← (引渡側) 届出書入力画面，その他

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (届書) 共通	ロック戸籍番号(5)							
	事件別内容		出生入力画面					3／6～6／6参照
	不受理申出処分区分							本籍人で該当する不受理申出がある場合、1を移送する
	処分区分							審査の結果により、1＝受理、又は2＝不受理、又は、3＝受理伺いをセットする。審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。
	決裁区分							受領№＝スペース：0を移送
	届書排他区分							再入力の場合：1

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	76／79

処理名	4.0 中間ファイル(届書) 3／6	（受取側）中間ファイル(届書)	← （引渡側）届出書入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9..	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容								
	出生証明書区分		出生(その1)画面	出生証明書区分				
	出生子のカナ氏名			出生子．カナ氏名				
	〃 漢字氏名			〃 ．漢字氏名				
	〃 生年月日			〃 ．生年月日				
	〃 出生区分			〃 ．出生区分				
	〃 続柄コード			〃 ．続柄コード				
	〃 出生地コード			〃 ．出生地		有		
	〃 出生地							
	〃 国籍コード			〃 ．国籍		有		
	〃 国籍							
	〃 住所コード			〃 ．住所		有		
	〃 住所							
	〃 世帯主氏名			〃 ．世帯主氏名				
	〃 世帯主との続柄コード			〃 ．世帯主との続柄コード				
	届出人の資格コード			届出人．資格コード				
	〃 資格名称			〃 ．資格名称				
	〃 氏名			〃 ．氏名				
	入るべき戸籍の婚姻日		出生(その2)画面	入るべき戸籍．婚姻日				
	〃 嫡出子例外区分			〃 ．嫡出子例外区分				
	〃 婚姻解消日			〃 ．婚姻解消日				
	〃 母前婚姻解消日			〃 ．母前婚姻解消日				
	〃 本籍コード			〃 ．本籍		有		
	〃 本籍							
	〃 筆頭者氏名			〃 ．筆頭者				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	77／79

処理名	4.0 中間ファイル(届書) 4／6	(受取側) 中間ファイル(届書)	← (引渡側) 届出書入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9..	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	入るべき戸籍の父個人番号		サブシステムインターフェイス					本籍人の場合、入るべき戸籍の父の個人番号を移送
	〃 父カナ氏名							本籍人：本籍人サブシステム 非本籍人：非本籍人サブシステム
	〃 父漢字氏名		出生(その2)画面	入るべき戸籍．父氏名				
	〃 父筆頭者区分			〃 ．父筆頭者区分				
	〃 父生年月日			〃 ．父生年月日				
	〃 父入籍事件日			〃 ．父入籍事件日				
	〃 父除籍日			〃 ．父除籍日				
	〃 父配偶者区分			〃 ．父配偶者区分				
	〃 母個人番号		サブシステムインターフェイス					本籍人の場合、入るべき戸籍の母の個人番号を移送
	〃 母カナ氏名							本籍人：本籍人サブシステム 非本籍人：非本籍人サブシステム
	〃 母漢字氏名		出生(その2)画面	入るべき戸籍．母氏名				
	〃 母筆頭者区分			〃 ．母筆頭者区分				
	〃 母生年月日			〃 ．母生年月日				
	〃 母入籍事件日			〃 ．母入籍事件日				
	〃 母除籍日			〃 ．母除籍日				
	〃 母配偶者区分			〃 ．母配偶者区分				
	届書の父個人番号		サブシステムインターフェイス					本籍人の場合、届書の父の個人番号を移送
	〃 父カナ氏名							本籍人：本籍人サブシステム 非本籍人：非本籍人サブシステム
	〃 父漢字氏名		出生(その2)画面	届書．父氏名				
	〃 父本籍コード			〃．父本籍		有		

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	78／79

処理名 4.0 中間ファイル(届書) 5／6 （受取側）中間ファイル(届書) ← （引渡側）届出書入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	(サブルーチン)	Z9.,	
中間ファイル(届書) 事件別内容	届書の父本籍		出生(その2)画面	届書．父本籍				
	〃 父生年月日			〃．父生年月日				
	〃 父筆頭者氏名			〃．父筆頭者区分				
	〃 父外国人区分			〃．父外国人区分				
	〃 母個人番号		サブシステムインターフェイス					本籍人の場合、届書の母の個人番号を移送
	〃 母カナ氏名							本籍人：本籍人サブシステム 非本籍人：非本籍人サブシステム
	〃 母漢字氏名		出生(その2)画面	届書．母氏名				
	〃 母本籍コード			〃．母本籍		有		
	〃 母本籍							
	〃 母生年月日			〃．母生年月日				
	〃 母筆頭者氏名			〃．母筆頭者区分				
	〃 母外国人区分			〃．母外国人区分				
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	胎児認知日			胎児認知日				
	関連受領番号			関連受領番号				西暦の頭2桁＋関連受領番号を移送
	新戸籍の本籍コード		出生(その3)画面	新戸籍．本籍				
	〃 本籍							
	〃 筆頭者カナ氏名		サブシステムインターフェイス					
	〃 筆頭者漢字氏名		出生(その3)画面	〃 ．筆頭者				
	国外の国籍留保届出人資格			国外．国籍留保届出人区分				
	〃 在外公館名称			〃 ．在外公館名				
	裁判の区分			裁判．区分				

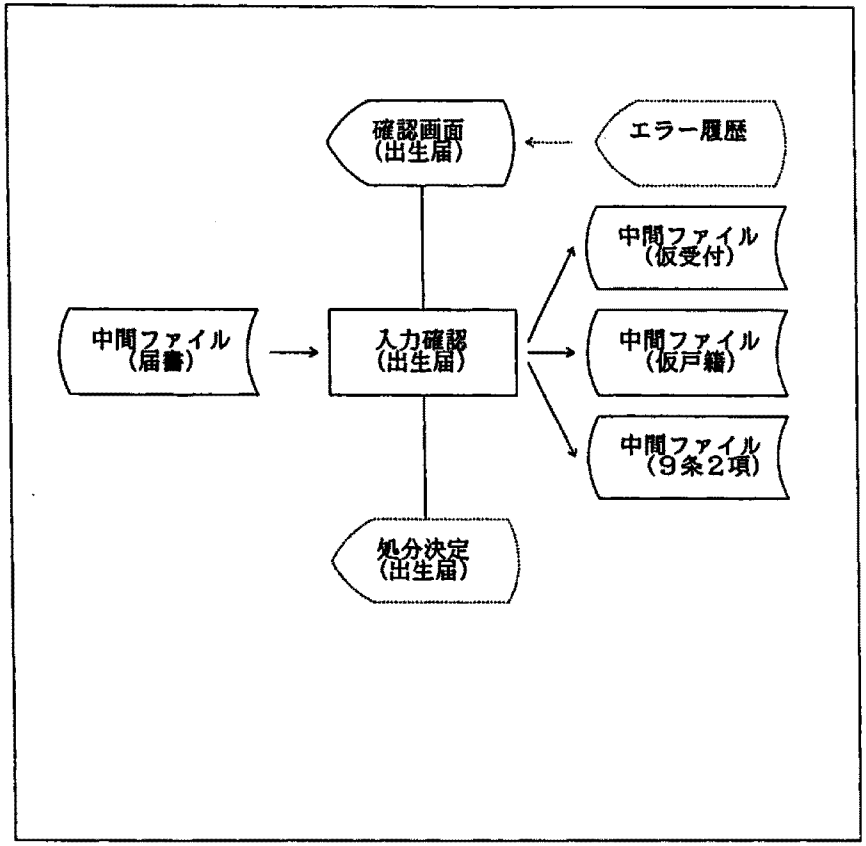
第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	79／79

処理名	4.0 中間ファイル(届書) 6／6	(受取側) 中間ファイル(届書)	← (引渡側) 届出書入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9..	
中間ファイル(届書) 事件別内容	裁判の確定日		出生(その3)画面	裁判．確定日				
	〃 子の氏変更申出区分			〃 ．子の氏変更申出				
	〃 対象父氏名			〃 ．対象父氏名				
	〃 対象父の生年月日			〃 ．対象父生年月日				
	国内遅延理由区分			国内遅延理由区分				
	大使館職員区分		審査処理					
	国外遅延理由区分							
	父未定区分							

第2(332)(2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／36

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名　　称	入出力区分	名　　称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(届書)	入　力		
中間ﾌｧｲﾙ(仮受付)	出　力		
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	出　力		
中間ﾌｧｲﾙ(9条2項)	出　力		

3．処理概要

(1)中間ファイル（届書）を画面表示する
(2)戸籍変動状況を確定する
(3)中間ファイル（仮受付）を編集・出力する
(4)中間ファイル（仮戸籍）を編集・出力する
(5)中間ファイル（９条２項）を編集・出力する
(6)処分決定処理に制御を渡す

4．機能体系（要件定義書の構成）

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル／仮受付)
    - 3.1 事件本人(子)
    - 3.2 事件本人(父)
    - （3.1, 3.2 ― 出生 ― 認知(６２条)）
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル／仮受付)
    - 4.1 事件本人
    - （4.1 ― 認知(６２条)）
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル／仮戸籍[身分事項])
    - 5.1 父(変動なし)/６２条
    - 5.2 父(変動なし)/胎児認知
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル／仮戸籍[身分事項])
    - 6.1 母(除籍)
    - 6.2 母(入籍)
  - 7.0 データ編集表(中間ファイル／仮戸籍[個人特定])
    - 7.1 出生子(入籍)
  - 8.0 データ編集表(中間ファイル／仮戸籍[身分事項])
    - 8.1 出生子(入籍)
    - 8.2 出生子(記録[親権])/協議
    - 8.3 出生子(入籍[養児])
    - 8.4 出生子(記録[胎児認知])
  - 9.0 データ編集表(中間ファイル／９条２項)
    - 9.1 出生子
    - 9.2 母

5．備考（特記事項含む）

第2(33)号	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2／36

処理名	0.0 本紙 1/2	根拠法令（マニュアル処理）

(1) 中間ファイル（届書）の内容を確認画面に出力し、メッセージを表示する [1.0] 「入力項目を確認し、よければ実行キーを押して下さい。」				／		
(2) キー選択（実行キー，ＰＦ1，ＰＦ2，ＰＦ5，ＰＦ7，ＰＦ8，ＰＦ11，その他）				／		
実行キー	(3) 中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の変動状況を決定する [2.0]			／		
	(4) 出生子．出生区分＝２ かつ 在外送付区分＝１ かつ 胎児認知日＝スペース かつ 裁判の区分≠４ かつ 入るべき戸籍．父氏名≠スペース かつ 届書．母外国人区分＝１(YES,NO)			／		
	ＹＥＳ	(5) 中間ファイル(仮受付[受付])を編集・出力する [4.0]		／		認知（６２条）受付作成
		(6) 中間ファイル(仮受付[事件本人])を編集・出力する [4.1]		／		
	Ｎ Ｏ	(7) 中間ファイル(仮受付[受付])を編集・出力する [3.0]		／		出生受付作成
		(8) 中間ファイル(仮受付[事件本人(出生子)])を編集・出力する [3.1]		／		
		(9) 出生区分＝２ かつ 胎児認知日＝スペース かつ 裁判の区分≠４(YES,NO)		／		
		ＹＥＳ	(10)中間ファイル(仮受付[事件本人(父)])を編集・出力する [3.2]	／		
		Ｎ Ｏ	(11) → (12)へ	／		
	(12)父＝本籍人(YES,NO)			／		
	ＹＥＳ	(13)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル（仮戸籍）を編集・出力する				
		父の変動なし（身分事項）	(14)父の記録事項の編集（６２条） [5.1]	／		
		父の変動なし（身分事項）	(15)父の記録事項の編集（胎児認知） [5.2]	／		
	Ｎ Ｏ	(16) → (17)へ		／		
	(17)母＝本籍人(YES,NO)			／		
	ＹＥＳ	(18)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル（仮戸籍）を編集・出力する				
		母の除籍 （身分事項）	(19)母の除籍事項の編集 [6.1]	／		
		母の入籍 （身分事項）	(20)母の入籍事項の編集 [6.2]	／		
	Ｎ Ｏ	(21) → (22)へ		／		
	(22)出生子＝本籍人 かつ 出生子の生年月日＝和暦 かつ 父未定区分≠２(YES,NO)			／		
	ＹＥＳ	(23)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル（仮戸籍）を編集・出力する				
		子の入籍 （個人特定）	(24)出生子の記録事項の編集 [7.1]	／		
		子の入籍 （身分事項）	(25)出生子の記録事項の編集 [8.1]	／		
		子の入籍 （身分事項）	(26)出生子の記録事項の編集 [8.3]	／		

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3/36
処理名	0.0 本紙 2/2				根拠法令	（マニュアル処理）	

		子の記録 （身分事項）	(27)出生子の記録事項の編集 [8.4]	／	
		(28)出生子の出生区分＝1 かつ 父母婚姻解消日≠スペース かつ 父未定区分＝0 かつ 父母婚姻解消日＋301日≧出生子の生年月日(YES,NO)		／	
		YES	子の記録（身分事項） (29)出生子の記録事項の編集 [8.2]	／	
		NO	(30) → (31)へ	／	
	NO				
	(31)在外送付区分＝0又は2 かつ 出生子の生年月日＝和暦 かつ 父未定区分≠2(YES,NO)			／	
	YES	(32)戸籍変動状況をもとに、中間ファイル（9条2項）を編集・出力する		／	
		(33)出生子の編集 [9.1]		／	
		(34) → (35-1)へ		／	
	NO	(35) → (35-1)へ		／	
	(35-1)在外送付区分＝0又は2 かつ 出生子の出生区分≠4 かつ (入るべき戸籍の母≠スペース 又は 届書の母外国人区分＝0)(YES,NO)			／	
	YES	(35-2)戸籍変動状況(母につき新戸籍編製)をもとに、中間ファイル（9条2項）を編集・出力する		／	
		(35-3)母の編集 [9.2]			(35-4)処分決定に制御を渡す
	NO	(35-5) →			
PF1	——→				(36)業務選択に制御を渡す
PF2	——→				(37)届出選択に制御を渡す
PF5	——→				(38)届書入力(出生届)に制御を渡す
PF7	(39)前ページがあるか(YES,NO)			／	
	YES	(40)前ページ出生確認画面表示			(41)同画面を編集する
	NO	(42)「先頭ページです。」を表示			
PF8	(43)次ページあるか(YES,NO)			／	
	YES	(44)次ページ出生確認画面表示			(45)同画面を編集する
	NO	(46)「最終ページです。」を表示			
PF11	——→				(47)エラー履歴画面に制御を渡す
その他	(48)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示				(49)同画面を編集する

30299
101

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4/36

処理名	1.0 入力確認（出生）表示 1/4	（受取側）出生届確認画面	← （引渡側）中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無（サブルーチン）	出力形態 Z9..	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
出生届確認画面 共通域	画面ＩＤ			画面ＩＤ				画面ＩＤ
	システム日付			システム日付				システム日付
	支所No.		中間ファイル (届書)共通	出張所番号				
	受領No.			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元		有		
	在外			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本・非本			本非本区分				
	郵送日			郵送日		有		
	動態			動態区分				
	報告			報告区分				
出生(その１)確認画面	出生証明書区分		中間ファイル (届書)事件別内容	出生証明書区分				
	出生子．カナ氏名			出生子のカナ氏名				
	出生子．漢字氏名			出生子の漢字氏名				
	出生子．生年月日			出生子の生年月日		有		
	出生子．出生区分			出生子の出生区分				
	出生子．続柄			出生子の続柄				
	出生子．出生地			出生子の出生地コード 出生子の出生地		有		
	出生子．国籍			出生子の国籍コード 出生子の国籍		有		
	出生子．住所			出生子の住所コード 出生子の住所		有		
	出生子．世帯主名			出生子の世帯主氏名				

30300

092

第2(3)(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5／36

処理名	1.0 入力確認（出生）表示 2/4	（受取側）出生届確認画面	← （引渡側）中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無（サブルーチン）	出力形態 Z9,,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
出生(その1)確認画面	出生子．世帯主との続柄		中間ファイル(届書)事件別内容	出生子の世帯主との続柄				
	届出人．資格			届出人の資格				
	届出人．資格名称			届出人の資格名称				
	届出人．氏名			届出人の氏名				
出生(その2)確認画面	入るべき戸籍．婚姻日			入るべき戸籍の父母婚姻日		有		
	入るべき戸籍．嫡出子例外			入るべき戸籍の嫡出子例外				
	入るべき戸籍．婚姻解消日			入るべき戸籍の婚姻解消日		有		
	入るべき戸籍．母前婚姻解消日			入るべき戸籍の母前婚姻解消日		有		
	入るべき戸籍．本籍			入るべき戸籍の本籍コード 入るべき戸籍の本籍		有		
	入るべき戸籍．筆頭者			入るべき戸籍の筆頭者				
	入るべき戸籍．父氏名			入るべき戸籍の父氏名				
	入るべき戸籍．父筆頭者区分			入るべき戸籍の父筆頭者区分				
	入るべき戸籍．父生年月日			入るべき戸籍の父生年月日		有		
	入るべき戸籍．父入籍事件日			入るべき戸籍の父入籍事件日		有		

30301

093

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	6／36

処理名	1.0 入力確認（出生）表示 3/4	（受取側）出生届確認画面	← （引渡側）中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無（ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ）	出力形態 Z9..	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
出生(その2)確認画面	入るべき戸籍. 父除籍事件日		中間ファイル (届書)事件別内容	入るべき戸籍の 父除籍事件日		有		
	入るべき戸籍. 父配偶者区分			入るべき戸籍の 父配偶者区分				
	入るべき戸籍. 母氏名			入るべき戸籍の母氏名				
	入るべき戸籍. 母筆頭者区分			入るべき戸籍の 母筆頭者区分				
	入るべき戸籍. 母生年月日			入るべき戸籍の 母生年月日		有		
	入るべき戸籍. 母入籍事件日			入るべき戸籍の 母入籍事件日		有		
	入るべき戸籍. 母除籍事件日			入るべき戸籍の 母除籍事件日		有		
	入るべき戸籍. 母配偶者区分			入るべき戸籍の 母配偶者区分				
	届書. 父氏名			届書の父氏名				
	届書. 父本籍			届書の父本籍コード 届書の父本籍		有		
	届書. 父生年月日			届書の父生年月日		有		
	届書. 父筆頭者氏名			届書の父筆頭者氏名				
	届書. 父外国人区分			届書の父外国人区分				
	届書. 母氏名			届書の母氏名				
	届書. 母本籍			届書の母本籍コード 届書の母本籍		有		
	届書. 母生年月日			届書の母生年月日		有		
	届書. 母筆頭者氏名			届書の母筆頭者氏名				

30302

094

第2-3-(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	7/36

処理名	1.0 入力確認（出生）表示 4/4	（受取側）出生届確認画面	← （引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無（ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ）	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
出生(その2)確認画面	届書．母外国人区分		中間ファイル (届書)事件別内容	届書の母外国人区分				
	胎児認知区分			母胎児認知区分				
	胎児認知日			胎児認知日		有		
	関連受領番号			関連受領番号				3桁目より7桁を表示
出生(その3)確認画面	新戸籍．本籍			新戸籍の本籍コード 新戸籍の本籍		有		
	新戸籍．筆頭者氏名			新戸籍の筆頭者氏名				
	国外．国籍留保届区分			国外の国籍留保届区分				
	国外．在外公館名			国外の在外公館名				
	裁判．区分			裁判の区分				
	裁判．確定日			裁判の確定日		有		
	裁判．子の氏変更申出			裁判の子の氏変更申出		有		
	裁判．対象父氏名			裁判の対象父氏名				
	裁判．対象父生年月日			裁判の対象父生年月日		有		
	国内遅延理由区分			国内遅延理由区分				

30303

095

第2-37-(7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	8／36
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表 1/3						

項番	出生区分				父						母								胎児認知有	新戸籍編製		父母の戸籍		父の戸籍		母の戸籍			新戸籍編製
	嫡出子	準正嫡出子	非嫡出子	棄児	日本人				外国人 *2	無国籍 *2	日本人						外国人 *2	無国籍 *2		管内	管外	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	A.1 1.1 B.C.D.1 *1
					本籍 本籍人	本籍 非本籍人	構成 筆頭者	構成 構成員			本籍 本籍人	本籍 非本籍人	構成 筆頭者	構成 構成員	他の在籍者 有	他の在籍者 無													
1	○				○		−	−			○		−	−	−	−						子(7.1) 子(8.1)							
2	○				○		○										−	−						子(7.1) 子(8.1)					
3	○								−	−	○		○		−	−										子(7.1) 子(8.1)			
4	○									○								○		○									子(7.1) 子(8.1)
5		○			○		−	−			○		−	−	−	−						子(7.1) 子(8.1)							
6		○			○		−	−			○		−	−	−	−			○			子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)	父(5.2)						
7		○			○		○										○								父(5.1)				
8		○			○		○										−	−	○					子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)	父(5.2)					
9		○							−	−	○		○		−	−										子(7.1) 子(8.1)			
10		○							−	−	○		○		−	−			○							子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)			
11		○								○								○		○									子(7.1) 子(8.1)
12			○								○		○		−	−										子(7.1) 子(8.1)			
13			○			○	−	−			○		○		−	−			○							子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)			
14			○		○		−	−			○		○		−	−			○						父(5.2)	子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)			

30304

第2 3 (7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	9／36

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表 2/3

項番	出生区分				父						母								胎児認知有	新戸籍編製		父母の戸籍		父の戸籍		母の戸籍			新戸籍編製
	嫡出子	準正嫡出子	非嫡出子	養児	日本人				外国人 *2	無国籍 *2	日本人						外国人 *2	無国籍 *2		管内	管外	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	A.1 B.1 C.1 *1 D.1
					本籍 本籍人	本籍 非本籍人	構成 筆頭者	構成 構成員			本籍 本籍人	本籍 非本籍人	構成 筆頭者	構成 構成員	他の者在籍 有	他の者在籍 無														
15			○								○			○	○					○							母(6.1)		母子子子(6.2)(7.1)(8.1)
16			○			○	−	−			○			○	○				○	○						母(6.1)		母子子子子(6.2)(7.1)(8.1)(8.4)
17			○		○		−	−			○			○	○				○	○				父(5.2)		母(6.1)		母子子子子(6.2)(7.1)(8.1)(8.4)
18			○								○			○		○				○							母(6.1)	母子子子(6.2)(7.1)(8.1)
19			○			○	−	−			○			○		○			○	○							母(6.1)	母子子子子(6.2)(7.1)(8.1)(8.4)
20			○		○		−	−			○			○		○			○	○				父(5.2)			母(6.1)	母子子子子(6.2)(7.1)(8.1)(8.4)
21			○								○			○	○						○					母(6.1)		
22			○		○		−	−			○			○	○				○		○			父(5.2)		母(6.1)		
23			○								○			○		○					○						母(6.1)	
24			○		○		−	−			○			○		○			○		○			父(5.2)			母(6.1)	
25			○									○		○	−	−				○								母子子子(6.2)(7.1)(8.1)
28			○			○	−	−									○		○	○								子子子(7.1)(8.1)(8.4)

第2.3.7	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	10／36

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表 3/3

項番	出生区分				父						母								胎児認知有	新戸籍編製		父母の戸籍		父の戸籍		母の戸籍			新戸籍編製
	嫡出子	準正嫡出子	非嫡出子	棄児	日本人				外国人 *2	無国籍 *2	日本人						外国人 *2	無国籍 *2		管内	管外	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	A.1 B.1 C.1 *1 D.1
					本籍 本籍人	本籍 非本籍人	構成 筆頭者	構成 構成員			本籍 本籍人	本籍 非本籍人	構成 筆頭者	構成 構成員	他の者在籍 有	他の者在籍 無													
29			○		○		−	−									○		○	○					父(5.2)				子(7.1) 子子(8.1) 子子子(8.4)
30			○															○		○									子(7.1) 子子(8.1)
31			○			○	−	−										○	○	○									子(7.1) 子子(8.1) 子子子(8.4)
32			○		○		−	−										○	○	○					父(5.2)				子(7.1) 子子(8.1) 子子子(8.4)
33				○																○									子(7.1) 子子(8.3)
34			○		○		−	−									○		○		○				父(5.2)				
35			○		○		−	−										○	○		○				父(5.2)				
36			○						○		○		○		−	−										子(7.1) 子(8.1)			
37			○						○		○			○	○					○							母(6.1)		母子(6.2) 子子(7.1) 子子子(8.1)
38			○						○		○			○		○				○								母(6.1)	母子(6.2) 子子(7.1) 子子子(8.1)
39			○						○		○			○	○						○						母(6.1)		
40			○						○		○			○		○					○							母(6.1)	
41			○						○			○		○	−	−				○									母子(6.2) 子子(7.1) 子子子(8.1)
42		○			○		○											○						子(7.1) 子(8.1)					

第2.3.7	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	10-1／36

処理名 2.0 戸籍編製マトリックス表 3-1/3

項番	出生区分				父						母								胎児認知有	新戸籍編製		父母の戸籍		父の戸籍		母の戸籍			新戸籍編製
	嫡出子	準正嫡出子	非嫡出子	棄児	日本人				外国人 *2	無国籍 *2	日本人						外国人 *2	無国籍 *2		管内	管外	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	A.1 B.1 C.1 D.1 *1
					本籍 本籍人	本籍 非本籍人	構成 筆頭者	構成 構成員			本籍 本籍人	本籍 非本籍人	構成 筆頭者	構成 構成員	他の在籍者 有	他の在籍者 無														
43 *3	○				○		○				−	−	−	−	−	−	−	−						子(7.1) 子(8.1)					
44 *3	○				−	−	−	−	−	−	○		○		−	−										子(7.1) 子(8.1)			
45			○						−	−	○		○		−	−			○							子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)			
46			○						−	−	○			○	○				○	○							母(6.1)		母(6.2) 子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)
47			○						−	−	○			○	○				○		○						母(6.1)		
48			○						−	−	○			○		○			○	○								母(6.1)	母(6.2) 子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)
49			○						−	−	○			○		○			○		○							母(6.1)	
50 *4			○								○			○	−	−										子(7.1) 子(8.1)			
51 *4			○		○		−	−			○			○	−	−			○						父(5.2)	子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)			
52 *4			○			−	−	−	−	−	○			○	−	−			○							子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)			
53 *5			○		○		−	−			○		−	−	−	−						子(7.1) 子(8.1)							

※1：母につき新戸籍編製時の母の個人特定についての編集を指す。
※2：届書の父母欄より判断する。
※3：項番４３～４４：父母の婚姻解消日≠スペース　かつ　入るべき戸籍に入力のある父又は母の場合を指す。
※4：項番５０～５２：母の配偶者区分≠０の条件が成り立つ時に処理する。
※5：項番５１：父母婚姻中の場合に処理する。

30307
050

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	11／36

処理名	4.0 中間ファイル(仮受付) 1／2	(受取側) 中間ファイル(仮受付) ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
中間ファイル (仮受付[受付])	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			出生子の出生区分 国籍留保届出区分 胎児認知日 裁判の区分	・出生子の出生区分＝3(非嫡)＆入るべき戸籍の母＝本籍人＆ 新戸籍の本籍＝非本籍＆在外送付区分＝1(国内からの送付) or 2(在外公館の直接送付) or 3(在外公館の国内経由) : 4401(その他) ・国籍留保届出区分≠スペース : 0102(出生・国籍留保) ・出生子の出生区分＝2(準嫡)＆以下のどちらか (胎児認知日＝スペース＆裁判の区分≠4) : 0103(出生・認知) (胎児認知日≠スペースor裁判の区分＝4) : 0101(出生) ・出生子の出生区分＝4 (棄児) : 0104(出生・棄児発見) ・国籍留保届出区分≠スペース＆出生子の出生区分＝2＆以下のどちらか (胎児認知日＝スペース＆裁判の区分≠4) : 0105(出生・認知、国籍留保) (胎児認知日≠スペースor裁判の区分＝4) : 0102(出生・国籍留保) ・上記以外 : 0101(出生)			
	受付日			送付日 受領日				送付日≠ スペースの時、送付日移送 送付日=スペースの時、受領日移送
	事件発生日			出生子の生年月日				
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分							在外送付区分＝0 : 1 在外送付区分＝1or2or3 : 2
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							

80303
001

30309

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認 (出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成17年 3月 1日	9	12/36

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付) 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮受付)	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態 (サブルーチン)	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名		Z9.,	
中間ファイル (仮受付〔受付〕)	届出人資格区分1 届出人資格名称1 届出人氏名1 届出人資格区分2 届出人資格名称2 届出人氏名2		中間ファイル (届書)	届出人の資格 届出人の資格名称 届出人の氏名 入るべき戸籍欄 届書欄				届出人の資格=005(父母)の場合 届出人資格区分1="001"(父) 届出人資格名称1="父" 届出人氏名1 =入るべき戸籍又は届書の父欄 届出人資格区分2="002"(母) 届出人資格名称2="母" 届出人氏名2 =入るべき戸籍又は届書の母欄 届出人の資格=081(その他立会人)の場合 届出人資格区分1=スペース 届出人資格名称1=スペース 届出人氏名1 =届出人の氏名 届出人の資格=077(法定代理人),093(公設所の長)の場合 届出人資格区分1=届出人の資格 届出人資格名称1=届出人の資格名称 届出人氏名1 =届出人の氏名 届出人の資格=097(市区町村長)の場合 届出人資格区分1=スペース 届出人資格名称1=スペース 届出人氏名1 =スペース 上記以外の場合(届出人が事件本人の場合スペース処理) 届出人資格区分1=届出人の資格(コード)を変換した名称 届出人資格名称1=届出人の資格名称 届出人氏名1 =届出人の氏名			
	届後本籍区分							出生子が入籍 : 1 出生子or母につき新戸籍編製 : 2
	届後本籍コード			新戸籍の本籍コード				受付事件コード:4401(その他)の場合のみ移送する
	届後本籍			新戸籍の本籍				
	届後戸籍の筆頭者			新戸籍の筆頭者氏名				
	送達確認区分1							在外送付区分=0 かつ 届後本籍=非本籍 : 1 を移送 上記以外 : 0 を移送
	証書提出区分							0 を移送
	届書送付目録区分							
	処分区分							
	決裁区分							

101

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 18年 3月 1日	10	13／36

処理名	3.1 中間ファイル(仮受付) 事件本人	(受取側) 中間ファイル(仮受付) 事件本人 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	(サブルーチン)	Z9.，	
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							・受付事件コード=4401:04 ・上記以外 出生子の出生区分≠4:01 出生子の出生区分=4:02
	届出人区分			届出人区分				・事件本人区分=04 & 届出人の資格=002:1 ・上記以外:0 (ZERO)
	カナ氏名			カナ氏名				・事件本人区分=04: 入るべき戸籍の母を移送 ・上記以外 出生子を移送
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	戸籍の筆頭者			戸籍の筆頭者				
	送達確認2			送達確認2				在外送付区分=0 かつ 事件本人の本籍=非本籍:1を移送 上記以外:0を移送

※出生子の本籍(コード)編集の条件

出生子の国籍≠スペース ： 出生子の国籍を移送

新戸籍の本籍≠スペース ： 新戸籍の本籍を移送

入るべき戸籍の本籍≠スペース ： 入るべき戸籍の本籍を移送

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 18年 3月 1日	10	14/36

処理名　3.2 中間ファイル(仮受付) 事件本人　(受取側) 中間ファイル(仮受付) 事件本人 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							03を移送
	届出人区分							1を移送
	カナ氏名			カナ氏名				入るべき戸籍の父欄≠スペース： 入るべき戸籍の父欄を編集 入るべき戸籍の父欄＝スペース： 届書の父欄を編集
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	戸籍の筆頭者			戸籍の筆頭者				
	送達確認2							在外送付区分＝0 かつ 事件本人の本籍＝非本籍:1を移送 上記以外:0を移送

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	15／36

処理名	4.0 中間ファイル(仮受付) 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮受付)	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9..	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付[受付])	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							0201を移送
	受付日			送付日 受領日				送付日≠スペースの時、送付日移送 送付日＝スペースの時、受領日移送
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分							2を移送
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認（出生届）	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成17年 3月 1日	9	16/36

処理名	4.0 中間ファイル(仮受付) 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮受付)	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付〔受付〕)	届後本籍		中間ファイル (届書)					
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認区分1							
	証書提出区分							0 を移送
	届書送付目録区分							1 を移送
	処分区分							
	決裁区分							

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 18年 3月 1日	10	17/36

処理名　4.1 中間ファイル(仮受付) 事件本人　(受取側) 中間ファイル(仮受付) 事件本人 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							事件本人＝出生子:01 事件本人＝父 :03
	届出人区分							事件本人＝父 :1を移送
	カナ氏名			カナ氏名				事件本人区分に対するデータを移送する 事件本人区分＝01:出生子 事件本人区分＝03:入るべき戸籍の父
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	戸籍の筆頭者			戸籍の筆頭者				
	送達確認2							0を移送

仮受付 (事件本人) の出力順位

1. 出生子
2. 父

注:出生子の本籍コード、本籍の編集元は、出生子、国籍コード、国籍とする。

第2-3(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	18/36

処理名	5.1 父の記録（変動なし） 1/3	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）／身分事項	← （引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無（サブルーチン）	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	個人番号		中間ファイル（届書）	個人番号（父）				必須移送項目
	行番号							
	出力区分							0（ZERO）を移送
	タイトルコード							0201を移送
	記録コード							0202を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			出生子の生年月日				
	認知 認知日							未使用
	認知 届出日			受領日				
	認知 届出の性質							"認知届出の効力を有する出生届出"を移送
	認知 胎児認知日							未使用
	認知 認知の裁判確定日							未使用
	認知 認知届出委託確認の裁判確定日							未使用
	認知 認知した子の氏名（亡区分）							未使用
	認知 認知した子の氏名（氏名）			出生子の漢字氏名				項目がある場合移送
	認知 認知した子の死亡日							未使用
	認知 認知した子の戸籍（本籍）			新戸籍の本籍 入るべき戸籍の本籍				国籍＝スペース：下記条件で移送 新戸籍欄≠スペース：新戸籍欄
	認知 認知した子の戸籍（筆頭者）			新戸籍の筆頭者 入るべき戸籍の筆頭者				新戸籍欄＝スペース：入るべき戸籍欄

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8	19/36

処理名	5.1父の記録(変動なし) 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側				コード変換有無 (サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目					
		名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項		認知した子の国籍		中間ファイル (届書)	出生子の国籍					
		認知した子の生年月日			出生子の生年月日					出生子の国籍≠スペースの時移送
		認知した子の母の氏名			届書の母漢字氏名					
		認知の方式								未使用
		裁判所								未使用
	届出	届出日								未使用
		届出人 資格								未使用
		届出人 資格名称								未使用
		届出人 氏名								未使用
		証書提出日								未使用
		証書提出者 資格								未使用
		証書提出者 資格名称								未使用
		証書提出者 氏名								未使用
		届書提出日								未使用
		届書提出者 資格								未使用
		届書提出者 資格名称								未使用
		届書提出者 氏名								未使用
		届書提出者 資格								未使用
		届書提出者 資格名称								未使用
		届書提出者 氏名								未使用
	送付	送付を受けた日			送付日					項目がある場合移送
		受理者			発送元					項目がある場合移送

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	20／36

処理名：5.1 父の記録（変動なし） 3/3　　（受取側）中間ファイル（仮戸籍）／身分事項　←　（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称		項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無（ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ）	出力形態 Z9..	備考
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	許可	許可日		中間ファイル（届書）	許可日				項目がある場合移送
	許可	許可書謄本の送付を受けた日							未使用
	許可	許可を受けた者							未使用
	記録	記録日			処理日				項目がある場合移送
	特記	特記事項							未使用

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	21／36

処理名　5.2 父の記録（変動なし） 1/3　　（受取側）中間ファイル（仮戸籍）／身分事項　←　（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無（ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ）	出力形態 Z9..	備考
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	個人番号		中間ファイル（届書）	個人番号（父）				必須移送項目
	行番号							
	出力区分							0（ZERO）を移送
	タイトルコード							0201を移送
	記録コード							0202を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			出生子の生年月日				
	認知 認知日							未使用
	認知 届出日							未使用
	認知 届出の性質							未使用
	認知 胎児認知日			胎児認知日				
	認知の裁判確定日							未使用
	認知届出委託確認の裁判確定日							未使用
	認知した子の氏名（亡区分）							未使用
	認知した子の氏名（氏名）			出生子の漢字氏名				項目がある場合移送
	認知した子の死亡日							未使用
	認知した子の戸籍（本籍）			新戸籍の本籍 入るべき戸籍の本籍				国籍＝スペース：下記条件で移送 新戸籍欄≠スペース：新戸籍欄 新戸籍欄＝スペース：入るべき戸籍欄
	認知した子の戸籍（筆頭者）			新戸籍の筆頭者 入るべき戸籍の筆頭者				
	認知した子の国籍			出生子の国籍				出生子の国籍≠スペースの時移送

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8	22/36

処理名	5.2父の記録(変動なし) 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9..	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
		名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項		認知した子の生年月日		中間ファイル (届書)	出生子の生年月日				出生子の国籍≠スペースの時移送
		認知した子の母の氏名			届書の母漢字氏名				
		認知の方式							未使用
		裁判所							未使用
	届出	届出日							未使用
		届出人 資格							未使用
		届出人 資格名称							未使用
		届出人 氏名							未使用
		証書提出日							未使用
		証書提出者 資格							未使用
		証書提出者 資格名称							未使用
		証書提出者 氏名							未使用
		届書提出日							未使用
		届書提出者 資格							未使用
		届書提出者 資格名称							未使用
		届書提出者 氏名							未使用
		届書提出者 資格							未使用
		届書提出者 資格名称							未使用
		届書提出者 氏名							未使用
	送付	送付を受けた日			送付日				項目がある場合移送
		受理者			発送元				項目がある場合移送
	許可	許可日			許可日				項目がある場合移送

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	23／36

処理名	5.2 父の記録（変動なし） 3/3	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）／身分事項	← （引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無（ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ）	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	許可 許可書謄本の送付を受けた日		中間ファイル（届書）					未使用
	許可 許可を受けた者							未使用
	記録 記録日			処理日				項目がある場合移送
	特記 特記事項							未使用

30320

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8	24/36

処理名	6.1母の記録(除籍)	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	個人番号(母)				必須移送項目
	行番号							
	出力区分							0 (ZERO) を移送
	タイトルコード							0102 を移送
	記録コード							0102 を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			出生子の生年月日				
	届出 届出日			受領日				届出人の資格＝船長：航海日誌謄本提出日に受領日を移送 届出人の資格＝船長：届出日に受領日を移送
	届出 航海日誌謄本提出日							
	除籍I 除籍事由							届出人資格＝船長："子の出生の航海日誌謄本提出" 届出人資格≠船長："子の出生届出"
	送付 送付を受けた日			送付日				項目がある場合移送
	送付 受理者			発送元				項目がある場合移送
	入籍 入籍日							除籍では不使用
	入籍 入籍事由							除籍では不使用
	入籍 従前戸籍							除籍では不使用
	除籍 除籍日			処理日				項目がある場合移送
	除籍 新本籍			新戸籍の本籍				項目がある場合移送

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	25／36

処理名	6.2 母の入籍（編製）	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）／身分事項	← （引渡側）中間ファイル（届書）

受取側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9..	備考
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	個人番号			中間ファイル（届書）	個人番号（母）					必須移送項目
	行番号									
	出力区分									0（ZERO）を移送
	タイトルコード									0102を移送
	記録コード									0102を移送
	管掌者コード									
	事件発生日				出生子の生年月日					
	届出	届出日								新戸籍編製では不使用
	届出	航海日誌謄本提出日								新戸籍編製では不使用
	除籍Ⅰ	除籍事由								新戸籍編製では不使用
	送付	送付を受けた日								新戸籍編製では不使用
	送付	受理者								新戸籍編製では不使用
	入籍	入籍日			処理日 送付日 受領日					処理日に入力がない時：送付日 送付日に入力がない時：受領日
	入籍	入籍事由								届出人資格＝船長：＂子の出生の航海日誌謄本提出＂ 届出人資格≠船長：＂子の出生届出＂
	入籍	従前戸籍			入るべき戸籍の本籍					項目がある場合移送
					入るべき戸籍の筆頭者					
	除籍Ⅱ	除籍日								新戸籍編製では不使用
	除籍Ⅱ	新本籍								新戸籍編製では不使用

第 2 3 （ 4 ）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認 （出生届）	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 27 年 3 月 1 日	18	26/36

処理名	7.1 子の入籍 （一部記録）	（受取側） 中間ファイル（仮戸籍） ／ 身分事項 ← （引渡側） 中間ファイル（届書）

受取側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル （仮戸籍） 個人特定	個人番号		中間ファイル （届書）					決裁処理で設定
	入籍日			処理日 送付日 受領日				処理日に入力がない時:送付日 送付日に入力がない時:受領日
	除籍日							
	性別			父母との続柄		有		
	筆頭者区分							新戸籍の筆頭者≠スペース かつ 新戸籍の筆頭者＝出生子の氏名:1を移送 上記以外:0を移送
	配偶者区分							0を移送
	父			入るべき戸籍の父氏名 届書の父氏名	出生子の出生区分＝1又は2 又は 出生子の出生区分＝3かつ（裁判の区分＝4又は胎児認知日≠スペース又は事実主義を含む出生） の時 入るべき戸籍の父氏名≠スペース:入るべき戸籍の父氏名を移送 届書の父氏名≠スペース:届書の父氏名を移送 ※父未定区分＝1又は2の場合:スペースを移送			
	母			入るべき戸籍の母氏名 届書の母氏名				入るべき戸籍の母氏名≠スペース 入るべき戸籍の母氏名を移送 届書の母氏名≠スペース 届書の母氏名を移送
	父母との続柄			出生子の続柄				
	養父							スペースを移送
	養母							スペースを移送
	養父母との続柄							00を移送
	生年月日			出生子の生年月日				
	前個人番号							スペースを移送
	個人除区分							0:在籍者を移送

30323

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	27/36

処理名	8.1子の入籍(一部記録) 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)					処分決定にて付番
	行番号							
	出力区分							0 (ZERO)を移送
	タイトルコード							0101を移送
	記録コード							0101を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			出生子の生年月日				
出生	出生日			出生子の生年月日				必須移送項目
出生	出生地			出生子の出生地				必須移送項目
父母	父の国籍			届書の父本籍				編集仕様に関しては補足説明書 (117−1ページ)を参照
父母	父の生年月日			届書の父生年月日				
父母	母の国籍			届書の母本籍				
父母	母の生年月日			届書の母生年月日				
届出	届出日			受領日				届出人の資格＝船長:航海日誌謄本提出日に受領日を移送 届出人の資格≠船長:届出日に受領日を移送
届出	航海日誌謄本提出日							
届出	届出人資格			届出人の資格				資格＝父, 母, 父母, 医師、助産師同居者, 親族の時移送 ※但し、法定代理人の場合は届出人資格名称を移送
届出	届出人氏名			届出人の氏名				資格＝父, 母, 父母, 船長の場合、スペースを移送 資格＝市区町村長の場合市区町村名＋「長」を移送 上記以外で届出人の氏名≠スペースの場合移送
国籍留保	国籍留保の届出日			受領日				国籍留保届出区分≠スペースの時移送
国籍留保	国籍留保届出人資格			国籍留保届出区分				国籍留保届出区分≠スペース、かつ出生届届出人の資格(名称)≠国籍留保届出区分(名称)の場合移送

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	28/36

処理名	8.1子の入籍(一部記録) 2／2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側					
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目		コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
		名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	送付	送付を受けた日		中間ファイル (届書)	送付日				項目がある場合移送
		受理者			発送元				項目がある場合移送
	許可	許可日			許可日				項目がある場合移送
	入籍日	入籍日			処理日				項目がある場合移送
		従前の本籍							一部記録では不使用
		従前の筆頭者							
	特記事項				裁判確定日 対象父氏名 入るべき戸籍．本籍				項目がある場合以下の編集後移送 裁判区分＝1：裁判確定日 + 対象父氏名 + ″の嫡出子否認の裁判確定″ 裁判区分＝2：裁判確定日 + 対象父氏名 + ″との親子関係不存在確認の裁判確定″ 裁判区分＝3：″父を ″ + 対象父氏名 + ″と定める裁判確定″ 裁判区分＝4：裁判確定日 + 入るべき戸籍．本籍 + 対象父氏名 + ″認知の裁判確定″
					子の氏変更申出区分				区分＝1の場合以下の編集後移送 受領日 + 母の氏を称する入籍届
					国内遅延理由区分				区分＝1の場合以下の編集後移送 発送元 + からの届書送付未着につき再送付
					国外遅延理由区分				区分＝1の場合以下の編集後移送 ″責めに帰することのできない事由のため期間経過″
					大使館職員区分 在外公館名				項目がある場合以下の編集後移送 大使館職員区分＝1：″父″+ 在外公館名 + ″職員″ 大使館職員区分＝2：″母″+ 在外公館名 + ″職員″
					出生子の漢字氏名				出生子の名がない場合、″名未定″を移送
					父未定区分				父未定区分＝1の場合、″父未定″を移送

30325

117

第23(7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成18年 3月 1日		10	28-1/36

処理名

No.	出生届父				父			母			処理済	出生子日本人	出生子の身分事項	
	認知	嫡出	準嫡	非嫡	日本	外国	無籍	日本	外国	無籍			父の国籍 生年月日	母の国籍 生年月日
1	○											○	×	×
2		○					○			○	−	○	○	○
3		○			No2以外							○	×	×
4			○		○			○				○	×	×
5			○		○			○			○	○	×	×
6			○		○				○			×		
7			○		○				○		○	○	×	×
8			○		○					○		×		
9			○		○					○	○	○	×	×
10			○			○		○				○	○	×
11			○			○		○			○	○	×	×
12			○			○			○			×		
13			○			○			○		○	×		
14			○			○				○		×		
15			○			○				○	○	×		
16			○				○	○				○	○	×
17			○				○	○			○	○	×	×
18			○				○		○			×		
19			○				○		○		○	×		
20			○				○			○		○	○	○
21			○				○			○	○	○	○	○
22				○				○				○	×	×
23				○					○			×		
24				○						○		○	×	○
25				○	○			○			○	○	×	×
26				○	○				○		○	○	×	○
27				○	○					○	○	○	×	○
28				○		○		○			○	○	○	×
29				○		○			○		○	×		
30				○		○				○	○	×		
31				○			○	○			○	○	○	×
32				○			○		○		○	×		
33				○			○			○	○	○	○	○
34				○		○		○				○	○	×
35				○		○			○			×		
36				○		○				○		×		

<8.1子の入籍 出生事項中の父母国籍・生年月日記録仕様>

○出生区分=嫡出子
　届書の父母の本籍＝無国籍:父母双方移送
　届書の父母の本籍＝無国籍以外:移送不要
○出生区分=準正嫡出子
　届書の父母の本籍＝無国籍:父母双方移送
　届書の父母の本籍＝無国籍以外
　　胎児認知有:移送不要
　　胎児認知無:届書の父又は母の外国人区分=1の場合、外国人を移送
○出生区分=非嫡出子:届書の父又は母の外国人区分=1の場合、外国人を移送

第2編 第3章 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	29/36

処理名	8.2 子の記録（一部記録）	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）／身分事項 ← （引渡側）中間ファイル（届書）

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無（ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ）	出力形態 Z9.,	備考
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	個人番号		中間ファイル（届書）					処分決定にて付番
	行番号							
	出力区分							0（ZERO）を移送
	タイトルコード							1301を移送
	記録コード							1301を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			出生子の生年月日				
	親権者 資格							002を移送
	親権者 資格名称							"母"を移送
	記録 記録日			処理日				項目がある場合移送

30327

第2-3-(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	30／36

処理名：8.3 子の入籍（一部記録） 1/2　　（受取側）中間ファイル（仮戸籍）／身分事項　←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無（ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ）	出力形態 Z9..	備考
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	個人番号		中間ファイル（届書）					処分決定にて付番
	行番号							
	出力区分							0（ZERO）を移送
	タイトルコード							0101を移送
	記録コード							0101を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			出生子の生年月日				
	出生 出生日			出生子の生年月日				
	出生 出生地							
	父母 父の国籍							
	父母 父の生年月日							
	父母 母の国籍							
	父母 母の生年月日							
	届出 届出日			受領日				
	届出 航海日誌謄本提出日							
	届出 届出人資格							
	届出 届出人氏名							市区町村名＋「長」を移送
	国籍留保 国籍留保の届出日							
	国籍留保 国籍留保届出人資格							
	送付 送付を受けた日							
	送付 受理者							
	許可 許可日							

第2-3-(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	31／36

処理名	8.3 子の入籍（一部記録） 2/2	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）／身分事項 ← （引渡側）中間ファイル（届書）

受取側				引渡側				コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目			(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9..	
		名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	入籍	入籍日		中間ファイル（届書）	処理日					項目がある場合移送
		従前の本籍								
		従前の筆頭者								
	特記事項									

第2 3 (4.)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	32/36

処理名：8.4 子の記録（一部記録） 1/3　　（受取側）中間ファイル（仮戸籍）／身分事項　←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無（ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ）	出力形態 Z9,,	備考
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	個人番号		中間ファイル（届書）					処分決定にて付番
	行番号							
	出力区分							0（ZERO）を移送
	タイトルコード							0201を移送
	記録コード							0201を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			母胎児認知日				
	認知 認知日							未使用
	認知 胎児認知日			母胎児認知日				項目がある場合移送
	認知 認知の裁判確定日							未使用
	認知 親子関係不存在確認の裁判確定日							未使用
	認知 認知届出委託確認の裁判確定日							未使用
	認知 認知者氏名（亡区分）							未使用
	認知 認知者氏名（氏名）			入るべき戸籍の父欄 届書の父欄				届書の父欄＝スペース：入るべき戸籍の父欄 届書の父欄≠スペース：届書の父欄
	認知 認知者死亡日							未使用
	認知 認知者の戸籍（本籍）			入るべき戸籍の父欄 届書の父欄				届書の父外国人区分＝0の時編集 届書の父欄＝スペース：入るべき戸籍の父欄 届書の父欄≠スペース：届書の父
	認知 認知者の戸籍（筆頭者）							
	認知 認知者の国籍			届書の父欄				届書の父外国人区分＝1の時編集
	認知 認知者の生年月日							
	認知 認知の方式							未使用
	認知 裁判所							未使用

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	33/36

処理名	8.4子の記録(一部記録) 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	届出	届出日		中間ファイル (届書)					未使用
		届出人 資格							未使用
		届出人 資格名称							未使用
		届出人 氏名							未使用
		届出人 資格							未使用
		届出人 資格名称							未使用
		届出人 氏名							未使用
		証書提出日							未使用
		証書提出者 資格							未使用
		証書提出者 資格名称							未使用
		証書提出者 氏名							未使用
		届書提出日							未使用
		届書提出者 資格							未使用
		届書提出者 資格名称							未使用
		届書提出者 氏名							未使用
		届書提出者 資格							未使用
		届書提出者 資格名称							未使用
		届書提出者 氏名							未使用
	送付	送付を受けた日			送付日				項目がある場合移送
		受理者			発送元				項目がある場合移送
	許可	許可日							未使用
		許可書謄本の送付を受けた日							未使用
		許可を受けた者							未使用
	入籍	入籍日							未使用

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	34／36

処理名	8.4 子の記録（一部記録） 3/3	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）／身分事項	← （引渡側）中間ファイル（届書）

受取側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	コード変換有無（ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ）	出力形態 Z9.,	備考
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	直系卑属	直系卑属氏名		中間ファイル（届書）					未使用
	直系卑属	直系卑属氏名							未使用
	直系卑属	直系卑属氏名							未使用
	直系卑属	直系卑属氏名							未使用
	直系卑属	直系卑属氏名							未使用
	直系卑属	直系卑属氏名							未使用
	直系卑属	直系卑属氏名							未使用
	直系卑属	直系卑属氏名							未使用
	直系卑属	直系卑属氏名							未使用
	直系卑属	直系卑属氏名							未使用
	関連	関連訂正事項							未使用
	従前	従前の記録 父母との続柄							未使用
	記録	記録日			処理日				項目がある場合，移送
	特記	特記事項							未使用

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認（出生届）	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 19年3月 1日	11	35/36

処理名	9.1 中間ファイル（9条2項） 1/2	(受取側) 中間ファイル(9−2)	← (引渡側) 届出書入力画面

受取側									
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 (サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			出生子. 住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			出生子. 住所				市区町村部分だけの住所
	事件コード							01 (出生届)
	受理日			送付日 or 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名			出生子. 漢字氏名				
	旧氏名							
	新生年月日			出生子. 生年月日				
	旧生年月日							
	新父母との続柄			出生子. 続柄コード				
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			新戸籍. 本籍コード 入るべき戸籍. 本籍コード				新戸籍. 本籍コード＝スペース ： 入るべき戸籍. 本籍コード 新戸籍. 本籍コード≠スペース ： 新戸籍. 本籍コード
	新本籍			新戸籍. 本籍 入るべき戸籍. 本籍				新戸籍. 本籍＝スペース ： 入るべき戸籍. 本籍 新戸籍. 本籍≠スペース ： 新戸籍. 本籍
	旧本籍コード							
	旧本籍							
	新筆頭者			新戸籍. 筆頭者 入るべき戸籍. 筆頭者				新戸籍. 筆頭者＝スペース ： 入るべき戸籍. 筆頭者 新戸籍. 筆頭者≠スペース ： 新戸籍. 筆頭者
	旧筆頭者							
	住所コード			出生子. 住所コード				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（出生届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	36／36

処理名	9.1 中間ファイル(9条2項) 2/2	(受取側) 中間ファイル(9－2)	← (引渡側) 届出書入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (9条2項)	住所		中間ファイル (届書)	出生子．住所				
	方書			出生子．住所				
	住定日			出生子．生年月日				
	住民日			出生子．生年月日				
	世帯主			出生子．世帯主氏名				
	世帯主との続柄			出生子．世帯主との続柄				

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認（出生届）	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 19年 3月 1日	11	36-1/36

処理名	9.2 中間ファイル（9条2項）	(受取側) 中間ファイル(9−2)	←（引渡側）届出書入力画面

受取側								
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 (サブルーチン)	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード							
	宛名							
	事件コード							01（出生届）
	受理日			送付日 or 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			母の個人番号				本籍人の場合移送
	新氏名							
	旧氏名			母の氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			母の生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			新戸籍．本籍コード				
	新本籍			新戸籍．本籍				
	旧本籍コード			入るべき戸籍．本籍コード				
	旧本籍			入るべき戸籍．本籍				
	新筆頭者			新戸籍．筆頭者				
	旧筆頭者			入るべき戸籍．筆頭者				
	住所コード							
	住所							注意：新戸籍が編製された場合，届書入力には住所入力欄がないため，処分決定後，別途，9条2項ファイルを修正する必要がある。
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

第2 3 (7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		届出人コード一覧	システム化調査研究会	平成 5年12月18日	平成14年 3月 1日	5.1	1/2

処理名 X.X 届出人コードチェック(出生)

届出事件細別	届出義務者・届出人	届書入力 資格区分		実体名	氏名	受付帳 資格	資格名称	氏名	身分事項DB 資格名称	氏名	項目化記載例	備考
嫡出子出生届	父、母、同居者又は出産に立ち会った医師、助産師若しくはその他の者又は父母以外の法定代理人	001	父	×	○	○	父	○	父	−	【届出人】父	
		002	母	×	○	○	母	○	母	−	【届出人】母	
		005	父母	×	×	○	父母	○	父母	−	【届出人】父母	
		077	法定代理人	○	○	○	実体名	○	実体名	○	【届出人】後見人 [氏名]	
		079	医師	×	○	○	医師	○	医師	○	【届出人】医師 [氏名]	
		115	助産師	×	○	○	助産師	○	助産師	○	【届出人】助産師 [氏名]	
		081	その他立会人	×	○	○	−	○	−	○	【届出人】[氏名]	
		082	親族	×	○	○	親族	○	親族	○	【届出人】親族 [氏名]	
		085	同居者	×	○	○	同居者	○	同居者	○	【届出人】同居者 [氏名]	
準正嫡出子出生届	父及び母又は父のみ	001	父	×	○	○	父	○	父	−	【届出人】父	
		005	父母	×	×	○	父母	○	父母	−	【届出人】父母	
	胎児認知又は強制認知があり、認知者が母の夫である場合に有効	002	母	×	○	○	母	○	母	−	【届出人】母	
		077	法定代理人	○	○	○	実体名	○	実体名	○	【届出人】母の親権者 [氏名]	
		079	医師	×	○	○	医師	○	医師	○	【届出人】医師 [氏名]	
		115	助産師	×	○	○	助産師	○	助産師	○	【届出人】助産師 [氏名]	
		081	その他立会人	×	○	○	−	○	−	○	【届出人】[氏名]	
		082	親族	×	○	○	親族	○	親族	○	【届出人】親族 [氏名]	
		085	同居者	×	○	○	同居者	○	同居者	○	【届出人】同居者 [氏名]	
非嫡出子出生届(胎児認知含む)	母、同居者又は出産に立ち会った医師、助産師若しくはその他の者又は母以外の法定代理人	002	母	×	○	○	母	○	母	−	【届出人】母	
		077	法定代理人	○	○	○	実体名	○	実体名	○	【届出人】後見人 [氏名]	
		079	医師	×	○	○	医師	○	医師	○	【届出人】医師 [氏名]	
		115	助産師	×	○	○	助産師	○	助産師	○	【届出人】助産師 [氏名]	
		081	その他立会人	×	○	○	−	○	−	○	【届出人】[氏名]	
		082	親族	×	○	○	親族	○	親族	○	【届出人】親族 [氏名]	
		085	同居者	×	○	○	同居者	○	同居者	○	【届出人】同居者 [氏名]	
航海中の出生につき航海日誌の謄本送付	船長	092	船長	×	○	○	船長	○	−	×	【航海日誌の謄本提出日】[受理日]	

第2-3-(7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		届出人コード一覧	システム化調査研究会	平成5年12月18日	平成6年 4月15日	3	2／2
処理名	X．X 届出人コードチェック（出生）						

届出事件細別	届出義務者・届出人	届書入力 資格区分		届書入力 実体名	届書入力 氏名	受付帳 資格	受付帳 資格名称	受付帳 氏名	身分事項DB 資格名称	身分事項DB 氏名	項目化記載例	備考
病院、刑務所その他公設所において出生した場合	父母ともに不能の場合又は届出時の管理者は公設所の長	093	公設所の長	○	○	○	実体名	○	－	○	【届出人】［氏名］	
棄児発見の申出	発見者又は申告者のうけた官公署	097	市区町村長	△	×	×	－	×	実体名	×	【届出人】［市区町村］＋長	届書入力，実体名はメーカーオプション

※届書入力での実体名入力例　（）内は画面上の名称
資格コード（資格）　→　097　：操作員入力
資格コードのタイトル（－）　→　市区町村長　：システム対応
実体名（資格名称）　→　△△△県□□□市　：操作員入力
氏名（氏名）　→　－－－－　：未入力

30338

第7.2.(5)「異動」処理

2.認知届

基準書修正履歴

平成 10 年 2 月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料No.
	第7.2.(5).2 (認知)	1．審査 ・４１条証書の提出期間の審査を追加	12 13 14	
		2．届書ファイル編集 ・渉外区分の設定の変更	25	
		3．受付ファイル編集 ・事件本人の筆頭者の設定	37 41	

30340

標準仕様書修正履歴

平成12年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).2 (認知届)	成年後見法施行によるシステム対応 1. システム処理の概要説明 (1)その他 ・説明文中の「禁治産者」を「成年被後見人」に変更 ・説明文中の「後見人」を「成年後見人」に変更 2. 審査 (1)戸籍法32条第2項が廃止されることによる審査の削除 ・認知者が禁治産者の場合の確認メッセージ削除 審査(2)～(9) ・胎児の母が禁治産者の場合の確認メッセージ削除 審査(2)～(10) (2)戸籍法32条第2項が廃止されることによる審査の内容変更 ・被認知者が禁治産者の場合の審査を、成年被後見人であるか否かの確認メッセージに変更	001 015 022 022, 023	
		地方分権一括法施行による文言変更 1. システム処理の概要説明 (1)その他 ・説明文中の「監督局」を「管轄局」に変更	001	
		民事訴訟法改正による文言変更 1. 審査 (1)民事訴訟法200条の内容が118条に繰り上がったことによるメッセージ内容の変更 ・確認メッセージの文言変更	014	

標準仕様書修正履歴

平成13年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).2 (認知届)	※ 修正なし		

標準仕様書修正履歴

平成16年3月1日

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).2 (認知届)	標準仕様書修正 1. 審査 (1)関連チェック ・No23において、住所・世帯主の入力は任意とする。 ・No23-1に、住所と世帯主の関連チェックを追加する。 2. 入力確認 (1)中間ファイル(仮受付)編集 ・共通ファイルの「事件発生日」の設定条件を備考欄に追加	 008 008 035	

標準仕様書修正履歴

平成16年7月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).2 (認知届)	性同一性障害のシステム対応 1. システム処理の概要説明 (1)認知業務処理範囲外の処理 ・性同一性障害による性別変更者からの認知の記録は審査結果入力処理とする。 2. 要件定義ワークシート (1)審査 ・(26-1)～(26-5)性同一性障害の身分事項チェックを追加	001 011-1	

標準仕様書修正履歴

平成16年11月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1.	第7.2.(5).2 (認知届)	「続柄の記載更正(申出)」に伴うシステムへの対応 1. 審査 (1) 関連チェック ・No.25と26において、訂正前の続柄のチェックを変更する。 ・No.26において、長女の表現に誤植があったため修正する。 (2) 審査チェック ・嫡出子の判断を削除する。 2. 入力確認 (1) システム環境仕様書 ・9条2項の編集を削除する。 (2) 要件定義ワークシート ・9条2項の編集を削除する。 (3) 中間ファイル(仮戸籍)編集 ・従前の記録の父母との続柄は、更正前の内容を移送する。 (4) 中間ファイル(9条2項)編集 ・9条2項の編集を削除する。	 008 008 024 029 030 044 047,048	

標準仕様書修正履歴

平成19年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).2 (認知届)	標準仕様書修正 1. 要件定義ワークシート 3.0 審査　1／4, 1－1／4 ・受領日と送付日が同日のチェックを追加 2. データ編集表 4.0 中間ファイル(仮受付) 編集 2／3 ・漢字氏名(被認知者)をセットする条件を追加	 011、011-1 040	

標準仕様書修正履歴

平成20年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).2 (認知届)	標準仕様書修正 1. データチェック(関連表) (1) 審査(認知届) 2.0 入力項目関連チェック　1／4 ・「13-1」 に審査項目を追加	007	

標準仕様書修正履歴

平成22年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).2 (認知届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1.要件定義ワークシート ・審査(認知届) ・ 3.2 審査　1／2 被認知者の年齢チェックを修正 「本籍人の時は、男の場合18歳以上、女の場合16歳以上であるか」を削除 2. データ編集表 ・入力確認(認知届) 4.0 中間ファイル(仮受付) 編集 2／3 引渡側 届出人資格1の「備考」欄を修正 届出人資格1 → 届出人氏名1 5.2 身分事項 被認知者編集 2/2 ・「証書提出者資格名称」、「証書提出者氏名」の「備考」に編集条件を追加 6.1 身分事項 認知者編集 2/2 ・「証書提出者資格名称」、「証書提出者氏名」の「備考」に編集条件を追加	022 040 044 046	

標準仕様書修正履歴

平成23年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).2 (認知届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1. データ編集表 ・「届出人資格1」の備考欄の解釈が分かりづらいので、修	 040	
		2.データ編集表 ・身分事項　被認知者編集　2/2 証書提出者の備考の編集内容を修正	044	
		3.データ編集表 ・身分事項　認知者編集　2/2 証書提出者の備考の編集内容を修正	046	

標準仕様書修正履歴

平成25年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).2 (認知届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 2.データ編集表 (認知89、90) ・身分事項　被認知者編集　2/2 証書提出者氏名の備考の編集内容を修正 3.データ編集表 (認知91) ・身分事項　認知者編集　2/2 証書提出者氏名の備考の編集内容を修正	 044 046	

標準仕様書修正履歴

平成27年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).2 (認知届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1. データチェック(関連表) 認知97 2.0 関連チェック 事件本人と筆頭者の氏が同一であることについて 関連チェックを追加	008	

30347-5

標準仕様書修正履歴

平成29年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).2 (認知届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応		
	認知102	1. 年齢の審査 年齢の起算日に関しては、創設的届出、報告的届出による違い等が過去にも議題となった。 研究員の入替もあることから、年齢の起算日に関して補助的記載を追加する		
		関連チェック 13、13-1	007	
		審査 87	018	
		154	020	
		16、17	022	
	認知103	2.「受領日」と「届出日」同一日付のチェック 同一日付は認めない方向で統一する		
		関連チェック 8	007	

30347-6

標準仕様書修正履歴

平成30年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).2 (認知届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応		
	認知105	1. 審査 平成27年3月9日民一308号通知 15歳未満の者から届出がされた場合の審査を追加	021	
	認知106	2.審査 20版の誤りを修正	020	
	認知107	3.関連チェック 住所、世帯主の関連チェックの表記を統一する修正	008	

第2 3 (1)	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 7月16日	8.2	1/28

1. 認知業務処理範囲外の処理

(1). 胎児認知の記録

(2). 遺言による認知の記録

(3). 認知者の死後に確定した認知の記録

(4). 死亡した子に対する認知の記録

(5). 父が生存中に郵送した認知届を父の本籍地で父死亡後に受理した場合の記録

(6). 戸籍法63条の類推適用による届出(事実主義を採っている父の本国法に基づく父子関係存在確認の裁判が確定した場合)の記録

(7). 性同一性障害による性別変更者からの認知の記録

2. 認知届入力画面の意義

(1). その1画面:認知される子及び認知する者の入力

(2). その2画面:認知される子の母及び認知の方法等の入力

(3). その3画面:届出人等の入力

3. その他

(1). 成年(成年擬制も含む)の被認知者が成年被後見人の場合は,成年後見人の承諾が必要となる。
(但し,成年後見人が認知者の場合は,成年後見監督人か特別代理人の承諾が必要)

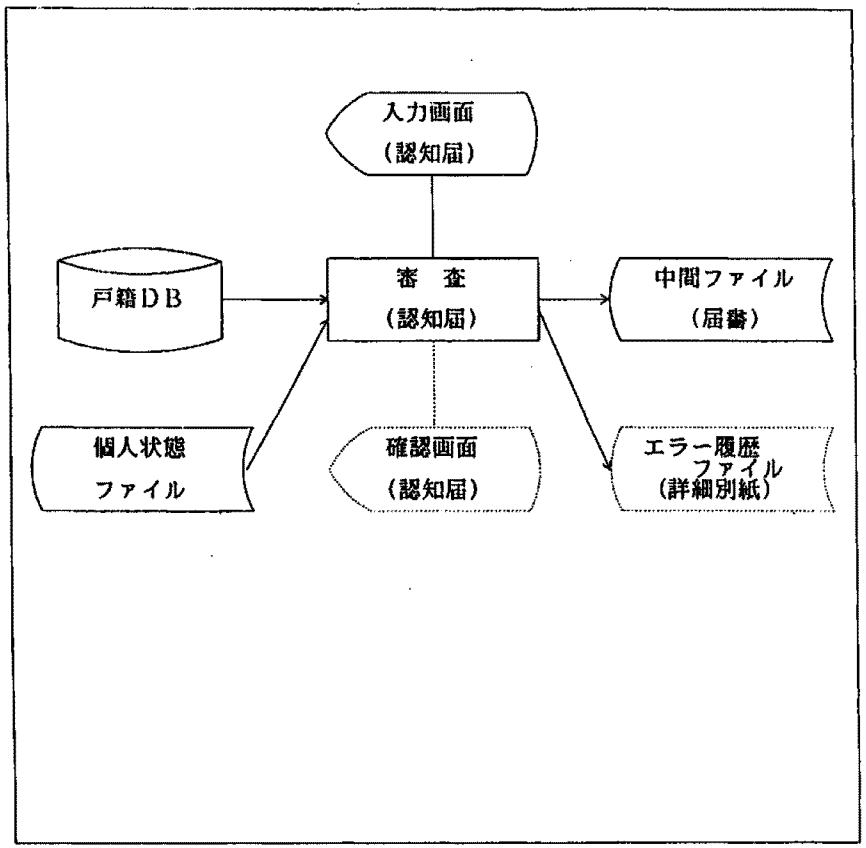
(2). 日本人子・外国人認知者双方に日本民法上の認知の要件が備わっていない場合において,認知をする者の本国法により認知することができる旨の証明書を添付した認知の届出があったときは,改正法例第33条(公序)の規定の適用が問題となるので,管轄局の長の指示を求めるものとする。

(3). 届出人となる母,養父,養母が外国人で親権規定がない場合は,審査結果入力で処理する。

30349

002

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名 称	入出力区分	名 称	入出力区分
戸籍ＤＢ	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル（届書）	出力		

3．処理概要

(1) 認知届の内容を画面入力する。
(2) 認知届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3) 認知届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4) 審査を行う。
(5) 認知届から中間ファイル（届書）を編集し、出力する。
(6) 入力確認（認知届）に制御を渡す。

4．機能体系（要件定義書の構成）

- 0.0 本紙
  - 1.0 データチェック（単体表）
  - 2.0 データチェック（関連表）
  - 3.0 審査
    - 3.1 審査
      - 3.2 審査
      - 3.3 審査
  - 4.0 データ編集表（中間ファイル（届書））

5．備考（特記事項含む）

第2(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査（認知届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／28

処理名	0．0 本紙				根拠法令（マニュアル処理）
(1) 届書内容を画面入力する			／		「届書メニュー」で受領番号が入力された場合，届書ファイルから画面編集を行う
(2) キー選択(実行キー，PF1，PF2，PF7，PF8，PF10，PF11，PF12，その他)			／		
実行キー	(3) 入力項目の単体チェック（OK：YES，NG：NO）	[1.0]	／		
	YES (4) 入力項目の関連チェック（OK：YES，NG：NO）	[2.0]	／		
	YES (5) 画面の入力項目を全て入力禁止とする		／		
	(6) 審査（OK：YES，NG：NO）	[3.0]	／		
	YES (7) 中間ファイル（届書）編集・出力	[4.0]		(8) 入力確認画面に制御を渡す	
	NO (9) メッセージの種類（審査エラー，確認）		／		
	審査エラー (10)エラーメッセージを表示する			(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
	確認 (12)確認メッセージを表示し，メッセージに対して応答する				メッセージと応答をエラー履歴に出力する
	NO (13)エラーメッセージを表示する				
	NO (14)エラーメッセージを表示する				
PF1	⟶			(15)業務選択に制御を渡す	
PF2	⟶			(16)届出選択に制御を渡す	
PF7	(17)前ページがあるか（ある：YES，なし：NO）		／	(19)同画面を編集する	
	YES (18)前ページ「認知届」画面編集				
	NO (20)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する				
PF8	(21)次ページがあるか（ある：YES，なし：NO）		／		
	YES (22)次ページ「認知届」画面編集				
	NO (23)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する				
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する		／		入力項目が入力禁止の時のみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以後の審査を継続する				審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する				
その他	(27)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する				

第2章（5）	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査（認知届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／28

処理名	画面名	画面ID	
1．0 入力項目単体チェック 1／3	入力画面（認知届）		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所番号		数字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	受領番号		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	（0：受理分，1：国内からの送付， 2：在外公館の直接送付，3：在外公館の国内経由） であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	（1：本籍，2：非本籍）であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	報告区分	○	数字	（1：創設，2：報告）であること			
11	被認知者の区分	○	数字	（1：胎児，2：未成年，3：成年）であること			
12	被認知者の外国人区分		数字	（0：日本人，1：外国人）であること			
13	被認知者の本非区分		数字	（1：本籍，2：非本籍）であること			
14	被認知者の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
15	被認知者の生死区分		数字	（0：生存，1：死亡）であること			
16	被認知者のカナ氏名		カナ				
17	被認知者の漢字氏名		漢字				
18	被認知者の住所地		漢字				
19	被認知者の世帯主		漢字				
20	被認知者の本籍地		漢字				
21	被認知者の筆頭者		漢字				
22	準正による訂正後の続柄		数字	（11：長男 ～ 29：十九男 または 31：長女 ～ 49：十九女）であること			
23	認知者の外国人区分	○	数字	（0：日本人，1：外国人）であること			
24	認知者の本非区分	○	数字	（1：本籍，2：非本籍）であること			
25	認知者の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			

30351

004

第2 (5)	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査（認知届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5／28

処理名	画面名	画面ID	
1．0 入力項目単体チェック 2／3	入力画面（認知届）		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26	認知者の生死区分		数字	（0：生存，1：死亡）であること	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
27	認知者のカナ氏名	○	カナ				
28	認知者の漢字氏名	○	漢字				
29	認知者の本籍地	○	漢字				
30	認知者の筆頭者		漢字				
31	母の外国人区分		数字	（0：日本人，1：外国人）であること			
32	母の本非区分		数字	（1：本籍，2：非本籍）であること			
33	母の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
34	母のカナ氏名		カナ				
35	母の漢字氏名		漢字				
36	母の本籍地		漢字				
37	母の筆頭者		漢字				
38	母の住所地		漢字				
39	認知者との婚姻日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
40	認知種別	○	数字	（1：任意，2：裁判）であること			
41	審査の準拠法		数字	（0：日本法，1：外国法（認知者）， 2：外国法（子又は母））であること			
42	認知成立日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
43	認知の方式		漢字				
44	裁判成立地		数字	（0：日本，1：外国）であること			
45	審判／判決確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
46	裁判申立人		漢字				
47	外国の裁判所名		漢字				
48	認知を承諾した者		数字	（0：無，1：胎児の母，2：成年者，3：その他）であること			
49	届出人資格1	○	数字	（1：父，17：親権者母，19：親権者養父， 20：親権者養母，99：その他，105：子） であること			
50	届出人資格1名称		漢字				

第2 3 5	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査（認知届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	6／28

処理名	画面名	画面ID
1．0 入力項目単体チェック 3／3	入力画面（認知届）	

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
51	届出人氏名1		漢字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
52	届出人資格2		数字	（17：親権者母，19：親権者養父，20：親権者養母， 99：その他）であること			
53	届出人資格2名称		漢字				
54	届出人氏名2		漢字				

第２３（６）	データチェック（関連表）	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査（認知届）	システム化調査研究会	平成６年12月１日	平成29年 3月31日	20	7／28

処理名	画面名	画面ＩＤ	
2.0 入力項目関連チェック 1／4	入力画面（認知届）		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4) 送付日＝スペースの時、(No.5) 発送元＝スペースの時	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	(No.4) 送付日≠スペースの時、(No.5) 発送元≠スペースの時			
3	(No.4) 送付日≠スペースの時、(No.4) 送付日≧ (No.3) 受領日であること			
4	(No.4) 送付日＝スペースの時、(No.6) 在外送付区分=0（受理分） であること			
5	(No.4) 送付日≠スペースの時、(No.6) 在外送付区分≠0（受理分以外） であること			
6	(No.5) 発送元≠スペースかつ、(No.5) 発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』 の時 (No.6) 在外送付区分=1 （国内からの送付）であること			
7	(No.5) 発送元≠スペースかつ、(No.5) 発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』 以外の時 (No.6) 在外送付区分=2 （在外公館の直接送付）または (No.6) 在外送付区分=3 （在外公館の国内経由）であること			
8	(No.7) 処理日≠スペースの時、(No.7) 処理日＞ (No.3) 受領日であること			
9	(No.9) 郵送日≠スペースの時、(No.4) 送付日＝スペースであること			
10	(No.9) 郵送日≠スペースの時、(No.9) 郵送日≦ (No.3) 受領日であること			
11	(No.11) 被認知者の区分＝１（胎児）の時、 (No.12) 被認知者の外国人区分 ～ (No.22) 準正による訂正後の続柄は、未入力であること			
12	(No.11) 被認知者の区分＝２（未成年）～３（成年）の時、 (No.12) 被認知者の外国人区分 ～ (No.17) 被認知者の漢字氏名および (No.20) 被認知者の本籍地は、必須入力であること			
13	(No.11) 被認知者の区分＝２（未成年） かつ (No.12) 被認知者の外国人区分＝０（日本人） の時、 (No.14) 被認知者の生年月日＋20年（20歳未満） ＞ 受領日 であること			
13-1	(No.11) 被認知者の区分＝３（成年） かつ (No.12) 被認知者の外国人区分＝０（日本人） の時、 (No.14) 被認知者の生年月日＋16年（16歳以上） ≦ 受領日 であること			
14	(No.12) 被認知者の外国人区分＝１（外国人）の時、 (No.13) 被認知者の本非区分＝２（非本籍）であること			
15	(No.12) 被認知者の外国人区分＝０（日本人）の時、(No.14) 被認知者の生年月日＝和暦であること			
16	(No.12) 被認知者の外国人区分＝１（外国人）の時、(No.14) 被認知者の生年月日＝西暦であること			
17	(No.12) 被認知者の外国人区分＝０（日本人）の時、(No.20) 被認知者の本籍地＝本籍であること			
18	(No.12) 被認知者の外国人区分＝１（外国人）の時、(No.20) 被認知者の本籍地＝国籍であること			
19	(No.12) 被認知者の外国人区分＝０（日本人）の時、(No.21) 被認知者の筆頭者は必須入力であること			
20	(No.12) 被認知者の外国人区分＝１（外国人）の時、(No.21) 被認知者の筆頭者は未入力であること			
21	(No.13) 被認知者の本非区分＝１（本籍）の時、(No.20) 被認知者の本籍地＝管内であること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成 6 年12月 1 日	平成30年 3月31日	21	8／28

処理名	画面名	画面ＩＤ	
2.0 入力項目関連チェック 2／4	入力画面(認知届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
22	(No.13)被認知者の本非区分＝2(非本籍)の時、(No.20)被認知者の本籍地＝管外であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
23	(No.11)被認知者の区分＝2(未成年)，3(成年)で、(No.22)準正による訂正後の続柄に入力がある時、 (No.39)母の認知者との婚姻日は、入力必須であること			
23-1	(No.18)被認知者の住所地≠スペース、(No.19)被認知者の世帯主≠スペースの時であること			
23-2	(No.18)被認知者の住所地＝スペース、(No.19)被認知者の世帯主＝スペースの時であること			
23-1-1	(No.11) 被認知者の区分＝2 (未成年) ～ 3 (成年) かつ (No.12) 被認知者の外国人区分＝0 (日本人)の時 (No.17) 被認知者の漢字氏名の氏＝(No.21) 被認知者の筆頭者の氏 であること			

25	(No.22)準正による訂正後の続柄に入力がある時、(訂正前の父母との続柄＝10(男)～29(十九男))ならば (No.22)準正による訂正後の続柄＝11(長男)～29(十九男) であること			※被認知者が本籍人の時、チェックする
26	(No.22)準正による訂正後の続柄に入力がある時、(訂正前の父母との続柄＝30(女)～49(十九女))ならば (No.22)準正による訂正後の続柄＝31(長女)～49(十九女)であること			
27	(No.23)認知者の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.24)認知者の本非区分＝2(非本籍)であること			
28	(No.23)認知者の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.25)認知者の生年月日＝和暦であること			
29	(No.23)認知者の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.25)認知者の生年月日＝西暦であること			
30	(No.23)認知者の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.29)認知者の本籍地＝本籍であること			
31	(No.23)認知者の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.29)認知者の本籍地＝国籍であること			
32	(No.23)認知者の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.30)認知者の筆頭者は入力必須であること			
33	(No.23)認知者の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.30)認知者の筆頭者は未入力であること			
34	(No.24)認知者の本非区分＝1(本籍)の時、(No.29)認知者の本籍地＝管内であること			
35	(No.24)認知者の本非区分＝2(非本籍)の時、(No.29)認知者の本籍地＝管外であること			
35-1	(No.23)認知者の外国人区分＝0(日本人)の時、 (No.28)認知者の漢字氏名の氏＝(No.30)認知者の筆頭者の氏 であること			
36	(No.31)母の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.32)母の本非区分＝2(非本籍)であること			
37	(No.31)母の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.33)母の生年月日＝和暦であること			
38	(No.31)母の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.33)母の生年月日＝西暦であること			
39	(No.31)母の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.36)母の本籍地＝本籍であること			
40	(No.31)母の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.36)母の本籍地＝国籍であること			
41	(No.31)母の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.37)母の筆頭者は入力必須であること			
42	(No.31)母の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.37)母の筆頭者は未入力であること			
43	(No.32)母の本非区分＝1(本籍)の時、(No.36)母の本籍地＝管内であること			
44	(No.32)母の本非区分＝2(非本籍)の時、(No.36)母の本籍地＝管外であること			
44-1	(No.31)母の外国人区分＝0(日本人)の時、 (No.35)母の漢字氏名の氏＝(No.37)母の筆頭者の氏			

第2編(6)	データチェック（関連表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査（認知届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	9／28

処理名	画面名	画面ID	
2．0 入力項目関連チェック 3／4	入力画面（認知届）		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
45	(NO40) 認知種別＝1（任意）で，(NO42) 認知成立日＝0（日本の方式）の時， (NO10) 報告区分＝1（創設）であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
46	(NO40) 認知種別＝1（任意）で，(NO42) 認知成立日≠0（外国の方式）の時， (NO10) 報告区分＝2（報告）であること			
47	(NO40) 認知種別＝2（裁判）の時，(NO10) 報告区分＝2（報告）であること			
48	(NO40) 認知種別＝2（裁判）の時， (NO45) 審判／判決確定日，(NO46) 裁判申立人は，必須入力であること			
48-1	(NO45) 審判／判決確定日≠スペースの場合， (NO9) 郵送日≠スペースの時，(NO9) 郵送日≧(NO45) 審判／判決確定日であり， (NO9) 郵送日＝スペースの時，(NO3) 受領日≧(NO45) 審判／判決確定日であること			
49	(NO42) 認知成立日≠0（外国の方式）の時，(NO40) 認知種別＝1（任意）であること			
50	(NO42) 認知成立日≠0（外国の方式）の時，(NO43) 認知の方式は必須入力であること			
51	(NO42) 認知成立日≠0（外国の方式）の場合， (NO9) 郵送日≠スペースの時，(NO9) 郵送日≧(NO42) 認知成立日であり， (NO9) 郵送日＝スペースの時，(NO3) 受領日≧(NO42) 認知成立日であること			
52	(NO44) 裁判成立地＝1（外国で成立）の時，(NO40) 認知種別＝2（裁判）であること			
53	(NO44) 裁判成立地＝1（外国で成立）の時，(NO47) 外国の裁判所名は必須入力であること			
54	(NO44) 裁判成立地＝0（日本で成立）の時，(NO47) 外国の裁判所名は未入力であること			
55	(NO11) 被認知者の区分＝1（胎児）の時， (NO48) 認知を承諾した者＝0（無），1（胎児の母）であること			
56	(NO11) 被認知者の区分＝3（成年）の時， (NO48) 認知を承諾した者＝0（無），2（成年），3（その他）であること			
57	(NO11) 被認知者の区分＝1（胎児）かつ，(NO31) 母の外国人区分＝1（外国人）の時， (NO38) 母の住所地は，必須入力であること			
58	(NO49) 届出人資格1≠99の時， (NO50) 届出人資格1名称＝スペースであること			
59	(NO49) 届出人資格1＝1（父）かつ（NO51) 届出人氏名1≠スペースの時， (NO51) 届出人氏名1＝(NO28) 認知者の漢字氏名であること			
60	(NO49) 届出人資格1＝17（親権者母）かつ（NO35) 母の漢字氏名≠スペースかつ， (NO51) 届出人氏名1≠スペースの時， (NO51) 届出人氏名1＝(NO35) 母の漢字氏名であること			
61	(NO49) 届出人資格1＝99（その他）の時，(NO50) 届出人資格1名称＝必須入力であること			
62	(NO49) 届出人資格1≠1，17（父，親権者母）の時，(NO51) 届出人氏名1＝必須入力であること			

第2編(6)	データチェック（関連表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査（認知届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	10／28

処理名	画面名	画面ID	
2．0 入力項目関連チェック 4／4	入力画面（認知届）		

No	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
62-1	(NO49) 届出人資格1＝17（親権者母）かつ、(NO35) 母の漢字氏名＝スペースの時、 (NO51) 届出人氏名1＝必須入力であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
63	(NO40) 認知種別＝1（任意）の時、 (NO52) 届出人資格2，(NO53) 届出人資格2名称，(NO54) 届出人氏名2＝未入力であること			
64	(NO52) 届出人資格2＝99（その他）の時、(NO53) 届出人資格2名称＝必須入力であること			
64-1	(NO52) 届出人資格2≠スペース，17（未入力，親権者母）の時、 (NO54) 届出人氏名2＝必須入力であること			
64-2	(NO52) 届出人資格2＝17（親権者母）かつ（NO35) 母の漢字氏名＝スペースの時、 (NO54) 届出人氏名2＝必須入力であること			
64-3	(NO11) 被認知者の区分＝1（胎児）の時、または、 (NO11) 被認知者の区分＝2，3(未成年，成年)かつ、(NO12) 被認知者の外人区分＝1（外国人)の時、 (NO31) 母の外国人区分 ～ (NO36) 母の本籍地は、必須入力であること			
65	(NO11) 被認知者の区分＝1（胎児）の時、 (NO24) 認知者の本非区分＝1（本籍）又は、(NO32) 母の本非区分＝1（本籍）ならば (NO8) 本非区分＝1（本籍）であること			
66	(NO11) 被認知者の区分＝1（胎児）の時、 (NO24) 認知者の本非区分＝2（非本籍）かつ、(NO32) 母の本非区分＝2（非本籍）ならば (NO8) 本非区分＝2（非本籍）であること			
67	(NO11) 被認知者の区分＝2，3（未成年，成年）の時、 (NO13) 被認知者の本非区分＝1（本籍）又は、(NO24) 認知者の本非区分＝1（本籍）ならば (NO8) 本非区分＝1（本籍）であること			
68	(NO11) 被認知者の区分＝2，3（未成年，成年）の時、 (NO13) 被認知者の本非区分＝2（非本籍）かつ、(NO24) 認知者の本非区分＝2（非本籍）ならば (NO8) 本非区分＝2（非本籍）であること			

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	11/28

処理名	3.0 審査 1/4			根拠法令(マニュアル処理)
(0-1) 受領日 = 送付日 である。				
YES	(0-2) 確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか？」(YES,NO)			
YES	YES	(0-3) → (1)		
YES	N O	(0-4)	(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
N O	(0-6) → (1)			
(1) 審判／判決確定日 ≠ スペースである。 (YES,NO)		／		
YES	(2) 審判／判決確定日 < 昭和25年7月1日である (YES,NO)	／		現行国籍法施行(昭和25年7月1日)以前の有効な身分行為に関しては、現行法では処理できない。 但し,現行法施行以降でも対日平和条約発効(昭和27年4月28日)以前で、平和条約を締結している国に関しても同様に現行法では処理できない。
YES	YES	(3) エラーメッセージ「審査結果入力で処理してください」を表示	(4)本紙へ	
YES	N O	(5) 審判／判決確定日 < 昭和27年4月28日である (YES,NO)	／	
YES	YES	(6) 確認メッセージ (YES,NO) 「平和条約の発効に該当する国ですか」を表示	(7)本紙へ	
YES	YES	(8) エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい」を表示		
YES	N O	(9) → (19)	／	
YES	N O			
N O	(10) 認知成立日 ≠ スペースである (YES,NO)	／		
N O	YES	(11) 認知成立日 < 昭和25年7月1日である (YES,NO)	／	
N O	YES	(12) エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい」を表示	(13)本紙へ	
N O	N O	(14) 認知成立日 < 昭和27年4月28日である (YES,NO)	／	
N O	YES	(15) 確認メッセージ (YES,NO) 「平和条約の発効に該当する国ですか」を表示	(16)本紙へ	
N O	YES	(17) エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい」を表示		
N O	N O	(18) → (19)	／	
N O	N O			
N O				
(19) 認知者の生死区分 (0:生存, 1:死亡)		／		
0	(20)被認知者の区分 (1:胎児, 2:未成年, 3:成年)	／		
1	(21) → (27)	／		
2, 3	(22)被認知者の生死区分 (0:生存, 1:死亡)	／		
2, 3	0	(23) → (27)	／	
2, 3	1	(24)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい」を表示	(25)本紙へ	

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成16年 7月16日	平成19年 3月 1日	11	11-1/28

処理名	3.0 審査 1-1/4			根拠法令(マニュアル処理)
1	(26)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい」を表示			
(26-1)認知者の本籍地＝管内(YES,NO)				
YES	(26-2)認知者の身分事項に性同一性障害(7003)がある(YES,NO)			平成15年法律第111号3条
	YES (26-3)エラーメッセージ 「性同一性障害の記録があります。審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(26-4)本紙へ	
	NO (26-5) → (27)			
NO				

第2 (33)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査（認知届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	12／28

処理名	3．0 審査 2／4	根拠法令（マニュアル処理）

| | | |

第2 (33)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査（認知届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	13／28

処理名		3．0 審査 3／4				根拠法令（マニュアル処理）
1	YES	1	YES	(51) → (54)	／	
			NO	(52) →	(53)本紙へ	不受理
			(54)被認知者の区分（1：胎児，2：未成年，3：成年）		／	
			1	(55)子の母の外国人区分（0：日本人，1：外国人）	／	
				0 (56) → (63)	／	
				1 (57)エラーメッセージ「外国人同士の証書提出は受理できません」を表示	(58)本紙へ	不受理
			2，3	(59)被認知者の外国人区分（0：日本人，1：外国人）	／	
				0 (60) → (63)	／	
				1 (61)エラーメッセージ「外国人同士の証書提出は受理できません」を表示	(62)本紙へ	不受理
		(63)確認メッセージ（YES,NO）「証書の謄本が認知を証明するものかどうか審査は済みましたか」を表示				
		YES	(64) →			受理
		NO	(65) →			不受理
	NO	(66)3.1 審査へ進む			／	
		(67) →			(68)本紙へ	
2		(69)被認知者区分（1：胎児，2：未成年，3：成年）			／	
	1	(70)エラーメッセージ「強制認知による胎児認知はできません」を表示			(71)本紙へ	不受理，昭和25. 1. 7 民事甲 22号回答
	2，3	(72)確認メッセージ（YES,NO）「審判又は判決の謄本及び確定証明書の添付がありますか」を表示				戸63
		YES	(73) → (76)		／	
		NO	(74) →		(75)本紙へ	不受理
		(76)裁判成立地(日本,外国)			／	
		日本	(77)審判／判決確定日より10日以内の届出であるか		／	戸63
			YES	(78)届出人は裁判の申立人であるか	／	戸63
				YES (79) →	(80)本紙へ	受理
				NO (81)エラーメッセージ「裁判確定日より10日以内に届け出られるのは申立人のみです」を表示		不受理

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	14／28

処理名		3.0 審査 4／4					根拠法令（マニュアル処理）
2	2, 3	日本	N O	(82) 確認メッセージ(YES, NO) 「届出人は裁判の申立人もしくは裁判の相手方ですか」を表示		(82－1)本紙へ	戸63Ⅱ
			YES	(83) →			受理
			N O	(84) →			不受理
		外国	(85) 認知者の外国人区分(0:日本人, 1:外国人)		／		
			0	(86) → (91)	／		
			1	(87) 被認知者の外国人区分(0:日本人, 1:外国人)	／		
			0	(88) → (91)	／		
			1	(89) エラーメッセージ「外国で成立した外国人同士の裁判認知届は受理できません」を表示		(90)本紙へ	不受理
			(91) 確認メッセージ(YES, NO) 「民事訴訟法118条の要件を満たし判決は承認されますか」を表示				民訴118
			YES	(92) →			受理
			N O	(93) →			不受理

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	15/28

処理名	3.1 審査 1/7								根拠法令(マニュアル処理)
(1) 認知者の外国人区分(0:日本人, 1:外国人)							／		
0	(2) → (15)						／		(3)～(9)削除
1	(10) 確認メッセージ(YES, NO)「認知者の国籍証明書の添付がありますか」を表示							(11)3. 0審査へ	
	YES	(12) → (15)					／		
	N O	(13) →						(14)3. 0審査へ	不受理
(15) 被認知者区分(1:胎児, 2:未成年, 3:成年)							／		
1	(16) 子の母の外国人区分(0:日本人, 1:外国人)						／		
	0	(17) 子の母の本非区分(1:本籍, 2:非本籍)					／		戸61
		1	(18) 認知者の外国人区分(0:日本人, 1:外国人)				／		
			0	(19) 審査の準拠法(0:日本法)			／		
				0	(20) → (31)		／		
				その他	(21) エラーメッセージ「準拠法が異なります」を表示			(22)3. 0審査へ	
			1	(23) 審査の準拠法(0:日本法, 1:外国法(認知者の本国法))			／		
				0	(24) → (31)		／		
				1	(25) 確認メッセージ(YES, NO)「認知者の本国法により認知できる旨の証明書はありますか」を表示			(26)3. 0審査へ	
					YES	(27) 確認メッセージ(YES, NO)「母の本国法上の保護要件を満たしている旨の証明書はありますか」を表示			
						YES	(28) →		受理
						N O	(29) →		不受理
					N O	(30) →			不受理

第2 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査（認知届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	16／28

処理名			3．1 審査 2／7			根拠法令（マニュアル処理）
1	0	1	(31)母は現在婚姻していますか	／		
			YES (32)確認メッセージ（YES,NO） 「配偶者からの認知ではなく、婚姻成立後 ２００日を経過していないですね」を表示		(33) 3.0 審査へ	民772 民779
			YES (34) → (41)	／		
			NO (35) →		(36) 3.0 審査へ	不受理
			NO (37)確認メッセージ（YES,NO） 「認知者と胎児の母との婚姻解消後 ３００日以内の届出ではありませんね」を表示			民779
			YES (38) → (41)	／		
			NO (39) →		(40) 3.0 審査へ	不受理
			(41)既に胎児認知届が出されているか	／		大正 5.11. 2 民事 1331号回答
			YES (42)エラーメッセージ 「既に胎児認知届がだされています」を表示		(43) 3.0 審査へ	不受理
			NO (44) → (87)	／		
		2	(45)母は無籍者であるか	／		
			YES (46)エラーメッセージ 「母は無籍者です。受理伺いとなります」を表示		(47) 3.0 審査へ	受理伺い
			NO (48)エラーメッセージ 「胎児認知届は母の本籍地に届け出て下さい」を表示			不受理
	1		(49)確認メッセージ（YES,NO）「母の国籍証明書の添付がありますか」を表示			
			YES (50) → (53)	／		
			NO (51) →		(52) 3.0 審査へ	不受理
			(53)認知者の外国人区分（0：日本人，1：外国人）	／		
			0 (54)母の住所地（管内，管外，国外）	／		昭和29. 3. 6 民事甲 509号回答
			管内 (55) → (63)	／		
			管外 (56)エラーメッセージ 「胎児認知届は母の住所地に届け出て下さい」を表示		(57) 3.0 審査へ	不受理

第2(33)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査（認知届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	17/28

処理名			3．1 審査 3／7				根拠法令（マニュアル処理）
1	1	0	国外	(58)確認メッセージ（YES,NO）「事件本人の本籍地又は届出人の所在地ですか」を表示		(59) 3.0 審査へ	
				YES (60) → (63)	／		
				NO (61) →		(62) 3.0 審査へ	受理伺い
			(63)審査の準拠法（0：日本法，2：外国法（子又は母の本国法））		／		
			0	(64)確認メッセージ（YES,NO）「母の本国法上の保護要件を満たしている旨の証明書はありますか」を表示		(65) 3.0 審査へ	
				YES (66) → (87)	／		
				NO (67) →		(68) 3.0 審査へ	不受理
			2	(69)確認メッセージ（YES,NO）「母の本国法により認知することができる旨の証明書はありますか」を表示			
				YES (70) →			受理
				NO (71) →			不受理
		1	(72)確認メッセージ（YES,NO）「届出人の所在地での届出ですか」を表示				
			YES (73) → (76)		／		
			NO (74) →			(75) 3.0 審査へ	
			(76)審査の準拠法（1：外国法（認知者の本国法）2：外国法（子又は母の本国法））		／		
			1	(77)確認メッセージ（YES,NO）「認知者の本国法により認知することができる旨の証明書はありますか」を表示		(78) 3.0 審査へ	
				YES	(79)確認メッセージ（YES,NO）「母の本国法上の保護要件を満たしている旨の証明書はありますか」を表示		
					YES (80) →		受理
					NO (81) →		不受理

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	18／28

処理名	3.1 審査 4／7						根拠法令（マニュアル処理）
1	1	1	1	ＮＯ	(82) →		(83) 3.0 審査へ	不受理
			2	(84)確認メッセージ (YSE,NO) 「母の本国法により認知することができる旨の証明書は ありますか」を表示			
				YES	(85) →			受理
				ＮＯ	(86) →			不受理
	(87)認知者の生年月日 ＋ 12年(12歳以上) ≦ 受領日 か					／		昭和39．7．8 ～ 9 釧路地方法務局管内戸住協決 昭和40．3．6 民事(2)発第87号民事局変更指示 昭和39．9.16 ～ 17 香川県連合戸住協決 昭和40．4.14 民事(2)発第146号民事局変更指示
	YES	(88) → (94)				／		
	ＮＯ	(89)確認メッセージ (YSE,NO) 「認知者の生年月日は正しいですか」を表示					(90) 3.0 審査へ	
		YES	(91) → (94)			／		
		ＮＯ	(92) →				(93) 3.0 審査へ	
	(94)3.2 審査へ進む					／		
	(95)審査の結果、確認・エラーメッセージがない (YSE,NO)					／		
	YES	(96) → (166)				／		
	ＮＯ	(97) →					(98) 3.0 審査へ	
2，3	(99)被認知者の外国人区分 (0:日本人，1:外国人)					／		
	0	(100)認知者の外国人区分(0:日本人，1:外国人)				／		
		0	(101)審査の準拠法(0:日本法)			／		
			0	(102) → (118)		／		
			その他	(103)エラーメッセージ「準拠法が異なります」を表示			(104)3.0 審査へ	
		1	(105)在外送付区分は、2(在外公館の直接送付)であるか			／		戸40，法例18Ⅰ・Ⅱ，22
			YES	(106)エラーメッセージ 「送付分の届書としては処理できません」を表示			(107)3.0 審査へ	
			ＮＯ	(108) → (109)		／		
			(109)審査の準拠法(0:日本法，1:外国法(認知者の本国法))			／		
			0	(110) → (118)		／		
			1	(111)確認メッセージ(YSE,NO) 「認知者の本国法により認知することができる旨の証明書は ありますか」を表示			(112)3.0 審査へ	

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査（認知届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	19／28

処理名	3．1 審査 5／7	根拠法令（マニュアル処理）

2，3	0	1	1	YES	(113)確認メッセージ（YES,NO）「日本法上の子の保護要件の審査は済みましたか」を表示		(114)3.0 審査へ	
					YES (115) →			受理
					NO (116) →			不受理
				NO	(117) →			不受理
		(118)3.3 審査へ進む				／		
		(119)審査結果、確認・エラーメッセージがない （YES,NO）				／		
		YES	(120) → (149)			／		
		NO	(121) →				(122)3.0 審査へ	
	1	(123)確認メッセージ（YES,NO）「子の国籍証明書及び出生証明書の添付がありますか」を表示						
		YES	(124) → (127)			／		
		NO	(125) →				(126)3.0 審査へ	
		(127)認知者の外国人区分（0：日本人，1：外国人）				／		
		0	(128)審査の準拠法（0：日本法，2：外国法（子の本国法））			／		
			0	(129)確認メッセージ（YES,NO）「子の本国法上の保護要件を満たしている旨の証明書はありますか」を表示			(130)3.0 審査へ	
				YES	(131)確認メッセージ（YES,NO）「嫡出子・特別養子・既に認知されている子では、ありませんか」を表示			
					YES (132) → (149)	／		
					NO (133) →		(134)3.0 審査へ	不受理
				NO	(135) →			不受理
			2	(136)確認メッセージ（YES,NO）「子の本国法により認知することができる旨の証明書はありますか」を表示				

第２３（３）	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	20／28

処理名							根拠法令（マニュアル処理）
3.1 審査 6／7							
2.3	1	0	2	YES	(137) →	(138)3.0 審査へ	受理
				ＮＯ	(139) →		不受理
		1	(140)審査の準拠法(1:外国法(認知者の本国法), 2:外国法(子又は母の本国法))		／		
			1	(141)確認メッセージ (YSE,NO)「認知者の本国法により認知することができる旨の証明書はありますか」を表示		(142)3.0 審査へ	
				YES	(143)確認メッセージ (YSE,NO)「子の本国法上の保護要件を満たしている旨の証明書はありますか」を表示		
					YES (144) →		受理
					ＮＯ (145) →		不受理
			2	(146)確認メッセージ (YSE,NO)「子の本国法により認知することができる旨の証明書はありますか」を表示			
				YES	(147) →		受理
				ＮＯ	(148) →		不受理
		(149)認知者と母との婚姻日≠スペースであるか			／		
		YES	(150)被認知者は認知者と母の婚姻200日以内の出生子であるか		／		昭和34. 8.28 民事甲 1827号通達
			YES	(151)エラーメッセージ「父母婚姻200日以内の子の認知は嫡出子としての戸籍訂正となります」を表示		(152)3.0 審査へ	
			ＮＯ	(153) → (154)	／		
		ＮＯ					
		(154)認知者の生年月日＋12年(12歳以上) ≦ 被認知者の生年月日か			／		昭和39. 7. 8 ～ 9 釧路地方法務局管内戸住協決 昭和40. 3. 6 民事(2)発第87号民事局変更指示 昭和39. 9.16 ～ 17 香川県連合戸住協決 昭和40. 4.14 民事(2)発第146号民事局変更指示
		YES	(155) → (161)		／		
		ＮＯ	(156)確認メッセージ (YSE,NO)「認知者及び子の生年月日は正しいですか」を表示			(157)3.0 審査へ	

第２３（３）	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	21／28

処理名		3.1 審査 6／7			根拠法令（マニュアル処理）
2.3	ＮＯ	YES (158) → (161)	／		
		ＮＯ (159) →		(160)3.0 審査へ	
	(161)3.2 審査へ進む		／		
	(162)審査結果、確認・エラーメッセージがない （YES, NO)		／		
	YES	(163) → (166)	／		
	ＮＯ	(164) →		(165)3.0 審査へ	
(166)届出人は認知者本人であるか			／		
YES	(167) → (172)		／	(168)~~3.0 審査へ~~	(168)を削除
ＮＯ	(169)確認メッセージ (YES,NO) 「届出人は、認知者でありがせんがよろしいですか」を表示			(169-1)3.0 審査へ	
	YES	(170) →			受理
	ＮＯ	(171) →			不受理
(172)認知者の生年月日 ＋ 15年(15歳未満) ＞ 受領日			／		
YES	(173)メッセージ 「届出人の年齢が15歳未満です。受理照会が必要な届です。」を表示				受理照会 昭和49.7.25 ～ 26 徳島地方法務局管内連合戸協決議
ＮＯ	(174) →			(175)3.0 審査へ	

処理名			3.2 審査 1／2			根拠法令（マニュアル処理）
(1) 被認知者の区分(1:胎児, 2:未成年, 3:成年)				／		
1						(2)～(10)削除
	(11) 認知の承諾者(0:無, 1:胎児の母)			／		
	0	(12) エラーメッセージ 「母の承諾がなければ胎児認知できません」を表示			(13)3. 1審査へ	不受理
	1	(14) →				
2, 3	(15) 被認知者の外国人区分(0:日本人, 1:外国人)			／		
	0	(16) 認知成立日 ≠ スペースの場合 被認知者の生年月日 ＋ 20年(20歳未満) ＞ 認知成立日 審判／判決確定日 ≠ スペースの場合 被認知者の生年月日 ＋ 20年(20歳未満) ＞ 審判／判決確定日 認知成立日 ＝ スペース かつ 審判／判決確定日 ＝ スペースの場合 被認知者の生年月日 ＋ 20年(20歳未満) ＞ 受領日		／		
	YES	(17) 認知成立日 ≠ スペースの場合 被認知者の生年月日 ＋ 16年(16歳以上) ≦ 認知成立日 審判／判決確定日 ≠ スペースの場合 被認知者の生年月日 ＋ 16年(16歳以上) ≦ 審判／判決確定日 認知成立日 ＝ スペース かつ 審判／判決確定日 ＝ スペースの場合 被認知者の生年月日 ＋ 16年(16歳以上) ≦ 受領日		／		民731 本籍人の年齢条件を削除(第13版)
		YES	(18) 確認メッセージ(YES, NO)「成年擬制ですか」を表示		(19)3. 1審査へ	民753
			YES (20) → (24)	／		
			N O (21) →		(22)3. 1審査へ	
		N O				
	N O	(23) → (24)		／		
	(24) 確認メッセージ(YES, NO) 「被認知者は成年被後見人ですか」を表示			／		
	YES	(25) 認知の承諾者(0:無, 2:成年者, 3:その他)		／		民782, 昭和18. 12. 3 民事甲 943回答
		0, 2	(26) エラーメッセージ 「本人以外の承諾が必要です」を表示		(27)3. 1審査へ	不受理
		3	(28) 確認メッセージ(YES, NO)「成年後見人(成年後見監督人・特別代理人)の承諾がありますか。」を表示			昭和45. 1. 31 民事甲 464回答

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	23/28

処理名		3.2 審査 2/2					根拠法令(マニュアル処理)
2, 3	0	YES	3	YES	(29) →		(30)3. 1審査へ	
				NO	(31) →			不受理
		N O	(32) 認知の承諾者(0:無, 2:成年者, 3:その他)			/		民782
			0, 3	(33) エラーメッセージ 「成年者の承諾がなければ認知できません」を表示			(34)3. 1審査へ	不受理
			2	(35) →				(36)～(47)削除
	1	(48) 確認メッセージ(YES, NO) 「被認知者は成年者(成年擬制も含む)ですか」を表示						
		YES	(49) 確認メッセージ(YES, NO)「被認知者は成年被後見人ですか」を表示					
			YES	(50) 認知の承諾者(0:無, 2:成年者, 3:その他)		/		民782, 昭和18. 12. 3 民事甲 943回答
				0, 2	(51) エラーメッセージ 「本人以外の承諾が必要です」を表示		(52)3. 1審査へ	
				3	(53) 確認メッセージ(YES, NO)「成年後見人(成年後見監督人・特別代理人)の承諾がありますか。」を表示			昭和45. 1. 31 民事甲 464回答
					YES (54) →			
					N O (55) →			不受理
			N O	(56) 認知の承諾者(0:無, 2:成年者, 3:その他)		/		戸782
				0, 3	(57) エラーメッセージ 「成年者の承諾がなければ認知できません」を表示		(58)3. 1審査へ	不受理
				2	(59) →			
		N O	(60) →					

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	24/28

処理名	3.3 審査				根拠法令(マニュアル処理)
(1)被認知者の本非区分(1:本籍, 2:非本籍)				/	
1	(2)			/	(2)～(4)第8.3版により削除
	(3)			(4)	
	(5) 被認知者は特別養子であるか			/	戸817の9 等により嫡出子に準ずる
	YES	(6) エラーメッセージ「特別養子を認知することはできません」を表示		(7) 3.1審査へ	不受理
	N O	(8) 被認知者は既に認知されているか		/	大正 5.11. 2 民事 1331回答
		YES	(9) エラーメッセージ「既に認知されている子を認知するっことはできません」を表示	(10) 3.1審査へ	不受理
		N O	(11) 被認知者の戸籍に父の氏名が記録されているか	/	
			YES (12) 認知者の外国人区分(0:日本人, 1:外国人)	/	
			0 (13) エラーメッセージ「父は既に存在します」を表示	(14) 3.1審査へ	不受理
			1 (15) 確認メッセージ(YES, NO)「認知者は父欄に記載されている父で本国法は事実主義ですか」を表示		平成 1.10. 2 民事二 3900号通達3・2(2)
			YES (16) →		
			N O (17) →		不受理
			N O (18) →		
2	(19) 確認メッセージ(YES, NO)「嫡出子・特別養子・既に認知されている子ではありませんか」を表示				戸779, 明治32. 3.24 民刑 2180号回答
					大正 5.11. 2 民事 1331回答
	YES	(20) →			
	N O	(21) →			不受理

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 10日	3	25/28

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集 1/4	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通 ← (引渡側)入力画面(認知届)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名		Z9..	
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		認知届(その1) 入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							2(認知)を移送する
	出張所番号			支所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分=0の時:1 在外送付区分=1, 2, 3の時:2を移送
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							
	届区分			報告区分				
	渉外区分							被認知者の区分=胎児の時 認知者・子の母が日本人=0 認知者が日本人・子の母が外国人=0 認知者が外国人・子の母が日本人=1 認知者・子の母が外国人=2 被認知者の区分≠胎児の時 認知者・被認知者が日本人=0 認知者・被認知者 いずれかが日本人=1 認知者・被認知者が外国人=2 を移送する
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号		本籍人検索 サブシステム インターフェース					認知者・被認知者(子の母)が 本籍人の場合、選択戸籍番号を移送

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査（認知届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	26／28

処理名：4．0 中間ファイル（届書）編集 2／4　（受取側） 中間ファイル（届書）／共通　← （引渡側） 入力画面（認知届）

受取側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9..	備考
中間ファイル（届書）共通	事件別内容		認知届（その1）入力画面					3／4，4／4参照
	不受理申出処分区分							本籍人で該当する不受理申出がある場合、1を移送する
	処分区分							審査結果により、1＝受理、又は、2＝不受理、又は、3＝受理保留をセットする。審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする
	決裁区分							受領番号＝スペースの時、0（未決裁）を移送
	届書排他区分							再入力の場合に1（排他）を移送

026

第2-3-(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査（認知届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	27／28

処理名	4．0 中間ファイル（届書）編集 3／4	（受取側） 中間ファイル（届書）／事件別内容	← （引渡側） 入力画面（認知届）

受取側			引渡側			コード変換有無（サブルーチン）	出力形態 Z9．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル（届書）事件別内容	被認知者区分		認知届（その1）入力画面	被認知者区分				
	外国人区分(被認知)			被認知者外国人区分				
	本非区分（被認知）			被認知者本非区分				
	生年月日（被認知）			被認知者生年月日				
	生死区分（被認知）			被認知者生死区分				
	カナ氏名（被認知）			被認知者カナ氏名				
	漢字氏名（被認知）			被認知者漢字氏名				
	住所コード(被認知)			被認知者住所地				
	住所地（被認知）							
	世帯主（被認知）			被認知者世帯主				
	本籍コード(被認知)			被認知者本籍				
	本籍（被認知）							
	筆頭者（被認知）			被認知者筆頭者				
	訂正続柄（被認知）			準正による訂正後続柄				
	外国人区分(認知者)			認知者外国人区分				
	本非区分（認知者）			認知者本非区分				
	生年月日（認知者）			認知者生年月日				
	生死区分（認知者）			認知者生死区分				
	カナ氏名（認知者）			認知者カナ氏名				
	漢字氏名（認知者）			認知者漢字氏名				
	本籍コード(認知者)			認知者本籍				
	本籍（認知者）							
	筆頭者名（認知者）			認知者筆頭者				
	外国人区分（母）			母外国人区分				
	本非区分（母）			母本非区分				

30375

第2-3-(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査（認知届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	28／28

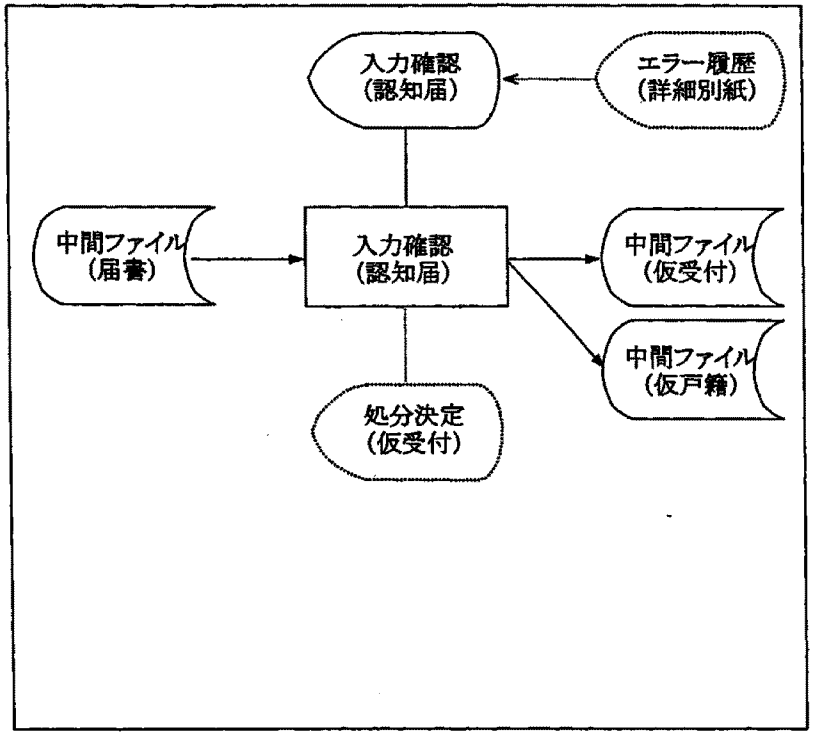
処理名	4．0 中間ファイル（届書）編集 4／4	（受取側） 中間ファイル（届書）／事件別内容	← （引渡側） 入力画面（認知届）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9．，	
中間ファイル（届書）事件別内容	生年月日（母）		認知届（その2）入力画面	母生年月日				
	カナ氏名（母）			母カナ氏名				
	漢字氏名（母）			母漢字氏名				
	本籍コード（母）			母本籍				
	本籍（母）							
	筆頭者（母）			母筆頭者				
	住所コード（母）			母住所地				
	住所地（母）							
	認知者との婚姻日			認知者との婚姻日				
	認知種別			認知種別				
	審査の準拠法			審査の準拠法				
	認知成立日			認知成立日				
	証書提出日			受領日				
	認知の方式			認知の方式				
	裁判成立地			裁判成立地				
	審判／判決確定日			審判／判決確定日				
	裁判申立人			裁判訴提起者				
	外国の裁判所名			外国の裁判所名				
	認知承諾者		認知届（その3）入力画面	認知を承諾した者				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称			届出人資格1名称				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称			届出人資格2名称				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

30376

第23(2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成 4年 9月30日	平成16年11月 1日	8.3	1/20

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3. 処理概要

(1) 中間ファイル(届書)画面表示する。

(2) 戸籍変動状況を確定する。

(3) 中間ファイル(仮受付)を編集・出力する。

(4) 中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する。

(5) 処分決定処理に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(認知届確認画面)
  - 2.0 データ編集表(中間ファイル(仮受付))
  - 3.0 戸籍編製マトリックス表
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル(仮受付))
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル(仮戸籍))
    - 5.1 個人特定(変動なし)
    - 5.2 身分事項(変動なし)
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル(仮戸籍))
    - 6.1 身分事項(変動なし)

5. 備考(特記事項含む)

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	2/20

処理名	0.0 本紙 1/2				根拠法令(マニュアル処理)
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押してください。」を表示する		[1.0]	／		
(2)キー選択(実行キー, PF1, PF2, PF5, PF7, PF8, その他)			／		
実行キー	(3)胎児認知であるか		／		
	YES	(4)中間ファイル(仮受付[受付])を編集・出力する	[2.0]	／	
		(5)中間ファイル(仮受付[事件本人])を編集・出力する	[2.1]	／	(6)処分決定に制御を渡す
	NO	(7)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍の変動状況を決定する	[3.0]	／	
		(8)中間ファイル(仮受付[受付])を編集・出力する	[4.0]	／	
		(9)中間ファイル(仮受付[事件本人])を編集・出力する	[4.1]	／	
		(10)事件本人(被認知者)が本籍人である(YES, NO)		／	
		YES (11)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する	[5.0]	／	
		個人特定(変動なし) (12)個人特定(被認知者)の編集	[5.1]	／	
		身分事項(変動なし) (13)身分事項(被認知者)の編集	[5.2]	／	
		NO (14) → (15)		／	
		(15)事件本人(認知者)が本籍人である(YES, NO)		／	
		YES (16)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する	[6.0]	／	
		身分事項(変動なし) (17)身分事項(認知者)の編集	[6.1]	／	
		NO (18) →		／	(22)処分決定に制御を渡す
PF1	→				(24)業務選択に制御を渡す

30378
030

第2(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（認知届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／20

処理名	0．0 本紙 2／2			根拠法令 （マニュアル処理）
PF2	⟶		(25)届出選択に制御を渡す	
PF5	⟶		(26)審査に制御を渡す	
PF7	(27)前ページがあるか（ある：YES，なし：NO）	／	(29)同画面を編集する	
	YES (28)前ページ「認知届」画面編集			
	NO (30)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(31)次ページがあるか（ある：YES，なし：NO）	／		
	YES (32)次ページ「認知届」画面編集			
	NO (33)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
PF11	⟶		(34)エラー履歴表示に制御を渡す	
その他	(35)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する		(36)同画面を編集する	

30379

031

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（認知届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／20

処理名	1．0 確認画面編集（認知届） 1／3	（受取側） 確認画面（認知届）	← （引渡側） 中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無（ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ）	出力形態 Z9．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
認知届 （その1～3） 確認画面	画面ＩＤ		中間ファイル （届書） 共通					画面ＩＤ
	システム日付							システム日付
	支所番号			支所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	報告区分			届区分				
認知届（その1） 確認画面	被認知者区分		中間ファイル （届書） 事件別内容	被認知者区分				
	被認知者外国人区分			外国人区分（被認知）				
	被認知者本非区分			本非区分（被認知）				
	被認知者生年月日			生年月日（被認知）				
	被認知者生死区分			生死区分（被認知）				
	被認知者カナ氏名			カナ氏名（被認知）				
	被認知者漢字氏名			漢字氏名（被認知）				
	被認知者住所			住所（被認知）				
	被認知者世帯主			世帯主（被認知）				
	被認知者本籍			本籍（被認知）				
	被認知者筆頭者			筆頭者（被認知）				
	準正による訂正後続柄			訂正続柄（被認知）		有		

30380

032

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（認知届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5／20

処理名	1．0 確認画面編集（認知届） 2／3	（受取側） 確認画面編集（認知届）	← （引渡側） 中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無（サブルーチン）	出力形態 Z9．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
認知届（その1） 確認画面	認知者外国人区分		中間ファイル （届書） 事件別内容	外国人区分（認知者）				
	認知者本非区分			本非区分（認知者）				
	認知者生年月日			生年月日（認知者）				
	認知者生死区分			生死区分（認知者）				
	認知者カナ氏名			カナ氏名（認知者）				
	認知者漢字氏名			漢字氏名（認知者）				
	認知者本籍			本籍（認知者）				
	認知者筆頭者			筆頭者（認知者）				
認知届（その2） 確認画面	母外国人区分			外国人区分（母）				
	母本非区分			本非区分（母）				
	母生年月日			生年月日（母）				
	母カナ氏名			カナ氏名（母）				
	母漢字氏名			漢字氏名（母）				
	母本籍			本籍（母）				
	母筆頭者			筆頭者（母）				
	母住所地			住所（母）				
	認知者との婚姻日			認知者との婚姻日				
	認知種別			認知種別				
	審査の準拠法			審査の準拠法				
	認知成立日			認知成立日				
	証書提出日			証書提出日				
	認知の方式			認知の方式				
	裁判成立地			裁判成立地				
	審判／判決確定日			審判／判決確定日				
	裁判訴提起者			裁判申立人				
	外国の裁判所名			外国の裁判所名				

30381

033

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（認知届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	6／20

処理名	1．0 確認画面編集（認知届） 3／3	（受取側） 確認画面編集（認知届）	← （引渡側） 中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9．，	備考
認知届（その3） 確認画面	認知を承諾した者		中間ファイル （届書） 事件別内容	認知承諾者				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称			届出人資格1名称				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称			届出人資格2名称				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成16年3月1日	8	7/20

処理名	2.0 中間ファイル(仮受付)編集 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)／共通 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							0202(認知(胎児))を移送
	受付日			受領日				送付日＝0の時、移送
				送付日				送付日≠0の時、移送
	事件発生日			認知成立日				認知成立日≠0の時、移送
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	関連受領番号							
	届出人資格区分1			届出人資格1				届出人資格1≠1，17の時に、移送する
	届出人資格名称1			届出人資格1		有		(届出人資格1＝99の時、届出人資格1名称を移送)
				届出人資格1名称				
	届出人氏名1			届出人氏名1				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（認知届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	8／20

処理名	2．0 中間ファイル（仮受付）編集 2/3	（受取側） 中間ファイル（仮受付）／共通	← （引渡側） 中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル（仮受付）共通	届出人資格区分2		中間ファイル（届書）					
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							0を移送
	証書提出区分							認知成立日≠0の時、1を移送 上記以外の時、0を移送
	届書送付目録区分							0を移送
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第2-3(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（認知届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	9／20

処理名	2．0 中間ファイル（仮受付）編集 3/3	（受取側） 中間ファイル（仮受付）／事件本人	← （引渡側） 中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無（サブルーチン）	出力形態 Z9．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル（仮受付）事件本人	受領番号		中間ファイル（届書）	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							胎児の時，５４（胎児） 認知者の時，６（認知者）
	届出人区分							届出人が父又は母の時，１設定
	カナ氏名			カナ氏名				胎児の時，カナ氏名（母） 認知者の時，カナ氏名（認知者）
	漢字氏名			漢字氏名				胎児の時， 漢字氏名（母）＋ の胎児 認知者の時，漢字氏名（認知者）
	生年月日			生年月日				胎児の時，移送しない 認知者の時，生年月日（認知者）
	本籍コード			本籍コード				胎児の時，本籍コード（母） 認知者の時，本籍コード（認知者）
	本籍			本籍				胎児の時，本籍（母） 認知者の時，本籍（認知者）
	筆頭者			筆頭者				胎児の時，筆頭者（母） 認知者の時，筆頭者（認知者）
	送達確認２							０を移送

※仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する
※出力順序
1．胎児
2．認知者

第2 (37)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（認知届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	10／20

処理名　3．0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件								戸籍の変動	
	被認知者				認知者				被認知者	認知者
	外国人区分		本非区分		外国人区分		本非区分		現戸籍	現戸籍
	日本人	外国人	本籍	非本籍	日本人	外国人	本籍	非本籍	変動なし 5.1 5.2	変動なし 6.1
1	○		○		○		○		子	認知者
2	○		○		○			○	子	
3	○		○			○	−	−	子	
4	○			○	○		○			認知者
5	○			○	○			○		
6	○			○		○	−	−		
7		○	−	−	○		○			認知者
8		○	−	−	○			○		
9		○	−	−		○	−	−		

30386

038

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（認知届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	11／20

処理名	4．0 中間ファイル（仮受付）編集 1/3	（受取側） 中間ファイル（仮受付） 受付	← （引渡側） 中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル （仮受付） ［受付］	受領番号		中間ファイル （届書）	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							認知種別＝1の時、0201 認知種別＝2の時、0204を移送
	受付日			受領日				送付日＝0の時、移送
				送付日				送付日≠0の時、移送
	事件発生日			認知成立日				認知種別＝1かつ認知成立日≠0の時、移送
				審判／判決日				認知種別＝2の時、移送
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	関連受領番号							
	届出人資格区分1			届出人資格1				認知種別＝1の場合 届出人資格1=1，105以外ならば移送 認知種別＝2の場合、 届出人資格1=1，105かつ 届出人氏名1=裁判申立人 ならば102を移送 届出人氏名1≠裁判申立人 ならば101を移送 （届出人資格1=1かつ 届出人氏名1に入力がない場合は、 漢字氏名（認知者）で処理）

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	12／20

処理名	4.0 中間ファイル(仮受付) 編集 2／3	(受取側) 中間ファイル(仮受付) 受付 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
中間ファイル (仮受付) [受付]	届出人資格区分1		中間ファイル (届書)	届出人資格1				届出人資格1≠1,105かつ 届出人氏名1＝裁判申立人 ならば102を移送 届出人氏名1≠裁判申立人 ならば届出人資格1を移送 (届出人資格1＝17かつ 届出人氏名1に入力がない場合は、 漢字氏名(母)で処理)
	届出人資格名称1					有		上記、届出人資格区分1に移送した コード変換して移送する
				届出人資格1名称				届出人資格1=99の時、移送
	届出人氏名1			届出人氏名1				(認知種別=1かつ届出人資格1＝1,105) 以外の時、移送する 認知種別=2かつ届出人氏名1=スペースかつ 届出人資格1=1の時、漢字氏名(認知者)を移送
				漢字氏名(認知者)				認知種別=2かつ 届出人資格1=105の時、 漢字氏名(被認知者)を移送
				漢字氏名(被認知者)				届出人氏名1=ｽﾍﾟｰｽかつ届出人資格1=17の時、 漢字氏名 (母) を移送する(届出人氏名1は必須ではない為)
				漢字氏名(母)				
	届出人資格区分2			届出人資格2				認知種別=2かつ届出人資格2≠ｽﾍﾟｰｽの場合に、 移送する (届出人資格区分1に102を移送した場合は、 届出人資格区分・名称2にも102を移送する) 届出人資格2=99の時、届出人資格名称2を移送 届出人氏名2=ｽﾍﾟｰｽかつ届出人資格名称2=17の時は 漢字氏名(母)を移送
	届出人資格名称2			届出人資格2		有		
				届出人資格2名称				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
				漢字氏名(母)				
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							0を移送
	証書提出区分							認知成立日≠0の時、1を移送 上記以外の時、0を移送
	届書送付目録区分							ファイル仕様書参照
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

30388

040

30389

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（認知届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	13／20

処理名	4．0 中間ファイル（仮受付）編集 3/3	（受取側） 中間ファイル（仮受付） 事件本人	← （引渡側） 中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無（サブルーチン）	出力形態 Z9．．	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル （仮受付） ［事件本人］	受領番号		中間ファイル （届書）	受領番号				
	行番号							
	受領日			受領日				
	事件本人区分							被認知者の時，5（被認知者） 認知者の時，6（認知者）
	届出人区分							届出人が父又は子の時，1設定
	カナ氏名			カナ氏名				被認知者の時，カナ氏名（被認知） 認知者の時，カナ氏名（認知者）
	漢字氏名			漢字氏名				被認知者の時，漢字氏名（被認知） 認知者の時，漢字氏名（認知者）
	生年月日			生年月日				被認知者の時，生年月日（被認知） 認知者の時，生年月日（認知者）
	本籍コード			本籍コード				被認知者の時，本籍コード（被認知） 認知者の時，本籍コード（認知者）
	本籍			本籍				被認知者の時，本籍（被認知） 認知者の時，本籍（認知者）
	筆頭者			筆頭者				被認知者の時，筆頭者（被認知者） 認知者の時，筆頭者（認知者）
	送達確認2							本籍が非本籍かつ 在外送付区分＝0の時，1を移送 上記以外の時，0を移送

※仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する

※出力順序
1．被認知者
2．認知者

140

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（認知届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	14/20

処理名	5．1 個人特定 被認知者編集 1／1	（受取側） 中間ファイル（仮戸籍）／個人特定	← （引渡側） 中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無（サブルーチン）	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル（仮戸籍）個人特定	個人番号		中間ファイル（届書）					
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日							
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							
	父			漢字氏名（認知者）				
	母							
	父母との続柄			準正による訂正後の続柄		有		準正による訂正後の続柄≠0の時、移送
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							
	審査不可区分							

第2(3)(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（認知届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	15／20

処理名	5．2 身分事項 被認知者編集 1／2	（受取側） 中間ファイル（仮戸籍）／身分事項	← （引渡側） 中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無（サブルーチン）	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	個人番号		中間ファイル（届書）	個人番号（被認知）				
	行番号							
	出力区分							0を移送
	タイトルコード							0201を移送
	記録コード							0201を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日				認知種別＝1かつ 認知成立日＝0の時、移送
				認知成立日				認知種別＝1かつ 認知成立日≠0の時、移送
				審判／判決日				認知種別＝2の時、移送
	認知日			受領日				認知種別＝1かつ 認知成立日＝0の時、移送
				認知成立日				認知種別＝1かつ 認知成立日≠0の時、移送
	認知の裁判確定日			審判／判決確定日				認知種別＝2の時、移送
	認知者氏名			漢字氏名（認知者）				
	認知者の戸籍(本籍)			本籍（認知者）				外国人区分(認知者)＝0の時、移送
	認知者の戸籍（筆頭者）			筆頭者（認知者）				外国人区分(認知者)＝0の時、移送
	認知者の国籍			本籍（認知者）				外国人区分(認知者)＝1の時、移送
	認知者の生年月日			生年月日（認知者）				外国人区分(認知者)＝1の時、移送
	認知の方式			認知の方式				認知成立日≠0の時、移送
	裁判所名			外国の裁判所名				裁判成立地＝1の時、移送
	届出日			受領日				認知種別＝2の時、移送
	証書提出日			証書提出日				認知成立日≠0の時、移送

30391
043

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成 6 年12月 1 日	平成25年 3月 1日	16	16／20

処理名	5.2 身分事項 被認知者編集 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	届出人(資格1)		中間ファイル (届書)	届出人資格1				認知種別＝2かつ 届出人資格1≠105の時, 移送
	届出人(資格1名称)			届出人資格1		有		認知種別＝2かつ 届出人資格1≠105の時, 移送
				届出人資格1名称				認知種別＝2かつ 届出人資格1＝99の時, 移送
	届出人(氏名1)			届出人氏名1				認知種別＝2かつ 届出人資格1＝19, 20, 99 の時, 移送
	届出人(資格2)			届出人資格2				認知種別＝2の時, 移送
	届出人(資格2名称)			届出人資格2		有		認知種別＝2の時, 移送
				届出人資格2名称				認知種別＝2かつ 届出人資格2＝99の時, 移送
	届出人(氏名2)			届出人氏名2				認知種別＝2かつ 届出人資格2＝19, 20, 99 の時, 移送
	証書提出者資格			届出人資格1				認知成立日≠0の時, 移送
	証書提出者資格名称			届出人資格1		有		認知成立日≠0かつ 届出人資格1≠99, 105 の時, 届出人資格1を移送
				届出人資格1名称				認知成立日≠0かつ 届出人資格1＝99の時, 届出人資格名称1を移送
	証書提出者氏名			届出人氏名1				認知成立日≠0かつ 届出人資格1＝19, 20, 99 の時, 移送
	送付を受けた日			送付日				送付日≠0の時, 移送
	受理者			発送元				送付日≠0の時, 移送
	関連事項訂正							訂正後続柄≠0の時, ‘父母との続柄’と編集し移送
	従前の記録							訂正後続柄≠0の時, 移送
	父母との続柄							訂正前の続柄を移送する
	記録日			処理日				処理日≠0の時, 移送

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（認知届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	17/20

処理名	6．1 身分事項 認知者編集 1／2	（受取側） 中間ファイル（仮戸籍）／身分事項	← （引渡側） 中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無（サブルーチン）	出力形態 Z9．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル （仮戸籍） 身分事項	個人番号		中間ファイル （届書）	個人番号（認知者）				
	行番号							
	出力区分							0を移送
	タイトルコード							0201を移送
	記録コード							0202を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日				認知種別＝1かつ 認知成立日＝0の時、移送
				認知成立日				認知種別＝1かつ 認知成立日≠0の時、移送
				審判／判決日				認知種別＝2の時、移送
	認知日			受領日				認知種別＝1かつ 認知成立日＝0の時、移送
				認知成立日				認知種別＝1かつ 認知成立日≠0の時、移送
	認知の裁判確定日			審判／判決確定日				認知種別＝2の時、移送
	認知した子の氏名			漢字氏名（被認知）				
	認知した子の戸籍			本籍（被認知）				外国人区分(被認知)＝0の時、移送
	認知した子の筆頭者			筆頭者（被認知）				外国人区分(被認知)＝0の時、移送
	認知した子の国籍			国籍（被認知）				外国人区分(被認知)＝1の時、移送
	認知した子の 生年月日			生年月日（被認知）				外国人区分(被認知)＝1の時、移送
	認知した子の 母の氏名			漢字氏名（母）				外国人区分(被認知)＝1の時、移送
	認知の方式			認知の方式				認知成立日≠0の時、移送
	裁判所			外国の裁判所名				裁判成立地＝1の時、移送
	届出日			受領日				認知種別＝2の時、移送

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成 6 年12月 1 日	平成25年 3月 1日	16	18／20

処理名	6.1 身分事項 認知者編集 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	証書提出日		中間ファイル (届書)	証書提出日				認知成立日≠0の時, 移送
	届出人(資格1)			届出人資格1				認知種別＝2かつ 届出人資格1≠1,105の時, 移送
	届出人(資格1名称)			届出人資格1		有		認知種別＝2かつ 届出人資格1≠1,105の時, 移送
				届出人資格1名称				認知種別＝2かつ 届出人資格1＝99の時, 移送
	届出人(氏名1)			届出人氏名1				認知種別＝2かつ 届出人資格1＝19, 20, 99 105の時, 移送
	届出人(資格2)			届出人資格2				認知種別＝2の時, 移送
	届出人(資格2名称)			届出人資格2		有		認知種別＝2の時, 移送
				届出人資格2名称				認知種別＝2かつ 届出人資格2＝99の時, 移送
	届出人(氏名2)			届出人氏名2				認知種別＝2かつ 届出人資格2＝19, 20, 99 の時, 移送
	証書提出者資格			届出人資格1				認知成立日≠0かつ 届出人資格1≠1の時, 移送
	証書提出者資格名称			届出人資格1		有		認知成立日≠0かつ 届出人資格1≠1、99の時, 届出人資格1を移送
				届出人資格1名称				認知成立日≠0かつ 届出人資格1＝99の時, 届出人資格1名称を移送
	証書提出者氏名			届出人氏名1				認知成立日≠0かつ 届出人資格1≠1の時, 移送
	送付を受けた日			送付日				送付日≠0の時, 移送
	受理者			発送元				送付日≠0の時, 移送
	記録日			処理日				処理日≠0の時, 移送

※データ編集表(5.2、6.1～6.2 身分事項編集)の仮戸籍.身分事項は、ノーマル時の項目のみを記述している。

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成 6 年12月 1 日	平成16年11月 1日	8.3	19／20

処理名	7.1 被認知者 編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(サブルーチン)	Z9.，	

空白ページです

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成16年11月1日	8.3	20/20

処理名	7.1 被認知者 編集・出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(サブルーチン)	Z9.,	

空白ページです

30397

第7.2.(5)「異動」処理

3.養子縁組届

標準仕様書修正履歴

平成10年2月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO	13版ページ
1	第7．2．(5)．3 (養子縁組届)	(縁組1) 外国人養子の代諾者(外国人父母)の記載で 「親権者父母」があり得ることから、「親権者父母」を 追加する。			
		1．0単体チェック表	8		8
		2．0関連チェック表	24		24
		データ編集表 (2) 編集・出力	103		102
			104		103
			106		105
			107		106
			109		108
			110		109
		(縁組4) 外国に在る外国人から戸籍法41条証書の提出があった場合の 届出の受否について。 【縁組】【離縁】【離婚】について標準仕様書上対応する。 ただし、この3届については、外国人からのみ証書提出が あった場合は審査結果とし、日本人が証書提出したものだけ 対応する。 →確認メッセージ (例)「外国人からだけの証書提出ではないですね (YES, NO)」 変更点:受付帳事件本人の外国人に対して、 届出人区分は設定しない。			
		3．0審査	29		29
			29-1	頁追加	29-1
		データ編集表 (2) 編集・出力	94		93
		(その他) 受付ファイル編集で事件本人の筆頭者が設定されて いない。			
		データ編集表 (2) 編集・出力	94		93
			94-1	頁追加	93-1
		(縁組2－2) 縁組(代諾縁組)のときに養親の届出人区分がたたない。	94	13版の時に 変更があった ことが確認 されたので 追加する。	93

30399

標準仕様書修正履歴

平成11年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO	13版ページ
1	第7．2．(5)．3 (養子縁組届)	公職選挙法改正によるシステムの対応(サンプル提示)			
		1．入力確認			
		(1) システム環境仕様書			
		・詳細フロー及び使用DB・ファイル一覧に入力ファイルとして附票データベース、出力ファイルとして中間ファイル(30条の12第1項)を追加	070		69
		・処理概要、機能体系に中間ファイル(30条の12第1項)の編集に関する記述を追加	070-01		69に統合
		(2) 本紙の処理内容			
		・養父が在外選挙人の場合の中間ファイル(30条の12第1項)の編集・出力処理の追加	071		70
		・養母が在外選挙人の場合の中間ファイル(30条の12第1項)の編集・出力処理の追加	072		71
		・養子が在外選挙人の場合の中間ファイル(30条の12第1項)の編集・出力処理の追加	072		71
		・養女が在外選挙人の場合の中間ファイル(30条の12第1項)の編集・出力処理の追加	073		72
		・養子(女)の配偶者が在外選挙人の場合の中間ファイル(30条の12第1項)の編集・出力処理の追加	074 074-01		73 73-1
		(3) 中間ファイル編集(30条の12第1項)			
		・養父に関して新規追加	126		123-1
		・養母に関して新規追加	127		123-2
		・養子に関して新規追加	128		123-3
		・養女に関して新規追加	129		123-4
		・養子(女)の配偶者に関して新規追加	130		123-5
		中間ファイル編集(30条の12第1項)の頁122-1～6は附番誤りにつき126～130と訂正(12．10．20)			

30400

標準仕様書修正履歴

平成12年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO	13版ページ
1	第7.2.(5).3 (養子縁組)	**成年後見法施行によるシステムの対応**			
		1.システム処理の概要説明			
		1.養子縁組業務処理範囲外の処理	001		1
		[追加項目] ・成年被後見人(又は禁治産者)と成年後見人(又は後見人)の縁組届の場合 ・未成年被後見監督人が複数人届出人となる縁組届の場合			
		3.その他	001		1
		[削除項目] ・養子・養親が禁治産者の場合、医師の診断書の添付がある事(非本籍人の場合)			
		2.単体ﾁｪｯｸ表			
		・NO.82「届出人資格コード1」 030:後見人と 046:後見監督人を削除 109:母の未成年後見人を追加 110:未成年後見人と 112:未成年後見監督人を追加	008		8
		・NO.87「届出人資格コード2」はNO82と同様	008		8
		3.関連ﾁｪｯｸ表			
		・NO.13の(No.26養子の筆頭者区分)を(No.31)と(No.42養女の筆頭者区分)を(No.47)と訂正 NO.14の(No.養子の筆頭者区分)を(No.31)と(No.42養女の筆頭者区分)を(No.47)と訂正	015	誤記訂正	15
		・NO.77届出人資格コード30.46を削除し、109.110.112を追加	022		22
		・NO.81届出人資格コード46を削除し、112を追加	023		23
		・NO.84届出人資格コード30.46を削除し、110.112を追加(備考欄の記入も追加)	023		23
		・NO.85届出人資格コード109を追加	023		23
		・記載内容の一部を繰り上げ移記	019～027	修正に伴い全頁作成したため	
		4.審査			
		(1) 法32条第2項が廃止されたことによる審査の削除			
		・養子が禁治産者であるときの確認メッセージを削除 3.3養子審査ﾙｰﾁﾝの(1)～(9)を削除	038		37
		・養女が禁治産者であるときの確認メッセージを削除 3.3.1養女審査ﾙｰﾁﾝの(1)～(9)を削除	039		38
		・養父母が禁治産者であるときの確認メッセージを削除 3.4養子養親判定ﾙｰﾁﾝの(1)～(18)を削除	040		39
		・養父母が禁治産者であるときの確認メッセージを削除 3.4.1養女養親判定ﾙｰﾁﾝの(1)～(26)を削除 ※(1)～(5),(14)～(18)は判定ﾙｰﾁﾝのため同時に削除する	048		47
		(2) 後見人→未成年後見人への変更			
		・確認メッセージを変更 3.6届出人ﾙｰﾁﾝの(3)を変更(ｺｰﾄﾞ:C02018) 同、(53)を変更(ｺｰﾄﾞ:C08070)及び(54)を変更(ｺｰﾄﾞ:C02018)	058 059－1		57 58-1
		・エラーメッセージを変更 3.6届出人ﾙｰﾁﾝの(59)を変更(ｺｰﾄﾞ:S03021)	059－1		58-1
		・確認メッセージを変更 3.6.1届出人ﾙｰﾁﾝの(3)を変更(ｺｰﾄﾞ:C02018) 同、(53)を変更(ｺｰﾄﾞ:C08070)及び(54)を変更(ｺｰﾄﾞ:C02018)	060 061－1		59 60-1
		・エラーメッセージを変更 3.6.1届出人ﾙｰﾁﾝの(59)を変更(ｺｰﾄﾞ:S03021)	061－1		60-1
		(縁組21) (3) 非嫡出子を実父母が縁組する場合以外に、特別代理人が選出されるケースがあることの修正		以下成年後見法改正に関係ない修正	
		・エラーメッセージ→確認メッセージに変更 3.6届出人ﾙｰﾁﾝの(11)のエラーメッセージを(11)～(11-3)の確認メッセージ対応(新設ｺｰﾄﾞ)に変更	058		57
		3.6.1届出人ﾙｰﾁﾝの(11)のエラーメッセージを(11)～(11-3)の確認メッセージ対応(新設ｺｰﾄﾞ)に変更	060		59
		・記載内容の一部を繰り上げ移記	059,061 068,069	修正に伴い全頁作成したため	

30401

標準仕様書修正履歴

平成16年11月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO	13版ページ
1	第7.2.(5).3 (養子縁組届)	**「続柄の記載更正(申出)」に伴うシステムへの対応**			
		(1) データチェック(単体表)			
		№30 養子の続柄のチェックを変更	005		5
		№46 養女の続柄のチェックを変更	006		6
		(2) データチェック(関連表)			
		№40 削除	017		17
		№52 削除	018		18
		№97,98 一部削除	028		27
		№97-1,98-1 削除			
		(3) 要件ワークシート(審査)			
		3.0 養子国籍処理ルーチン(2-1/4)	030-1		29-1
		審査追加(37-1～37-13)			
		3.0.1 養女国籍処理ルーチン(1/2)	033,034		31
		審査追加(0-1～0-13)			
		※034は変更なしであるが、前後の関係から配布			
		3.3 養子審査ルーチン(1/1)			
		(1)～(9)を書式から抹消※備考欄にその旨記載	039		37
		審査追加(10-1～10-13)			
		3.3.1 養女審査ルーチン(1/1)			
		(1)～(9)を書式から抹消※備考欄にその旨記載	040		38
		審査追加(10-1～10-13)			

EXCELによる作成で、
以降頁ずれが発生。
№で確認して下さい。

30402

標準仕様書修正履歴

平成17年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO	13版ページ
1	第7.2.(5).3 (養子縁組届)	1.標準仕様書修正 (縁組46) 非嫡出子の母が外国人と婚姻後、外国人男と母双方が養父母となる縁組のマトリックスを追加。	89		84

30403

標準仕様書修正履歴

平成18年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO	13版ページ
1	第7.2.(5).3 (養子縁組届)	1.標準仕様書修正 (縁組52①) 養子縁組届画面中、添1の「養親配偶者氏名1・2」の使用用途を知りたい。 加えてその使用用途を標準仕様書に記述すべきであると考える。 →単体チェック表(P4)のNo5・6に説明文を追記した。 (縁組52②) 養子縁組で養子(女)に戸籍異動がない場合、養子(女)の個人特定は、添2・5のとおり【個人情報に変更があるとき設定】と表現されているが、その表現が曖昧である。 →ひな型「C.2」の記述が曖昧であるため、養子が異動しないケースについて新たに「8.1.1」を追加し、曖昧であったケースを具体化した。	4 70－01 88～95 130－1 130－2		4 69 83-90 122-2 122-3

30404

標準仕様書修正履歴

平成19年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO	13版ページ
1	第7.2.(5).3 (養子縁組届)	標準仕様書修正 1 要件定義ワークシート (縁組58) (1) 3.0 審査 受領日と送付日が同一の場合の審査を追加。 上記審査を追加したことによるページ漏れのため、 「28」を修正。 それに伴い「29」を修正。 (縁組56) (2) 3.3養子審査ルーチン 離婚後再婚した父(または母)の配偶者と養子縁組をしたことによる、共同親権記録に関する審査ﾒｯｾｰｼﾞを出力する。 (縁組56) (3) 3.3.1養女審査ルーチン 離婚後再婚した父(または母)の配偶者と養子縁組をしたことによる、共同親権記録に関する審査ﾒｯｾｰｼﾞを出力する。 2 データ編集表 (縁組57) (1) 編集・出力 9条2項ファイル編集時に、受理日に対して届書ファイルから処理日が設定されているため、「送付日又は受領日」に変更 (縁組57) (2) 編集・出力 30条の12第1項ファイル編集時に、受理日に対して届書ファイルから処理日が設定されているため、「送付日又は受領日」に変更	 28 28 29 38 39 119 121 123 125 127 132～136	

標準仕様書修正履歴

平成20年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO	13版ページ
1	第7.2.(5).3 (養子縁組届)	標準仕様書修正 1 要件定義ワークシート (縁組61) (1) 2.0 関連チェック表 筆頭者が除籍となっている戸籍に入籍する養子縁組で、筆頭者区分の入力を誤った場合、養母で新戸籍編製としてもエラーにならないため、関連チェックを修正する。 2 要件定義ワークシート (縁組62) (1) 本紙 (78)の処理が現実に存在しないため、削除する。 合わせて仕様書の誤植を修正する。 3 データ編集表 (縁組59) (2) 編集・出力 養子の身分事項の代諾者編集で、代諾者が養父と養母の双方であった場合養父母に変更していたが、養父母への変更をやめて、養父、養母の2行編集とする。	 20 20 74 74-1 108 112 116		 20 20 73 73-1 103 106 109

30406

標準仕様書修正履歴

平成22年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).3 (養子縁組届)	標準仕様書修正 1 システム処理の概要説明書 (縁組63) 婚姻中の筆頭者が国籍喪失となっている戸籍の処理について 養子縁組では、養子夫婦又は養父母が上記状態の場合関連チェックでエラーとなり、先に進まない。 この場合は審査結果入力処理での対応とするため、範囲外処理として、システム処理の概要説明書に記述する。 2 データ編集表 (縁組64) 養子縁組の代諾者が日本人父又は母である場合、届出人氏名の入力が不要であるため、受付帳の届出人氏名に記録がされない。 受付帳の届出人氏名編集の備考欄を修正する。 ※備考欄で届出人資格名称の編集内容に誤りがあったため、一緒に修正する。 3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力 共通1／2、2／2 3 データチェック(関連表) (縁組68) 関連チェック68のケースでは養父(夫、構成員)の場合、入籍する戸籍のチェックが行われない。 チェック内容の変更及びチェック項番の入替え。 2.0関連チェック表(8／15) 4 データ編集表 (縁組69) (2) 編集・出力 養子が外国人の場合、代諾者が日本人養親に記録されない。 日本人養親に記録するように修正する。 4.3中間ファイル(仮戸籍)編集・出力 身分事項(養親)記録2／3 5 要件定義ワークシート (縁組71) 第8.3版にて追加された審査が11版で削除されている。 3.3養子審査ルーチン(1／1) 3.3.1養女審査ルーチン(1／1) **※再提示とし11版のままとする(13版とはしない)**	1 91 92 20 99 100 37 38	

30407

標準仕様書修正履歴

平成22年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).3 (養子縁組届)	**過去の検討事項を再度確認し、漏れの追加及び誤植の修正を実施する。** 6 過去の検討事項漏れ ①(縁組1)2版での対応で一部漏れた事項を追加 2.0関連チェック表	23,24,25	
		②(縁組8、縁組25)過去の修正履歴の対応漏れ 相手の氏を称して婚姻した者が、自己(婚氏)を称して婚姻した後、筆頭者が養子となる縁組をした場合は戸籍に変動は無く(氏の変動も無い)。 システム対応はせず、審査結果入力とする。 範囲外処理として、システム処理の概要説明書に記述する。	1	
		③(縁組24)過去の修正履歴の対応漏れ データ編集表8.2養親＆養子(女)の配偶者で、新戸籍の個人特定欄に、父母欄、養父母欄、続柄が移送されない。 本籍人の場合は移送できるので、備考欄にその旨を記述する。	123	
		今回ページの振り直しを実施した。 ハイフン付きの追加ページは、そのままハイフン付きとした。 12版までの修正履歴には、添付資料NOの後に、「13版ページ」欄を設け、ページ振り直し後でもどこが該当のページであるのかを分かるようにした。		

標準仕様書修正履歴

平成23年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).3 (養子縁組届)	標準仕様書修正 1．要件定義ワークシート (縁組72) 養子縁組(第11版)における「共同親権の記録」 メッセージ追加について 第11版で「離婚後再婚した父(母)の配偶者と養子縁組したことによる共同親権記録」のメッセージを追加した。 死別後再婚の場合でもメッセージが表示されるため メッセージを変更して欲しい。 (修正前) 「養親の配偶者が養子の親権者ですか？」 (修正後) 「養子に単独親権の記録がありますか？」 2．要件定義ワークシート (縁組75) 同一戸籍縁組区分＝0(その他)で、同一戸籍を 選択してもチェックが掛からない。 確認のための審査を追加する 3．要件定義ワークシート (縁組77) 連れ子縁組で養子が15歳未満の場合、「養父の配偶 の同意書がありますか」のメッセージにNOと応答すると 不受理となる。 養父の配偶者が代諾者の場合は同意は不要である。 そのため、メッセージを変更する。 (修正前) 「養父の配偶者の同意書がありますか。」 「養母の配偶者の同意書がありますか。」 (修正後) 「養父の配偶者の同意書がありますか？ 又は養父の配偶者が縁組の代諾者ですか？」 「養母の配偶者の同意書がありますか？ 又は養母の配偶者が縁組の代諾者ですか？」 4．要件定義ワークシート (縁組78) 養子縁組届P.74(67)の処理で、新戸籍編製がない場合 (外国人養父母との縁組)にも、配偶者の身分事項編製 (除籍)が処理されるように読めます。なおマトリックスでは、 該当パターンに[6.2]の記述はありません。 そのため、新戸籍編製が無い場合は、(67)の処理を 行わないよう、チェックを追加する。	037 038 029 029-1 042 045 050 053

標準仕様書修正履歴

平成23年9月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).3 (養子縁組届)	標準仕様書修正 1．システム処理の概要説明 (民法改正) 未成年後見人が複数人選任されることが可能となった。 複数人の未成年後見人が代諾(届出)した縁組届は 審査結果入力での処理となる。 上記内容を、システム処理の概要説明に記載する。 2．要件定義ワークシート (民法改正) 届出人資格コード入力の関連チェック(№84)の 備考欄の説明文を修正。	 1 23	

標準仕様書修正履歴

平成24年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).3 (養子縁組届)	標準仕様書修正 1. 要件定義ワークシート (縁組81) 代諾者ガ日本人父又は母である場合、届出人氏名の入力が不要であるため、婚姻や離婚などで氏が変わると、受附帳の届出人氏名に旧氏が記録されてしまう。 そのため、届出人資格が父の場合で、養子(養女)の父氏名と異なる場合は確認メッセージを追加する。 同様に届出人資格が母の場合で、養子(養女)の母氏名と異なる場合は確認メッセージを追加する。 上記対応に伴い、関連チェックを廃止して審査で対応する。 廃止する関連チェックは以下の通りである。 ・届出人が父(日本人)又は母(日本人)の場合、届出人氏名がスペースであること。 ・届出人が父(日本人)又は母(日本人)の場合、養子(養女)の父氏名又は母氏名と同じであること。 ・届出人が養父又は養母で代諾者の場合で養子(養女)が本籍人であれば、養子(養女)の養父氏名又は養母氏名と同じであること。 審査では、以下の対応とする。 ・届出人が父の場合、養子の父氏名と比較し、異なっている場合に確認メッセージを出力する。 ・届出人が母の場合、養子の母氏名と比較し、異なっている場合に確認メッセージを出力する。 ・養子が本籍人で届出人が養父の場合、養子の戸籍の養父氏名と比較し、異なっている場合に確認メッセージを出力する。 ・養子が本籍人で届出人が養母の場合、養子の戸籍の養母氏名と比較し、異なっている場合に確認メッセージを出力する。 ※この修正で58-2,58-3,60-2,60-3が頁追加された。 受付帳の届出人氏名の編集(備考欄)を修正した。 (縁組81に関連して修正) 届出人が父(日本人)又は母(日本人)の場合だけ代諾者であるチェックとしており、外国人の場合はチェックがされていない。 外国人も代諾者であるため、このチェックを削除する。 届出人欄の名称が誤っていたため修正した。 届出人欄の編集が分かりにくかったため、代諾者とそれ以外(裁判縁組)に分けて編集し直した。	24 25 58 58-1 58-2 60 60-1 60-2 91 92 24 92	

30408-4

標準仕様書修正履歴

平成25年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).3 (養子縁組届)	標準仕様書修正 1.　要件定義ワークシート、データ編集表 (縁組82)養子縁組の届出人について 第13版で、以下の修正がありました。 養子縁組の代諾者の日本人父又は母である場合、 届出人氏名の入力が不要であるため、婚姻や離婚 などで氏が変わると、受附帳の届出人氏名に 旧氏が記録されてしまう。 この対応として、受附帳の届出人氏名編集の 備考欄を修正している。 ここで、養子(女)の父欄・母欄には、変更前、 変更後どちらの氏を入力す入力するのでしょうか？ (結論) 代諾者が日本人父、母の場合も届出人氏名の 入力を必須とする。 この修正で、代諾者の場合は全ての届出人資格で 氏名が必須入力となった。そこで、受付帳の届出人 の編集(備考欄)を変更した。 2.　データ編集表 (縁組87)身分事項の届出人の記録について 養子が外国人でその父又は母が日本人(帰化者)で あった場合の養親の記録(届出人)について H21.1.16の研究会で養子縁組の場合の代諾者の 記録に関して議論がなされ、13版で修正されたが、 届出人(裁判等)について検討されていない。 現状では資格のみ、それも届出人1のみの編集と なっているが、代諾者と同様の編集をすべきか。 (結論) 本件に関しては修正の対象ではないが、13.0版で 修正した届出人の編集について、資格だけの 記録とし、氏名の記録は行わないようにすべき。 →法務省見解(氏名を記録しても、その個人を特定 できないため。 3.　データ編集表 (縁組88)仮受付日の事件発生日について 中間ファイル(仮受付)編集の事件発生日に 関しては、13.0版以前の移送条件が正しい。 誤植を修正。	24 92 99

標準仕様書修正履歴

平成26年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).3 (養子縁組届)	標準仕様書修正 1．データ編集表 (縁組89)15版　養子縁組届の証代諾者の 記載について 縁組届の届出人が日本人父または母だった場合に 届出人氏名をスペースとする修正を15版で行ったが、 この修正により代諾者氏名が無条件で移送されて しまっている。 【富士通追記】 16版で日本人父または母の氏名入力を必須とした。 →(縁組82)の対応 ★(結論)養子の身分事項の代諾者の移送条件を 修正する。 (縁組90)15版　養子縁組届の証書提出者の 記載について (縁組89)の代諾者と同様に、証書提出者氏名が 無条件で移送されてしまっている。 【富士通追記】 16版で日本人父または母の氏名入力を必須とした。 →(縁組82)の対応 ★(結論)養子の身分事項の証書提出者の移送 条件を修正する。 2．その他 (縁組65)15歳未満の自己の嫡出でない子と養子縁組を する場合の特別代理人の選定の審査 ★議事録洗い出しで確定・修正「要」とされているが、 結論が出ていないため、未決である。 そのため、修正対象とはならない。	102 105 108 103 106 109	

標準仕様書修正履歴

平成27年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).3 (養子縁組届)	標準仕様書修正 1 関連チェック表 (縁組94) 入籍届の指摘事項「筆頭者の氏と構成員の氏のチェックがされていない。」を受け、修正を実施。 入籍届の指摘に類するチェックは実施済。 ただし、受付帳記録誤りに対するチェックを追加。 【チェック済】 ・筆頭者である養子氏名と養子の筆頭者氏名が同一 ・筆頭者である養女氏名と養女の筆頭者氏名が同一 ・筆頭者である養父氏名と養父の筆頭者氏名が同一 ・筆頭者である養母氏名と養母の筆頭者氏名が同一 ・養親の戸籍入る場合の筆頭者である養父母氏名と入籍戸籍の筆頭者氏名が同一 ・養親で新戸籍を編製する場合の筆頭者となる養父母氏名と入籍戸籍の筆頭者氏名が同一 ・養子夫婦で新戸籍を編製する場合の筆頭者となる養子(女)氏名と入籍戸籍の筆頭者氏名が同一 【チェック未】(今回修正) ※いずれも日本人の場合のチェック ・構成員である養子と養子の筆頭者氏名の「氏」が同一 ・構成員である養女と養女の筆頭者氏名の「氏」が同一 ・養子夫婦が双方日本人であるときの養子と養女の「氏」が同一 ・養子(女)とその配偶者が双方日本人であるときの養子(女)と配偶者の「氏」が同一 ・構成員である養父と養父の筆頭者氏名の「氏」が同一 ・構成員である養母と養母の筆頭者氏名の「氏」が同一 ・養親夫婦が双方日本人であるときの養父と養母の「氏」が同一	27-1	

標準仕様書修正履歴

平成29年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).3 (養子縁組届)	標準仕様書修正 1 関連チェック表 (縁組99) 処理日は受領日を含まない日付とする。 (縁組98) 年齢算出の表記をロジカルに修正 2 要件定義ワークシート (縁組98) 年齢算出の表記をロジカルに修正 3.4 養子養親判定ルーチン(39～46ページ)、 3.4.1 養女養親判定ルーチン(47～54ページ)の 削除スペースを圧縮して、修正を実施。	 016 017 018 023 037 037-1 038 038-1 039 040 041 042 043 044 045 046 047 048 049 050 051 052 053 054	

30408-8

標準仕様書修正履歴

平成30年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).3 (養子縁組届)	標準仕様書修正 1．関連チェック表 (縁組101) 届出人資格の関連チェックを分ける。 (縁組102) 20版までの修正における誤植を修正する。 (縁組103) 養子縁組届の関連チェックの項番について №102が3つある。これを修正する。 2．要件定義ワークシート (縁組105) 20版の改訂で年齢算出の表記を修正した件に ついて、養子縁組で一部未対応の箇所があった。 これを修正する。 ※58頁、60頁は本修正対応に伴い、処理(16)～(19) を次頁に繰り下げたもの。 3．単体チェック表 補足説明の誤りを修正する。	 023 024 023 027-1 057 058 059 060 004	

30408-9

標準仕様書修正履歴

平成31年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).3 (養子縁組届)	標準仕様書修正 1．要件定義ワークシート (縁組110) 15歳未満の養子と養親一人の単独縁組で、代諾者に特別代理人が選任される審査に、養子の続柄が「男」又は「女」で判定している箇所がある。 父母との続柄欄の記載に係る施行規則改正(H16.11.1)以降の続柄では、正しい審査が行えないため、養子の父(母)の名と養父(養母)の名が同一であることの審査に修正する。 養父母の名変、文字訂正、文字更正も考慮する。 ※058～058-3(060～060-3)は057(059)の修正に伴い行追加されたことによる修正。 2．その他 (誤植の修正)ベンダーでの確認(及び修正)が必要 037-1の(11)の修正は各ベンダーのシステム修正が必要である。 038-1の(11)(13)(14)の修正は各ベンダーのシステム修正は不要であるが、養子審査ルーチン(037-1)と同仕様にも関わらず異なるロジックとなっているため、ロジックを養子審査ルーチン(037-1)と同じにした。 仕様統一の観点からすればシステム修正を行っても構わない。 (記載仕様不統一の修正)	057 058 058-1 058-2 058-3 059 060 060-1 060-2 060-3 037-1 038-1 028 029-1 030 031 033 034 037 037-1 038 038-1 043 045 051 053	

30408-10

第 2 3 (1)	システム処理の概要説明	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成　6年12月　1日	平成23年　9月30日	14.1	1/68

30409

1. 養子縁組業務処理範囲外の処理
・養子縁組取り消しの裁判が確定し、その届出があった場合
・追完届出された場合
・養子縁組の戸籍訂正
・届書受理後に届出人の死亡が明らかになった場合の記録
・養父母の在籍した戸籍が法務省令第27号第4条第2項の規定により改製されている場合
・無籍者の縁組の場合
・委託確認の裁判に基づく届出の場合
・配偶者(筆頭者)の死亡後に婚氏を称する婚姻で筆頭者となった者が養子となる縁組の場合
※養子の戸籍は変動なし(婚氏のまま)であるが、システムは新戸籍編製でなければ通らない(筆頭者がする夫婦縁組)。
・成年被後見人(又は禁治産者)と成年後見人(又は後見人)の縁組届の場合
・特別代理人、児童福祉施設の長、未成年後見人、未成年後見監督人が複数人の届出(代諾)は審査結果
・夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合
※標準仕様書では養子が該当する場合関連チェック(NO.14)で、養親が該当する場合関連チェック(NO.17,18)でエラーとなる。

2. 養子縁組入力画面の意義
・その1画面　養子となる者の現在の状況の各項目を入力する
・その2画面　養親となる者の現在の状況の各項目を入力する
・その3画面　縁組後の新本籍や届出人に関する各項目を入力する
・その4画面　養子となる者の配偶者の現在の状況の各項目を入力する
・縁組形態入力画面　縁組の形態を入力する

3. その他
・養子・養親両方に縁組をする意思の合致がある事(民第802条1号)
・養子は養親の尊属ではない事(民第793条)
・養子は養親の嫡出子、又は養子ではない事(昭和23.1.13民事甲第17号通達)
・証人の記録があり、20歳以上である事(民第799条・第739条)
・証書提出者が3人以上の場合は審査結果入力で処理する
・養子縁組により、養子に共同親権に服する記録を要する場合は、移記処理で行う
・届出前の本籍が管内にあり、かつ、管内に新戸籍編製及び入籍する事件本人の父母欄及び養父母欄の氏名に変更がある場合は、移記処理で修正する
・養子(養女)が15歳未満の時、代諾者となる父母が外国人でその国に親権規定がない場合は、審査結果入力で処理する。
(注)日本人父母同様に届出人資格等を入力すると、代諾者が親権者父母となるので注意すること

その他:審査内部で使用している[縁組形態区分]は、前提入力画面の【縁組の形態】を数字で表したものである

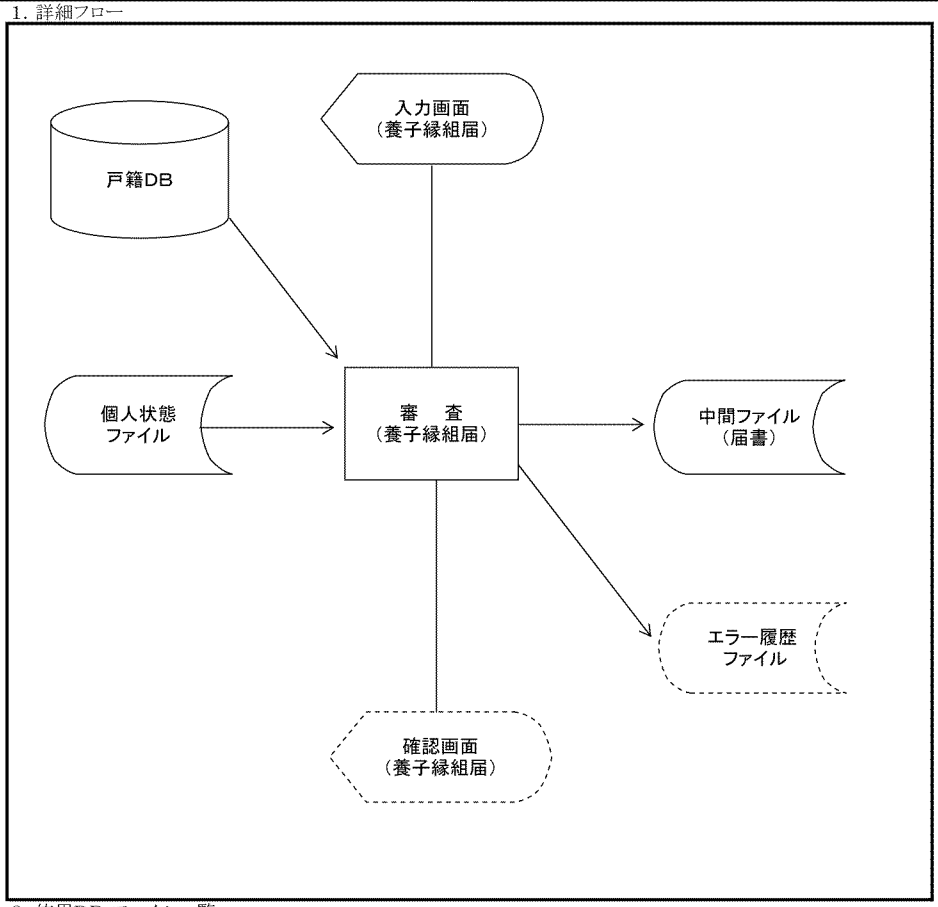
100

第 2 3 (2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2/68

30410

002

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名 称	入出力区分	名 称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3. 処理概要

(1)養子縁組届の内容を画面入力する。
(2)養子縁組届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)養子縁組届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)養子縁組届から中間ファイル(届書)を編集し、出力する。
(6)入力確認(養子縁組届)に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 単体チェック
  - 2.0 関連チェック
  - 3.0 国籍処理ルーチン(養子)
    - 3.1 要件具備証明書ルーチン(養子)
    - 3.2 保護要件ルーチン(養子)
    - 3.3 養子審査ルーチン
      - 3.4 養親判定ルーチン(養子)
      - 3.5 同意書ルーチン(養子)
      - 3.6 届出人ルーチン(養子)
  - 3.0.1 国籍処理ルーチン(養女)
    - 3.1.1 要件具備証明書ルーチン(養女)
    - 3.2.1 保護要件ルーチン(養女)
    - 3.3.1 養女審査ルーチン
      - 3.4.1 養親判定ルーチン(養女)
      - 3.5.1 同意書ルーチン(養女)
      - 3.6.1 届出人ルーチン(養女)
  - 4.0 データ編集(中間ファイル(届書))

5. 備考(特記事項含む)

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3/68

処理名	0.0 本紙	根拠法令（マニュアル処理）

(1)届書内容を画面入力する					／		「届書メニュー」で受領番号が入力された場合，届書ファイルから画面編集
(2)キー選択(実行キー, PF1, PF2, PF7, PF8, PF10, PF11, PF12, その他)					／		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES, NG:NO)			[1.0]	／		
	YES	(4)縁組形態名称を画面に出力する		[1.1]	／		
		(5)入力項目の関連チェック(OK:YES, NG:NO)		[2.0]	／		
		YES	(6)画面の入力項目をすべて入力禁止とする		／		
			(7)審査(OK:YES, NG:NO)	[3.0]	／		
			YES	(8)中間ファイル(届書)の編集・出力	[4.0]		(9)入力確認画面に制御を渡す
			N O	(10)メッセージの種類(審査エラー，確認)		／	
				審査エラー	(11)エラーメッセージを表示する		(12)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確　認	(13)確認メッセージを表示し，メッセージに対して応答の後，以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		N O	(14)エラーメッセージを表示する					
	N O							
PF1	－－－－＞						(15)業務選択に制御を渡す	
PF2	－－－－＞						(16)届出選択に制御を渡す	
PF7	(17)前ページがある(YES, NO)				／			
	YES	(18)前ページ分の入力画面(養子縁組届)を編集・表示する					(19)同画面を編集する	
	N O	(20)エラーメッセージ「先頭ページです」を表示する						
PF8	(21)次ページがある(YES, NO)				／			
	YES	(22)次ページ分の入力画面(養子縁組届)を編集・表示する					(23)同画面を編集する	
	N O	(24)エラーメッセージ「最終ページです」を表示する						
PF10	(25)画面の入力項目の入力禁止を解除する							入力項目が入力禁止の時のみ有効
PF11	(26)当該審査エラーの確認後，以降の審査を続行する							審査エラー発生時のみ有効
PF12	(27)入力画面を初期化する							
その他	(28)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました」を表示する							

30411

003

第 2 3 (5)	データチェック(単体表)	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成　6年12月　1日	平成30年　3月31日	21	4/68

処　理　名	画　面　名	画　面　ＩＤ	
1．0単体チェック表(1／6)	養子縁組(縁組形態入力画面)　1／1		

No	項　目　名	必須	属性	内　容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備　考
1	養子と養父区分	1から4のうちどれか1つ以上	英字	(Y:縁組あり, スペース:縁組なし)であること	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	養子と養母区分		英字	(Y:縁組あり, スペース:縁組なし)であること			
3	養女と養父区分		英字	(Y:縁組あり, スペース:縁組なし)であること			
4	養女と養母区分		英字	(Y:縁組あり, スペース:縁組なし)であること			
5	養親配偶者氏名1		漢字				
6	養親配偶者氏名2		漢字				

今回の縁組が単独縁組の場合、既に縁組済の養子の養親の氏名

今回の縁組が単独縁組の場合、既に縁組済の養女の養親の氏名

30412

004

第 2 3 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	5/68

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表(2／6)	養子縁組(その1) 1／2		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
7	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
8	受領番号		数字				
9	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
11	発送元		漢字				
12	在外送付区分	○	数字	(0:受理分, 1:国内からの送付, 2:在外公館の直接送付, 3:在外公館の国内経由)であること			
13	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	本非区分	○	数字	(1:本籍, 2:非本籍)であること			
15	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
16	届出区分	○	数字	(1:創設的届出, 2:報告的届出)であること			
17	養子の外国人区分		数字	(0:日本人, 1:外国人)であること			
18	養子の本非区分		数字	(1:本籍, 2:非本籍)であること			
19	養子の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
20	養子の婚姻区分		数字	(0:未婚, 1:婚姻中)であること			
21	養子の生死区分		数字	(0:生存, 1:死亡)であること			
22	養子のカナ氏名		カナ				
23	養子の漢字氏名		漢字				
24	養子の本・国籍		漢字				
25	養子の住所		漢字				
26	養子の筆頭者氏名		漢字				
27	養子の世帯主氏名		漢字				
28	養子の父氏名		漢字				
29	養子の母氏名		漢字				
30	養子の続柄		数字	~~「続柄変換サブルーチン」~~ 10(男)～29(十九男)であること。			
31	養子の筆頭者区分		数字				

30413

005

第 2 3 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	6/68

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表(3／6)	養子縁組(その1) 2／2		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
32	養子の配偶者区分		数字	(0:未, 1:夫, 3:生存配偶者)であること	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
33	養女の外国人区分		数字	(0:日本人, 1:外国人)であること			
34	養女の本非区分		数字	(1:本籍, 2:非本籍)であること			
35	養女の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
36	養女の婚姻区分		数字	(0:未婚, 1:婚姻中)であること			
37	養女の生死区分		数字	(0:生存, 1:死亡)であること			
38	養女のカナ氏名		カナ				
39	養女の漢字氏名		漢字				
40	養女の本・国籍		漢字				
41	養女の住所		漢字				
42	養女の筆頭者氏名		漢字				
43	養女の世帯主氏名		漢字				
44	養女の父氏名		漢字				
45	養女の母氏名		漢字				
46	養女の続柄		数字	~~「続柄変換サブルーチン」~~ 30(女)～49(十九女)であること。			
47	養女の筆頭者区分		数字				
48	養女の配偶者区分		数字	(0:未, 2:妻, 3:生存配偶者)であること			
49	監護者の有無		英字	(Y:有, N:無)であること			

30414

006

第 2 3 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	7/68

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表(4／6)	養子縁組(その2) 1／1		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
50	養父の外国人区分		数字	(0:日本人, 1:外国人)であること	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
51	養父の本非区分		数字	(1:本籍, 2:非本籍)であること			
52	養父の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
53	養父の筆頭者区分		数字				
54	養父の配偶者区分		数字	(0:未, 1:夫, 3:生存配偶者)であること			
55	養父の生死区分		数字	(0:生存, 1:死亡)であること			
56	養父のカナ氏名		カナ				
57	養父の漢字氏名		漢字				
58	養父の本・国籍		漢字				
59	養父の住所		漢字				
60	養父の筆頭者氏名		漢字				
61	養父の世帯主氏名		漢字				
62	養母の外国人区分		数字	(0:日本人, 1:外国人)であること			
63	養母の本非区分		数字	(1:本籍, 2:非本籍)であること			
64	養母の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
65	養母の筆頭者区分		数字				
66	養母の配偶者区分		数字	(0:未, 2:妻, 3:生存配偶者)であること			
67	養母の生死区分		数字	(0:生存, 1:死亡)であること			
68	養母のカナ氏名		カナ				
69	養母の漢字氏名		漢字				
70	養母の本・国籍		漢字				
71	養母の住所		漢字				
72	養母の筆頭者氏名		漢字				
73	養母の世帯主氏名		漢字				

第 2 3 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	8/68

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表(5／6)	養子縁組(その3) 1／1		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
74	戸籍変動区分	○	数字	(1:養親の現在の戸籍に入る, 2:養親の新しい戸籍に入る, 3:養子夫婦で新しい戸籍を作る, 4:養子の戸籍に変動がない, 5:養子は全て外国人) であること	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
75	入籍する戸籍または 新しい戸籍		漢字	戸籍変動区分＝1, 2, 3の場合, 必須 戸籍変動区分＝4, 5の場合, 入力不可			
76	入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者		漢字	戸籍変動区分＝1, 2, 3の場合, 必須 戸籍変動区分＝4, 5の場合, 入力不可			
77	裁判確定日		数字	「日付チェックサブルーチン」			
78	縁組成立日		数字	「日付チェックサブルーチン」			
79	縁組方式		漢字				
80	同一戸籍縁組		数字	(1:同一戸籍内縁組, 0:その他)であること			
81	後見人縁組区分		数字	(0:無, 1:有)であること			
82	届出人資格コード1		数字	(01:父, 02:母, 03:母の親権者, 10:養父, 11:養母, 13:養子, 16:親権者父, 17:親権者母, 78:特別代理人, 93:児童福祉施設の長, 109:母の未成年後見人, 110:未成年後見人, 112:未成年後見監督人)であること			
83	届出人氏名1		漢字				
84	代諾者コード1		数字	(0:無, 1:有)であること			
85	届出人国籍1		漢字				
86	届出人生年月日1		数字	「日付チェックサブルーチン」			
87	届出人資格コード2		数字	(01:父, 02:母, 03:母の親権者, 10:養父, 11:養母, 13:養子, 16:親権者父, 17:親権者母, 78:特別代理人, 93:児童福祉施設の長, 109:母の未成年後見人, 110:未成年後見人, 112:未成年後見監督人)であること			
88	届出人氏名2		漢字				
89	代諾者コード2		数字	(0:無, 1:有)であること			
90	届出人国籍2		漢字				
91	届出人生年月日2		数字	「日付チェックサブルーチン」			

30416
008

第 2 3 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	9/68

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表(6／6)	養子縁組(その4) 1／1		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
92	配偶者外国人区分		数字	(0:日本人, 1:外国人)であること	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
93	配偶者生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
94	配偶者配偶者区分		数字	(1:夫, 2:妻, 3:生存配偶者)であること			
95	配偶者カナ氏名		カナ				
96	配偶者漢字氏名		漢字				
97	配偶者住所		漢字				
98	配偶者父氏名		漢字				
99	配偶者母氏名		漢字				
100	配偶者続柄		数字	「続柄変換サブルーチン」			
101	配偶者筆頭者区分		数字				

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	10/68

処理名	画面名	画面ID	
1.1 条件設定1／2			

No	内容	備考
	以降、審査内部で使用する縁組形態区分の設定について記述する ・(No.1)[養子と養父区分]のみ入力がある時、縁組形態区分＝1とする ・(No.2)[養子と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分＝2とする ・(No.1)[養子と養父区分]かつ、 (No.2)[養子と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分＝3とする ・(No.3)[養女と養父区分]のみ入力がある時、縁組形態区分＝4とする ・(No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分＝5とする ・(No.3)[養女と養父区分]かつ、 (No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分＝6とする ・(No.1)[養子と養父区分]かつ、 (No.3)[養女と養父区分]のみ入力がある時、縁組形態区分＝7とする ・(No.2)[養子と養母区分]かつ (No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分＝8とする ・(No.1)[養子と養父区分]かつ、 (No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分＝9とする ・(No.1)[養子と養父区分]かつ、(No.3)[養女と養父区分]かつ、 (No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分＝10とする ・(No.2)[養子と養母区分]かつ (No.3)[養女と養父区分]のみ入力がある時、縁組形態区分＝11とする ・(No.2)[養子と養母区分]かつ(No.3)[養女と養父区分]かつ、 (No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分＝12とする ・(No.1)[養子と養父区分]かつ、(No.2)[養子と養母区分]かつ、 (No.3)[養女と養父区分]のみ入力がある時、縁組形態区分＝13とする	

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	11/68

処理名	画面名	画面ID	
1.1 条件設定2／2			

No	内容	備考
	・(No.1)[養子と養父区分]かつ、(No.2)[養子と養母区分]かつ、 (No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分＝14とする ・(No.1)[養子と養父区分]かつ、(No.2)[養子と養母区分]かつ、 (No.3)[養女と養父区分]かつ、(No.4)[養女と養母区分]に入力がある時、縁組形態区分＝15とする	

30419
011

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	12/68

処理名	1.1入力画面(養子縁組)表示	(受取側)(受取側)養子縁組届画面 ← (引渡側)

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
養子縁組画面	縁組形態名称			縁組形態区分		有		
	表示1							縁組形態区分＝1,4,7の時、 養父の配偶者が既に縁組している 場合は養母氏名を入力して下さい を表示 縁組形態区分＝2,5,8の時、 養母の配偶者が既に縁組している 場合は養父氏名を入力して下さい を表示 縁組形態区分＝9,10の時、 養子と養母が既に縁組している 場合は養母氏名を入力して下さい を表示 縁組形態区分＝11,12の時、 養子と養父が既に縁組している 場合は養父氏名を入力して下さい を表示
	表示2							縁組形態区分＝11,13の時、 養女と養母が既に縁組している 場合は養母氏名を入力して下さい を表示 縁組形態区分＝9,14の時、 養女と養父が既に縁組している 場合は養父氏名を入力して下さい を表示

30420

012

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	13/68

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(1／15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	縁組形態区分＝1:養子と養父の場合、 (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分 のいずれか、かつ (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名 のいずれかに入力が有り (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分、 (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名 は入力が無いこと	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	縁組形態区分＝2:養子と養母の場合、 (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分 のいずれか、かつ (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名 のいずれかに入力が有り (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分、 (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名 は入力が無いこと			
3	縁組形態区分＝3:養子と養父母の場合、 (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分 のいずれか、かつ (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名 のいずれか、かつ (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名 のいずれかに入力が有り (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分 は入力が無いこと			
4	縁組形態区分＝4:養女と養父の場合、 (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分 のいずれか、かつ (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名 のいずれかに入力が有り (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分、 (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名 は入力が無いこと			
5	縁組形態区分＝5:養女と養母の場合、 (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分 のいずれか、かつ (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名 のいずれかに入力が有り (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分、 (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名 は入力が無いこと			

30421

013

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	14/68

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(2／15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
6	縁組形態区分＝6:養女と養父母の場合、 (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名 のいずれか、かつ (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名 のいずれか、かつ (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分 のいずれかに入力が有り (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分 は入力が無いこと	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
7	縁組形態区分＝7:養子夫婦と養父の場合、 (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分 のいずれか、かつ (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分 のいずれか、かつ (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名 のいずれかに入力が有り (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名 は入力が無いこと			
8	縁組形態区分＝8:養子夫婦と養母の場合、 (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分 のいずれか、かつ (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分 のいずれか、かつ (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名 のいずれかに入力が有り (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名 は入力が無いこと			
9	縁組形態区分＝9:養子と養父＆養女と養母 又は、10:養子と養父＆養女と養父母 又は、11:養子と養母＆養女と養父 又は、12:養子と養母＆養女と養父母 又は、13:養子と養父母＆養女と養父 又は、14:養子と養父母＆養女と養母 又は、15:養子と養父母＆養女と養父母の場合 (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分 のいずれか、かつ (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分 のいずれか、かつ (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名 のいずれか、かつ (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名 のいずれかに入力が有ること			
10	縁組形態区分＝1～3,6,10,12,15の時、(No.06)養親配偶者氏名2＝スペースであり、 縁組形態区分＝3～6,13～15の時、(No.05)養親配偶者氏名1＝スペースであること、			
11	縁組形態区分＝9,10でかつ、(No.05)養親配偶者氏名1≠スペースの時、 (No.05)養親配偶者氏名1＝(No.69)の養母の漢字氏名であり、			

30422

014

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	15/68

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(3／15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
	縁組形態区分＝11,12でかつ、(No.05)養親配偶者氏名1≠スペースの時、 (No.05)養親配偶者氏名1＝(No.57)の養父の漢字氏名であり、 縁組形態区分＝9,14でかつ、(No.06)養親配偶者氏名2≠スペースの時、 (No.06)養親配偶者氏名2＝(No.57)の養父の漢字氏名であり、 縁組形態区分＝11,13でかつ、(No.06)養親配偶者氏名2≠スペースの時、 (No.06)養親配偶者氏名2＝(No.69)の養母の漢字氏名であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
12	縁組形態区分＝7～15の場合、 (No.20)養子の婚姻区分＝1:婚姻中、 (No.36)養女の婚姻区分＝1:婚姻中、 (No.32)養子の配偶者区分＝1:夫、 (No.48)養女の配偶者区分＝2:妻 であること			
13	縁組形態区分＝7～15の時で、 (No.17)養子の外国人区分＝0:日本人かつ、(No.33)養女の外国人区分＝0:日本人の場合、 (No.24)養子の本・国籍＝(No.40)養女の本・国籍かつ、 (No.26)養子の筆頭者氏名＝(No.42)養女の筆頭者氏名であり、かつ、 (No.31)養子の筆頭者区分＝1ならば、(No.47)養女の筆頭者区分＝0であり、又は (No.31)養子の筆頭者区分＝0ならば、(No.47)養女の筆頭者区分＝1であること			
14	縁組形態区分＝7～15の時で、 (No.17)養子の外国人区分＝0:日本人かつ、(No.33)養女の外国人区分＝1:外国人の場合、 (No.31)養子の筆頭者区分＝1:筆頭者であること、又は (No.17)養子の外国人区分＝1:外国人かつ、(No.33)養女の外国人区分＝0:日本人の場合、 (No.47)養女の筆頭者区分＝1:筆頭者であること			
15	縁組形態区分＝3, 6, 9～15の時、 (No.54)養父の配偶者区分＝1:夫 でかつ、(No.66)養母の配偶者区分＝2:妻 であり、 (No.50)養父の外国人区分＝0:日本人かつ、(No.62)養母の外国人区分＝0:日本人の場合、 (No.58)養父の本・国籍＝(No.70)養母の本・国籍かつ、 (No.60)養父の筆頭者氏名＝(No.72)養母の筆頭者氏名であること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	16/68

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(4／15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
16	縁組形態区分＝3，6，9～15の時、 (No.50)養父の外国人区分＝0:日本人かつ、(No.62)養母の外国人区分＝0:日本人の場合、 (No.53)養父の筆頭者区分＝1:筆頭者ならば、 (No.65)養母の筆頭者区分＝0:構成員であること、又は、 (No.53)養父の筆頭者区分＝0:構成員ならば、 (No.65)養母の筆頭者区分＝1:筆頭者であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
17	縁組形態区分＝3，6，9～15の時、 (No.50)養父の外国人区分＝0:日本人かつ、(No.62)養母の外国人区分＝1:外国人の場合、 (No.53)養父の筆頭者区分＝1:筆頭者であること			
18	縁組形態区分＝3，6，9～15の時、 (No.50)養父の外国人区分＝1:外国人かつ、(No.62)養母の外国人区分＝0:日本人の場合、 (No.65)養母の筆頭者区分＝1:筆頭者であること			
19	(No.10)送付日＝スペースの時、(No.11)発送元＝スペースであること			
20	(No.10)送付日≠スペースの時、(No.11)発送元≠スペースであること			
21	(No.10)送付日≠スペースの時、(No.10)送付日≧(No.09)受領日であること			
22	(No.10)送付日＝スペースの時、(No.12)在外送付区分＝0:受理分であること			
23	(No.11)発送元≠スペースの時、(No.12)在外送付区分≠0:受理分であること			
24	(No.11)発送元≠スペースかつ (No.11)発送元の最終文字が『市』『区』『長』『村』『町』のとき (No.12)在外送付区分＝1:国内からの送付 であること			
25	(No.11)発送元≠スペースかつ (No.11)発送元の最終文字が『市』『区』『長』『村』『町』以外のとき (No.12)在外送付区分＝2:在外公館の直接送付 または (No.12)在外送付区分＝3:在外公館の国内経由 であること			
26	(No.13)処理日≠スペースの時、(No.13)処理日＞(No.09)受領日であること			
27	(No.15)郵送日≠スペースの時、(No.10)送付日＝スペースであること			
28	(No.15)郵送日≠スペースの時、(No.15)郵送日≦(No.09)受領日であること			
29	(No.14)本非区分＝1の場合、(No.18)養子の本非区分・(No.34)養女の本非区分・ (No.51)養父の本非区分・(No.63)養母の本非区分のいずれか＝1であるか (No.75)入籍する戸籍または新しい戸籍＝(本籍地)であること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	17/68

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(5／15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
30	(No.78)縁組成立日≠スペースかつ、(No.79)縁組方式≠スペースの場合、あるいは (No.77)裁判確定日≠スペースの場合、 (No.16)届出区分＝2:報告的届出であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
30-1	(No.78)縁組成立日＝スペースかつ、(No.77)裁判確定日＝スペースの場合、 (No.16)届出区分＝1:創設的届出であること			
31	(No.17)養子の外国人区分＝0:日本人の場合、(No.19)養子の生年月日＝(和暦)、 (No.24)養子の本・国籍≠スペース、(No.26)養子の筆頭者氏名≠スペース、 (No.31)養子の筆頭者区分≠スペースであること			
32	(No.17)養子の外国人区分＝1:外国人の場合、(No.19)養子の生年月日＝(西暦)、 (No.24)養子の本・国籍＝国籍、(No.26)養子の筆頭者氏名＝スペース、 (No.31)養子の筆頭者区分＝スペースであること			
33	(No.19)養子の生年月日＋15年(15歳未満) ＞ 受領日の場合、 (No.82)届出人資格コード1≠スペースであること			
34	(No.19)養子の生年月日＋15年(15歳以上) ≦ 受領日でかつ、 (No.81)後見人縁組区分＝0:無の場合、又は(No.77)裁判確定日＝スペースの場合、 (No.82)届出人資格コード1かつ2＝スペースであること			※裁判による縁組の場合、養子の年齢に関係なく養親が届出人となる
35	(No.19)養子の生年月日≧(No.52)養父の生年月日かつ (No.19)養子の生年月日≧(No.64)養母の生年月日であること			
36	(No.20)養子の婚姻区分＝1の場合、(No.32)養子の配偶者区分＝1であること			
37	(No.20)養子の婚姻区分＝0の場合、(No.32)養子の配偶者区分＝0又は3であること			
38	(No.25)養子の住所＝スペースの場合、(No.27)養子の世帯主氏名＝スペースであること			
39	(No.17)養子の外国人区分＝0:日本人でかつ、 (No.25)養子の住所＝日本の場合、(No.27)養子の世帯主氏名≠スペースであること			
40	(削除)			続柄更正申出対応 (8.3版)
41	(No.31)養子の筆頭者区分＝1の場合、 (No.23)養子の漢字氏名＝(No.26)養子の筆頭者氏名であること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	18/68

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(6／15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
--		「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
43	(No.33)養女の外国人区分＝0:日本人の場合、(No.35)養女の生年月日＝(和暦)、 (No.40)養女の本・国籍≠スペース、(No.42)養女の筆頭者氏名≠スペース、 (No.47)養女の筆頭者区分≠スペースであること			
44	(No.33)養女の外国人区分＝1:外国人の場合、(No.35)養女の生年月日＝(西暦)、 (No.40)養女の本・国籍＝国籍、(No.42)養女の筆頭者氏名＝スペース、 (No.47)養女の筆頭者区分＝スペースであること			
45	(No.35)養女の生年月日＋15年(15歳未満) ＞ 受領日の場合、 (No.82)届出人資格コード1≠スペースであること			
46	(No.35)養女の生年月日＋15年(15歳以上) ≦ 受領日でかつ、 (No.81)後見人縁組区分＝0:無の場合、又は(No.77)裁判確定日＝スペースの場合、 (No.82)届出人資格コード1かつ2＝スペースであること			※裁判による縁組の場合、養女の年齢に関係なく養親が届出人となる
47	(No.35)養女の生年月日≧(No.52)養父の生年月日かつ (No.35)養女の生年月日≧(No.64)養母の生年月日であること			
48	(No.36)養女の婚姻区分＝1の場合、(No.48)養女の配偶者区分＝2であること			
49	(No.36)養女の婚姻区分＝0の場合、(No.48)養女の配偶者区分＝0又は3であること			
50	(No.41)養女の住所＝スペースの場合、(No.43)養女の世帯主氏名＝スペースであること			
51	(No.33)養女の外国人区分＝0:日本人でかつ、 (No.41)養女の住所＝日本の場合、(No.43)養女の世帯主氏名≠スペースであること			
52	(削除)			続柄更正申出対応 (8.3版)
53	(No.47)養女の筆頭者区分＝1の場合、 (No.39)養女の漢字氏名＝(No.42)養女の筆頭者氏名であること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	19/68

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(7／15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
--		「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
55	(No.50)養父の外国人区分＝0:日本人の場合、(No.52)養父の生年月日＝(和暦)、 (No.58)養父の本・国籍≠スペース、(No.60)養父の筆頭者氏名≠スペース、 (No.53)養父の筆頭者区分≠スペースであること			
56	(No.50)養父の外国人区分＝1:外国人の場合、(No.52)養父の生年月日＝(西暦)、 (No.58)養父の本・国籍＝国籍、(No.60)養父の筆頭者氏名＝スペース、 (No.53)養父の筆頭者区分＝スペースであること			
57	(No.53)養父の筆頭者区分＝1の場合、 (No.57)養父の漢字氏名＝(No.60)養父の筆頭者氏名であること			
--				
59	(No.59)養父の住所＝スペースの場合、(No.61)養父の世帯主氏名＝スペースであること			
60	(No.50)養父の外国人区分＝0:日本人でかつ、 (No.59)養父の住所＝日本の場合、(No.61)養父の世帯主氏名≠スペースであること			
61	(No.62)養母の外国人区分＝0:日本人の場合、(No.64)養母の生年月日＝(和暦)、 (No.70)養母の本・国籍≠スペース、(No.72)養母の筆頭者氏名≠スペース、 (No.65)養母の筆頭者区分≠スペースであること			
62	(No.62)養母の外国人区分＝1:外国人の場合、(No.64)養母の生年月日＝(西暦)、 (No.70)養母の本・国籍＝国籍、(No.72)養母の筆頭者氏名＝スペース、 (No.65)養母の筆頭者区分＝スペースであること			
63	(No.65)養母の筆頭者区分＝1の場合、 (No.69)養母の漢字氏名＝(No.72)養母の筆頭者氏名であること			
--				
65	(No.71)養母の住所＝スペースの場合、(No.73)養母の世帯主氏名＝スペースであること			
66	(No.62)養母の外国人区分＝0:日本人でかつ、 (No.71)養母の住所＝日本の場合、(No.73)養母の世帯主氏名≠スペースであること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	20/68

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(8／15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
67	(No.74)戸籍変動区分＝1又は2の場合、 入力のある養父又は養母の外国人区分＝0:日本人であり、 入力のある養子かつ養女の婚姻区分＝0:未であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
67-1	(No.74)戸籍変動区分＝1又は2の場合、 入力のある養子又は養女の筆頭者区分＝0:構成員かつ、 配偶者区分＝3:生存配偶者以外であること			13版で69-1を移した
67-2	(No.74)戸籍変動区分＝1の場合、 入力のある養父又は養母の筆頭者区分＝1:筆頭者又は、配偶者区分≠0:未以外　であること			13版で68-1を移した
68	(No.74)戸籍変動区分＝1の時で、 縁組形態区分＝1又は、3又は、4又は、6でかつ (No.50)養父の外国人区分＝0(日本人)の場合は、 (No.75)入籍する戸籍または新しい戸籍＝(No.58)養父の本・国籍でかつ、 (No.76)入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者＝(No.60)養父の筆頭者氏名であり、 縁組形態区分＝2又は、3又は、5又は、6でかつ (No.62)養母の外国人区分＝0(日本人)の場合は、 (No.75)入籍する戸籍または新しい戸籍＝(No.70)養母の本・国籍でかつ、 (No.76)入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者＝(No.72)養母の筆頭者氏名であること 縁組形態区分≠7～15であること			
69	(No.74)戸籍変動区分＝2の時で、 縁組形態区分＝1又は、4の場合、 (No.76)入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者＝(No.57)養父の漢字氏名、 (No.54)養父の配偶者区分＝0:未、(No.53)養父の筆頭者区分＝0:構成員であり、 縁組形態区分＝2又は、5の場合、 (No.76)入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者＝(No.69)養母の漢字氏名、 (No.66)養母の配偶者区分＝0:未、(No.65)養母の筆頭者区分＝0:構成員であること **縁組形態区分≠3，6～15であること**			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	21/68

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(9／15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
70	(No.74)戸籍変動区分＝3の時で、 縁組形態区分＝1，4，7の場合、(No.50)養父の外国人区分＝0:日本人であり、 縁組形態区分＝2，5，8の場合、(No.62)養母の外国人区分＝0:日本人であり、 縁組形態区分＝3，6，9～15の場合、 (No.50)養父の外国人区分＝0:日本人、又は、(No.62)養母の外国人区分＝0:日本人であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
71	(No.74)戸籍変動区分＝3でかつ、 縁組形態区分＝1又は、2又は、3の時、 (No.20)養子の婚姻区分＝1:婚姻中でかつ、(No.31)養子の筆頭者区分＝1:筆頭者であること 縁組形態区分＝4又は、5又は、6の時、 (No.36)養女の婚姻区分＝1:婚姻中でかつ、(No.47)養女の筆頭者区分＝1:筆頭者であること			
72	(No.74)戸籍変動区分＝4でかつ、同一戸籍縁組≠1の場合、 縁組形態区分＝1，4，7の時、(No.50)養父の外国人区分＝1:外国人であること、又は 縁組形態区分＝2，5，8の時、(No.62)養母の外国人区分＝1:外国人であること、又は 縁組形態区分＝3，6，9～15の時、(No.50)養父の外国人区分＝1:外国人かつ、 (No.62)養母の外国人区分＝1:外国人であること、又は 縁組形態区分＝1～3の時、(No.32)養子の配偶者区分＝1又は3でかつ、 (No.31)養子の筆頭者区分＝0であること、又は、 縁組形態区分＝4～6の時、(No.48)養女の配偶者区分＝2又は3でかつ、 (No.47)養女の筆頭者区分＝0であること			
73	(No.74)戸籍変動区分＝3の時、 (No.76)入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者に入る筆頭者氏名は、 縁組形態区分＝1，2，4，5の時、 養父(母)の漢字氏名の氏＋養子(女)の漢字氏名の名であること 縁組形態区分＝3，6の時、 養父母のうち日本人である方の漢字氏名の氏＋養子(女)の漢字氏名の名であること 縁組形態区分＝7，8の時、 養父(母)の漢字氏名の氏＋養子夫婦のうち筆頭者である方の漢字氏名の名であること 縁組形態区分＝9～15の時、養父母のうち日本人である方の漢字氏名の氏＋ 養子夫婦のうち筆頭者である方の漢字氏名の名であること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	22/68

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(10／15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
74	(No.74)戸籍変動区分＝5でかつ 縁組形態区分＝1～3の時、(No.17)養子の外国人区分＝1:外国人であること、又は 縁組形態区分＝4～6の時、(No.33)養女の外国人区分＝1:外国人であること、又は 縁組形態区分＝7～15の時、(No.17)養子の外国人区分＝1:外国人かつ、 (No.33)養女の外国人区分＝1:外国人であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
74-1	縁組形態区分＝1～3の時、(No.17)養子の外国人区分＝1:外国人　又は 縁組形態区分＝4～6の時、(No.33)養女の外国人区分＝1:外国人　又は 縁組形態区分＝7～15の時、(No.17)養子の外国人区分＝1:外国人かつ、(No.33)養女の外国人区分＝1:外国人　の時、 (No.74)戸籍変動区分＝5であること			
75	(No.77)裁判確定日又は、(No.78)縁組成立日に入力がある時、 (No.15)郵送日≠スペースの時、(No.15)郵送日≧(No.77)裁判確定日又は(No.78)縁組成立日で、 (No.15)郵送日＝スペースの時、(No.09)受領日≧(No.77)裁判確定日又は(No.78)縁組成立日　であること			
76	(No.77)裁判確定日≠スペースの場合、 (No.50)養父の外国人区分＝1:外国人、又は(No.62)養母の外国人区分＝1:外国人でかつ、 (No.78)縁組成立日＝スペースかつ、(No.79)縁組方式＝スペースかつ、 (No.82)届出人資格コード1のみ入力がある時10又は11又は13でかつ、 (No.84)代諾者コード1＝0であり、 (No.82)届出人資格コード1かつ2に入力がある時、10かつ11、又は13でかつ、 (No.84)代諾者コード1＝0かつ(No.89)代諾者コード2＝0であること			※裁判による縁組の場合、養親が届出人となる
77	(No.78)縁組成立日≠スペースの時、(No.77)裁判確定日＝スペースかつ、 (No.79)縁組方式≠スペースでかつ、(No.82)届出人資格コード1≠03,78,93,109,110,112であること			
78	(No.80)同一戸籍縁組＝1の時で、 縁組形態区分＝1の場合、(No.24)養子の本・国籍＝(No.58)養父の本・国籍であること、又は 縁組形態区分＝2の場合、(No.24)養子の本・国籍＝(No.70)養母の本・国籍であること、又は 縁組形態区分＝3の場合、(No.24)養子の本・国籍＝(No.58)養父の本・国籍又は(No.70)養母の本・国籍であること、又は 縁組形態区分＝4の場合、(No.40)養女の本・国籍＝(No.58)養父の本・国籍であること、又は 縁組形態区分＝5の場合、(No.40)養女の本・国籍＝(No.70)養母の本・国籍であること、又は 縁組形態区分＝6の場合、(No.40)養女の本・国籍＝(No.58)養父の本・国籍又は(No.70)養母の本・国籍であること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	23/68

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(11／15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
79	(No.80)同一戸籍縁組＝1の場合、 縁組形態区分＝1～3の時、(No.32)養子の配偶者区分＝0でかつ、(No.31)養子の筆頭者区分＝0であること、あるいは 縁組形態区分＝4～6の時、(No.48)養女の配偶者区分＝0でかつ、(No.47)養女の筆頭者区分＝0であること、あるいは 縁組形態区分≠7～15であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
80	(No.80)同一戸籍縁組＝1の時、 縁組形態区分＝1又は4でかつ、(No.54)養父の配偶者区分＝0かつ、(No.53)養父の筆頭者区分＝0の場合、あるいは 縁組形態区分＝2又は5でかつ、(No.66)養母の配偶者区分＝0かつ、(No.65)養母の筆頭者区分＝0の場合、 (No.74)戸籍変動区分＝2であること 縁組形態区分＝1又は4でかつ、(No.54)養父の配偶者区分≠0又は、(No.53)養父の筆頭者区分＝1の場合、あるいは 縁組形態区分＝2又は5でかつ、(No.66)養母の配偶者区分≠0又は、(No.65)養母の筆頭者区分＝1の場合、あるいは 縁組形態区分＝3又は6の場合、 (No.74)戸籍変動区分＝4であること			
81	(No.81)後見人縁組区分＝1の時、 縁組形態区分＝1～3かつ、(No.19)養子の生年月日＋15年(15歳未満) ＞ 受領日の場合、あるいは、 縁組形態区分＝4～6かつ、(No.35)養女の生年月日＋15年(15歳未満) ＞ 受領日の場合、 (No.82)届出人資格コード1＝112:未成年後見監督人又は、78:特別代理人であること			民第851条4号 昭和23.12.22民事甲第3914号回答
82	(No.87)届出人資格コード2≠スペースの時、(No.82)届出人資格コード1≠スペースであること			
83	(No.82)届出人資格コード1＝1, 2, 10, 11, 16, 17の場合、 (No.82)届出人資格コード1≠(No.87)届出人資格コード2であること			
84	(No.82)届出人資格コード1＝78, 93, 110, 112の場合、 (No.84)代諾者コード1＝1でかつ、届出人氏名1≠スペースでかつ、 (No.87)届出人資格コード2～(No.91)届出人生年月日2に入力がないこと			未成年後見監督人複数人の届出は審査結果
85	(No.82)届出人資格コード1＝03, 109の場合、(No.84)代諾者コード1＝1でかつ、 (No.83)届出人氏名1≠スペースであること			※資格人ｺｰﾄﾞ03で2人いる場合、氏名が同一の時には審査でﾒｯｾｰｼﾞを出力する
85-1	(No.87)届出人資格コード2＝03, 109の場合、(No.89)代諾者コード2＝1でかつ、 (No.88)届出人氏名2≠スペースであること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	24/68

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(12／15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
86	(No.82)届出人資格コード1＝1，2，16又は17の場合、 (No.83)届出人氏名1≠スペースでかつ、 (No.84)代諾者コード1＝1であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		※届出人が 外国人父母の場合 届出人氏名≠ｽﾍﾟｰｽ 日本人父母の場合も 届出人氏名≠ｽﾍﾟｰｽとする。(16版対応)
86-1	(No.87)届出人資格コード2＝1，2，16又は17の場合、 (No.88)届出人氏名2≠スペースでかつ、 (No.89)代諾者コード2＝1であること			
87				15版で審査に 移行
88				15版で審査に 移行

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	25/68

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(13／15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
89	(No.82)届出人資格コード1＝1又は16の時、 縁組形態区分＝1～3かつ、(No.18)養子の本非区分＝1:本籍の場合、あるいは 縁組形態区分＝4～6かつ、(No.34)養女の本非区分＝1:本籍の場合 個人特定Fの養父氏名＝スペースであること (No.82)届出人資格コード1＝2又は17の時、 縁組形態区分＝1～3かつ、(No.18)養子の本非区分＝1:本籍の場合、あるいは 縁組形態区分＝4～6かつ、(No.34)養女の本非区分＝1:本籍の場合 個人特定Fの養母氏名＝スペースであること **※届出人2も1と同じ様にチェックする。**	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		※本籍人の場合のチェック
90	(No.82)届出人資格コード1＝10又は11でかつ、 (No.84)代諾者コード1＝1の場合、(No.83)届出人氏名1≠スペースであり、 (No.84)代諾者コード1＝0の場合、(No.83)届出人氏名1＝スペースでかつ、 (No.77)裁判確定日≠スペース又は、(No.79)縁組の方式≠スペースであること (No.87)届出人資格コード2＝10又は11でかつ、 (No.89)代諾者コード2＝1の場合、(No.88)届出人氏名2≠スペースであり、 (No.89)代諾者コード2＝0の場合、(No.88)届出人氏名2＝スペースでかつ、 (No.77)裁判確定日≠スペース又は、(No.79)縁組の方式≠スペースであること			※転縁組の場合前養親が届出人となり、届出人氏名に入力がなければならない ※養親が届出人(代諾者ではない)となるには、裁判か外国の方式による場合
91				15版で審査に移行

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	26/68

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(14／15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
91-1	(No.82)届出人資格コード1＝13の場合、(No.77)裁判確定日≠スペース かつ (No.84)代諾者コード1＝0かつ、(No.83)届出人氏名1＝スペースであること **※届出人2も1と同じ様にチェックする。**	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
91-2	(No.82)届出人資格コード1＝13の場合、 縁組形態区分＝1～6の時、届出人資格2＝スペースであり、 縁組形態区分＝7～15の時、届出人資格2＝13,スペースであること			
92	(No.85)届出人国籍1≠スペースの時、(No.85)届出人国籍1＝国籍であり、 (No.86)届出人生年月日1≠スペースであること			
93	(No.90)届出人国籍2≠スペースの時、(No.90)届出人国籍2＝国籍であり、 (No.91)届出人生年月日2≠スペースであること			
94	(No.86)届出人生年月日1≠スペースの時、 (No.85)届出人国籍1≠スペースかつ、(No.86)届出人生年月日1＝(西暦)であること (No.91)届出人生年月日2≠スペースの時、 (No.90)届出人国籍2≠スペースかつ、(No.91)届出人生年月日2＝(西暦)であること			
95	縁組形態区分＝1～3の場合、 (No.20)養子の婚姻区分＝1:婚姻中でかつ、(No.31)養子の筆頭者区分＝1:筆頭者でかつ、 (No.18)養子の本非区分＝2:非本籍の時、(No.92)配偶者外国人区分≠スペースであること 縁組形態区分＝4～6の場合、 (No.36)養女の婚姻区分＝1:婚姻中でかつ、(No.47)養女の筆頭者区分＝1:筆頭者でかつ、 (No.34)養女の本非区分＝2:非本籍の時、(No.92)配偶者外国人区分≠スペースであること			

30434

026

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	27／68

処理名	画面名	画面ＩＤ	
2.0関連チェック表(15／15)	養子縁組(縁組形態区分入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
96	縁組形態区分＝1～3の場合、 (No.20)養子の婚姻区分＝1:婚姻中でかつ、(No.31)養子の筆頭者区分＝1:筆頭者でかつ、 (No.18)養子の本非区分＝2:非本籍でかつ、(No.92)配偶者外国人区分＝0である時、 (No.100)配偶者続柄、(No.93)配偶者生年月日、(No.94)配偶者配偶者区分、 (No.95)配偶者カナ氏名、(No.96)配偶者漢字氏名に入力があること 縁組形態区分＝4～6の場合、 (No.36)養女の婚姻区分＝1:婚姻中でかつ、(No.47)養女の筆頭者区分＝1:筆頭者でかつ、 (No.34)養女の本非区分＝2:非本籍でかつ、(No.92)配偶者外国人区分＝0である時、 (No.100)配偶者続柄、(No.93)配偶者生年月日、(No.94)配偶者配偶者区分、 (No.95)配偶者カナ氏名、(No.96)配偶者漢字氏名に入力があること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
97	縁組形態区分＝1～3の場合、(No.94)配偶者配偶者区分＝2:妻の場合、 (No.100)配偶者続柄＝30:女～49:十九女であること			
97-1	(削除)			続柄更正申出対応 (8.3版)
98	縁組形態区分＝4～6の場合、(No.94)配偶者配偶者区分＝1:夫の場合、 (No.100)配偶者続柄＝10:男～29:十九男であること			
98-1	(削除)			続柄更正申出対応 (8.3版)
99	縁組形態区分＝7～15の場合、 (No.92)配偶者の外国人区分～(No.101)配偶者筆頭者区分は、未入力であること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	27-1／68

処理名	画面名	画面ID	
2. 0関連チェック表(15－1／15)	養子縁組(縁組形態区分入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
100	(No.17)養子の外国人区分＝0(日本人) かつ (No.31)養子の筆頭者区分＝0(構成員)の場合、 (No.23)養子の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.26)養子の筆頭者氏名の「氏」 であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
101	(No.33)養女の外国人区分＝0(日本人) かつ (No.47)養女の筆頭者区分＝0(構成員)の場合、 (No.39)養女の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.42)養女の筆頭者氏名の「氏」 であること			
102	(No.17)養子の外国人区分＝0(日本人) かつ (No.33)養女の外国人区分＝0(日本人)の場合、 (No.23)養子の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.39)養女の漢字氏名の「氏」 であること			
103	(No.92)配偶者外国人区分＝0(日本人) かつ (No.94)配偶者配偶者区分＝1(夫) かつ (No.33)養女の外国人区分＝0(日本人)の場合、 (No.39)養女の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.96)配偶者漢字氏名の「氏」 であること			
104	(No.92)配偶者外国人区分＝0(日本人) かつ (No.94)配偶者配偶者区分＝2(妻) かつ (No.17)養子の外国人区分＝0(日本人)の場合、 (No.23)養子の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.96)配偶者漢字氏名の「氏」 であること			
105	(No.50)養父の外国人区分＝0(日本人) かつ (No.53)養父の筆頭者区分＝0(構成員)の場合、 (No.57)養父の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.60)養父の筆頭者氏名の「氏」 であること			
106	(No.62)養母の外国人区分＝0(日本人) かつ (No.65)養母の筆頭者区分＝0(構成員)の場合、 (No.69)養母の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.72)養母の筆頭者氏名の「氏」 であること			
107	(No.50)養父の外国人区分＝0(日本人) かつ (No.62)養母の外国人区分＝0(日本人)の場合、 (No.57)養父の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.69)養母の漢字氏名の「氏」 であること			

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	28/68

処理名	3.0 養子国籍処理ルーチン (1／4)			根拠法令 (マニュアル処理)
(0-1)受領日＝送付日の場合、 確認メッセージ(YES, NO)「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」			(0-2) 本紙へ	
YES	(0-3) → (1) へ		／	
NO	(0-4) →			(0-5) 本紙へ
(1)裁判確定日≠スペースである(YES,NO)			／	
YES	(2)裁判確定日 ＜ 昭和25年7月1日である(YES,NO)		／	
	YES	(3) → (24)へ	／	
	NO	(4)裁判確定日 ＜ 昭和27年4月28日である(YES,NO)	／	
		YES (5) → (26)へ	／	
		NO (6) → (30)へ	／	
NO	(7)縁組成立日≠スペースである(YES,NO)		／	
	YES	(8)縁組成立日 ＜ 昭和25年7月1日である(YES,NO)	／	
		YES (9) → (24)へ	／	
		NO (10)縁組成立日 ＜ 昭和27年4月28日である(YES,NO)	／	
			YES (11) → (26)へ	／
			NO (12) → (30)へ	／
	NO	(13)送付日≠スペースである(YES,NO)	／	
		YES (14)送付日 ＜ 昭和25年7月1日である(YES,NO)	／	
			YES (15) → (24)へ	／
			NO (16)送付日 ＜ 昭和27年4月28日である(YES,NO)	／
				YES (17) → (26)へ ／
				NO (18) → (30)へ ／
		NO (19)受領日 ＜ 昭和25年7月1日である(YES,NO)	／	
			YES (20) → (24)へ	／
			NO (21)受領日 ＜ 昭和27年4月28日である(YES,NO)	／
				YES (22) → (26)へ ／
				NO (23) → (30)へ ／
(24)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			(25)本紙へ	

現行国籍法施行(昭和25年7月1日)以前の有効な身分行為に関しては、現行法では処理できない。
但し、現行法施行以降でも対日平和条約発効(昭和27年4月28日)以前で、平和条約を締結している国に関しても同様に現行法では処理できない。

30436

028

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	29/68

処理名	3.0 養子国籍処理ルーチン (2／4)			根拠法令 (マニュアル処理)
(26)確認メッセージ(YES,NO) 「平和条約発効に該当する国ですか。」を表示			(27)本紙へ	
YES	(28)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			
NO	(29) → (30)へ	／		
(30)養親かつ養子の生死区分が0:生存である(YES,NO)		／		
YES	(31) → (33-1)へ	／		
NO	(32)エラーメッセージ 「死亡者がいるので縁組はできません。」を表示		(33)本紙へ	
(33-1)縁組成立日≠スペースである(YES,NO)		／		戸41
YES	(33-2)確認メッセージ(YES,NO) 「外国の方式により縁組が成立した旨の証書又は証明書の添付がありますか」を表示		(33-3)本紙へ	
YES	(33-4)確認メッセージ(YES,NO) 「外国人のみからの証書提出ですか」を表示			
YES	(33-4-1)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			
NO	(33-4-2)縁組成立日＋3箇月 ＞ 受領日(YES,NO)	／		戸41,戸43,大4.1.14
YES	(33-4-3) → (34)へ	／		
NO	(33-4-4)確認メッセージ(YES,NO) 「届出期間を過ぎていますがよろしいですか」を表示		(33-4-5)本紙へ	戸規65
YES	(33-4-6) → (33-8)へ	／		
NO	(33-4-7) →		(33-4-8)本紙へ	不受理
NO	(33-5) →		(33-6)本紙へ	不受理
NO	(33-7) → (33-8)へ	／		
(33-8) 同一縁組区分＝0(その他) かつ 養子縁組区分＝1～6 である (YES,NO)		／		
YES	(33-9) 縁組形態区分＝1～3である (YES,NO)	／		
YES	(33-10) 養子は日本人である (YES,NO)	／		

30437
029

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	29-1/68

処理名						3.0 養子国籍処理ルーチン (2−1／4)		根拠法令 (マニュアル処理)
		YES			(33-11) (養子の本・国籍＝養父の本・国籍 かつ 養子の筆頭者氏名＝養父の筆頭者氏名) または (養子の本・国籍＝養母の本・国籍 かつ 養子の筆頭者氏名＝養母の筆頭者氏名) である(YES,NO)	／		
			YES		(33-12) 確認メッセージ(YES,NO) 「同一戸籍内縁組ではありませんね？」を表示		(33-13) 本紙へ	
				YES	(33-14) → (34)へ	／		
				NO	(33-15) →		(33-16) 本紙へ	
			NO		(33-17) → (34)へ	／		
		NO						
	NO				(33-18) 養女は日本人である(YES,NO)			
		YES			(33-19) (養女の本・国籍＝養父の本・国籍 かつ 養女の筆頭者氏名＝養父の筆頭者氏名) または (養女の本・国籍＝養母の本・国籍 かつ 養女の筆頭者氏名＝養母の筆頭者氏名) である(YES,NO)	／		
			YES		(33-20) 確認メッセージ(YES,NO) 「同一戸籍内縁組ではありませんね？」を表示		(33-21) 本紙へ	
				YES	(33-22) → (34)へ	／		
				NO	(33-23) →		(33-24) 本紙へ	
			NO		(33-25) → (34)へ	／		
		NO						
NO					(33-26) → (34)へ	／		
(34)養子に入力がある(YES,NO)						／		
YES					(35) → (37-1)へ	／		
NO					(36) →		(37)3.0.1養女国籍処理へ	
(37-1) 養子の本・国籍＝本籍(日本人)である(YES,NO)						／		
YES					(37-2) 養子の父氏名＝スペース 又は 養子の母氏名＝スペース (YES,NO)	／		
		YES			(37-3) 確認メッセージ (YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね？」		(37-4) 本紙へ	
			YES		(37-5) → (38)へ	／		
			NO		(37-6) →		(37-7) 本紙へ	不受理

30438

029−1

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	30/68

処理名				3.0 養子国籍処理ルーチン (3／4)			根拠法令 (マニュアル処理)
	NO		(37-8) 養子の父母との続柄＝10(男)である (YES,NO)		／		
		YES	(37-9) 確認メッセージ (YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が 男又は女ですが間違いはありませんね？」			(37-10) 本紙へ	
			YES	(37-11) → (38)へ	／		
			NO	(37-12) →		(37-13) 本紙へ	不受理
		NO		(37-14) → (38)へ	／		
NO				(37-15) → (38)へ	／		
(38)縁組形態区分＝1又は7又は9又は10である(YES,NO)					／		
YES				(39)養子は外国人である(YES,NO)	／		
	YES			(40)養父は外国人である(YES,NO)	／		
		YES		(41)養子要件具備へ [3.1]	／		
				(42)養子保護要件へ [3.2]	／		
				(43)縁組形態区分＝1である(YES,NO)	／		
			YES	(44) →		(45)本紙へ	
			No	(46) →		(47)3.0.1養女国籍処理へ	
		No		(48)養子保護要件へ [3.2]	／		
				(49) →		(50)3.3養子審査へ	
	No			(51)養父は外国人である(YES,NO)	／		
		YES		(52)養子要件具備へ [3.1]	／		
				(53) →		(54)3.3養子審査へ	
		No		(55) →		(56)3.3養子審査へ	
NO				(57)縁組形態区分＝2又は8又は11又は12である(YES,NO)	／		
	YES			(58)養子は外国人である(YES,NO)	／		
		YES		(59)養母は外国人である(YES,NO)	／		
			YES	(60)養子要件具備へ [3.1]	／		
				(61)養子保護要件へ [3.2]	／		
				(62)縁組形態区分＝2である(YES,NO)	／		
				YES (63) →		(64)本紙へ	
				NO (65) →		(66)3.0.1養女国籍処理へ	

30439

030

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	30-1/68

処理名	3.0 養子国籍処理ルーチン (4／4)	根拠法令 (マニュアル処理)

| | | |

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	31/68

処理名	3.0.1 養女国籍処理ルーチン (1／2)			根拠法令 (マニュアル処理)
(0-1)養女の本・国籍＝本籍(日本人)である (YES,NO)		／		
YES	(0-2)養女の父氏名＝スペース 又は 養女の母氏名＝スペース (YES,NO)	／		
YES	(0-3)確認メッセージ (YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね？」		(0-4) 本紙へ	
YES	(0-5) → (1)へ	／		
NO	(0-6) →		(0-7) 本紙へ	不受理
NO	(0-8)養女の父母との続柄＝30(女)である (YES,NO)	／		
YES	(0-9)確認メッセージ (YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が 男又は女ですが間違いはありませんね？」		(0-10) 本紙へ	
YES	(0-11) → (1)へ	／		
NO	(0-12) →		(0-13) 本紙へ	不受理
NO	(0-14) → (1)へ	／		
NO	(0-15) → (1)へ	／		
(1)縁組形態区分＝4又は7又は11又は13である(YES,NO)		／		
YES	(2)養女は外国人である(YES,NO)	／		
YES	(3)養父は外国人である(YES,NO)	／		
YES	(4)養女要件具備へ [3.1.1]	／		
YES	(5)養女保護要件へ [3.2.1]	／		
YES	(6) →		(7)本紙へ	
No	(8)養女保護要件へ [3.2.1]	／		
No	(9) →		(10)3.3.1養女審査へ	
No	(11)養父は外国人である(YES,NO)	／		
YES	(12)養女要件具備へ [3.1.1]	／		
YES	(13) →		(14)3.3.1養女審査へ	
No	(15) →		(16)3.3.1養女審査へ	
No	(17)縁組形態区分＝5又は8又は9又は14である(YES,NO)	／		
YES	(18)養女は外国人である(YES,NO)	／		
YES	(19)養母は外国人である(YES,NO)	／		

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	32/68

処理名	3.0.1 養女国籍処理ルーチン (2／2)	根拠法令 (マニュアル処理)

			YES	(20)養女要件具備へ	[3.1.1]	／		
				(21)養女保護要件へ	[3.2.1]	／		
				(22) →			(23)本紙へ	
			No	(24)養女保護要件へ	[3.2.1]	／		
				(25) →			(26)3.3.1養女審査へ	
		No	(27)養母は外国人である(YES,NO)			／		
			YES	(28)養女要件具備へ	[3.1.1]	／		
				(29) →			(30)3.3.1養女審査へ	
			No	(31) →			(32)3.3.1養女審査へ	
	No	(33)縁組形態区分＝6又は10又は12又は15である(YES,NO)				／		
		YES	(34) → (37)へ			／		
		No	(35) →				(36)本紙へ	
		(37)養女は外国人である(YES,NO)				／		
		YES	(38)養父は外国人である(YES,NO)			／		
			YES	(39)養女要件具備へ	[3.1.1]	／		
				(40)養女保護要件へ	[3.2.1]	／		
				(41)養母は外国人である(YES,NO)		／		
				YES	(42) →			(43)本紙へ
				No	(44) →			(45)3.3.1養女審査へ
			No	(46)養母は外国人である(YES,NO)		／		
				YES	(47)養女要件具備へ	[3.1.1]	／	
					(48)養女保護要件へ	[3.2.1]	／	
					(49) →			(50)3.3.1養女審査へ
				No	(51)養女保護要件へ	[3.2.1]	／	
					(52) →			(53)3.3.1養女審査へ
		No	(54)養父又は養母は外国人である(YES,NO)			／		
			YES	(55)養女要件具備へ	[3.1.1]	／		
				(56) →			(57)3.3.1養女審査へ	
			No	(58) →			(59)3.3.1養女審査へ	

30442

032

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	33/68

処理名	3.1 養子要件具備証明書ルーチン (1／1)		根拠法令 (マニュアル処理)
(1)養父と養母に入力があり(縁組形態区分＝3,13～15)、かつ養父と養母は外国人である(YES,NO)		／	
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「養父及び養母の要件具備証明書等がありますか。」を表示		(3)本紙へ
YES	(4)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の要件は養父及び養母の本国法によります。 要件審査は済みましたか。」を表示		
YES	(5) →		(6)3.0養子国籍処理へ
NO	(7) →		(8)本紙へ
NO			
NO	(9)養父に入力があり(縁組形態区分＝1,3,7,9,10,13～15)、かつ外国人である(YES,NO)	／	
YES	(10)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の要件具備証明書等がありますか。」を表示		(11)本紙へ
YES	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の要件は養父の本国法によります。 要件審査は済みましたか。」を表示		
YES	(13) →		(14)3.0養子国籍処理へ
NO	(15) →		(16)本紙へ
NO			
NO	(17) → (18)へ	／	
(18)養母に入力があり(縁組形態区分＝2,3,8,11～15)、かつ外国人である(YES,NO)		／	
YES	(19)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の要件具備証明書等がありますか。」を表示		(20)本紙へ
YES	(21)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の要件は養母の本国法によります。 要件審査は済みましたか。」を表示		
YES	(22) →		(23)3.0養子国籍処理へ
NO	(24) →		(25)本紙へ
NO			
NO	(26) →		(27)3.0養子国籍処理へ

30443
033

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	34/68

処理名	3.1.1 養女要件具備証明書ルーチン (1／1)		根拠法令 (マニュアル処理)
(1)養父と養母に入力があり(縁組形態区分＝6)、かつ養父と養母は外国人である(YES,NO)	／		
YES (2)確認メッセージ(YES,NO)「養父及び養母の要件具備証明書等がありますか。」を表示		(3)本紙へ	
YES (4)確認メッセージ(YES,NO)「縁組の要件は養父及び養母の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示			
YES (5) →		(6)3.0.1養女国籍処理へ	
NO (7) →		(8)本紙へ	不受理
NO			
NO (9)養父に入力があり(縁組形態区分＝4, 6, 11, 12)、かつ外国人である(YES,NO)	／		
YES (10)確認メッセージ(YES,NO)「養父の要件具備証明書等がありますか。」を表示		(11)本紙へ	
YES (12)確認メッセージ(YES,NO)「縁組の要件は養父の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示			
YES (13) →		(14)3.0.1養女国籍処理へ	
NO (15) →		(16)本紙へ	不受理
NO			
NO (17) → (18)へ	／		
(18)養母に入力があり(縁組形態区分＝5, 6, 9, 10)、かつ外国人である(YES,NO)	／		
YES (19)確認メッセージ(YES,NO)「養母の要件具備証明書等がありますか。」を表示		(20)本紙へ	
YES (21)確認メッセージ(YES,NO)「縁組の要件は養母の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示			
YES (22) →		(23)3.0.1養女国籍処理へ	
NO (24) →		(25)本紙へ	不受理
NO			
NO (26) →		(27)3.0.1養女国籍処理へ	

30444

034

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	35/68

処理名	3.2 養子保護要件ルーチン (1／1)		根拠法令 (マニュアル処理)
(1)確認メッセージ(YES,NO) 「養子が本国法上の保護要件等を備えている旨の書面がありますか。」を表示		(2)本紙へ	法例20 I
YES	(3) → (9)へ	／	
NO	(4)確認メッセージ(YES,NO) 「養子の本国法に養子制度がありませんか。」を表示		(5)本紙へ
YES	(6) → (9)へ	／	
NO	(7) →		(8)本紙へ 不受理
(9)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の保護要件等は養子の本国法によります。 保護要件等は審査済みですか。」を表示			
YES	(10) →		(11)3.0養子国籍処理へ
NO	(12) →		(13)本紙へ 不受理

30445

035

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	36/68

処理名	3. 2. 1 養女保護要件ルーチン (1／1)		根拠法令 (マニュアル処理)
(1)確認メッセージ(YES,NO) 「養女が本国法上の保護要件等を備えている旨の書面がありますか。」を表示		(2)本紙へ	法例20 I
YES	(3) → (9)へ	／	
NO	(4)確認メッセージ(YES,NO) 「養女の本国法に養子制度がありませんか。」を表示		(5)本紙へ
YES	(6) → (9)へ	／	
NO	(7) →		(8)本紙へ 不受理
(9)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の保護要件等は養女の本国法によります。 保護要件等は審査済みですか。」を表示			
YES	(10) →		(11)3.0.1養女国籍処理へ
NO	(12) →		(13)本紙へ 不受理

30446

036

第 2	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
3 (3)		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	37/68

処理名	3.3 養子審査ルーチン (1／1)		根拠法令 (マニュアル処理)

(1) 縁組形態区分＝1又は2である(養親1人との縁組)			／		平成19年3月1日 成年後見法対応で、削除した(1)～(9)を 第11版対応で(1)～(9)の数字を再利用。	
YES	(2) 縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 裁判確定日 または 縁組成立日＝スペース かつ 裁判確定日＝スペースの場合、 養子の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 受領日(YES,NO)		／			
	YES	(3) 同一戸籍内縁組である(YES,NO)	／			
		YES	(4) 養子は本籍人である(YES,NO)	／		
			YES	(5) 確認メッセージ(YES,NO) 「養子に単独親権の記録がありますか？」を表示	(6)本紙へ	
				YES (7)メッセージ 「養子に共同親権の記録をして下さい。」を表示	(8)本紙へ	
				NO (9) → (10)へ		
			NO			
		NO				
	NO			／		
NO						
(10) 養子は婚姻している(YES,NO)			／			
YES	(10-1) 配偶者外国人区分＝0:日本人(YES,NO)		／			
	YES	(10-2) 配偶者父氏名＝スペース 又は 配偶者母氏名＝スペース(YES,NO)	／			
		YES	(10-3) 確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね？」	(10-4) 本紙へ		
			YES (10-5) → (11)へ	／		
			NO (10-6) →		(10-7) 本紙へ	不受理
		NO	(10-8) 配偶者父母との続柄＝30(女)である(YES,NO)	／		
			YES (10-89 確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が 男又は女ですが間違いはありませんね？」	(10-10) 本紙へ		
			YES (10-11) → (11)へ	／		
			NO (10-12) →		(10-13) 本紙へ	不受理
			NO (10-14) → (11)へ	／		

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	37-1/68

処理名		3.3 養子審査ルーチン (1－1／1)			根拠法令 (マニュアル処理)
	NO	(10-15) → (11)へ	／		
		(11) 縁組形態区分＝13でかつ、養子と養母は外国人である または 縁組形態区分＝14でかつ、養子と養父は外国人である(YES,NO)	／		縁組形態区分＝14の審査漏れ対応(22版)
	YES	(12)養子養親判定へ [3.4]	／		
	NO	(13)養子同意書審査へ [3.5]	／		
		(14)養子養親判定へ [3.4]	／		
		(15)養女に入力があるか(YES,NO)	／		
	YES	(16) →		(17)3.0.1養女国籍処理へ	
	NO	(18) →		(19)3.6養子届出人審査へ	
NO		(20)養子養親判定へ [3.4]	／		
		(21) →		(22)3.6養子届出人審査へ	

30448

037－1

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	38/68

処理名	3. 3. 1 養女審査ルーチン (1／1)			根拠法令 (マニュアル処理)
(1) 縁組形態区分＝4又は5である(養親1人との縁組)		／		平成19年3月1日 成年後見法対応で、削除した(1)～(9)を 第11版対応で(1)～(9)の数字を再利用。
YES	(2) 縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 裁判確定日 または 縁組成立日＝スペース かつ 裁判確定日＝スペースの場合、 養女の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 受領日(YES,NO)	／		
YES	(3) 同一戸籍内縁組である(YES,NO)	／		
YES	(4) 養女は本籍人である(YES,NO)	／		
YES	(5) 確認メッセージ(YES,NO) 「養子に単独親権の記録がありますか？」を表示		(6)本紙へ	
YES	(7)メッセージ 「養子に共同親権の記録をして下さい。」を表示		(8)本紙へ	
NO	(9) → (10)へ			
NO				
NO				
NO		／		
(10) 養女は婚姻している(YES,NO)		／		
YES	(10-1) 配偶者外国人区分＝0:日本人(YES,NO)	／		
YES	(10-2) 配偶者父氏名＝スペース 又は 配偶者母氏名＝スペース(YES,NO)	／		
YES	(10-3) 確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね？」		(10-4) 本紙へ	
YES	(10-5) → (11)へ	／		
NO	(10-6) →		(10-7) 本紙へ	不受理
NO	(10-8) 配偶者父母との続柄＝10(男)である(YES,NO)	／		
YES	(10-9) 確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が 男又は女ですが間違いはありませんね？」		(10-10) 本紙へ	
YES	(10-11) → (11)へ	／		
NO	(10-12) →		(10-13) 本紙へ	不受理
NO	(10-14) → (11)へ	／		

30449

038

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	38-1/68

処理名		3.3.1 養女審査ルーチン (1−1／1)			根拠法令 (マニュアル処理)
	NO	(10-15) → (11)へ	／		
	(11) 縁組形態区分＝10でかつ、養女と養母は外国人である または 縁組形態区分＝12でかつ、養女と養父は外国人である(YES,NO)		／		(13)の審査を(11)と統合 ※(11)～(14)を養子審査ルーチンと同じに修正する
	YES	(12)養女養親判定へ [3.4.1]	／		
	NO	(13)	／		養子の審査と同様、(11)で一緒に審査する
		(14)	／		(13)の変更に伴い削除
		(15)養女同意書審査へ [3.5.1]	／		
		(16)養女養親判定へ [3.4.1]	／		
		(17) →		(18)3.6.1養女届出人審査へ	
NO	(19)養女養親判定へ [3.4.1]		／		
	(20) →			(21)3.6.1養女届出人審査へ	

30450

038−1

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	39/68

処理名	3.4 養子養親判定ルーチン (1／8)			根拠法令 (マニュアル処理)
(1)～(18)		／		(1)～(18)までを削除
(19)縁組形態区分＝1, 7, 9, 10である(YES,NO)		／		
YES	(20) → (22)へ	／		
NO	(21) → (111)へ	／		
(22)養父は日本人である(YES,NO)		／		
YES	(23)養父は婚姻している(YES,NO)	／		
YES	(24)養子は婚姻している(YES,NO)	／		
YES	(25) → (101)へ	／		
NO	(26)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 裁判確定日 または 縁組成立日＝スペース かつ 裁判確定日＝スペースの場合、 養子の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 受領日(YES,NO)	／		
YES	(27)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示		(28)本紙へ	昭和23.2.20民事甲第87号回答
YES	(29) → (31)へ	／		
NO	(30) → (101)へ	／		
NO				
(31)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示			(32)本紙へ	民第795条
YES	(33) → (101)へ	／		
NO	(34)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が縁組できない正当な理由が 記載されていますか。」を表示		(35)本紙へ	民第795条
YES	(36)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本が ありますか。」を表示			民第798条
YES	(37) → (101)へ	／		
NO	(38)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養父の配偶者の 直系卑属ですか。」を表示		(39)本紙へ	

30451
039

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	40/68

処理名	3.4 養子養親判定ルーチン (2／8)			根拠法令 (マニュアル処理)
	YES (40) → (101)へ	／		
	NO (41) →		(42)本紙へ	不受理
	NO (43) →		(44)本紙へ	不受理
NO	(45)縁組成立日≠スペースの場合、養父の生年月日＋20年(20歳以上) ≦ 縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養父の生年月日＋20年(20歳以上) ≦ 裁判確定日 または 縁組成立日＝スペース かつ 裁判確定日＝スペースの場合、 養父の生年月日＋20年(20歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)	／		民第792条
	YES (46) → (84)へ	／		
	NO (47)縁組成立日≠スペースの場合、養父の生年月日＋18年(18歳以上) ≦ 縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養父の生年月日＋18年(18歳以上) ≦ 裁判確定日 または 縁組成立日＝スペース かつ 裁判確定日＝スペースの場合、 養父の生年月日＋18年(18歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)	／		
	YES (48)確認メッセージ(YES,NO) 「養父は婚姻したことがありますか。」を表示		(49)本紙へ	民第753条
	YES (50) → (84)へ	／		
	NO (51) →		(52)本紙へ	不受理
	NO (53)エラーメッセージ 「養父は成年者ではありません。」を表示		(54)本紙へ	不受理
NO	(55)縁組形態区分＝9，10である(YES,NO)	／		
	YES (56)養母は日本人である(YES,NO)	／		
	YES (57) → (101)へ	／		
	NO (58) → (59)へ	／		
	NO			
	(59)養父は婚姻している(YES,NO)	／		
	YES (60)養子は婚姻している(YES,NO)	／		
	YES (61) →		(62)3.3養子審査へ	
	NO (63)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 裁判確定日 または 縁組成立日＝スペース かつ 裁判確定日＝スペースの場合、 養子の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 受領日(YES,NO)	／		

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	41/68

処理名	3.4 養子養親判定ルーチン (3/8)					根拠法令 (マニュアル処理)
	YES	(64)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示			(65)本紙へ	昭和23.2.20民事甲第87号回答
		YES	(66) → (69)へ	／		
		NO	(67) →		(68)3.3養子審査へ	
	NO					
	(69)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示				(70)本紙へ	民第798条
	YES	(71) →			(72)3.3養子審査へ	
	NO	(73)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示			(74)本紙へ	
		YES	(75) →		(76)3.3養子審査へ	
		NO	(77)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか。」を表示		(78)本紙へ	
			YES	(79) →		(80)3.3養子審査へ	
			NO	(81) →		(82)本紙へ	不受理
	NO	(83) → (84)へ		／		
(84)養子は婚姻している(YES,NO)				／		
YES	(85) →				(86)3.3養子審査へ	
NO	(87)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 裁判確定日 または 縁組成立日＝スペース かつ 裁判確定日＝スペースの場合、 養子の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 受領日(YES,NO)			／		
	YES	(88)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示			(89)本紙へ	昭和23.2.20民事甲第87号回答
		YES	(90)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示			民第798条
			YES	(91) →		(92)3.3養子審査へ	
			NO	(93)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父の直系卑属ですか。」を表示		(94)本紙へ	

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	42/68

処理名	3.4 養子養親判定ルーチン (4／8)			根拠法令 (マニュアル処理)
		YES (95) →		(96)3.3養子審査へ
		NO (97) →		(98)本紙へ 不受理
	NO (99) →			(100)3.3養子審査へ
	NO			
(101)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者の同意書がありますか？又は養父の配偶者が縁組の代諾者ですか？」を表示				(102)本紙へ 民第796条
YES	(103) →			(104)3.3養子審査へ
NO	(105)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示			(106)本紙へ
	YES (107) →			(108)3.3養子審査へ
	NO (109) →			(110)本紙へ 不受理
(111)縁組形態区分＝2, 8, 11, 12である(YES,NO)			／	
YES	(112) → (114)へ		／	
NO	(113) → (203)へ		／	
(114)養母は日本人である(YES,NO)			／	
YES	(115)養母は婚姻している(YES,NO)		／	
	YES (116)養子は婚姻している(YES,NO)		／	
		YES (117) → (193)へ	／	
		NO (118)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 裁判確定日 または 縁組成立日＝スペース かつ 裁判確定日＝スペースの場合、 養子の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 受領日(YES,NO)	／	
		YES (119)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示		(120)本紙へ 昭和23.2.20民事甲第87号回答
		YES (121) → (123)へ	／	
		NO (122) → (193)へ	／	
		NO		
		(123)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母の配偶者の嫡出子ですか。」を表示		(124)本紙へ 民第795条
		YES (125) → (193)へ	／	

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	43/68

処理名	3.4 養子養親判定ルーチン (5／8)	根拠法令 (マニュアル処理)

| | | |

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	44/68

処理名	3.4 養子養親判定ルーチン (6／8)			根拠法令 (マニュアル処理)
	YES (149) → (193)へ	／		
	NO (150) → (151)へ	／		
NO		／		
(151)養母は婚姻している(YES,NO)		／		
YES	(152)養子は婚姻している(YES,NO)	／		
	YES (153) →		(154)3.3養子審査へ	
	NO (155) 縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 裁判確定日 または 縁組成立日＝スペース かつ 裁判確定日＝スペースの場合、 養子の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 受領日(YES,NO)	／		
	YES (156)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示		(157)本紙へ	昭和23.2.20民事甲第87号回答
	YES (158) → (161)へ	／		
	NO (159) →		(160)3.3養子審査へ	
	NO			
	(161)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示		(162)本紙へ	民第798条
	YES (163) →		(164)3.3養子審査へ	
	NO (165)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母の配偶者の嫡出子ですか。」 を表示		(166)本紙へ	
	YES (167) →		(168)3.3養子審査へ	
	NO (169)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母又は養母の配偶者の 直系卑属ですか。」を表示		(170)本紙へ	
	YES (171) →		(172)3.3養子審査へ	
	NO (173) →		(174)本紙へ	不受理
NO	(175) → (176)へ	／		
(176)養子は婚姻している(YES,NO)		／		
YES	(177) →		(178)3.3養子審査へ	

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	45/68

処理名	3.4 養子養親判定ルーチン (7／8)					根拠法令 (マニュアル処理)
NO	(179)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 裁判確定日 または 縁組成立日＝スペース かつ 裁判確定日＝スペースの場合、 養子の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 受領日(YES,NO)			／		
	YES	(180)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示			(181)本紙へ	昭和23.2.20民事甲第87号回答
		YES	(182)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示			民第798条
			YES	(183) →	(184)3.3養子審査へ	
			NO	(185)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母の直系卑属ですか。」を表示	(186)本紙へ	
				YES (187) →	(188)3.3養子審査へ	
				NO (189) →	(190)本紙へ	不受理
		NO	(191) →		(192)3.3養子審査へ	
	NO					
(193)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者の同意書がありますか？又は養母の配偶者が縁組の代諾者ですか？」					(194)本紙へ	民第796条
YES	(195) →				(196)3.3養子審査へ	
NO	(197)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示				(198)本紙へ	
	YES	(199) →			(200)3.3養子審査へ	
	NO	(201) →			(202)本紙へ	不受理
(203)縁組形態区分＝3である(YES,NO)				／		
YES	(204)養子は婚姻している(YES,NO)			／		
	YES	(205) →			(206)3.3養子審査へ	
	NO	(207)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日＋20年(20歳以上) ≦ 縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日＋20年(20歳以上) ≦ 裁判確定日 または 縁組成立日＝スペース かつ 裁判確定日＝スペースの場合、 養子の生年月日＋20年(20歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)		／		
		YES	(208) →		(209)3.3養子審査へ	

30457

0457

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	46/68

処理名	3.4 養子養親判定ルーチン (8／8)				根拠法令 (マニュアル処理)
	NO	(210)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示		(211)本紙へ	昭和23.2.20民事甲第87号回答
	YES	(212)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示			民第798条
		YES	(213) →	(214)3.3養子審査へ	
		NO	(215)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養母の直系卑属ですか。」を表示	(216)本紙へ	
			YES (217) →	(218)3.3養子審査へ	
			NO (219) →	(220)本紙へ	不受理
	NO	(221) →		(222)3.3養子審査へ	
NO					

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	47/68

処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン (1／8)			根拠法令 (マニュアル処理)
(1)～(26)		／		(1)～(26)までを削除
(27)縁組形態区分＝4, 7, 11, 13である(YES,NO)		／		
YES	(28) → (30)へ	／		
NO	(29) → (117)へ	／		
(30)養父は日本人である(YES,NO)		／		
YES	(31)養父は婚姻している(YES,NO)	／		
YES	(32)養女は婚姻している(YES,NO)	／		
YES	(33) → (107)へ	／		
NO	(34)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 裁判確定日 または 縁組成立日＝スペース かつ 裁判確定日＝スペースの場合、 養女の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 受領日(YES,NO)	／		
YES	(35)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示		(36)本紙へ	昭和23.2.20民事甲第87号回答
YES	(37) → (39)へ	／		
NO	(38) → (107)へ	／		
NO				
(39)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示			(40)本紙へ	民第795条
YES	(41) → (107)へ	／		
NO	(42)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が縁組できない正当な理由が 記載されていますか。」を表示		(43)本紙へ	民第795条
YES	(44)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本が ありますか。」を表示			民第798条
YES	(45) → (107)へ	／		
NO	(46)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父又は養父の配偶者の 直系卑属ですか。」を表示		(47)本紙へ	

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	48/68

処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン (2／8)						根拠法令 (マニュアル処理)
				YES	(48) → (107)へ	／	
				NO	(49) →	(50)本紙へ	不受理
			NO		(51) →	(52)本紙へ	不受理
	NO				(53)縁組成立日≠スペースの場合、養父の生年月日＋20年(20歳以上) ≦ 縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養父の生年月日＋20年(20歳以上) ≦ 裁判確定日 または 縁組成立日＝スペース かつ 裁判確定日＝スペースの場合、 養父の生年月日＋20年(20歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)	／	民第792条
		YES			(54) → (90)へ	／	
		NO			(55)縁組成立日≠スペースの場合、養父の生年月日＋18年(18歳以上) ≦ 縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養父の生年月日＋18年(18歳以上) ≦ 裁判確定日 または 縁組成立日＝スペース かつ 裁判確定日＝スペースの場合、 養父の生年月日＋18年(18歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)	／	
			YES		(56)確認メッセージ(YES,NO) 「養父は婚姻したことがありますか。」を表示		民第753条
				YES	(58) → (90)へ	／	
				NO	(59) →	(60)本紙へ	不受理
			NO		(61)エラーメッセージ 「養父は成年者ではありません。」を表示		不受理
NO					(62)縁組形態区分＝11でかつ、養母は日本人である(YES,NO)	／	
	YES				(63) → (107)へ	／	
	NO				(64) → (65)へ	／	
					(65)養父は婚姻している(YES,NO)	／	
	YES				(66)養女は婚姻している(YES,NO)	／	
		YES			(67) →	(68)3.3.1養女審査へ	
		NO			(69)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 裁判確定日 または 縁組成立日＝スペース かつ 裁判確定日＝スペースの場合、 養女の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 受領日(YES,NO)	／	
			YES		(70)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示	(71)本紙へ	昭和23.2.20民事甲第87号回答

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	49/68

処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン (3/8)		根拠法令 (マニュアル処理)
	YES (72) → (75)へ	／	
	NO (73) →		(74)3.3.1養女審査へ
	NO		
	(75)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示		(76)本紙へ 民第798条
	YES (77) →		(78)3.3.1養女審査へ
	NO (79)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示		(80)本紙へ
	YES (81) →		(82)3.3.1養女審査へ
	NO (83)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父又は養父の配偶者の 直系卑属ですか。」を表示		(84)本紙へ
	YES (85) →		(86)3.3.1養女審査へ
	NO (87) →		(88)本紙へ 不受理
NO	(89) → (90)へ	／	
(90)養女は婚姻している(YES,NO)		／	
YES	(91) →		(92)3.3.1養女審査へ
NO	(93)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 裁判確定日 または 縁組成立日＝スペース かつ 裁判確定日＝スペースの場合、 養女の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 受領日(YES,NO)	／	
	YES (94)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示		(95)本紙へ 昭和23.2.20民事甲第87号回答
	YES (96)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示		民第798条
	YES (97) →		(98)3.3.1養女審査へ
	NO (99)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父の直系卑属ですか。」を表示		(100)本紙へ
	YES (101) →		(102)3.3.1養女審査へ
	NO (103) →		(104)本紙へ 不受理

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	50/68

処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン (4／8)		根拠法令 (マニュアル処理)
	NO (105) →	(106)3.3.1養女審査へ	
	NO		
(107)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者の同意書がありますか？又は養父の配偶者が縁組の代諾者ですか？」を表示		(108)本紙へ	民第796条
YES	(109) →	(110)3.3.1養女審査へ	
NO	(111)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示	(112)本紙へ	
	YES (113) →	(114)3.3.1養女審査へ	
	NO (115) →	(116)本紙へ	不受理
(117)縁組形態区分＝5, 8, 9, 14である(YES,NO)	／		
YES	(118) → (120)へ ／		
NO	(119) → (207)へ ／		
(120)養母は日本人である(YES,NO)	／		
YES	(121)養母は婚姻している(YES,NO) ／		
YES	(122)養女は婚姻している(YES,NO) ／		
YES	(123) → (197)へ ／		
NO	(124)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 裁判確定日 または 縁組成立日＝スペース かつ 裁判確定日＝スペースの場合、 養女の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 受領日(YES,NO) ／		
	YES (125)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示	(126)本紙へ	昭和23.2.20民事甲第87号回答
	YES (127) → (129)へ ／		
	NO (128) → (197)へ ／		
	NO		
	(129)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母の配偶者の嫡出子ですか。」を表示	(130)本紙へ	民第795条
	YES (131) → (197)へ ／		

第２３（３）	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	51/68

処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン (5／8)	根拠法令（マニュアル処理）

| | | |

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	52/68

処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン (6／8)			根拠法令 (マニュアル処理)
NO	(154) → (155)へ	／		
(155)養母は婚姻している(YES,NO)		／		
YES	(156)養女は婚姻している(YES,NO)	／		
YES	(157) →		(158)3.3.1養女審査へ	
NO	(159)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 裁判確定日 または 縁組成立日＝スペース かつ 裁判確定日＝スペースの場合、 養女の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 受領日(YES,NO)	／		
YES	(160)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示		(161)本紙へ	昭和23.2.20民事甲第87号回答
YES	(162) → (165)へ	／		
NO	(163) →		(164)3.3.1養女審査へ	
NO				
	(165)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示		(166)本紙へ	民第798条
YES	(167) →		(168)3.3.1養女審査へ	
NO	(169)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母の配偶者の嫡出子ですか。」 を表示		(170)本紙へ	
YES	(171) →		(172)3.3.1養女審査へ	
NO	(173)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母又は養母の配偶者の 直系卑属ですか。」を表示		(174)本紙へ	
YES	(175) →		(176)3.3.1養女審査へ	
NO	(177) →		(178)本紙へ	不受理
NO	(179) → (180)へ	／		
(180)養女は婚姻している(YES,NO)		／		
YES	(181) →		(182)3.3.1養女審査へ	

30464
052

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	53/68

処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン (7／8)		根拠法令 (マニュアル処理)
NO	(183)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 裁判確定日 または 縁組成立日＝スペース かつ 裁判確定日＝スペースの場合、 養女の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 受領日(YES,NO)	／	
YES	(184)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示	(185)本紙へ	昭和23.2.20民事甲第87号回答
YES	(186)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示		民第798条
YES	(187) →	(188)3.3.1養女審査へ	
NO	(189)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母の直系卑属ですか。」を表示	(190)本紙へ	
YES	(191) →	(192)3.3.1養女審査へ	
NO	(193) →	(194)本紙へ	不受理
NO	(195) →	(196)3.3.1養女審査へ	
NO			
(197)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者の同意書がありますか？又は養母の配偶者が縁組の代諾者ですか？」		(198)本紙へ	民第796条
YES	(199) →	(200)3.3.1養女審査へ	
NO	(201)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示	(202)本紙へ	
YES	(203) →	(204)3.3.1養女審査へ	
NO	(205) →	(206)本紙へ	不受理
(207)縁組形態区分＝6である(YES,NO)		／	
YES	(208)養女は婚姻している(YES,NO)	／	
YES	(209) →	(210)3.3.1養女審査へ	
NO	(211)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日＋20年(20歳以上) ≦ 縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日＋20年(20歳以上) ≦ 裁判確定日 または 縁組成立日＝スペース かつ 裁判確定日＝スペースの場合、 養女の生年月日＋20年(20歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)	／	
YES	(212) →	(213)3.3.1養女審査へ	

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	54/68

処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン (8／8)				根拠法令 (マニュアル処理)
	NO	(214)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示		(215)本紙へ	昭和23.2.20民事甲第87号回答
	YES	(216)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示			民第798条
		YES	(217) →	(218)3.3.1養女審査へ	
		NO	(219)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父又は養母の直系卑属ですか。」を表示	(220)本紙へ	
			YES (221) →	(222)3.3.1養女審査へ	
			NO (223) →	(224)本紙へ	不受理
	NO	(225) →		(226)3.3.1養女審査へ	
NO					

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	55/68

処理名	3.5 養子同意書ルーチン (1/1)			根拠法令 (マニュアル処理)
(1)縁組形態区分＝1～3, 9, 11, 13, 14である(YES,NO)		／		
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「養子の配偶者の同意書がありますか。」を表示		(3)本紙へ	民第796条
	YES (4) →		(5)3.3養子審査へ	
	NO (6)確認メッセージ(YES,NO) 「養子の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示		(7)本紙へ	
	YES (8) →		(9)3.3養子審査へ	
	NO (10) →		(11)本紙へ	不受理
NO	(12) →		(13)3.3養子審査へ	

30467

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	56/68

処理名	3. 5. 1 養女同意書ルーチン (1／1)			根拠法令 (マニュアル処理)
(1)縁組形態区分＝4～6, 9～12である(YES,NO)		／		
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「養女の配偶者の同意書がありますか。」を表示		(3)本紙へ	民第796条
	YES (4) →		(5)3.3.1養女審査へ	
	NO (6)確認メッセージ(YES,NO) 「養女の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示		(7)本紙へ	
	YES (8) →		(9)3.3.1養女審査へ	
	NO (10) →		(11)本紙へ	不受理
NO	(12) →		(13)3.3.1養女審査へ	

30468
059

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	57/68

30469

処理名	3.6 養子届出人ルーチン (1／2)			根拠法令 (マニュアル処理)
(1)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日＋15年(15歳未満) ＞ 縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日＋15年(15歳未満) ＞ 裁判確定日 または 縁組成立日＝スペース かつ 裁判確定日＝スペースの場合、養子の生年月日＋15年(15歳未満) ＞ 受領日(YES,NO)		／		
YES	(1-1)裁判確定日=ｽﾍﾟｰｽ、かつ縁組成立日=ｽﾍﾟｰｽである(YES,NO)	／		
YES	(1-2) → (2)へ	／		
NO	(1-3) → (26-1)へ	／		
	(2)後見人縁組区分＝1である(YES,NO)	／		
YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人・未成年被後見人の縁組なので、家庭裁判所の許可書の添付がありますか。」を表示		(4)本紙へ	民第794条
YES	(5) → (20)へ	／		
NO	(6) →		(7)本紙へ	不受理
NO	(8) → (9)へ	／		
	(9)縁組形態区分＝1 かつ 養子の父氏名の名＝養父の名 または 縁組形態区分＝2 かつ 養子の母氏名の名＝養母の名 である(YES,NO)	／		【22版の修正】 養子の父の名と養父の名が同じ または 養子の母の名と養母の名が同じ場合、 (9-1)の届出人が特別代理人かどうかの 審査を行う。 養子の父の名と養父の名が異なるが 養父が本籍人である または 養子の母の名と養母の名が異なるが 養母が本籍人である場合、 身分事項に名の変更、文字訂正、 文字更正があれば(9-1)の届出人が特別
YES	(9-0-1) → (9-1)へ	／		
NO	(9-0-2)縁組形態区分＝1 かつ 養父が本籍人である または 縁組形態区分＝2 かつ 養母が本籍人である(YES,NO)	／		
YES	(9-0-3)養父または養母の身分事項に、名の変更(3201) または 文字訂正(5011) または 文字更正(7011)がある。(YES,NO)	／		
YES	(9-0-4) → (9-1)へ	／		
NO	(9-0-5) → (9-8)へ	／		
NO				
	(9-1)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養母の非嫡出子で、養父又は養母が親権者ですか。」を表示		(9-2)本紙へ	昭和23.11.30民事甲第3186号回答
YES	(9-3)届出人資格1＝78:特別代理人である(YES,NO)	／		
YES	(9-4) → (36)へ	／		
NO	(9-5)エラーメッセージ 「嫡出子でない子を実父母が養子とする時は、特別代理人の代諾が必要です。」を表示		(9-6)本紙へ	不受理
NO	(9-7) → (9-8)へ	／		
	(9-8)届出人に入力があり、かつ特別代理人以外である(YES,NO)	／		民第797条

057

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	58/68

処理名					3.6 養子届出人ルーチン (2／2)		根拠法令 (マニュアル処理)
	YES				(10) → (13)へ	／	
	NO				(11)確認メッセージ(YES,NO) 「特別代理人が届出人になれるケースですか」を表示	(11-1)本紙へ	
		YES			(11-2) → (36)へ	／	
		NO			(11-3) →	(12)本紙へ	不受理
					(13)届出人資格コード1かつ2が03で、届出人氏名1＝届出人氏名2である(YES,NO)	／	
	YES				(14)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人(母の親権者)2人の氏名が同一ですが、よろしいですか。」を表示	(15)本紙へ	
		YES			(16) → (20)へ	／	
		NO			(17) →	(18)本紙へ	不受理
	NO				(19) → (20)へ	／	
					(20)届出人は児童福祉施設の長である(YES,NO)	／	昭和26.11.5民事甲第2102号通達
	YES				(21)確認メッセージ(YES,NO) 「都道府県知事の許可書が添付されていますか。」を表示	(22)本紙へ	児童福祉法第47条 昭和26.11.5民事甲第2102号通達
		YES			(23) → (27)へ	／	
		NO			(24) →	(25)本紙へ	不受理
	NO				(26) → (26-1)へ	／	
					(26-1)届出人資格1＝1又は16又である(YES,NO)	／	
	YES				(26-2)養子の父氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)	／	
		YES			(26-3)確認メッセージ 「届出人(父)氏名と養子の父の氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示	(26-4)本紙へ	
			YES		(26-5) → (26-9)へ	／	
			NO		(26-6) →	(26-7)本紙へ	不受理
		NO			(26-8) → (26-9)へ	／	
	NO						
					(26-9)届出人資格2＝1又は16又である(YES,NO)	／	
	YES				(26-10)養子の父氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)	／	
		YES			(26-11)確認メッセージ 「届出人(父)氏名と養子の父の氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示	(26-12)本紙へ	

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	58-1/68

処理名	3.6 養子届出人ルーチン (2－1／2)			根拠法令 (マニュアル処理)
	YES (26-13) → (26-17)へ	／		
	NO (26-14) →		(26-15)本紙へ	不受理
	NO (26-16) → (26-17)へ	／		
NO				
(26-17)届出人資格1＝2又は17又である(YES,NO)		／		
YES	(26-18)養子の母氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)	／		
	YES (26-19)確認メッセージ 「届出人(母)氏名と養子の母の氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示		(26-20)本紙へ	
	YES (26-21) → (26-25)へ	／		
	NO (26-22) →		(26-23)本紙へ	不受理
	NO (26-24) → (26-25)へ	／		
NO				
(26-25)届出人資格2＝2又は17又である(YES,NO)		／		
YES	(26-26)養子の母氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)	／		
	YES (26-27)確認メッセージ 「届出人(母)氏名と養子の母の氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示		(26-28)本紙へ	
	YES (26-29) → (26-33)へ	／		
	NO (26-30) →		(26-31)本紙へ	不受理
	NO (26-32) → (26-33)へ	／		
NO				
(26-33)養子は本籍人でかつ届出人資格1＝10かつ、代諾者コード1＝1である(YES,NO)		／		
YES	(26-34)個人特定Fの養父氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)	／		
	YES (26-35)確認メッセージ 「届出人(養父)氏名と養子の戸籍の養父氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示		(26-36)本紙へ	
	YES (26-37) → (26-41)へ	／		
	NO (26-38) →		(26-39)本紙へ	不受理
	NO (26-40) → (26-41)へ	／		
NO				

30471

058－1

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	58-2/68

処理名	3.6 養子届出人ルーチン (2−2／2)		根拠法令 (マニュアル処理)
	(26-41)養子は本籍人でかつ届出人資格2＝10かつ、代諾者コード2＝1である(YES,NO)	／	
YES	(26-42)個人特定Fの養父氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)	／	
YES	(26-43)確認メッセージ 「届出人(養父)氏名と養子の戸籍の養父氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示		(26-44)本紙へ
YES	(26-45) → (26-49)へ	／	
NO	(26-46) →		(26-47)本紙へ 不受理
NO	(26-48) → (26-49)へ	／	
NO			
	(26-49)養子は本籍人でかつ届出人資格1＝11かつ、代諾者コード1＝1である(YES,NO)	／	
YES	(26-50)個人特定Fの養母氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)	／	
YES	(26-51)確認メッセージ 「届出人(養母)氏名と養子の戸籍の養母氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示		(26-52)本紙へ
YES	(26-53) → (26-57)へ	／	
NO	(26-54) →		(26-55)本紙へ 不受理
NO	(26-56) → (26-57)へ	／	
NO			
	(26-57)養子は本籍人でかつ届出人資格2＝11かつ、代諾者コード2＝1である(YES,NO)	／	
YES	(26-58)個人特定Fの養母氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)	／	
YES	(26-59)確認メッセージ 「届出人(養母)氏名と養子の戸籍の養母氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示		(26-60)本紙へ
YES	(26-61) → (27)へ	／	
NO	(26-62) →		(26-63)本紙へ 不受理
NO	(26-64) → (27)へ	／	
NO			
	(27)養子は非本籍人でかつ、 届出人資格1＝10又は11かつ、代諾者コード1＝1であるか、又は 届出人資格2＝10又は11かつ、代諾者コード2＝1である(YES,NO)	／	

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	58-3/68

処理名						3.6 養子届出人ルーチン (2−3／2)		根拠法令 (マニュアル処理)
	YES	(28)養父氏名に入力がある場合、届出人資格が10の届出人氏名と異なり、養母氏名に入力がある場合、届出人資格が11の届出人氏名と異なる(YES,NO)				／		
		YES	(29) → (36)へ			／		
		NO	(30)確認メッセージ(YES,NO) 「前養親氏名と養親氏名が同一ですが、よろしいですか。」を表示				(31)本紙へ	
			YES	(32) → (36)へ		／		
			NO	(33) →			(34)本紙へ	不受理
	NO	(35) → (36)へ				／		
	(36)養子を監護する者がいる(YES,NO)					／		
	YES	(37)確認メッセージ(YES,NO) 「監護者は養子の父又は母ですか。」を表示					(38)本紙へ	
		YES	(39)確認メッセージ(YES,NO) 「監護者の同意書が添付されていますか。」を表示					民第797条2項
			YES	(40) →			(41)3.3養子審査へ	
			NO	(42) →			(43)本紙へ	不受理
		NO	(44) →				(45)3.3養子審査へ	
	NO							
NO	(46)後見人縁組区分=1、かつ裁判確定日=ｽﾍﾟｰｽ、かつ縁組成立日=ｽﾍﾟｰｽである(YES,NO)					／		
	YES	(47) → (53)へ				／		
	NO	(47-1)裁判確定日≠スペース又は、縁組成立日≠スペースである				／		
		YES	(47-2) →				(47-3)3.3養子審査へ	
		NO	(48)届出人資格＝スペースである(YES,NO)			／		
			YES	(49) →			(50)3.3養子審査へ	
			NO	(51)エラーメッセージ 「届出人は本人でなければなりません。」を表示			(52)本紙へ	
	(53)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は未成年後見を受けていますね。」を表示							
	YES	(54)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人・未成年被後見人の縁組なので、家庭裁判所の許可書の添付がありますか。」を表示						民第794条
		YES	(55) →				(56)3.3養子審査へ	
		NO	(57) →				(58)本紙へ	不受理
	NO	(59)エラーメッセージ 「未成年後見人・未成年被後見人の縁組はできません。」を表示						不受理

30471-3

058−3

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	59/68

処理名	3.6.1 養女届出人ルーチン (1／2)			根拠法令 (マニュアル処理)
(1)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日＋15年(15歳未満) ＞ 縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日＋15年(15歳未満) ＞ 裁判確定日 または 縁組成立日＝スペース かつ 裁判確定日＝スペースの場合、養女の生年月日＋15年(15歳未満) ＞ 受領日(YES,NO)		／		
YES	(1-1)裁判確定日=ｽﾍﾟｰｽ、かつ縁組成立日=ｽﾍﾟｰｽである(YES,NO)	／		
YES	(1-2) → (2)へ	／		
NO	(1-3) → (26-1)へ	／		
	(2)後見人縁組区分＝1である(YES,NO)	／		
YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人・未成年被後見人の縁組なので、家庭裁判所の許可書の添付がありますか。」を表示		(4)本紙へ	民第794条
YES	(5) → (20)へ	／		
NO	(6) →		(7)本紙へ	不受理
NO	(8) → (9)へ	／		
	(9)縁組形態区分＝4 かつ 養子の父氏名の名＝養父の名 または 縁組形態区分＝5 かつ 養子の母氏名の名＝養母の名 である(YES,NO)	／		【22版の修正】 養女の父の名と養父の名が同じ または 養女の母の名と養母の名が同じ場合、 (9-1)の届出人が特別代理人かどうかの 審査を行う。 養女の父の名と養父の名が異なるが 養父が本籍人である または 養女の母の名と養母の名が異なるが 養母が本籍人である場合、 身分事項に名の変更、文字訂正、 文字更正があれば(9-1)の届出人が特別
YES	(9-0-1) → (9-1)へ	／		
NO	(9-0-2)縁組形態区分＝4 かつ 養父が本籍人である または 縁組形態区分＝5 かつ 養母が本籍人である(YES,NO)	／		
YES	(9-0-3)養父または養母の身分事項に、名の変更(3201) または 文字訂正(5011) または 文字更正(7011)がある。(YES,NO)	／		
YES	(9-0-4) → (9-1)へ	／		
NO	(9-0-5) → (9-8)へ	／		
NO				
	(9-1)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養母の非嫡出子で、養父又は養母が親権者ですか。」を表示		(9-2)本紙へ	昭和23.11.30民事甲第3186号回答
YES	(9-3)届出人資格1＝78:特別代理人である(YES,NO)	／		
YES	(9-4) → (36)へ	／		
NO	(9-5)エラーメッセージ 「嫡出子でない子を実父母が養子とする時は、 特別代理人の代諾が必要です。」を表示		(9-6)本紙へ	不受理
NO	(9-7) → (9-8)へ	／		
	(9-8)届出人に入力があり、かつ特別代理人以外である(YES,NO)	／		民第797条

30472

059

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	60/68

処理名					3.6.1 養女届出人ルーチン (2／2)			根拠法令 (マニュアル処理)
YES					(10) → (13)へ	／		
NO					(11)確認メッセージ(YES,NO) 「特別代理人が届出人になれるケースですか」を表示		(11-1)本紙へ	
	YES				(11-2) → (36)へ	／		
	NO				(11-3) →		(12)本紙へ	不受理
(13)届出人資格コード1かつ2が03で、届出人氏名1＝届出人氏名2である(YES,NO)						／		
YES					(14)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人(母の親権者)2人の氏名が同一ですが、よろしいですか。」を表示		(15)本紙へ	
	YES				(16) → (20)へ	／		
	NO				(17) →		(18)本紙へ	不受理
NO					(19) → (20)へ	／		
(20)届出人は児童福祉施設の長である(YES,NO)						／		昭和26.11.5民事甲第2102号通達
YES					(21)確認メッセージ(YES,NO) 「都道府県知事の許可書が添付されていますか。」を表示		(22)本紙へ	児童福祉法第47条 昭和26.11.5民事甲第2102号通達
	YES				(23) → (27)へ	／		
	NO				(24) →		(25)本紙へ	不受理
NO					(26) → (26-1)へ	／		
(26-1)届出人資格1＝1又は16又である(YES,NO)						／		
YES					(26-2)養女の父氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)	／		
	YES				(26-3)確認メッセージ 「届出人(父)氏名と養子の父の氏名が異なっていますが、よろしいですか。」を表示		(26-4)本紙へ	
		YES			(26-5) → (26-9)へ	／		
		NO			(26-6) →		(26-7)本紙へ	不受理
	NO				(26-8) → (26-9)へ	／		
NO								
(26-9)届出人資格2＝1又は16又である(YES,NO)						／		
YES					(26-10)養女の父氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)	／		
	YES				(26-11)確認メッセージ 「届出人(父)氏名と養子の父の氏名が異なっていますが、よろしいですか。」を表示		(26-12)本紙へ	

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	60-1/68

処理名	3.6.1 養女届出人ルーチン (2−1／2)			根拠法令 (マニュアル処理)
	YES (26-13) → (26-17)へ	／		
	NO (26-14) →		(26-15)本紙へ	不受理
	NO (26-16) → (26-17)へ	／		
NO				
(26-17)届出人資格1＝2又は17又である(YES,NO)		／		
YES	(26-18)養女の母氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)	／		
	YES (26-19)確認メッセージ 「届出人(母)氏名と養子の母の氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示		(26-20)本紙へ	
	YES (26-21) → (26-25)へ	／		
	NO (26-22) →		(26-23)本紙へ	不受理
	NO (26-24) → (26-25)へ	／		
NO				
(26-25)届出人資格2＝2又は17又である(YES,NO)		／		
YES	(26-26)養女の母氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)	／		
	YES (26-27)確認メッセージ 「届出人(母)氏名と養子の母の氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示		(26-28)本紙へ	
	YES (26-29) → (26-33)へ	／		
	NO (26-30) →		(26-31)本紙へ	不受理
	NO (26-32) → (26-33)へ	／		
NO				
(26-33)養女は本籍人でかつ届出人資格1＝10かつ、代諾者コード1＝1である(YES,NO)		／		
YES	(26-34)個人特定Fの養父氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)	／		
	YES (26-35)確認メッセージ 「届出人(養父)氏名と養子の戸籍の養父氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示		(26-36)本紙へ	
	YES (26-37) → (26-41)へ	／		
	NO (26-38) →		(26-39)本紙へ	不受理
	NO (26-40) → (26-41)へ	／		
NO				

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	60-2/68

処理名	3.6.1 養女届出人ルーチン (2−2／2)			根拠法令 (マニュアル処理)
	(26-41)養女は本籍人でかつ届出人資格2＝10かつ、代諾者コード2＝1である(YES,NO)	／		
YES	(26-42)個人特定Fの養父氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)	／		
YES	(26-43)確認メッセージ 「届出人(養父)氏名と養子の戸籍の養父氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示		(26-44)本紙へ	
YES	(26-45) → (26-49)へ	／		
NO	(26-46) →		(26-47)本紙へ	不受理
NO	(26-48) → (26-49)へ	／		
NO				
	(26-49)養女は本籍人でかつ届出人資格1＝11かつ、代諾者コード1＝1である(YES,NO)	／		
YES	(26-50)個人特定Fの養母氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)	／		
YES	(26-51)確認メッセージ 「届出人(養母)氏名と養子の戸籍の養母氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示		(26-52)本紙へ	
YES	(26-53) → (26-57)へ	／		
NO	(26-54) →		(26-55)本紙へ	不受理
NO	(26-56) → (26-57)へ	／		
NO				
	(26-57)養女は本籍人でかつ届出人資格2＝11かつ、代諾者コード2＝1である(YES,NO)	／		
YES	(26-58)個人特定Fの養母氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)	／		
YES	(26-59)確認メッセージ 「届出人(養母)氏名と養子の戸籍の養母氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示		(26-60)本紙へ	
YES	(26-61) → (27)へ	／		
NO	(26-62) →		(26-63)本紙へ	不受理
NO	(26-64) → (27)へ	／		
NO				
	(27)養女は非本籍人でかつ、 届出人資格1＝10又は11かつ、代諾者コード1＝1であるか、又は 届出人資格2＝10又は11かつ、代諾者コード2＝1である(YES,NO)	／		

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	60-3/68

処理名						3.6.1 養女届出人ルーチン (2−3／2)		根拠法令 (マニュアル処理)
	YES	(28)養父氏名に入力がある場合、届出人資格が10の届出人氏名と異なり、養母氏名に入力がある場合、届出人資格が11の届出人氏名と異なる(YES,NO)				／		
		YES	(29) → (36)へ			／		
		NO	(30)確認メッセージ(YES,NO) 「前養親氏名と養親氏名が同一ですが、よろしいですか。」を表示				(31)本紙へ	
			YES	(32) → (36)へ		／		
			NO	(33) →			(34)本紙へ	不受理
	NO	(35) → (36)へ				／		
	(36)養女を監護する者がいる(YES,NO)					／		
	YES	(37)確認メッセージ(YES,NO) 「監護者は養子の父又は母ですか。」を表示					(38)本紙へ	
		YES	(39)確認メッセージ(YES,NO) 「監護者の同意書が添付されていますか。」を表示					民第797条2項
			YES	(40) →			(41)3.3養子審査へ	
			NO	(42) →			(43)本紙へ	不受理
		NO	(44) →				(45)3.3養子審査へ	
	NO							
NO	(46)後見人縁組区分=1、かつ裁判確定日=ｽﾍﾟｰｽ、かつ縁組成立日=ｽﾍﾟｰｽである(YES,NO)					／		
	YES	(47) → (53)へ				／		
	NO	(47-1)裁判確定日≠スペース又は、縁組成立日≠スペースである				／		
		YES	(47-2) →				(47-3)3.3養子審査へ	
		NO	(48)届出人資格＝スペースである(YES,NO)			／		
			YES	(49) →			(50)3.3養子審査へ	
			NO	(51)エラーメッセージ 「届出人は本人でなければなりません。」を表示			(52)本紙へ	
	(53)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は未成年後見を受けていますね。」を表示							
	YES	(54)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人・未成年被後見人の縁組なので、家庭裁判所の許可書の添付がありますか。」を表示						民第794条
		YES	(55) →				(56)3.3養子審査へ	
		NO	(57) →				(58)本紙へ	不受理
	NO	(59)エラーメッセージ 「未成年後見人・未成年被後見人の縁組はできません。」を表示						不受理

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	61/68

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集(1／8)	(受取側)中間ファイル(届書)／共通 ← (引渡側)養子縁組届画面

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		養子縁組画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							03(養子縁組届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分＝0の時1 在外送付区分＝1～3の時2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							0:不要
	届区分			届出区分				
	渉外区分							事件本人全員が日本人の場合は0 事件本人のうち全員ではないが、1人以上外国人がいる場合は1、 事件本人全員が外国人の場合は2を移送
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号		本籍人検索ｻﾌﾞｼｽﾃﾑｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ					養子、養親が本籍人の場合、選択戸籍番号をセット
	事件別内容							3／8～8／8参照
	不受理申出処分区分							本籍人で該当する不受理申出がある場合、'1'を移送する

30475
061

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	62/68

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集(2／8)	(受取側)中間ファイル(届書)／共通 ← (引渡側)養子縁組届画面

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
中間ファイル(届書)			養子縁組画面					
共通	処分区分							審査の結果によりセットする 審査において1つでもエラーがある場合は不受理とする
	決裁区分							0:未決裁
	届書排他区分							再入力の場合1:排他

30476

092

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	63/68

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集(3／8)	(受取側)中間ファイル(届書)／事件別内容 ← (引渡側)養子縁組届画面

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 事件別	縁組形態区分			縁組形態区分				
	養親配偶者氏名1		養子縁組画面	養親配偶者氏名1				
	養親配偶者氏名2			養親配偶者氏名2				
	養子個人番号							本籍人の時、戸籍個人番号を移送
	養子の外国人区分			養子の外国人区分				
	養子の本非区分			養子の本非区分				
	養子の生年月日			養子の生年月日				
	養子の婚姻区分			養子の婚姻区分				
	養子の生死区分			養子の生死区分				
	養子のカナ氏名			養子のカナ氏名				
	養子の漢字氏名			養子の漢字氏名				
	養子の本籍コード			養子の本・国籍		有		
	養子の本籍							
	養子の住所コード			養子の住所		有		
	養子の住所							
	養子の筆頭者カナ氏名							
	養子の筆頭者氏名			養子の筆頭者氏名				
	養子の世帯主氏名			養子の世帯主氏名				
	養子の父氏名			養子の父氏名				
	養子の母氏名			養子の母氏名				
	養子の続柄コード			養子の続柄コード				
	養子の筆頭者区分			養子の筆頭者区分				
	養子の配偶者区分			養子の配偶者区分				

30477
063

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	64/68

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集(4／8)	(受取側)中間ファイル(届書)／事件別内容 ← (引渡側)養子縁組届画面

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名			
中間ファイル(届書)	養女個人番号		養子縁組画面					本籍人の時、戸籍個人番号を移送
事件別	養女の外国人区分			養女の外国人区分				
	養女の本非区分			養女の本非区分				
	養女の生年月日			養女の生年月日				
	養女の婚姻区分			養女の婚姻区分				
	養女の生死区分			養女の生死区分				
	養女のカナ氏名			養女のカナ氏名				
	養女の漢字氏名			養女の漢字氏名				
	養女の本籍コード			養女の本・国籍		有		
	養女の本籍							
	養女の住所コード			養女の住所		有		
	養女の住所							
	養女の筆頭者カナ氏名							
	養女の筆頭者氏名			養女の筆頭者氏名				
	養女の世帯主氏名			養女の世帯主氏名				
	養女の父氏名			養女の父氏名				
	養女の母氏名			養女の母氏名				
	養女の続柄コード			養女の続柄コード				
	養女の筆頭者区分			養女の筆頭者区分				
	養女の配偶者区分			養女の配偶者区分				
	監護者の有無			監護者の有無				

30478
064

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	65/68

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集(5／8)	(受取側)中間ファイル(届書)／事件別内容 ← (引渡側)養子縁組届画面

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
中間ファイル(届書)	養父個人番号		養子縁組画面					本籍人の時、戸籍個人番号を移送
事件別	養父の外国人区分			養父の外国人区分				
	養父の本非区分			養父の本非区分				
	養父の生年月日			養父の生年月日				
	養父の筆頭者区分			養父の筆頭者区分				
	養父の配偶者区分			養父の配偶者区分				
	養父の生死区分			養父の生死区分				
	養父のカナ氏名			養父のカナ氏名				
	養父の漢字氏名			養父の漢字氏名				
	養父の本籍コード			養父の本・国籍		有		
	養父の本籍							
	養父の住所コード			養父の住所		有		
	養父の住所							
	養父の筆頭者カナ氏名							
	養父の筆頭者氏名			養父の筆頭者氏名				
	養父の世帯主氏名			養父の世帯主氏名				

30479

090

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	66/68

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集(6／8)	(受取側)中間ファイル(届書)／事件別内容 ← (引渡側)養子縁組届画面

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
中間ファイル(届書)	養母個人番号		養子縁組画面					本籍人の時、戸籍個人番号を移送
事件別	養母の外国人区分			養母の外国人区分				
	養母の本非区分			養母の本非区分				
	養母の生年月日			養母の生年月日				
	養母の筆頭者区分			養母の筆頭者区分				
	養母の配偶者区分			養母の配偶者区分				
	養母の生死区分			養母の生死区分				
	養母のカナ氏名			養母のカナ氏名				
	養母の漢字氏名			養母の漢字氏名				
	養母の本籍コード			養母の本・国籍		有		
	養母の本籍							
	養母の住所コード			養母の住所		有		
	養母の住所							
	養母の筆頭者カナ氏名							
	養母の筆頭者氏名			養母の筆頭者氏名				
	養母の世帯主氏名			養母の世帯主氏名				

30480

990

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	67/68

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集(7／8)	(受取側)中間ファイル(届書)／事件別内容 ← (引渡側)養子縁組届画面

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 事件別	戸籍変動区分		養子縁組画面	戸籍変動区分				
	入籍する戸籍 または新しい戸籍			入籍する戸籍 または新しい戸籍				
	入籍する戸籍 または新しい戸籍コード					有		
	入籍する戸籍 または新しい戸籍 の筆頭者			入籍する戸籍 または新しい戸籍 の筆頭者				
	入籍する戸籍 または新しい戸籍 の筆頭者カナ氏名							
	裁判確定日			裁判確定日				
	縁組成立日			縁組成立日				
	縁組方式			縁組方式				
	同一戸籍縁組区分			同一戸籍縁組区分				
	後見人縁組区分			後見人縁組区分				
	届出人資格コード1			届出人資格コード1				代諾者コード1＝0の場合移送
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格コード2			届出人資格コード2				代諾者コード2＝0の場合移送
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	代諾者資格1			届出人資格コード1				代諾者コード1＝1の場合移送
	代諾者氏名1			届出人氏名1				
	代諾者コード1			代諾者コード1				
	代諾者国籍1			届出人国籍1				
	代諾者生年月日1			届出人生年月日1				
	代諾者資格2			届出人資格コード2				代諾者コード2＝1の場合移送
	代諾者氏名2			届出人氏名2				

30481

490

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	68/68

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集(8／8)	(受取側)中間ファイル(届書)／事件別内容 ← (引渡側)養子縁組届画面

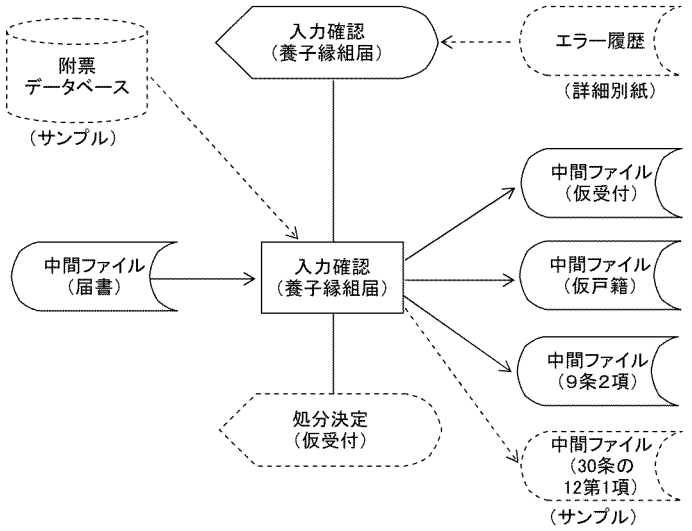
受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 事件別	代諾者コード2			代諾者コード2				
	代諾者国籍2			代諾者国籍2				
	代諾者生年月日2			代諾者生年月日2				
	配偶者個人番号							本籍人の時、戸籍個人番号を移送
	配偶者外国人区分			配偶者外国人区分				
	配偶者生年月日			配偶者生年月日				
	配偶者配偶者区分			配偶者配偶者区分				
	配偶者カナ氏名			配偶者カナ氏名				
	配偶者漢字氏名			配偶者漢字氏名				
	配偶者住所			配偶者住所				
	配偶者父氏名			配偶者父氏名				
	配偶者母氏名			配偶者母氏名				
	配偶者続柄コード			配偶者続柄コード				
	配偶者筆頭者区分			配偶者筆頭者区分				

30482

068

第 2 3 (2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	1/55

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル(30条の12第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する。
(2)戸籍変動情報を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する。
(5)中間ファイル(9条2項)を編集・出力する。
(6)中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する。 ・・・・ (サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(入力確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル／仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル／仮戸籍[身分事項])
    - 4.1 養親(入籍)
    - 4.2 養親(除籍)
    - 4.3 養親(記録)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル／仮戸籍[身分事項])
    - 5.1 養子(入籍)
    - 5.2 養子(除籍)
    - 5.3 養子(記録)
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル／仮戸籍[身分事項])
    - 6.1 養子(女)の配偶者(入籍)
    - 6.2 養子(女)の配偶者(除籍)
  - 7.0 データ編集表(中間ファイル／9条2項)
    - 7.1 養父
    - 7.2 養母
    - 7.3 養子
    - 7.4 養女
    - 7.5 養子(女)の配偶者
  - 8.0 データ編集表(中間ファイル／仮戸籍[個人特定])
    - 8.1 養子
    - 8.1.1養子(戸籍の変動無し)
    - 8.2 養親＆養子(女)の配偶者
  - 9.0 データ編集表(中間ファイル／30条の12第1項) ・・・・ (サンプル提示)
    - 9.1 養父
    - 9.2 養母
    - 9.3 養子
    - 9.4 養女
    - 9.5 養子(女)の配偶者

5. 備考(特記事項含む)

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	2/55

処理名	0.0 本紙 1／4	備考

(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する。							[1.0]	／
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)								／
実行キー	(3) 中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する						[2.0]	／
	(4) 中間ファイル(仮受付)を編集・出力する						[3.0]	／
	(5)養父に入力がある(YES, NO)							／
	YES	(6)養父の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する						／
		(7)養父は事件本人である(YES, NO)						／
		YES	(7-1)養父は在外選挙人である(YES, NO)					／
			YES	(7-2)養父について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する			[9.1]	／
				(7-3) → (8)へ				／
			N O	(7-4) → (8)へ				／
			(8) 届書ファイル、戸籍変動区分＝2である(YES, NO)					／
			YES	(9) 身分事項:養親(除籍)の編集をする			[4.2]	／
				(10) 新戸籍の編製場所は管内である(YES, NO)				／
				YES	(11) 身分事項:養親(入籍)の編集をする		[4.1]	／
				N O	(12) → (18)へ			／
			N O	(13) 身分事項:養親(記録)の編集をする			[4.3]	／
		N O	(14) 届書ファイル、戸籍変動区分＝2である(YES, NO)					／
			YES	(15) 新戸籍の編製場所は管内である(YES, NO)				／
				YES	(16) 身分事項:養親(入籍)の編集をする		[4.1]	／
				N O	(17) → (18)へ			／
			N O					
	N O							
	(18)養母に入力がある(YES, NO)							／
	YES	(19)養母の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する						／
		(20)養母は事件本人である(YES, NO)						／

※サンプル提示
附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理
(7-1)(7-2)(7-3)(7-4)

30484

070

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	3/55

処理名	0.0 本紙 2／4					備考
		YES	(20-1)養母は在外選挙人である(YES, NO)		／	※サンプル提示
			YES	(20-2)養母について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する [9.2]	／	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理
				(20-3) → (21)へ	／	(20-1)(20-2)(20-3)(20-4)
			N O	(20-4) → (21)へ	／	
			(21)届書ファイル、戸籍変動区分＝2である(YES, NO)		／	
			YES	(22)身分事項:養親(除籍)の編集をする [4.2]	／	
				(23)新戸籍の編製場所は管内である(YES, NO)	／	
				YES (24)身分事項:養親(入籍)の編集をする [4.1]	／	
				N O (25) → (31)	／	
			N O	(26)身分事項:養親(記録)の編集をする [4.3]	／	
		N O	(27)届書ファイル、戸籍変動区分＝2である(YES, NO)		／	
			YES	(28)新戸籍の編製場所は管内である(YES, NO)	／	
				YES (29)身分事項:養親(入籍)の編集をする [4.1]		
				N O (30) → (31)へ	／	
			N O			
	N O				／	
	(31)養子に入籍がある(YES, NO)				／	
	YES	(32)養子の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する			／	
		(33)養子は本籍人である(YES, NO)			／	
		YES	(33-1)養子は在外選挙人である(YES, NO)		／	※サンプル提示
			YES	(33-2)養子について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する [9.3]	／	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理
				(33-3) → (34)へ	／	(33-1)(33-2)(33-3)(33-4)
			N O	(33-4) → (34)へ	／	
			(34)届書ファイル、戸籍変動区分が1～3である(YES, NO)		／	
			YES	(35)身分事項:養子(除籍)の編集をする [5.2]	／	
				(36)新戸籍又は入籍する戸籍の編製場所は管内である(YES, NO)	／	
				YES (37)身分事項:養子(入籍)の編集をする [5.1]	／	
				(38) → (48)へ	／	

30485

071

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	4/55

処理名	0.0 本紙 3／4				備考
			N O	(39) → (48)へ	／	
		N O		(40) → (41)	／	
		(41)届書ファイル、戸籍変動区分が4である(YES, NO)			／	
		YES		(42)身分事項:養子(記録)の編集をする [5.3]	／	
		N O		(43) → (48)へ	／	
	N O	(44)届書ファイル、戸籍変動区分が1～3である(YES, NO)			／	
		YES		(45)新戸籍又は入籍する戸籍の編製場所は管内である(YES, NO)	／	
			YES	(46)身分事項:養子(入籍)の編集をする [5.1]	／	
			N O	(47) → (48)へ	／	
		N O				
N O						
(48)養女に入力がある(YES, NO)					／	
YES	(49)養女の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する				／	
	(50)養女は本籍人である(YES, NO)				／	
	YES	(50-1)養女は在外選挙人である(YES, NO)			／	※サンプル提示
		YES		(50-2)養女について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する [9.4]	／	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理
				(50-3) → (51)へ	／	(50-1)(50-2)(50-3)(50-4)
		N O		(50-4) → (51)へ	／	
		(51)届書ファイル、戸籍変動区分が1～3である(YES, NO)			／	
		YES		(52)身分事項:養子(除籍)の編集をする [5.2]	／	
				(53)新戸籍又は入籍する戸籍の編製場所は管内である(YES, NO)	／	
			YES	(54)身分事項:養子(入籍)の編集をする [5.1]	／	
			N O	(55) → (64)へ	／	
		N O		(56) → (57)へ	／	
		(57)届書ファイル、戸籍変動区分が4である(YES, NO)			／	
		YES		(58)身分事項:養子(記録)の編集をする [5.3]	／	
		N O		(59) → (64)へ	／	
	N O	(60)届書ファイル、戸籍変動区分が1～3である(YES, NO)			／	
		YES		(61)新戸籍又は入籍する戸籍の編製場所は管内である(YES, NO)	／	

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	5/55

処理名	0.0 本紙 4／4	備考

			YES	(62)身分事項:養子(入籍)の編集をする。 [5.1]	／		
			N O	(63) → (64)へ			
		N O			／		
	N O						
(64)単独縁組でかつ筆頭者である養子(女)には配偶者がいる(YES, NO)					／		
	YES	(65)配偶者の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する			／		
		(66)養子(女)の配偶者は本籍人である(YES, NO)			／		
		YES	(66-1)養子(女)の配偶者は在外選挙人である(YES, NO)		／		※サンプル提示
			YES	(66-2)養子(女)の配偶者について中間ファイル(30条12第1項)を編集・出力する [9.5]	／		附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合の処理(66-1)(66-2)(66-3)(66-4)
				(66-3) → (67)へ	／		
			N O	(66-4) → (67)へ	／		
			(67)戸籍変動区分＝4(養子の戸籍に変動がない)である((YES, NO)		／		
			YES	(67-1) → (68)へ	／		
			N O	(67-2)身分事項:配偶者(除籍)の編集をする。 [6.2]	／		
			(68)新戸籍の編製場所は管内である(YES, NO)		／		
			YES	(69)身分事項:配偶者(入籍)の編集をする。 [6.1]	／		
			N O	(70) → (77)へ	／		
		N O	(71)養子(女)の配偶者は日本人である(YES, NO)		／		
			YES	(72)新戸籍の編製場所は管内である(YES, NO)	／		
				YES	(73)身分事項:配偶者(入籍)の編集をする。 [6.1]	／	
				N O	(74) → (77)へ	／	
			N O	(75) → (77)へ	／		
	N O	(76) → (77)へ			／		
(77)在外送付区分＝0又は2である(YES, NO)					／		
	YES	(78)			／		
		(79)養父に入力があり、かつ養父の外国人区分＝0:日本人である(YES, NO)			／		
		YES	(80)養父の編集 [7.1]		／		
		N O	(81) → (82)へ		／		
		(82)養母に入力があり、かつ養母の外国人区分＝0:日本人である(YES, NO)			／		
		YES	(83)養母の編集		／		
		N O	(84) → (85)へ		／		

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	5-1/55

処理名		0.0 本紙 4−1／4			備考
		(88) 養子に入力があり、かつ養子の外国人区分＝0:日本人である(YES、NO)	／		
		YES (86) 養子の編集 [7.3]	／		
		N O (87) → (88)へ	／		
		(88) 養女に入力があり、かつ養女の外国人区分＝0:日本人である(YES, NO)	／		
		YES (89) 養女の編集 [7.4]	／		
		N O (90) → (91)へ	／		
		(91) 養子(女)の配偶者に入力があり、かつ配偶者外国人区分＝0:日本人である(YES, NO)	／		
		YES (92) 配偶者の編集 [7.5]		(93) 処分決定に制御を渡す	
		N O (94) →			
	N O				
PF1	→			(95) 業務選択に制御を渡す	
PF2	→			(96) 届出選択に制御を渡す	
PF5	→			(97) 審査(養子縁組)に制御を渡す	
PF7	(98) 前ページがあるか(ある:YES、なし:NO)		／		
	YES	(99) 前ページ分の「養子縁組届」画面を編集・出力する		(100) 同画面を編集する	
	N O	(101) エラーメッセージ「先頭ページです」を表示する			
PF8	(102) 次ページがあるか(ある:YES、なし:NO)		／		
	YES	(103) 次ページ分の「養子縁組届」画面を編集・出力する		(104) 動画面を編集する	
	N O	(105) エラーメッセージ「最終ページです」を表示する			
PF11	→			(106) エラー履歴表示に制御を渡す	
その他	(107) エラーメッセージ「無効なキーが入力されました」を表示する			(108) 動画面を編集する	

30488

073−01

第２３（４）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	6/55

処理名	1.0確認画面(養子縁組届)表示(1／9)	(受取側)養子縁組届画面 ← (引渡側)中間ファイル(届書)／事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
養子縁組届	画面ID							画面ID
（前提入力）	システム日付							システム日付
確認画面	養子と養父区分		中間ファイル（届書）事件別	縁組形態区分				1,3,7,9,10,13,14,15の時'Y'移送
	養子と養母区分							2,3,8,11,12,13,14,15の時'Y'移送
	養女と養父区分							4,6,7,10,11,12,13,15の時'Y'移送
	養女と養母区分							5,6,8,9,10,12,14,15の時'Y'移送
	縁組形態名称			縁組形態区分		有		
	養親配偶者氏名1			養親配偶者氏名1				
	養親配偶者氏名2			養親配偶者氏名2				
	表示1							縁組形態区分＝1,4,7の時、'養父の配偶者が既に縁組している場合は養母氏名を入力して下さい'を表示 縁組形態区分＝2,5,8の時、'養母の配偶者が既に縁組している場合は養父氏名を入力して下さい'を表示 縁組形態区分＝9,10の時、'養子と養母が既に縁組している場合は養母氏名を入力して下さい'を表示 縁組形態区分＝11,12の時、'養子と養父が既に縁組している場合は養父氏名を入力して下さい'を表示
	表示2							縁組形態区分＝11,13の時、'養女と養母が既に縁組している場合は養母氏名を入力して下さい'を表示 縁組形態区分＝9,14の時、'養女と養父が既に縁組している場合は養父氏名を入力して下さい'を表示

30489
074

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	7/55

処理名	1.0確認画面(養子縁組届)表示(2／9)	(受取側)養子縁組届画面 ← (引渡側)中間ファイル(届書)／共通

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
養子縁組届	画面ID							画面ID
(その1)～	システム日付							システム日付
(その4)	受領番号		中間ファイル	受領番号				
確認画面	出張所番号		(届書)	出張所番号				
	受領日		共通	受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	報告区分			届区分				

30490

075

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	8/55

処理名	1.0確認画面(養子縁組届)表示(3／9)	(受取側)養子縁組届画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)／事件別内容

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
養子縁組届	養子の外国人区分		中間ファイル	養子の外国人区分				
(その1)	養子の本非区分		(届書)	養子の本非区分				
確認画面	養子の生年月日		事件別	養子の生年月日				
	養子の婚姻区分			養子の婚姻区分				
	養子の生死区分			養子の生死区分				
	養子のカナ氏名			養子のカナ氏名				
	養子の漢字氏名			養子の漢字氏名				
	養子の本・国籍			養子の本籍コード		有		
				養子の本籍				
	養子の住所			養子の住所コード		有		
				養子の住所				
	養子の筆頭者氏名			養子の筆頭者氏名				
	養子の世帯主氏名			養子の世帯主氏名				
	養子の父氏名			養子の父氏名				
	養子の母氏名			養子の母氏名				
	養子の続柄コード			養子の続柄コード				
	養子の続柄					有		
	養子の筆頭者区分			養子の筆頭者区分				
	養子の筆頭者					有		
	養子の配偶者区分			養子の配偶者区分				
	養子の配偶者					有		

30491

076

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	9/55

処理名	1.0確認画面(養子縁組届)表示(4／9)	(受取側)養子縁組届画面 ← (引渡側)中間ファイル(届書)／事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
養子縁組届 (その1) 確認画面	養女の外国人区分		中間ファイル (届書) 事件別	養女の外国人区分				
	養女の本非区分			養女の本非区分				
	養女の生年月日			養女の生年月日				
	養女の婚姻区分			養女の婚姻区分				
	養女の生死区分			養女の生死区分				
	養女のカナ氏名			養女のカナ氏名				
	養女の漢字氏名			養女の漢字氏名				
	養女の本・国籍			養女の本籍コード		有		
				養女の本籍				
	養女の住所			養女の住所コード		有		
				養女の住所				
	養女の筆頭者氏名			養女の筆頭者氏名				
	養女の世帯主氏名			養女の世帯主氏名				
	養女の父氏名			養女の父氏名				
	養女の母氏名			養女の母氏名				
	養女の続柄コード			養女の続柄コード				
	養女の続柄					有		
	養女の筆頭者区分			養女の筆頭者区分				
	養女の筆頭者					有		
	養女の配偶者区分			養女の配偶者区分				
	養女の配偶者					有		
	監護者の有無			監護者の有無				

30492

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	10/55

処理名	1.0確認画面(養子縁組届)表示(5／9)	(受取側)養子縁組届画面 ← (引渡側)中間ファイル(届書)／事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
養子縁組届 (その2) 確認画面	養父の外国人区分		中間ファイル (届書) 事件別	養父の外国人区分				
	養父の本非区分			養父の本非区分				
	養父の生年月日			養父の生年月日				
	養父の筆頭者区分			養父の筆頭者区分				
	養父の筆頭者					有		
	養父の配偶者区分			養父の配偶者区分				
	養父の配偶者					有		
	養父の生死区分			養父の生死区分				
	養父のカナ氏名			養父のカナ氏名				
	養父の漢字氏名			養父の漢字氏名				
	養父の本・国籍			養父の本籍コード		有		
				養父の本籍				
	養父の住所			養父の住所コード		有		
				養父の住所				
	養父の筆頭者氏名			養父の筆頭者氏名				
	養父の世帯主氏名			養父の世帯主氏名				

30493

078

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	11/55

処理名	1.0確認画面(養子縁組届)表示(6／9)	(受取側)養子縁組届画面 ← (引渡側)中間ファイル(届書)／事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
養子縁組届 (その2) 確認画面	養母の外国人区分		中間ファイル (届書) 事件別	養母の外国人区分				
	養母の本非区分			養母の本非区分				
	養母の生年月日			養母の生年月日				
	養母の筆頭者区分			養母の筆頭者区分				
	養母の筆頭者					有		
	養母の配偶者区分			養母の配偶者区分				
	養母の配偶者					有		
	養母の生死区分			養母の生死区分				
	養母のカナ氏名			養母のカナ氏名				
	養母の漢字氏名			養母の漢字氏名				
	養母の本・国籍			養母の本籍コード		有		
				養母の本籍				
	養母の住所			養母の住所コード		有		
				養母の住所				
	養母の筆頭者氏名			養母の筆頭者氏名				
	養母の世帯主氏名			養母の世帯主氏名				

30494

079

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	12/55

処理名	1.0確認画面(養子縁組届)表示(7／9)	(受取側)養子縁組届画面 ← (引渡側)中間ファイル(届書)／事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	備考
養子縁組届 (その3) 確認画面	戸籍変動区分		中間ファイル (届書) 事件別	戸籍変動区分				
	入籍する戸籍 または新しい戸籍			入籍する戸籍 または新しい戸籍				
	入籍する戸籍 または新しい戸籍 の筆頭者			入籍する戸籍 または新しい戸籍 の筆頭者				
	裁判確定日			裁判確定日				
	縁組成立日			縁組成立日				
	縁組方式			縁組方式				
	証書提出日			受領日				縁組方式≠スペースの時移送
	同一戸籍縁組区分			同一戸籍縁組区分				
	後見人縁組区分			後見人縁組区分				
	届出人資格コード1			届出人資格コード1				項目に入力がある場合移送する
	届出人氏名1			届出人氏名1				〃
	代諾者コード1							届出人資格コード1に入力がある時'0'をセットする
	届出人資格コード2			届出人資格コード2				項目に入力がある場合移送する
	届出人氏名2			届出人氏名2				〃
	代諾者コード2							届出人資格コード2に入力がある時'0'をセットする
	届出人資格コード1			代諾者資格1				項目に入力がある場合移送する
	届出人氏名1			代諾者氏名1				〃
	代諾者コード1							代諾者資格1に入力がある時'1'をセットする
	届出人国籍1			代諾者国籍1				項目に入力がある場合移送する
	届出人生年月日1			代諾者生年月日1				〃
	届出人資格コード2			代諾者資格2				〃

30495
080

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	13/55

処理名	1.0確認画面(養子縁組届)表示(8／9)	(受取側)養子縁組届画面 ← (引渡側)中間ファイル(届書)／事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
養子縁組届 (その3) 確認画面	届出人氏名2		中間ファイル (届書) 事件別	代諾者氏名2				項目に入力がある場合移送する
	代諾者コード2							届出人資格コード2に入力がある時'1'をセットする
	届出人国籍2			代諾者国籍2				項目に入力がある場合移送する
	届出人生年月日2			代諾者生年月日2				〃

30496
081

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	14/55

処理名	1.0確認画面(養子縁組届)表示(9／9)	(受取側)養子縁組届画面 ← (引渡側)中間ファイル(届書)／事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
養子縁組届 (その4) 確認画面	配偶者の外国人区分		中間ファイル (届書) 事件別	配偶者の外国人区分				
	配偶者の生年月日			配偶者の生年月日				
	配偶者の配偶者区分			配偶者の配偶者区分				
	配偶者のカナ氏名			配偶者カナ氏名				
	配偶者の漢字氏名			配偶者漢字氏名				
	配偶者の住所			配偶者住所				
	配偶者父氏名			配偶者父氏名				
	配偶者母氏名			配偶者母氏名				
	配偶者続柄コード			配偶者続柄コード				
	配偶者筆頭者区分			配偶者筆頭者区分				

30497

082

第23(7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	15/55

処理名 2.0戸籍編製マトリックス表(1／8)

項番	養子												養親								同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組	日本人				外国人			一部記載	一部除籍	全部除籍	変動なし	一部除籍	全部除籍	変動なし	
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成												
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員											
		※1													※1								A.2 8.0 D.1	A.2 C.2	A.2 B.2 C.2		A.2 C.2	A.2 B.2 C.2 ※2	8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
1	○		○		−	−				○				−	−	○		○					養子 5.1			養親 4.3		養子 5.2		
2	○		○		−	−				○				○		○			○				養親 4.2					養子 5.2		養親4.1 養子5.1
3	○		○		−	−				○				○			○		○									養子 5.2		養親4.1 養子5.1
4	○		○		−	−				○				−	−					○									養子 5.3	
5	○		○		−	−				○				−	−		○	○		−								養子 5.2			
6	○		○		−	−				○					○	○		○		○			養子 5.1			養親 4.3		養子 5.2		
7	○		○		−	−			○					−	−	○		○					養子 5.1			養親 4.3	養子 5.2			
8	○		○		−	−			○					○		○			○					養親 4.2			養子 5.2			養親4.1 養子5.1
8-1	○		○			○			○					○		○			○		○			養親 4.2 ※			養親 5.2 ※			養親4.1 養子5.1
																						※養子・養親は、同籍なので二人の他に在籍者無しの場合、全除								
9	○		○		−	−			○					○			○		○								養子 5.2			養親4.1 養子5.1
10	○		○		−	−			○					−	−					○									養子 5.3	
11	○		○		−	−			○					−	−		○	○		−							養子 5.2				
12	○		○		−	−			○						○	○		○		○			養子 5.1			養親 4.3	養子 5.2			

第23(7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	16/55

処理名 2.0戸籍編製マトリックス表(2／8)

項番	養子												養親								同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組	日本人				外国人			一部記載	一部除籍	全部除籍	変動なし	一部除籍	全部除籍	変動なし	
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成												
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員											
		※1													※1								A.2 8.0 D.1	A.2 C.2	A.2 B.2 C.2		A.2 C.2 ※2	A.2 B.2 C.2 ※2	8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
13	○		○			○			○					—	—	○		○			○					養親 4.3			養子 5.3	
13-1	○		○			○			○					—	—	○		○		○	○					養親 4.3			養子 5.3	
14	○		○			○		○	—	—				—	—	○		○								養親 4.3			養子 5.3	
15	○		○			○		○	—	—				○		○			○							養親 4.3			養子 5.3	
16	○		○			○		○	—	—				○			○	—	—										養子 5.3	
17	○		○			○		○	—	—				—	—					○									養子 5.3	
18	○		○			○		○	—	—					○		○	○		—									養子 5.3	
19	○		○			○		○	—	—					○	○		○		○						養親 4.3			養子 5.3	
20	○		○		○			○	○					—	—	○		○					養子 5.1			養親 4.3	養子 5.2			
21	○		○		○			○	○					○		○			○					養親 4.2			養子 5.2			養親4.1 養子5.1
22	○		○		○			○	○					○			○		○								養子 5.2			養親4.1 養子5.1
23	○		○		○			○	○					—	—					○									養子 5.3	
24	○		○		○			○	○					—	—		○	○		—							養子 5.2			
25	○		○		○			○	○						○	○		○		○			養子 5.1			養親 4.3	養子 5.2			

第23(7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	17/55

処理名 2.0戸籍編製マトリックス表(3／8)

項番	養子												養親								同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組	日本人				外国人			一部記載	一部除籍	全部除籍	変動なし	一部除籍	全部除籍	変動なし	
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成												
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員											
		※1													※1								A.2 8.0 D.1	A.2 C.2	A.2 B.2 C.2		A.2 C.2	A.2 B.2 C.2	8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1
																											※2	※2		※3
26	○		○		○			○		○				—	—	○		○					養子 5.1			養親 4.3		養子 5.2		
27	○		○		○			○		○				○		○			○					養親 4.2				養子 5.2		養親4.1 養子5.1
28	○		○		○			○		○				○			○		○									養子 5.2		養親4.1 養子5.1
29	○		○		○			○		○				—	—					○									養子 5.3	
30	○		○		○			○		○				—	—		○	○		—								養子 5.2		
31	○		○		○			○		○					○	○		○		○			養子 5.1			養親 4.3		養子 5.2		
32	○		○		○		○		○				○	—	—	○		○								養親 4.3	養子 5.2 配偶者 6.2		養子5.1 配偶者6.1
33	○		○		○		○		○				○	○		○			○							養親 4.3	養子 5.2 配偶者 6.2		養子5.1 配偶者6.1
34	○		○		○		○		○				○	○			○	—	—								養子 5.2 配偶者 6.2		養子5.1 配偶者6.1
35	○		○		○		○		○				○	—	—					○								養子 5.3	
36	○		○		○		○		○				○		○		○	○		—							養子5.2 配偶者6.2		養子5.1 配偶者6.1
37	○		○		○		○		○				○		○	○		○		○						養親 4.3	養子5.2 配偶者6.2		養子5.1 配偶者6.1
38	○		○		○		○			○			○	—	—	○		○								養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1

第23(7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	18/55

処理名 2.0戸籍編製マトリックス表(4／8)

項番	養子												養親									同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組	日本人							外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組	日本人				外国人					一部記載	一部除籍	全部除籍	変動なし	一部除籍	全部除籍	変動なし	
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者						本籍		構成														
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無					本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員													
		※1												※1										A.2 8.0 D.1	A.2 C.2	A.2 B.2 C.2		A.2 C.2 ※2	A.2 B.2 C.2 ※2	8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
39	○		○		○		○			○			○		○			○								養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
40	○		○		○		○			○			○			○	－	－										養子 5.2		養子 5.1
41	○		○		○		○			○			－	－					○											養子 5.3	
42	○		○		○		○			○				○		○	○		－									養子 5.2		養子 5.1
43	○		○		○		○			○				○	○		○		○							養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
44	○		○			○	○		○				○	－	－		○	－	－	－										養子 5.3	
45	○		○			○	○		○				○	－	－	○		－	－	－						養親 4.3				養子 5.3	
46	○									－	－	－	○	－	－	○		○								養親 4.3					
47	○									－	－	－	○		○				○							養親 4.3					
48	○									－	－	－		○	○		○		○							養親 4.3					
49	○			○	－	－			－	－			○	－	○		○							養子 5.1			養親 4.3				
50	○			○	－	－			－	－			○		○			○							養親 4.2		養親 4.3			養親4.1 養子5.1	
51	○			○	－	－			－	－				○	○		○		○					養子 5.1			養親 4.3				

30501

980

第23(7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	19/55

処理名 2.0戸籍編製マトリックス表(5／8)

項番	養子												養親							同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組	日本人				外国人			一部記載	一部除籍	全部除籍	変動なし	一部除籍	全部除籍	変動なし	
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成												
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員											
		※1													※1								A.2 8.0 D.1	A.2 C.2	A.2 B.2 C.2		A.2 C.2 ※2	A.2 B.2 C.2 ※2	8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
52	○			○		○	○		○				○	—	—	○		—	—	—						養親 4.3				
53	○			○	○		○		○				○	—	—	○		○								養親 4.3				養子5.1 配偶者6.1
54	○			○	○		○		○				○	○		○			○							養親 4.3				養子5.1 配偶者6.1
55	○			○	○		○		○				○		○	○		○		○						養親 4.3				養子5.1 配偶者6.1
56	○			○		○		○	—	—			○	—	—	○		○								養親 4.3				
57	○			○		○		○	—	—			○	○		○			○							養親 4.3				
58	○			○		○		○	—	—			○		○	○		○		○						養親 4.3				
59	○			○	○			○	—	—			○	—	—	○		○					養子 5.1			養親 4.3				
60	○			○	○			○	—	—			○	○		○			○					養親 4.3						養親4.1 養子5.1
61	○			○	○			○	—	—			○		○	○		○		○			養子 5.1			養親 4.3				
62		○	○		○		○ ○			○			○	—	—	○		○								養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
63		○	○		○		○ ○			○			○	○		○			○							養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
64		○	○		○		○ ○			○			○	○			○	—	—									養子 5.2		養子 5.1

第23(7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	20/55

処理名 2.0戸籍編製マトリックス表(6／8)

項番	養子												養親									同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組	日本人							外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組	日本人				外国人					一部記載	一部除籍	全部除籍	変動なし	一部除籍	全部除籍	変動なし	
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者						本籍		構成														
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無					本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員													
		※1												※1										A.2 8.0 D.1	A.2 C.2	A.2 B.2 C.2		A.2 C.2	A.2 B.2 C.2	8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1
																											※2	※2		※3
65		○	○		○	○	○			○			○	○					○										養子 5.3	
66		○	○		○	○	○			○				○		○	○		−									養子 5.2		養子 5.1
67		○	○		○	○	○			○				○	○		○		○							養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
68		○	○		○	○	○		○				○	○	○		○									養親 4.3	養子 5.2			養子 5.1
69		○	○		○	○	○		○				○		○			○								養親 4.3	養子 5.2			養子 5.1
70		○	○		○	○	○		○				○			○	−	−									養子 5.2			養子 5.1
71		○	○		○	○	○		○				○	○					○										養子 5.3	
72		○	○		○	○	○		○					○		○	○		−								養子 5.2			養子 5.1
73		○	○		○	○	○		○					○	○		○		○							養親 4.3	養子 5.2			養子 5.1
74		○	○		○		○			○	○		○	○	○		○									養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
75		○	○		○		○			○	○		○		○			○								養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
76		○	○		○		○			○	○		○			○	−	−											養子 5.2		養子 5.1
77		○	○		○		○			○	○		○	−	−					○										養子 5.3	

880

第23(7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	21/55

処理名 2.0戸籍編製マトリックス表(7／8)

項番	養子												養親								同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組※1	日本人							外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組※1	日本人				外国人				一部記載	一部除籍	全部除籍	変動なし	一部除籍	全部除籍	変動なし	
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者						本籍		構成													
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無					本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員												
																							A.2 8.0 D.1	A.2 C.2	A.2 B.2 C.2		A.2 C.2	A.2 B.2 C.2	8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1
																											※2	※2		※3
78		○	○		○		○			○	○		○			○	○			−								養子 5.2		養子 5.1
79		○	○		○		○			○	○		○		○		○			○						養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
80		○	○		○		○		○		○		−	−	○		○									養親 4.3	養子 5.2			養子 5.1
81		○	○		○		○		○		○		○		○			○								養親 4.3	養子 5.2			養子 5.1
82		○	○		○		○		○		○		○			○	−	−									養子 5.2			養子 5.1
83		○	○		○		○		○		○		−	−						○									養子 5.3	
84		○	○		○		○		○		○			○		○	○			−							養子 5.2			養子 5.1
85		○	○		○		○		○		○			○	○		○			○						養親 4.3	養子 5.2			養子 5.1
86		○		○	○	○	○ ○		−	−			○	−	○		○									養親 4.3				養子 5.1
87		○		○	○	○	○ ○		−	−			○	○				○								養親 4.3				養子 5.1
88		○		○	○	○	○ ○		−	−			○		○	○	○			○						養親 4.3				養子 5.1
89		○		○	○		○		−	−	○		○	−	−	○		○								養親 4.3				養子 5.1
90		○		○	○		○		−	−	○		○		○			○								養親 4.3				養子 5.1

第23(7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	22/55

処理名 2.0戸籍編製マトリックス表(8／8)

項番	養子												養親								同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組	日本人				外国人			一部記載	一部除籍	全部除籍	変動なし	一部除籍	全部除籍	変動なし	
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成													
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員											
		※1													※1								A.2 8.0 D.1	A.2 C.2	A.2 B.2 C.2		A.2 C.2 ※2	A.2 B.2 C.2 ※2	8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
91		○		○	○		○		−	−	○		○		○	○		○		○						養親 4.3				養子 5.1
92		○									−	−	○	−	−	○		○								養親 4.3				
93		○									−	−	○	○		○			○								養親 4.3				
94		○									−	−	○		○	○		○		○							養親 4.3				

※1 夫婦縁組の場合、該当する戸籍編製に対応するデータ編集をおのおの夫と妻の2人分行う。
※2 配偶者はC.2のみ
※3 新戸籍編製の場所が管内の場合のみ新戸籍編製の処理を行う。又、配偶者は8.0,D.1のみ。
※4 養子が非本籍人の場合、入籍する戸籍又は新戸籍の編製場所が管外の場合は養子の戸籍編製を省き、なおかつ養親も非本籍人の場合は、養親の戸籍編製も省く。

※A.1,A.2,B.1,B.2,C.2,D.1はひな型のデータ編集を参照。それ以外はシステム環境仕様書(1頁目)の4. 機能体系のデータ編集を参照(8.0は養子と養親で8.1と8.2に分かれる)

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	23/55

30506

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮受付)／共通 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル (仮受付) 共通 (1／2)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							0301’
	受付日			送付日 受領日				送付日≠スペースの時、送付日移送 送付日＝スペースの時、受領日移送
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日				裁判確定日≠スペースの時、裁判確定日を移送 縁組成立日≠スペースの時、縁組成立日を移送
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							移送項目なし
	届出人資格区分1			届出人資格コード1				①代諾者コード1又は2に入力がある場合 届出人資格区分1、2の編集方法 ＜代諾者国籍に入力が無い場合＞ 1→16、2→17、10→19、11→20、93→22 に変換して移送する ＜代諾者国籍に入力がある場合＞ そのまま移送する
	届出人資格名称1		中間ファイル (仮受付)	届出人資格区分1		有		

091
160

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	24/55

30507

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮受付)／共通 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル (仮受付) 共通 (2／2)	届出人氏名1		中間ファイル (届書)	届出人氏名1(備考欄参照)				届出人氏名1，2の編集方法 ①代諾者コード1または2に入力がある場合 データ編集表の通り、それぞれ届出人氏名1，2を移送する。(代諾者国籍の有無に関係しない) ②代諾者コード1かつ2に入力がない場合 届出人コード1が10，11，13の場合、 届出人コードをそのまま移送する。 届出人コード＝10の場合「養父氏名」 届出人コード＝11の場合「養母氏名」 届出人コード＝13の場合「養子氏名」又は「養女氏名」を移送する。
	届出人資格区分2			届出人資格コード2				
	届出人資格名称2		中間ファイル (仮受付)	届出人資格区分2		有		
	届出人氏名2		中間ファイル (届書)	届出人氏名2(備考欄参照)				
	届後本籍区分							戸籍変動区分＝1の場合'1'を移送 戸籍変動区分＝2又は3の場合、'2'を移送
	届後本籍コード			入籍する戸籍 または新しい戸籍コード				
	届後本籍			入籍する戸籍 または新しい戸籍				項目に入力がある場合移送
	届後戸籍の筆頭者			入籍する戸籍 または新しい戸籍 の筆頭者				〃
	送達確認1							届後本籍が非本籍でかつ、 在外送付区分が0の時、1を移送 それ以外は0を移送
	証書提出区分							縁組成立日≠スペースの時、1を移送 上記以外のとき、0を移送
	届書送付目録区分							ファイル仕様書参照
	処分区分							
	決裁区分							

092

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	25/55

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮受付)／事件本人 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
中間ファイル (仮受付) 事件本人 (1／2)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							養父:08 養母:09 養子:10 養女:11
	届出人区分							養父、養母の場合 縁組方式≠スペースかつ 外国人の場合は'0'を移送する それ以外は'1'を移送する 養子、養女の場合 代諾者資格1,2に入力がある場合は'0'を移送する 代諾者資格1,2に入力がない場合 縁組方式≠スペースかつ外国人の場合は'0'を移送する それ以外は'1'を移送する
	カナ氏名			カナ氏名				養父のカナ氏名 養母のカナ氏名 養子のカナ氏名 養女のカナ氏名
	漢字氏名			漢字氏名				養父の漢字氏名 養母の漢字氏名 養子の漢字氏名 養女の漢字氏名
	生年月日			生年月日				養父の生年月日 養母の生年月日 養子の生年月日 養女の生年月日

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	25-1/55

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮受付)／事件本人 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人 (2／2)	本籍コード		中間ファイル (届書)	本籍コード				養父の本籍コード 養母の本籍コード 養子の本籍コード 養女の本籍コード
	本籍			本籍				養父の本籍 養母の本籍 養子の本籍 養女の本籍
	筆頭者			筆頭者				養父の本籍の筆頭者 養母の本籍の筆頭者 養子の本籍の筆頭者 養女の本籍の筆頭者
	送達確認2							本籍が非本籍でかつ、 在外送付区分が0の時1を移送、 それ以外は0を移送

※仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する

※出力順序

1. 養親の後に養子
2. 夫婦縁組の場合は、1の順序でなおかつ養父、養母、養子、養女の順に出力する

30509

093－1

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	26/55

処理名	4.1中間ファイル(仮戸籍)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)／身分事項(養親)入籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項 (養親)入籍 (1／2)	個人番号		中間ファイル (届書)	養父個人番号 養母個人番号				養父の時、養父個人番号 養母の時、養母個人番号
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0301'
	記録コード							'0302'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日≠スペースの時、裁判確定日を移送 縁組成立日≠スペースの時、縁組成立日を移送 裁判確定日＆縁組成立日＝スペースの時受領日を移送
	縁組日			縁組成立日 受領日				縁組成立日≠スペースの時、縁組成立日 縁組成立日＝スペースの時、受領日を移送
	共同縁組者資格							入籍では不使用
	共同縁組者資格名称							
	養子 養子氏名			養子の漢字氏名				項目に入力がある場合移送
	養子 養子の国籍			養子の本籍				入籍では不使用
	養子 養子の生年月日			養子の生年月日				〃
	養女 養子氏名			養女の漢字氏名				項目に入力がある場合移送
	養女 養子の国籍			養女の本籍				入籍では不使用
	養女 養子の生年月日			養女の生年月日				〃
	養子の戸籍							〃
	外国の方式 縁組の方式			縁組方式				〃
	外国の方式 証書提出日			受領日				〃

30510

094

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	27/55

処理名	4.1中間ファイル(仮戸籍)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)／身分事項(養親)入籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項 (養親)入籍 (2／2)	代諾者1	代諾者資格		中間ファイル (届書)	代諾者資格1				入籍では不使用
		代諾者資格名称							〃
		代諾者氏名			代諾者氏名1				〃
		代諾者の国籍			代諾者国籍1				〃
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日1				〃
	代諾者2	代諾者資格			代諾者資格2				〃
		代諾者資格名称							〃
		代諾者氏名			代諾者氏名2				〃
		代諾者の国籍			代諾者国籍2				〃
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日2				〃
	送付	送付を受けた日			送付日				項目に入力がある場合移送
		受理者			発送元				〃
	入籍日				処理日				〃
	入戸籍	従前戸籍 (本籍)			養父の本籍 養母の本籍				縁組形態区分＝1又は4の場合、養父の本籍と養父の筆頭者氏名を移送 縁組形態区分＝2又は5の場合、養母の本籍と養母の筆頭者氏名を移送
		従前戸籍 (筆頭者)			養父の筆頭者氏名 養母の筆頭者氏名				
	養子の従前戸籍								入籍では不使用
	除戸籍	新本籍			入籍する戸籍 または新しい戸籍				〃
	養子の新本籍				入籍する戸籍 または新しい戸籍				〃
	特記事項								

30511

095

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	28/55

処理名	4.2中間ファイル(仮戸籍)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)／身分事項(養親)除籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項 (養親)除籍 (1／2)	個人番号		中間ファイル (届書)	養父個人番号 養母個人番号				養父の時、養父個人番号 養母の時、養母個人番号
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0301'
	記録コード							'0302'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日≠スペースの時、裁判確定日を移送 縁組成立日≠スペースの時、縁組成立日を移送 裁判確定日＆縁組成立日＝スペースの時受領日を移送
	縁組日			縁組成立日 受領日				縁組成立日≠スペースの時、縁組成立日 縁組成立日＝スペースの時、受領日を移送
	共同縁組者資格							除籍では不使用
	共同縁組者資格名称							
	養子 養子氏名			養子の漢字氏名				項目に入力がある場合移送
	養子 養子の国籍			養子の本籍				除籍では不使用
	養子 養子の生年月日			養子の生年月日				〃
	養女 養子氏名			養女の漢字氏名				項目に入力がある場合移送
	養女 養子の国籍			養女の本籍				除籍では不使用
	養女 養子の生年月日			養女の生年月日				〃
	養子の戸籍							〃
	外国の方式 縁組の方式			縁組方式				〃
	外国の方式 証書提出日			受領日				〃

30512

960

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	29/55

処理名	4.2中間ファイル(仮戸籍)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)／身分事項(養親)除籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項 (養親)除籍 (2／2)	代諾者1	代諾者資格		中間ファイル (届書)	代諾者資格1				除籍では不使用
		代諾者資格名称							〃
		代諾者氏名			代諾者氏名1				〃
		代諾者の国籍			代諾者国籍1				〃
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日1				〃
	代諾者2	代諾者資格			代諾者資格2				〃
		代諾者資格名称							〃
		代諾者氏名			代諾者氏名2				〃
		代諾者の国籍			代諾者国籍2				〃
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日2				〃
	送付	送付を受けた日			送付日				項目に入力がある場合移送
		受理者			発送元				〃
	入戸籍	従前戸籍							除籍では不使用
	養子の従前戸籍								〃
	除戸籍	新本籍			入籍する戸籍 または新しい戸籍				
	養子の新本籍				入籍する戸籍 または新しい戸籍				除籍では不使用
	除籍日				処理日				項目に入力がある場合移送
	特記事項								

30513

090

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	30/55

処理名	4.3中間ファイル(仮戸籍)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)／身分事項(養親)記録 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称		項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項 (養親)記録 (1／3)	個人番号			中間ファイル (届書)	養父個人番号 養母個人番号				養父の時、養父個人番号 養母の時、養母個人番号
	行番号								
	出力区分								0:可
	タイトルコード								'0301'
	記録コード								'0302'
	管掌者コード								
	事件発生日				裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日≠スペースの時、 裁判確定日 縁組成立日≠スペースの時、 縁組成立日 裁判確定日＆縁組成立日＝スペースの時、受領日 をそれぞれ移送
	裁判	縁組の裁判確定日							裁判確定日≠スペースの時移送
	縁組日				縁組成立日 受領日				裁判確定日＝スペースの場合、 縁組成立日≠スペースの時、縁組成立日 縁組成立日＝スペースの時、受領日を移送
	共同縁組者資格								縁組形態区分＝3,6,10,12～15の場合かつ、 養父の時、7:'妻'を移送 養母の時、6:'夫'を移送
	共同縁組者資格名称								
	養子	養子氏名			養子の漢字氏名				養父の時、縁組形態区分が1,3,7,9,10,13～15の時移送、 あるいは、 養母の時、縁組形態区分が2,3,8,11～15の時移送
		養子の国籍			養子の本籍				〃 でかつ、
		養子の生年月日			養子の生年月日				養子が外国人の場合移送

30514

098

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	31/55

処理名	4.3中間ファイル(仮戸籍)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)／身分事項(養親)記録 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 画面名称	項目名称		項目記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	項目名称	項目記号名	コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項 (養親)記録 (2／3)	養女	養子氏名		中間ファイル (届書)	養女の漢字氏名				養父の時、縁組形態区分が4,6,7,10～13,15の時移送、 あるいは、 養母の時、縁組形態区分が 5,6,8～10,12,14,15の時移送
		養子の国籍			養女の本籍				〃 でかつ、
		養子の生年月日			養女の生年月日				養女が外国人の場合移送
	養子の戸籍 (本籍)				養子の本籍 養女の本籍				戸籍変動区分＝4の時でかつ、 同一戸籍縁組≠1でかつ、 養子に入力がある時 養子の本籍と筆頭者氏名を移送 又は、養女に入力がある時、 養女の本籍と筆頭者氏名を移送
	養子の戸籍 (筆頭者)				養子の筆頭者氏名 養女の筆頭者氏名				
	外国の方式	縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送 (養子が外国人の時のみ設定)
		証書提出日			受領日				縁組方式≠スペースの時移送 (養子が外国人の時のみ設定)
	代諾者1	代諾者資格			代諾者資格1				**養子が外国人の時のみ移送** 養子が外国人で戸籍に記録されないため、 代諾者情報は日本人養父母に記録する。 代諾者が帰化して日本人となっている 場合でも「親権者父母」と統合せずに、 そのまま代諾者1と2を移送する。 (国籍が日本の場合、国籍欄と 生年月日欄は空欄で構わない)。 代諾者氏名1，2の編集内容。 ＜代諾者国籍に入力が無い場合＞ 代諾者氏名は移送しない(記録不要)。 ＜代諾者国籍に入力がある場合＞ データ編集表の通り、それぞれ代諾者氏名1と2を移送する。
		代諾者資格名称							
		代諾者氏名			代諾者氏名1(備考欄参照)				
		代諾者の国籍			代諾者国籍1				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日1				
	代諾者2	代諾者資格			代諾者資格2				
		代諾者資格名称							
		代諾者氏名			代諾者氏名2(備考欄参照)				
		代諾者の国籍			代諾者国籍2				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日2				

30515

660

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	32/55

処理名	4.3中間ファイル(仮戸籍)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)／身分事項(養親)記録 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側						
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項 (養親)記録 (3／3)	届出日				受領日					裁判確定日に入力がある場合移送
	届出人	届出人資格			届出人資格コード1					裁判確定日に入力がある場合移送 届出人資格コード1が13又は 届出人資格コード1，2が13の時のみ移送する
		届出人資格名称			届出人資格コード1			有		
	許可日									
	送付	送付を受けた日			送付日					項目に入力がある場合移送
		受理者			発送元					〃
	入戸籍	従前戸籍								記録では不使用
	養子の従前戸籍 (本籍)				養子の本籍 養女の本籍					戸籍変動区分＝3の時でかつ、 養子の筆頭者区分＝1の場合、 養子の本籍と養子の筆頭者氏名を移送、あるいは、 養女の筆頭者区分＝1の場合、 養女の本籍と養女の筆頭者氏名を移送
	養子の従前戸籍 (筆頭者)				養子の筆頭者氏名 養女の筆頭者氏名					
	除戸籍	新本籍			入籍する戸籍 または新しい戸籍					記録では不使用
	養子の新本籍				入籍する戸籍 または新しい戸籍					戸籍変動区分＝3の時移送
	記録日				処理日					項目に入力がある場合移送
	特記事項									

30516

100

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	33/55

処理名	5.1中間ファイル(仮戸籍)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)／身分事項(養子)入籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称		記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	記号名	コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項 (養子)入籍 (1／4)	個人番号			中間ファイル (届書)	養子個人番号 養女個人番号				養子の時、養子個人番号 養女の時、養女個人番号
	行番号								
	出力区分								0:可
	タイトルコード								'0301'
	記録コード								'0301'
	管掌者コード								
	事件発生日				裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日≠スペースの時、 裁判確定日を移送 縁組成立日≠スペースの時、 縁組成立日を移送 裁判確定日＆縁組成立日＝スペースの時受領日を移送
	裁判	縁組の裁判確定日			裁判確定日				項目に入力がある場合移送
	縁組日				縁組成立日 受領日				裁判確定日＝スペースかつ、 縁組成立日≠スペースの時、 縁組成立日を移送 縁組成立日＝スペースの時、 受領日を移送
	共同縁組者資格								縁組形態区分＝7,8,10,12～15の場合かつ、 養子の時、7:'妻'を移送 養女の時、6:'夫'を移送
	共同縁組者資格名称								
	養親	養父氏名			養父の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が1,3,7,9,10,13,14,15の時移送、あるいは、 養女の時、縁組形態区分が4,6,7,10～13,15の時移送
		養父の国籍			養父の本籍				〃 でかつ、 養父が外国人の時移送
		養父の生年月日			養父の生年月日				

30517

101

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	34/55

30518

処理名	5.1中間ファイル(仮戸籍)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)／身分事項(養子)入籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目			DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称		記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項 (養子)入籍 (2／4)	養親	養母氏名		中間ファイル (届書)	養母の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が2,3,8,11～15の時移送、 あるいは、 養女の時、縁組形態区分が5,6,8～10,12,14,15の時移送
		養母の国籍			養母の本籍				〃 でかつ、
		養母の生年月日			養母の生年月日				養母が外国人の時移送
		養親の戸籍 (本籍)			養父の本籍 養母の本籍				戸籍変動区分＝3の時でかつ、 養父に入力がある時、 養父の本籍と養父の筆頭者氏名を移送 養父に入力がない時、 養母の本籍と養母の筆頭者氏名を移送
		養親の戸籍 (筆頭者)			養父の筆頭者氏名 養母の筆頭者氏名				
	外国の方式	縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送
		証書提出日			受領日				縁組方式≠スペースの時移送
		証書提出者 資格1			届出人資格コード1 代諾者資格1				**縁組方式≠スペースの時移送する** 証書提出者1，2と、証書提出者氏名1，2は、項目に入力がある方を移送 ①但し、証書提出者1，2は 届出人資格コード1かつ2、又は 代諾者資格1かつ2が 1と 2の時→ 5:父母 10と11の時→12:養父母 16と17の時→18:親権者父母 を証書提出者1に移送し、 証書提出者氏名1と証書提出者2全部にスペースを移送 ②上記以外はそのまま移送 但し、届出人資格コード1かつ2、又は 代諾者資格1かつ2が 1(父)、2(母)、16(親権者父)、 17(親権者母)の時、証書提出者氏名1，2に氏名は移送しない
		証書提出者 資格名称1		中間ファイル (仮戸籍)	証書提出者資格1		有		
		証書提出者 氏名1		中間ファイル (届書)	届出人氏名1 代諾者氏名1				
		証書提出者 資格2			届出人資格コード2 代諾者資格2				
		証書提出者 資格名称2		中間ファイル (仮戸籍)	証書提出者資格2		有		
		証書提出者 氏名2		中間ファイル (届書)	届出人氏名2 代諾者氏名2				
	代諾者1	代諾者資格			代諾者資格1				縁組方式かつ、裁判確定日に入力がなく、代諾者項目に入力がある場合、次の条件により移送する

102

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	35/55

30519

処理名	5.1中間ファイル(仮戸籍)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)／身分事項(養子)入籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項 (養子)入籍 (3／4)	代諾者1	代諾者資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	代諾者1 代諾者資格				代諾者資格1，2の変換方法 (その他の項目はそのまま移送する) ①代諾者国籍に入力が無い場合 a)代諾者資格1と2が1かつ2の時 代諾者1．代諾者資格＝18 代諾者資格1と2が16かつ17の時 代諾者1．代諾者資格＝18 を移送し、代諾者1．代諾者氏名～ 代諾者2全部にスペースを移送 b)代諾者資格1と2が1の時16，2の時17，10の時19，11の時20を移送 但し、代諾者資格1と2が1(父)，2(母)，16(親権者父)，17(親権者母)のとき、代諾者氏名1，2に氏名は移送しない c)代諾者資格1が93の時22を移送 d)a)～c)以外はそのまま移送する ②代諾者国籍に入力がある場合は そのまま移送する
		代諾者氏名		中間ファイル (届書)	代諾者氏名1				
		代諾者の国籍			代諾者国籍1				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日1				
	代諾者2	代諾者資格			代諾者資格2				
		代諾者資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	代諾者2 代諾者資格		有		
		代諾者氏名		中間ファイル (届書)	代諾者氏名2				
		代諾者の国籍			代諾者国籍2				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日2				
	届出日				受領日				裁判確定日に入力がある場合移送
	届出人	届出人資格			届出人資格コード1 ＋ 届出人資格コード2				裁判確定日に入力がある場合移送 (養子が届け出た場合は移送しない) 届け出人資格コード1と2が10かつ11の時、12:養父母を移送 届出人資格コード1のみ入力ありの場合は届出人資格コード1のみ移送
		届出人資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	届出人資格		有		
	許可日			中間ファイル (届書)					
	送付	送付を受けた日			送付日				項目に入力がある場合移送
		受理者			発送元				〃
	入籍日				処理日				〃
	入戸籍	従前戸籍 (本籍)			養子の本籍 養女の本籍				縁組形態区分＝1～3の場合、 養子の本籍と筆頭者氏名を移送 縁組形態区分＝4～6の場合、 養女の本籍と筆頭者氏名を移送 縁組形態区分＝7～15でかつ、 養子の筆頭者区分＝1の場合、 養子の本籍と筆頭者氏名を移送 養女の筆頭者区分1の場合 養女の本籍と筆頭者氏名を移送
		従前戸籍 (筆頭者)			養子の筆頭者氏名 養女の筆頭者氏名				

103

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	35-1/55

処理名	5.1中間ファイル(仮戸籍)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)／身分事項(養子)入籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側						
DB・ファイル名	項目			DB・ファイル名	項目		コード変換有無	出力形態	備考
画面名称	名称		記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
中間ファイル	除戸籍	新本籍		中間ファイル					入籍では不使用
(仮戸籍)		入籍戸籍		(届書)					〃
身分事項	特記事項								
(養子)入籍									
(4／4)									

30520

103－1

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	36/55

処理名	5.2中間ファイル(仮戸籍)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)／身分事項(養子)除籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項 (養子)除籍 (1／4)	個人番号		中間ファイル (届書)	養子個人番号 養女個人番号				養子の時、養子個人番号 養女の時、養女個人番号
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0301'
	記録コード							'0301'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日≠スペースの時、裁判確定日を移送 縁組成立日≠スペースの時、縁組成立日を移送 裁判確定日＆縁組成立日＝スペースの時受領日を移送
	裁判 縁組の裁判確定日			裁判確定日				項目に入力がある場合移送
	縁組日			縁組成立日 受領日				裁判確定日＝スペースかつ、縁組成立日≠スペースの時、縁組成立日を移送 縁組成立日＝スペースの時、受領日を移送
	共同縁組者資格							縁組形態区分＝7,8,10,12～15の場合かつ、養子の時、7:'妻'を移送 養女の時、6:'夫'を移送
	共同縁組者資格名称							
	養親 養父氏名			養父の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が1,3,7,9,10,13,14,15の時移送、あるいは、養女の時、縁組形態区分が4,6,7,10～13,15の時移送
	養父の国籍			養父の本籍				〃 でかつ、
	養父の生年月日			養父の生年月日				養父が外国人の時移送

30521

104

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	37/55

30522

処理名	5.2中間ファイル(仮戸籍)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)／身分事項(養子)除籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項 (養子)除籍 (2／4)	養親	養母氏名		中間ファイル (届書)	養母の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が2,3,8,11～15の時移送、 あるいは、 養女の時、縁組形態区分が5,6,8～10,12,14,15の時移送
		養母の国籍			養母の本籍				〃 でかつ、
		養母の生年月日			養母の生年月日				養母が外国人の時移送
		養親の戸籍 (本籍)			養父の本籍 養母の本籍				戸籍変動区分＝3の時でかつ、 養父に入力がある時、 養父の本籍と養父の筆頭者氏名を移送 養父に入力がない時、 養母の本籍と養母の筆頭者氏名を移送
		養親の戸籍 (筆頭者)			養父の筆頭者氏名 養母の筆頭者氏名				
	外国の方式	縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送
		証書提出日			受領日				縁組方式≠スペースの時移送
		証書提出者資格1			届出人資格コード1 代諾者資格1				**縁組方式≠スペースの時移送する** 証書提出者1，2と、証書提出者氏名1，2は、項目に入力がある方を移送 ①但し、証書提出者1，2は 届出人資格コード1かつ2、又は 代諾者資格1かつ2が 1と 2の時→ 5:父母 10と11の時→12:養父母 16と17の時→18:親権者父母 を証書提出者1に移送し、 証書提出者氏名1と証書提出者2 全部にスペースを移送 ②上記以外はそのまま移送 但し、届出人資格コード1かつ2、又は 代諾者資格1かつ2が 1(父)、2(母)、16(親権者父)、 17(親権者母)の時、証書提出者氏名1，2に氏名は移送しない
		証書提出者資格名称1		中間ファイル (仮戸籍)	証書提出者資格1		有		
		証書提出者氏名1		中間ファイル (届書)	届出人氏名1 代諾者氏名1				
		証書提出者資格2			届出人資格コード2 代諾者資格2				
		証書提出者資格名称2		中間ファイル (仮戸籍)	証書提出者資格2		有		
		証書提出者氏名2		中間ファイル (届書)	届出人氏名2 代諾者氏名2				
	代諾者1	代諾者資格			代諾者資格1				縁組方式かつ、裁判確定日に入力がなく、代諾者項目に入力がある場合、次の条件により移送する

105

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	38/55

30523

処理名	5.2中間ファイル(仮戸籍)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)／身分事項(養子)除籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称		記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	記号名	コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項 (養子)除籍 (3／4)	代諾者1	代諾者資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	代諾者1 代諾者資格				代諾者資格1，2の変換方法 (その他の項目はそのまま移送する) ①代諾者国籍に入力が無い場合 a)代諾者資格1と2が1かつ2の時 代諾者1．代諾者資格＝18 代諾者資格1と2が16かつ17の時 代諾者1．代諾者資格＝18 を移送し、代諾者1．代諾者氏名～ 代諾者2全部にスペースを移送 b)代諾者資格1と2が1の時16，2の時17，10の時19，11の時20を移送 但し、代諾者資格1と2が1(父)，2(母)，16(親権者父)，17(親権者母)のとき、代諾者氏名1，2に氏名は移送しない c)代諾者資格1が93の時22を移送 d)a)～c)以外はそのまま移送する ②代諾者国籍に入力がある場合は そのまま移送する
		代諾者氏名		中間ファイル (届書)	代諾者氏名1				
		代諾者の国籍			代諾者国籍1				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日1				
	代諾者2	代諾者資格			代諾者資格2				
		代諾者資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	代諾者2 代諾者資格				
		代諾者氏名		中間ファイル (届書)	代諾者氏名2				
		代諾者の国籍			代諾者国籍2				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日2				
	届出日				受領日				裁判確定日に入力がある場合移送
	届出人	届出人資格			届出人資格コード1 ＋ 届出人資格コード2				裁判確定日に入力がある場合移送 (養子が届け出た場合は移送しない) 届け出人資格コード1と2が10かつ11の時、12:養父母を移送 届出人資格コード1のみ入力ありの場合は届出人資格コード1のみ移送
		届出人資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	届出人資格		有		
	許可日			中間ファイル (届書)					
	送付	送付を受けた日			送付日				項目に入力がある場合移送
		受理者			発送元				〃
	入戸籍	従前戸籍							除籍では不使用
	除戸籍	新本籍			入籍する戸籍 または新しい戸籍				戸籍変動区分＝3の時移送
		入籍戸籍 (本籍)			入籍する戸籍 または新しい戸籍				戸籍変動区分＝1又は2の時移送
	除戸籍	入籍戸籍 (筆頭者)			入籍する戸籍 または新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分＝1又は2の時移送

106

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	38-1/55

処理名	5.2中間ファイル(仮戸籍)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)／身分事項(養子)除籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項 (養子)除籍 (4／4)	除籍日		中間ファイル (届書)	処理日				項目に入力がある場合移送
	特記事項							

30524

106－1

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	39/55

処理名	5.3中間ファイル(仮戸籍)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)／身分事項(養子)記録 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側						
DB・ファイル名	項目			DB・ファイル名	項目		コード変換有無	出力形態	備考	
画面名称	名称		記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，		
中間ファイル (仮戸籍)	個人番号			中間ファイル (届書)	養子個人番号 養女個人番号				養子の時、養子個人番号 養女の時、養女個人番号	
身分事項 (養子)記録 (1／3)	行番号									
	出力区分								0:可	
	タイトルコード								'0301'	
	記録コード								'0301'	
	管掌者コード									
	事件発生日				裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日≠スペースの時、 裁判確定日を移送 縁組成立日≠スペースの時、 縁組成立日を移送 裁判確定日＆縁組成立日＝スペースの時受領日を移送	
	裁判	縁組の裁判確定日			裁判確定日				項目に入力がある場合移送	
	縁組日				縁組成立日 受領日				裁判確定日＝スペースかつ、 縁組成立日≠スペースの時、 縁組成立日を移送 縁組成立日＝スペースの時、 受領日を移送	
	共同縁組者資格								縁組形態区分＝7,8,10,12～15の場合かつ、 養子の時、7:'妻'を移送 養女の時、6:'夫'を移送	
	共同縁組者資格名称									
	養親	養父氏名			養父の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が1,3,7,9,10,13,14,15の時移送、 あるいは、 養女の時、縁組形態区分が4,6,7,10～13,15の時移送	
		養父の国籍			養父の本籍				〃 でかつ、	
		養父の生年月日			養父の生年月日				養父が外国人の時移送	

30525

107

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	40/55

30526

処理名	5.3中間ファイル(仮戸籍)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)／身分事項(養子)記録 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目			DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称		記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項 (養子)記録 (2／3)	養親	養母氏名		中間ファイル (届書)	養母の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が2,3,8,11～15の時移送、あるいは、養女の時、縁組形態区分が5,6,8～10,12,14,15の時移送
		養母の国籍			養母の本籍				〃 でかつ、
		養母の生年月日			養母の生年月日				養母が外国人の時移送
		養子の戸籍 (本籍)			養父の本籍 養母の本籍				縁組形態区分＝1,3,4,6,7,9～15かつ 養父の外国人区分＝0の場合、 養父の本籍と筆頭者氏名を移送 又は、 縁組形態区分2,3,5,6,8～15かつ 養母の外国人区分＝0の場合、 養母の本籍と筆頭者氏名を移送
		養子の戸籍 (筆頭者)			養父の筆頭者氏名 養母の筆頭者氏名				
	外国の方式	縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送
		証書提出日			受領日				縁組方式≠スペースの時移送
		証書提出者 資格1			届出人資格コード1 代諾者資格1				**縁組方式≠スペースの時移送する** 証書提出者1，2と、証書提出者氏名1，2は、項目に入力がある方を移送 ①但し、証書提出者1，2は 届出人資格コード1かつ2、又は 代諾者資格1かつ2が 1と 2の時→ 5:父母 10と11の時→12:養父母 16と17の時→18:親権者父母 を証書提出者1に移送し、 証書提出者氏名1と証書提出者2 全部にスペースを移送 ②上記以外はそのまま移送 但し、届出人資格コード1かつ2、又は 代諾者資格1かつ2が 1(父)、2(母)、16(親権者父)、 17(親権者母)の時、証書提出者氏名1，2 に氏名は移送しない
		証書提出者 資格名称1		中間ファイル (仮戸籍)	証書提出者資格1		有		
		証書提出者 氏名1		中間ファイル (届書)	届出人氏名1 代諾者氏名1				
		証書提出者 資格2			届出人資格コード2 代諾者資格2				
		証書提出者 資格名称2		中間ファイル (仮戸籍)	証書提出者資格2		有		
		証書提出者 氏名2		中間ファイル (届書)	届出人氏名2 代諾者氏名2				
	代諾者1	代諾者資格			代諾者資格1				縁組方式かつ、裁判確定日に入力がなく、代諾者項目に入力がある場合、次の条件により移送する

108

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	41/55

30527

処理名	5.3中間ファイル(仮戸籍)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)／身分事項(養子)記録 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目			DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称		記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項 (養子)記録 (3／3)	代諾者1	代諾者資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	代諾者1 代諾者資格				代諾者資格1，2の変換方法 (その他の項目はそのまま移送する) ①代諾者国籍に入力が無い場合 a)代諾者資格1と2が1かつ2の時 代諾者1．代諾者資格＝18 代諾者資格1と2が16かつ17の時 代諾者1．代諾者資格＝18 を移送し、代諾者1．代諾者氏名～ 代諾者2全部にスペースを移送 b)代諾者資格1と2が1の時16，2の時17，10の時19，11の時20を移送 但し、代諾者資格1と2が1(父)，2(母)，16(親権者父)，17(親権者母)のとき、代諾者氏名1，2に氏名は移送しない c)代諾者資格1が93の時22を移送 d)a)～c)以外はそのまま移送する ②代諾者国籍に入力がある場合は そのまま移送する
		代諾者氏名		中間ファイル (届書)	代諾者氏名1				
		代諾者の国籍			代諾者国籍1				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日1				
	代諾者2	代諾者資格			代諾者資格2				
		代諾者資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	代諾者2 代諾者資格				
		代諾者氏名		中間ファイル (届書)	代諾者氏名2				
		代諾者の国籍			代諾者国籍2				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日2				
	届出日				受領日				裁判確定日に入力がある場合移送
	届出人	届出人資格			届出人資格コード1 ＋ 届出人資格コード2				裁判確定日に入力がある場合移送 (養子が届け出た場合は移送しない) 届け出人資格コード1と2が10かつ11の時、12:養父母を移送 届出人資格コード1のみ入力ありの場合は届出人資格コード1のみ移送
		届出人資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	届出人資格		有		
	許可日			中間ファイル (届書)					
	送付	送付を受けた日			送付日				項目に入力がある場合移送
		受理者			発送元				〃
	入戸籍	従前戸籍							記録では不使用
	除戸籍	新本籍							〃
		入籍戸籍							〃
	記録日								項目に入力がある場合移送
	特記事項								

109

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	42/55

処理名	6.1中間ファイル(仮戸籍)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)／身分事項(配偶者)入籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
中間ファイル	個人番号		中間ファイル	配偶者個人番号				
(仮戸籍)	行番号		(届書)					
身分事項	出力区分							0:可
(配偶者)入籍	タイトルコード							'0302'
(1／1)	記録コード							'0303'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日≠スペースの時、裁判確定日を移送 縁組成立日≠スペースの時、縁組成立日を移送 裁判確定日＆縁組成立日＝スペースの時受領日を移送
	入籍日			処理日 送付日 受領日				処理日≠スペースの時、処理日を移送 処理日＝スペースかつ 送付日≠スペースの時送付日を移送 処理日と送付日がどちらもスペースの時受領日を移送
	入籍事由							縁組形態区分＝1～3の場合、 4:'夫の縁組'を移送 縁組形態区分＝4～6の場合、 5:'妻の縁組'を移送
	従前戸籍 (本籍)			養子の本籍 養女の本籍				縁組形態区分＝1～3の場合、 養子の本籍と養子の筆頭者氏名を移送 縁組形態区分＝4～6の場合、 養女の本籍と養女の筆頭者氏名を移送
	従前戸籍 (筆頭者)			養子の筆頭者氏名 養女の筆頭者氏名				

30528

110

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	43/55

処理名	6.2中間ファイル(仮戸籍)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)／身分事項(配偶者)除籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	受取側 項目 名称	受取側 項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	引渡側 項目 名称	引渡側 項目 記号名	コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項 (配偶者)除籍 (1／1)	個人番号		中間ファイル (届書)	配偶者個人番号				
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0302'
	記録コード							'0303'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日≠スペースの時、裁判確定日を移送 縁組成立日≠スペースの時、縁組成立日を移送 裁判確定日＆縁組成立日＝スペースの時受領日を移送
	除籍日			処理日 送付日 受領日				処理日≠スペースの時、処理日を移送 処理日＝スペースかつ 送付日≠スペースの時送付日を移送 処理日と送付日がどちらもスペースの時受領日を移送
	除籍事由							縁組形態区分＝1～3の場合、 1:'夫の縁組'を移送 縁組形態区分＝4～6の場合、 2:'妻の縁組'を移送
	新本籍			入籍する戸籍 または新しい戸籍				

※データ編集表(4.1～6.2身分事項編集)の仮戸籍．身分事項の項目は、ノーマルケース時の項目のみを記述している。

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	44/55

処理名	7.1養父 編集・出力 (1／2)	(受取側)中間ファイル(9条2項)／養父 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養父の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							03(養子縁組)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養父が本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養父の漢字氏名				
	旧氏名			養父の漢字氏名				
	新生年月日			養父の生年月日				
	旧生年月日			養父の生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分＝2の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分＝2の場合移送
	旧本籍コード			養父の本籍コード				
	旧本籍			養父の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分＝2の場合移送
	旧筆頭者			養父の筆頭者氏名				
	住所コード			養父の住所コード				
	住所			養父の住所				
	方書							
	住定日							

30530

112

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	45/55

処理名	7.1養父 編集・出力 (2／2)	(受取側)中間ファイル(9条2項)／養父 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (9条2項)	住民日		中間ファイル (届書)					
	世帯主			養父の世帯主氏名				
	世帯主との続柄							

30531

113

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	46/55

処理名	7.2養母 編集・出力 (1／2)	(受取側)中間ファイル(9条2項)／養母 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養母の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							03(養子縁組)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養母が本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養母の漢字氏名				
	旧氏名			養母の漢字氏名				
	新生年月日			養母の生年月日				
	旧生年月日			養母の生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分＝2の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分＝2の場合移送
	旧本籍コード			養母の本籍コード				
	旧本籍			養母の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分＝2の場合移送
	旧筆頭者			養母の筆頭者氏名				
	住所コード			養母の住所コード				
	住所			養母の住所				
	方書							
	住定日							

30532

114

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	47/55

処理名	7.2養母 編集・出力 (2／2)	(受取側)中間ファイル(9条2項)／養母 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (9条2項)	住民日		中間ファイル (届書)					
	世帯主			養母の世帯主氏名				
	世帯主との続柄							

30533

115

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	48/55

処理名	7.3養子 編集・出力 (1／2)	(受取側)中間ファイル(9条2項)／養子 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養子の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							03(養子縁組)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養子が本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 ＋ 養子の漢字氏名の名				戸籍変動区分＝1～3の場合移送
	旧氏名			養子の漢字氏名				
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新父母との続柄			養子の続柄コード				
	旧父母との続柄			養子の続柄コード				
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分＝1～3の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分＝1～3の場合移送
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分＝1～3の場合移送
	旧筆頭者			養子の筆頭者氏名				
	住所コード			養子の住所コード				

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	49/55

処理名	7.3養子 編集・出力 (2／2)	(受取側)中間ファイル(9条2項)／養子 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (9条2項)	住所		中間ファイル (届書)	養子の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養子の世帯主氏名				
	世帯主との続柄							

30535

117

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養女縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	50/55

処理名	7.4養女 編集・出力 (1／2)	(受取側)中間ファイル(9条2項)／養女	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養女の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							03(養子縁組)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養女が本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 ＋ 養女の漢字氏名の名				戸籍変動区分＝1～3の場合移送
	旧氏名			養女の漢字氏名				
	新生年月日			養女の生年月日				
	旧生年月日			養女の生年月日				
	新父母との続柄			養女の続柄コード				
	旧父母との続柄			養女の続柄コード				
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分＝1～3の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分＝1～3の場合移送
	旧本籍コード			養女の本籍コード				
	旧本籍			養女の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分＝1～3の場合移送
	旧筆頭者			養女の筆頭者氏名				
	住所コード			養女の住所コード				

30536

118

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養女縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	51/55

処理名	7.4養女 編集・出力 (2／2)	(受取側)中間ファイル(9条2項)／養女 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (9条2項)	住所		中間ファイル (届書)	養女の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養女の世帯主氏名				
	世帯主との続柄							

30537

119

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(配偶者縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	52/55

処理名	7.5配偶者 編集・出力 (1／2)	(受取側)中間ファイル(9条2項)／配偶者	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード							
	宛名							
	事件コード							03(養子縁組)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 ＋ 配偶者漢字氏名の名				戸籍変動区分＝3の場合移送
	旧氏名			配偶者漢字氏名				
	新生年月日			配偶者生年月日				
	旧生年月日			配偶者生年月日				
	新父母との続柄			配偶者続柄コード				
	旧父母との続柄			配偶者続柄コード				
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分＝3の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分＝3の場合移送
	旧本籍コード							
	旧本籍							
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分＝3の場合移送
	旧筆頭者							
	住所コード							

30538

120

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(配偶者縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	53/55

処理名	7.5配偶者 編集・出力 (2／2)	(受取側)中間ファイル(9条2項)／配偶者	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
中間ファイル (9条2項)	住所		中間ファイル (届書)	配偶者住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

30539

121

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	54/55

処理名	8.1個人特定(養子)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)／個人特定(養子) ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
中間ファイル	個人番号							決裁処理で設定
(仮戸籍)	戸籍番号							決裁処理で設定
個人特定	戸籍記録順位番号							決裁処理で設定
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日(または送付日または受領日)				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別			父母との続柄		有		
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				戸籍変動区分＝1，2の時、0移送
	配偶者区分			配偶者区分				戸籍変動区分＝1，2でかつ 配偶者区分＝3の時、0を移送
	父			父氏名				
	母			母氏名				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父			養親配偶者氏名1				縁組形態区分2,8,11,12で入力がある時移送(養子の時のみの移送項目)
				養親配偶者氏名2				縁組形態区分5,8,9,14で入力がある時移送(養女の時のみの移送項目)
				養父の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が 1,3,7,9,10,13,14,15の時移送 養女の時、縁組形態区分が 4,6,7,10～13,15の時移送
	養母			養親配偶者氏名1				縁組形態区分1,7,9,10で入力がある時移送(養子の時のみの移送項目)
				養親配偶者氏名2				縁組形態区分4,7,11,13で入力がある時移送(養女の時のみの移送項目)
				養母の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が 2,3,8,11～15の時移送 養女の時、縁組形態区分が 5,6,8～10,12,14,15の時移送

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	54-1/55

処理名	8.1個人特定(養子)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)／個人特定(養子) ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	養父母との続柄							養子の時51、養女の時52を移送
	前個人番号		戸籍編製処理					本籍内異動のときに従前戸籍の個人番号設定
	個人除区分							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

30541

122－1

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	54-2/55

処理名	8.1.1個人特定(養子)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)／個人特定(養子) ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日							
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父		中間ファイル (届書)	養親配偶者氏名1				縁組形態区分2で入力がある時移送 (養子の時のみの移送項目)
				養親配偶者氏名2				縁組形態区分5で入力がある時移送 (養女の時のみの移送項目)
				養父の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が 1,3の時移送 養女の時、縁組形態区分が 4,6の時移送
	養母			養親配偶者氏名1				縁組形態区分1で入力がある時移送 (養子の時のみの移送項目)
				養親配偶者氏名2				縁組形態区分4で入力がある時移送 (養女の時のみの移送項目)
				養母の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が 2,3の時移送 養女の時、縁組形態区分が 5,6の時移送

30542

122－2

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	54-3/55

処理名	8.1.1個人特定(養子)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)／個人特定(養子) ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	養父母との続柄							養子の時51、養女の時52を移送
	前個人番号							
	個人除区分							
	審査不可区分							

30543

122－3

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	55/55

処理名	8.2個人特定(養親・配偶者)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)／個人特定(養子親 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
中間ファイル（仮戸籍）個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号							決裁処理で設定
	入籍日		中間ファイル（届書）	処理日(または送付日または受領日)				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別			父母との続柄		有		養父の場合：’男’、 養母の場合：’女’ 配偶者の場合移送
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分							養親の場合’1’を移送 配偶者の場合’0’を移送
	配偶者区分			配偶者区分				
	父		従前戸籍の情報	父				本籍内異動のときに従前戸籍から情報を設定
	母			母				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母との続柄			養父母との続柄				
	前個人番号		戸籍編製処理					本籍内異動のときに従前戸籍の個人番号を設定
	個人除区分							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

30544

123

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	55-1/55

処理名	9.1養父 編集・出力 (1／1)	(受取側)中間ファイル(30条の12第1項)／養父 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (30条の12第1項)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票 データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル (届書)					03:養子縁組届
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養父の漢字氏名				
	旧氏名			養父の漢字氏名				
	新生年月日			養父の生年月日				
	旧生年月日			養父の生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分＝2の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分＝2の場合移送
	旧本籍コード			養父の本籍コード				
	旧本籍			養父の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分＝2の場合移送
	旧筆頭者			養父の筆頭者氏名				
	住所コード			養父の住所コード				
	住所			養父の住所				
	方書							

30545

123－1

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	55-2/55

処理名	9.2養母 編集・出力 (1／1)	(受取側)中間ファイル(30条の12第1項)／養母 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (30条の12第1項)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票 データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル (届書)					03:養子縁組届
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養母の漢字氏名				
	旧氏名			養母の漢字氏名				
	新生年月日			養母の生年月日				
	旧生年月日			養母の生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分＝2の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分＝2の場合移送
	旧本籍コード			養母の本籍コード				
	旧本籍			養母の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分＝2の場合移送
	旧筆頭者			養母の筆頭者氏名				
	住所コード			養母の住所コード				
	住所			養母の住所				
	方書							

30546

123－2

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	55-3/55

処理名	9.3養子 編集・出力 (1／1)	(受取側)中間ファイル(30条の12第1項)／養子	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (30条の12第1項)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票 データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル (届書)					03:養子縁組届
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 ＋ 養子の漢字氏名の名				戸籍変動区分＝1～3の場合移送
	旧氏名			養子の漢字氏名				
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新父母との続柄			養子の続柄コード				
	旧父母との続柄			養子の続柄コード				
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分＝1～3の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分＝1～3の場合移送
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分＝1～3の場合移送
	旧筆頭者			養子の筆頭者氏名				
	住所コード			養子の住所コード				
	住所			養子の住所				
	方書							

30547

123－3

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養女縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	55-4/55

処理名	9.4養女 編集・出力 (1／1)	(受取側)中間ファイル(30条の12第1項)／養女 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (30条の12第1項)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票 データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル (届書)					03:養女縁組届
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 ＋ 養女の漢字氏名の名				戸籍変動区分＝1～3の場合移送
	旧氏名			養女の漢字氏名				
	新生年月日			養女の生年月日				
	旧生年月日			養女の生年月日				
	新父母との続柄			養女の続柄コード				
	旧父母との続柄			養女の続柄コード				
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分＝1～3の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分＝1～3の場合移送
	旧本籍コード			養女の本籍コード				
	旧本籍			養女の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分＝1～3の場合移送
	旧筆頭者			養女の筆頭者氏名				
	住所コード			養女の住所コード				
	住所			養女の住所				
	方書							

30548

123－4

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(配偶者縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	55-5/55

処理名	9.5配偶者 編集・出力 (1／1)	(受取側)中間ファイル(30条の12第1項)／配偶者 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (30条の12第1項)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票 データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル (届書)					03:配偶者縁組届
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 ＋ 配偶者の漢字氏名の名				戸籍変動区分＝3の場合移送
	旧氏名			配偶者の漢字氏名				
	新生年月日			配偶者の生年月日				
	旧生年月日			配偶者の生年月日				
	新父母との続柄			配偶者の続柄コード				
	旧父母との続柄			配偶者の続柄コード				
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分＝3の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分＝3の場合移送
	旧本籍コード							
	旧本籍							
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分＝3の場合移送
	旧筆頭者							
	住所コード							
	住所							
	方書							

30549

123－5